

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">比較のため第1.15.3表より転載</span></p> <p>ケース1：同一物理量で推定（温度、圧力、水位、流量、放射線量）する。</p> <p>ケース2：水位を注水源若しくは注水先の水位変化又は注水量から推定する。</p> <p>ケース3：流量を注水先又は注水源の水位変化を監視することにより推定する。</p> <p>ケース4：除熱状態を温度、圧力等の傾向監視により推定する。</p> <p>ケース5：1次系からの漏えいを水位、圧力等の傾向監視により推定する。</p> <p>ケース6：圧力と温度を水の飽和状態の関係から推定する。</p> <p>ケース7：ほう素濃度と炉心の未臨界性から推定する。</p> <p>ケース8：装置の動作特性により推定する。</p> <p>ケース9：あらかじめ評価したパラメータの相関関係（ケース6を除く）により推定する。</p>	<p>・同一物理量（温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束）より推定するケース</p> <p>・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定するケース</p> <p>・流量を注水先又は注水源の水位変化を監視することにより推定するケース</p> <p>・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定するケース</p> <p>・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定するケース</p> <p style="background-color: #cccccc;">・注水量を注水先の圧力及び温度の傾向監視により推定するケース</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">比較のため1.15-32へ再掲 ・あらかじめ評価したパラメータの相関関係により酸素濃度を推定するケース</p> <p>・装置の作動状況により水素濃度を推定するケース</p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">比較のため1.15-32より再掲</span></p> <p>・あらかじめ評価したパラメータの相関関係により酸素濃度を推定するケース</p>	<p>・同一物理量（温度、圧力、水位、<span style="color: red;">流量</span>、放射線量率、水素濃度及び中性子束）より推定するケース</p> <p>・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定するケース</p> <p>・流量を注水先又は注水源の水位変化を監視することにより推定するケース</p> <p>・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定するケース</p> <p>・1次冷却系からの漏えいを水位、圧力等の傾向監視により推定するケース</p> <p>・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定するケース</p> <p>・未臨界状態の維持を原子炉へのほう酸水注入量により推定するケース</p> <p>・装置の作動状況により水素濃度を推定するケース</p> <p>・あらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定するケース</p>	<p><b>【大飯】</b> 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・大飯は推定ケースを本項に記載しておらず、第1.15.3表にのみ記載している。（比較のために大飯の第1.15.3表の該当部を転載。）</p> <p><b>【女川】</b> 設備の相違</p> <p>・女川は、流量については異なる物理量での推定手段を整備している。泊は設備構成の相違により主蒸気流量の推定に他チャンネルの主蒸気流量を用いる。（大飯も同様）</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p><b>【大飯】</b> 記載表現の相違</p> <p>（女川に合わせて本文ではケース別に番号分けした記載とはしていないが、推定ケースを整理した第1.15.3表では大飯と同じくケース番号を記載している。）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>計器故障時、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測する。</p> <p>計器故障時、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測する。</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉圧力容器内の温度と水位である。</p>	<p>・エリア放射線モニタの傾向監視により、格納容器バイパス事象が発生したことを推定するケース</p> <p>・原子炉格納容器への空気（酸素）の流入の有無を原子炉格納容器内圧力により推定するケース</p> <p>・使用済燃料プールの状態を同一物理量（水位及び温度）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラの監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定するケース</p> <p>・原子炉圧力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力（圧力抑制室圧力）の差圧により原子炉圧力容器の満水状態を推定するケース</p> <p>(添付資料 1.15.6)</p> <p>e. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>主要パラメータを計測する計器が故障した場合の、対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合に、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、他チャンネルの重要計器により主要パラメータを計測する。</p> <p>他チャンネルの重要計器の故障により、計測することが困難となった場合は、他チャンネルの常用計器により主要パラメータを計測する。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により、主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、第1.15-3表にて定める優先順位にて代替計器により代替パラメータを計測し、主要パラメータを推定する。</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉圧力容器内の温度と水位である。</p>	<p>・使用済燃料ピットの状態を同一物理量（水位及び温度）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラの監視により、使用済燃料ピットの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定するケース</p> <p>(添付資料 1.15.6)</p> <p>e. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>主要パラメータを計測する計器が故障した場合の、対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合に、他チャンネル又は他ループの重要計器により計測できる場合は、他チャンネル又は他ループの重要計器により主要パラメータを計測する。他チャンネル及び他ループの重要計器がある場合、他チャンネルの重要計器による計測を優先し、次に他ループの重要計器により計測する。</p> <p>他チャンネル又は他ループの重要計器の故障により、計測することが困難となった場合は、他チャンネル又は他ループの常用計器により主要パラメータを計測する。他チャンネル及び他ループの常用計器がある場合、他チャンネルの常用計器による計測を優先し、次に他ループの常用計器により計測する。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により、主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、第1.15.3表にて定める優先順位にて代替計器により代替パラメータを計測し、主要パラメータを推定する。</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉圧力容器内の温度と水位である。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・相違理由②</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由③ ・泊は主要パラメータに他チャンネル及び他ループの重要計器がある場合の優先順位を記載。（大飯実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由③ ・泊は主要パラメータに他チャンネル及び他ループの常用計器がある場合の優先順位を記載。（大飯実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉圧力容器内の温度及び水位の値が計器の計測範囲を超えた場合、原子炉施設の状態を推定するための手段は、以下のとおり。</p> <p>a. 原子炉圧力容器内の温度                      原子炉圧力容器内の温度のパラメータである1次冷却材温度が計測範囲（0～400℃）を超えた場合、可搬型計測器を接続し、検出器の抵抗を測定し、換算表を用いて温度へ変換する。これにより、検出器の耐熱温度である500℃程度までは温度測定できる。多様性拡張設備である炉心出口温度が健全である場合は、炉心出口温度による測定を優先する。</p> <p>なお炉心出口温度（多様性拡張設備）については、盤及び電源の耐震化を実施している。また、全交流動力電源喪失時においても、可搬型計測器を用いて必要点数の監視及び記録も可能である。炉心出口温度（多様性拡張設備）の計測上限値は650℃であるが、可搬型計測器を使用することで検出器の温度素子の機能上限（約1,300℃）まで温度測定が可能である。</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の圧力                      原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータである1次冷却材圧力を計測する計器の計測範囲は、0～20.6MPa[gage]である。重大事故等時の判断基準は20.59MPa[gage]（1次系最高使用圧力（17.16MPa[gage]）の1.2倍）であり、重大事故等時において原子炉圧力容器内の圧力は、計器の計測範囲で計測可能である。</p> <p>c. 原子炉圧力容器内の水位                      原子炉圧力容器内の水位のパラメータである加圧器水位は、原子炉圧力容器より上に位置し、水位が低下し計測範囲以下となった場合は、原子炉水位で計測する。原子炉水位を計測する計器の計測範囲は、原子炉容器の底部から頂部までを0～100%としているため、重大事故等時において原子炉圧力容器内の水位を計器の計測範囲内で測定が可能である。</p>	<p>なお、これらのパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。可搬型計測器により計測可能な計器について第1.15-2表に示す。（添付資料1.15.5）</p> <p>・原子炉圧力容器内の温度                      原子炉圧力容器内の温度を計測する計器の計測範囲は0～500℃である。原子炉の冷却機能が喪失し、原子炉圧力容器内の水位が有効燃料棒頂部以下になった場合、原子炉圧力容器温度の計測範囲を超える場合があるが、重大事故等時における損傷炉心の冷却状態を把握し、適切に対応するための判断基準の温度は300℃であり、計器の計測範囲内で判断可能である。                      なお、原子炉圧力容器温度が計測範囲を超える（500℃以上）場合は、可搬型計測器により原子炉圧力容器温度を計測する。</p> <p>・原子炉圧力容器内の圧力                      原子炉圧力容器内の圧力を計測する計器の計測範囲は、0～11MPa[gage]である。原子炉圧力容器の最高使用圧力（8.62MPa[gage]）の1.2倍（10.34MPa[gage]）を監視可能であり、重大事故等時において原子炉圧力容器内の圧力は、計器の計測範囲内で計測が可能である。</p> <p>・原子炉圧力容器内の水位                      原子炉圧力容器内の水位を計測する計器の計測範囲は、ドライヤスカート底部付近を基準として、3,800mm～1,500mm及び有効燃料棒頂部付近を基準とした3,800mm～1,300mmであり、原子炉水位制御範囲（レベル3～レベル8）及び有効燃料棒底部まで計測できるため、重大事故等時において原子炉圧力容器内の水位は、計器の計測範囲内で計測が可能である。                      原子炉圧力容器内の水位のパラメータである、原子炉水位の計測範囲を超えた場合、高圧代替注水系ポンプ出口流量、</p>	<p>なお、これらのパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。可搬型計測器により計測可能な計器について第1.15.2表に示す。（添付資料1.15.5）</p> <p>・原子炉圧力容器内の温度                      原子炉圧力容器内の温度のパラメータである1次冷却材温度（広域－高温側）又は1次冷却材温度（広域－低温側）が計測範囲（0～400℃）を超えた場合、可搬型計測器を接続し、検出器の抵抗を測定し、換算表を用いて温度へ変換する。これにより、検出器の耐熱温度である500℃程度までは温度計測できる。自主対策設備である炉心出口温度が健全である場合は、炉心出口温度による計測を優先する。                      なお、炉心出口温度（自主対策設備）については、盤及び電源の耐震化を実施している。また、全交流動力電源喪失時においても、可搬型計測器を用いて必要点数の監視及び記録も可能であり、炉心出口温度（自主対策設備）の計測上限値（約1,300℃）まで温度計測が可能である。</p> <p>・原子炉圧力容器内の圧力                      原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータである1次冷却材圧力（広域）を計測する計器の計測範囲は、0～21.0MPa[gage]である。重大事故等時の判断基準は20.59MPa[gage]（1次冷却系最高使用圧力（17.16MPa[gage]）の1.2倍）であり、重大事故等時において原子炉圧力容器内の圧力は、計器の計測範囲内で計測が可能である。</p> <p>・原子炉圧力容器内の水位                      原子炉圧力容器内の水位のパラメータである加圧器水位は、原子炉容器より上に位置し、水位が低下し計測範囲以下となった場合は、原子炉容器水位で計測する。原子炉容器水位を計測する計器の計測範囲は、原子炉容器の底部から頂部までを0～100%としているため、重大事故等時において原子炉圧力容器内の水位を計器の計測範囲内で計測が可能である。</p>	<p>【大飯】                      記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・泊では、原子炉容器内の温度及び水位以外についても記載している。</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違（女川実績の反映）                      ・大飯は「測定」と記載しているが、泊は基準要求と整合及び女川実績を反映し「計測」としている。</p> <p>【大飯】                      自主対策設備の表現の相違</p> <p>【大飯】                      設備仕様の相違（可搬型計測器で約1,300℃まで計測できることに相違なし）</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違（女川実績の反映）                      設備名称の相違</p> <p>【大飯】                      設備仕様の相違（計測範囲として1次系の最高使用圧力の1.2倍を計測可能なことに相違なし）</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】                      設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 原子炉圧力容器への注水量</p> <p>原子炉圧力容器への注水量を監視するパラメータは、高圧注入流量、余熱除去流量及び恒設代替低圧注水積算流量である。</p> <p>高圧注入流量の計測範囲は、0～400m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である高圧注入ポンプの最大流量は320m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。また、余熱除去流量の計測範囲は、0～1,300m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である余熱除去ポンプの最大流量は1,250m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。並びに恒設代替低圧注水積算流量の計測範囲は、0～160m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である恒設代替低圧注水ポンプの事故対処時における必要最大流量は130m<sup>3</sup>/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p>	<p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレライン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、代替循環冷却ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレ系ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレ系ポンプ出口流量のうち、機器動作状態にある流量計から崩壊熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉圧力容器内の水位を推定する。</p> <p>また、原子炉圧力容器内の満水確認は、原子炉圧力又は原子炉圧力（SA）と圧力抑制室圧力の差圧により、原子炉圧力容器内の水位が有効燃料棒頂部以上であることは原子炉圧力容器温度により監視可能である。</p> <p>・原子炉圧力容器への注水量</p> <p>原子炉圧力容器への注水量を監視するパラメータは、高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレライン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、代替循環冷却ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレ系ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレ系ポンプ出口流量である。</p> <p>高圧代替注水系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～120m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である高圧代替注水系ポンプの最大注水量は90.8m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～150m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である原子炉隔離時冷却系ポンプの最大注水量は90.8m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>高圧炉心スプレ系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～1,500m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である高圧炉心スプレ系ポンプの最大注水量は1,050m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレライン洗浄流量）の計測範囲は、0～220m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉注水時の最大注水量は199m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）の計測範囲は、0～220m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ（タイプ</p>	<p>・原子炉圧力容器への注水量</p> <p>原子炉圧力容器への注水量を監視するパラメータは、高圧注入流量、低圧注入流量、代替格納容器スプレポンプ出口積算流量及びB-格納容器スプレ冷却器出口積算流量（AM用）である。</p> <p>高圧注入流量の計測範囲は、0～350m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である高圧注入ポンプの最大流量は280m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>低圧注入流量の計測範囲は、0～1,100m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である余熱除去ポンプの最大流量は1,090m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>代替格納容器スプレポンプ出口積算流量の計測範囲は、0～200m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である代替格納容器スプレポンプの重大事故等時における必要最大流量は140m<sup>3</sup>/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>B-格納容器スプレ冷却器出口積算流量（AM用）の計測範囲は、0～1,300m<sup>3</sup>/hとしており、測定対象である格納容器スプレポンプの最大流量は□□m<sup>3</sup>/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>□□ 後面の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】                  設備名称の相違                  設備構成の相違                  ・大飯は、A-格納容器スプレポンプによる原子炉圧力容器への注水を行う場合、A-格納容器スプレ積算流量を通らない系統となっている。</p> <p>【大飯】                  設備の相違により計測範囲が異なる。(計測範囲としてポンプの最大流量を計測できることに相違なし)                  記載表現の相違（女川実績の反映）                  設備名称の相違</p> <p>【大飯】                  設備構成の相違                  ・大飯は、A-格納容器スプレポンプによる原子炉圧力容器への注水を行う場合、A-格納容器スプレ積算流量を通らない系統となっている。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>e. 原子炉格納容器への注水量</p> <p>原子炉格納容器の注水量を監視するパラメータは、格納容器スプレー積算流量、高圧注入流量、余熱除去流量、充てん水流量（多様性拡張設備）及び恒設代替低圧注水積算流量である。</p> <p>格納容器スプレー積算流量の計測範囲は、0～1,700m<sup>3</sup>/hとしており、測定対象である格納容器スプレーポンプの最大流量は1,640m<sup>3</sup>/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。また、高圧注入流量、余熱除去流量、充てん水流量（多様性拡張設備）及び恒設代替低圧注水積算流量については原子炉圧力容器への注水量を監視するパラメータ同様に重大事故等時において、計測範囲内での流量測定が可能である。</p>	<p>プI) 若しくは代替循環冷却ポンプによる原子炉注水時の最大注水量は199m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～100m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である直流駆動低圧注水系ポンプの原子炉注水時における最大注水量は80m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>代替循環冷却ポンプ出口流量の計測範囲は、0～200m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である代替循環冷却ポンプの原子炉注水時における最大注水量は150m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>残留熱除去系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～1,500m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である残留熱除去系ポンプの最大注水量は1,136m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～1,500m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である低圧炉心スプレー系ポンプの最大注水量は1,050m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>・原子炉格納容器への注水量</p> <p>原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータは、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレーライン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、原子炉格納容器代替スプレー流量、代替循環冷却ポンプ出口流量及び原子炉格納容器下部注水流量である。</p> <p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレーライン洗浄流量）の計測範囲は、0～220m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である復水移送ポンプによる原子炉格納容器スプレー時の最大注水量は88m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）の計測範囲は、0～220m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である復水移送ポンプによる原子炉格納容器スプレー時の最大注水量は88m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>原子炉格納容器代替スプレー流量の計測範囲は、0～100m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉格納容器スプレー時の最大注水量は88m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>代替循環冷却ポンプ出口流量の計測範囲は、0～200m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である代替循環冷却ポンプの原子炉格納容器スプレー時における最大注水量は150m<sup>3</sup>/hであるため、</p>	<p>・原子炉格納容器への注水量</p> <p>原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータは、B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量（AM用）、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量（自主対策設備）及び代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量である。</p> <p>B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量（AM用）の計測範囲は、0～1,300m<sup>3</sup>/hとしており、測定対象である格納容器スプレーポンプの最大流量は□m<sup>3</sup>/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>高圧注入流量の計測範囲は、0～350m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である高圧注入ポンプの最大流量は280m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>低圧注入流量の計測範囲は、0～1,100m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である余熱除去ポンプの最大流量は1,090m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>充てん流量（自主対策設備）の計測範囲は、0～70m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である充てんポンプの最大流量は45.4m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量の計測範囲は、0～200m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である代替格納容器ス</p>	<p>【大飯】                  記載表現の相違                  設備名称の相違</p> <p>【大飯】                  設備名称の相違                  設備仕様の相違（計測範囲としてポンプの最大流量を計測できることに相違なし）                  記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違（女川実績の反映）                  ・泊では、原子炉圧力容器への注水量を監視するパラメータと同様にパラメータごとに記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>上記より、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは原子炉圧力容器内の温度と水位であり、この場合の原子炉施設の状態を推定するため、手順を以下のとおり整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>i. 原子炉圧力容器内の温度</p> <p>重大事故等時に1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の値が、計器の計測範囲を超え確認できない場合。</p> <p>ii. 原子炉圧力容器内の水位</p> <p>重大事故等時に加圧器水位が低下し、計器の計測範囲を外れ確認できない場合。</p> <p>(b) パラメータ監視の手順</p> <p>計器の計測範囲を超えたかどうかの判断及び対応手順は、以下のとおり。</p>	<p>重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>原子炉格納容器下部注水流量の計測範囲は、0～110m<sup>3</sup>/hとしており、計測対象である復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ（タイプI）若しくは代替循環冷却ポンプの原子炉格納容器下部注水時における最大注水量は80m<sup>3</sup>/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>重大事故等時において、計器の計測範囲を超過した場合、代替パラメータによる推定を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>重大事故等時に、原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータが計器の計測範囲を超過し、指示値が確認できない場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>計器の計測範囲超過の判断及び対応手順は以下のとおり。</p>	<p>レイポンプの重大事故等時における必要最大流量は140m<sup>3</sup>/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>□ 特回みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>重大事故等時において、計器の計測範囲を超過した場合、代替パラメータによる推定を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>重大事故等時に、原子炉圧力容器内の温度又は水位を監視するパラメータが計器の計測範囲を超過し、指示値が確認できない場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>計器の計測範囲超過の判断及び対応手順は以下のとおり。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊では、計測範囲を超える対象である原子炉容器内の温度又は水位の手順をまとめて1つにしている。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・女川は、原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータが計器の計測範囲を超過した場合、可搬型計測器により計測する手順としており、後段の可搬型計測器の手順で整理している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため1.15-41へ再掲</p> <p>i. 原子炉圧力容器内の温度</p> <p>① 監視が必要な当該パラメータの指示値を読み取る。</p> <p>② 読み取った指示値が正常であるかどうかを、プラント状況等により推定される値との間に大きな差異がないか等により確認する。</p> <p>③ 1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の他ループの指示値を確認し、他ループの指示値も同じ傾向か否かを確認する。</p> <p>④ 1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）について、他ループの指示値も同じ傾向で計測範囲を超えていると判断される場合は、炉心出口温度（多様性拡張設備）で計測する。炉心出口温度（多様性拡張設備）による計測ができない場合は、1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の計器に可搬型計測器を接続し、検出器（内部温度素子）の耐熱温度である500℃程度までに相当する抵抗指示を直接読み取る。読み取った抵抗値を換算表等により換算し、パラメータを計測又は推定する。</p> <p>なお、可搬型計測器による測定においては、1次冷却材高温側温度（広域）を優先する。</p> <p>ii. 原子炉圧力容器内の水位</p> <p>① 監視が必要な当該パラメータの指示値を読み取る。</p> <p>② 読み取った指示値が正常であるかどうかを、プラント状況等により推定される値との間に大きな差異がないか等により確認する。</p> <p>③ 加圧器水位の他チャンネル指示値を確認し、他チャンネルの指示値も同じ傾向か否かを確認する。</p> <p>④ 加圧器水位について、他チャンネルの指示値も同じ傾向で計測範囲以下にあると判断される場合は、原子炉水位で測定する。</p>	<p>①運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータについて、他チャンネルの重要計器がある場合には、当該計器により当該パラメータを計測する。また、当該パラメータの常用計器が監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値が正常であることを、計測範囲内にあること及びプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないことより確認する。</p> <p>③当該パラメータが計測範囲外にある場合には、<b>発電課長</b>は、あらかじめ選定した重要代替監視パラメータの計測を運転員（中央制御室）Aに指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値を<b>発電課長</b></p>	<p>①運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータについて、他チャンネル又は他ループの重要計器がある場合には、当該計器により当該パラメータを計測する。また、当該パラメータの常用計器が監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値が正常であることを、計測範囲内にあること及びプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないことより確認する。</p> <p>③当該パラメータが計測範囲外にある場合には、<b>発電課長（当直）</b>は、あらかじめ選定した重要代替監視パラメータの計測を運転員（中央制御室）Aに指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値を<b>発電課長</b></p>	<p>【大飯】                      記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では、計測範囲を超過する可能性がある原子炉圧力容器内の温度及び水位の代替パラメータによる推定手順について書き分けず、まとめて1つにしている。</li> <li>・泊では、可搬型計測器で推定する手順は、後段の手順「b.可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視」に記載している。</li> <li>・これら対応手段の優先順位は、伊方3と同様に、後段の「c.重大事故等時の対応手段の選択」にて記載している。</li> </ul> <p>【女川】                      設備の相違                      ・相違理由③</p> <p>【女川】                      名称の相違</p> <p>【女川】</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、発電所対策本部へ重要代替監視パラメータの指示値から主要パラメータの推定を依頼する。</p> <p>⑥発電所対策本部は、重大事故等対策要員（運転員を除く。）に重要代替監視パラメータの値から主要パラメータの推定を指示する。</p> <p>⑦重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、主要パラメータの推定結果を発電所対策本部へ報告する。</p> <p>⑧発電所対策本部は、発電課長に主要パラメータの推定結果を報告する。</p> <p>(c) 操作の成立性                      上記の計測及び推定は、運転員（中央制御室）1名、重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名で対応が可能である。速やかに作業ができるように推定手順を整備する。</p> <p>b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視                      重大事故等時において、主要パラメータが計器の計測範囲を超過した場合、可搬型計測器による計測を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準                      重大事故等時に、主要パラメータが計器の計測範囲を超過し、指示値が確認できない場合。</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15-5図に示す。                      ①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員（中央制御室）Aに可搬型計測器によるパラメータの計測を指示する。                      ②発電課長は、発電所対策本部へ可搬型計測器によるパラメータの計測を依頼する。                      ③発電所対策本部は、重大事故等対策要員（運転員を除く。）に可搬型計測器による計測開始を指示する※5。                      ※5 重大事故等対策要員（運転員を除く。）が中央制御室</p>	<p>（当直）に報告する。</p> <p>⑤発電課長（当直）は、運転員（中央制御室）Aに重要代替監視パラメータの値から主要パラメータの推定を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、発電課長（当直）に主要パラメータの推定結果を報告する。</p> <p>(c) 操作の成立性                      上記の計測及び推定は、運転員（中央制御室）1名で対応が可能である。速やかに作業ができるように推定手順を整備する。</p> <p>b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視                      重大事故等時において、主要パラメータが計器の計測範囲を超過した場合、可搬型計測器による計測を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準                      重大事故等時に、主要パラメータが計器の計測範囲を超過し、指示値が確認できない場合。</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.5図に示す。                      ①発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、災害対策要員に可搬型計測器によるパラメータの計測を指示する。</p>	<p>名称の相違</p> <p>【女川】                      名称の相違                      【女川】                      運用の相違                      ・相違理由⑧</p> <p>【女川】                      運用の相違                      ・相違理由⑧</p> <p>【女川】                      名称の相違</p> <p>【女川】                      運用の相違                      ・相違理由⑧</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・大飯は、計測範囲を超過した場合に可搬型計測器も使用するが、本項では手順を記載しておらず、次項「1.15.2.2(1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失」の手順に本項の手順も含めている。</p> <p>【女川】                      名称の相違                      運用の相違                      ・相違理由⑧</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【川内1/2号炉まとめ資料を転載】</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。                      また、タイムチャートを第1.15.5図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員等及び保守対応要員に可搬型計測器によるパラメータの計測開始を指示する。</p> <p>② 保守対応要員は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。                      可搬型計測器を手順に定められた端子台に接続する。</p> <p>③ 保守対応要員は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表を用いて工学値に換算し、運転員等は換算結果を記録用紙に記録する。                      なお、使用中に乾電池の残量が少なくなった場合は、予備の乾電池と交換する。</p> <p>(c) 操作の成立性                      上記の現場対応は1ユニット当たり保守対応要員1名にて実施し、所要時間は約20分を想定している。                      円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、照明、通信設備等を整備する。</p>	<p>に到着するまでの間は、<b>運転員（中央制御室）A</b>にて実施する。</p> <p>④<b>重大事故等対策要員（運転員を除く。）</b>は、必要な資機材を携帯し、中央制御室まで移動する。</p> <p>⑤<b>運転員（中央制御室）A</b>及び<b>重大事故等対策要員（運転員を除く。）</b>は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。</p> <p>⑥<b>運転員（中央制御室）A</b>及び<b>重大事故等対策要員（運転員を除く。）</b>は、中央制御室のあらかじめ定めた端子台にて、測定対象パラメータの信号出力端子と可搬型計測器を接続し、測定を開始する。</p> <p>⑦<b>運転員（中央制御室）A</b>及び<b>重大事故等対策要員（運転員を除く。）</b>は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表により工学値に換算し、記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性                      上記の対応は1測定点当たり、<b>運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名</b>にて実施し、作業開始を判断してから所要時間は<b>55分以内</b>で可能である。2測定点以降は<b>5分追加</b>となる。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。また、作業環境（作業空間、温度等）に支障がないことを確認する。</p>	<p>②<b>災害対策要員</b>は、必要な資機材を携帯し、中央制御室、<b>安全系計装盤室又は常用系計装盤室</b>まで移動する。</p> <p>③<b>災害対策要員</b>は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。</p> <p>④<b>災害対策要員</b>は、中央制御室、<b>安全系計装盤室又は常用系計装盤室</b>のあらかじめ定めた端子台にて、測定対象パラメータの信号出力端子と可搬型計測器を接続し、測定を開始する。</p> <p>⑤<b>災害対策要員</b>は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表により工学値に換算し、記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性                      上記の現場対応は1測定点当たり、<b>災害対策要員1名</b>にて実施し、作業開始を判断してから所要時間は<b>25分以内</b>で可能である。2測定点以降は<b>10分追加</b>となる。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。また、作業環境（作業空間、温度等）に支障がないことを確認する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】                      名称の相違                      設備の設置場所の相違                      ・泊では、可搬型計測器で計測する対象の設備は、中央制御室と中央制御室付近の<b>安全系計装盤室、常用系計装盤室</b>に設置している。</p> <p>【女川】                      運用の相違                      ・相違理由④                      設備の設置場所の相違                      ・泊では、可搬型計測器で計測する対象の設備は、中央制御室と中央制御室付近の<b>安全系計装盤室、常用系計装盤室</b>に設置している。</p> <p>【女川】                      運用の相違                      ・相違理由④                      ・対応要員・操作対象機器の配置場所等の相違による所要時間の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため1.15-38より再掲</p> <p>i. 原子炉圧力容器内の温度</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 監視が必要な当該パラメータの指示値を読み取る。</li> <li>② 読み取った指示値が正常であるかどうかを、プラント状況等により推定される値との間に大きな差異がないか等により確認する。</li> <li>③ 1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の他ループの指示値を確認し、他ループの指示値も同じ傾向か否かを確認する。</li> <li>④ 1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）について、他ループの指示値も同じ傾向で計測範囲を超えていると判断される場合は、炉心出口温度（多様性拡張設備）で計測する。炉心出口温度（多様性拡張設備）による計測ができない場合は、1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の計器に可搬型計測器を接続し、検出器（内部温度素子）の耐熱温度である500℃程度までに相当する抵抗指示を直接読み取る。読み取った抵抗値を換算表等により換算し、パラメータを計測又は推定する。                      なお、可搬型計測器による測定においては、1次冷却材高温側温度（広域）を優先する。</li> </ol> <p>ii. 原子炉圧力容器内の水位</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 監視が必要な当該パラメータの指示値を読み取る。</li> <li>② 読み取った指示値が正常であるかどうかを、プラント状況等により推定される値との間に大きな差異がないか等により確認する。</li> <li>③ 加圧器水位の他チャンネル指示値を確認し、他チャンネルの指示値も同じ傾向か否かを確認する。</li> <li>④ 加圧器水位について、他チャンネルの指示値も同じ傾向で計測範囲以下にあると判断される場合は、原子炉水位で測定する。</li> </ol>	<p>【比較のため伊方発電所3号炉を転載】</p> <p>c. 優先順位</p> <p>原子炉容器内の温度及び水位が計測範囲を超えて、監視機能が喪失した場合の対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>原子炉容器内の温度を監視するパラメータである1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）が計測範囲を超えた場合は多様性拡張設備である炉心出口温度により、原子炉容器内の温度を推定する。</p> <p>1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）が計測範囲を超えた場合で、かつ計器故障により、炉心出口温度の監視機能が喪失した場合は、可搬型計測器により1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）を計測する。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、炉心出口温度により近い値を示す1次冷却材高温側温度（広域）を優先する。</p> <p>また、1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）が可搬型計測器による計測範囲を超えた場合に炉心出口温度が健全であれば、可搬型計測器により炉心出口温度を計測する。</p> <p>原子炉容器内の水位を監視するパラメータである加圧器水位が計測範囲の下限以下となった場合は、原子炉容器水位を計測し、原子炉容器内の保有水量を推定する。</p>	<p>c. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>原子炉圧力容器内の温度及び水位が計測範囲を超えて、監視機能が喪失した場合の対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータである1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）が計測範囲を超えた場合は炉心出口温度（自主対策設備）により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。</p> <p>1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）が計測範囲を超えた場合で、かつ計器故障により、炉心出口温度（自主対策設備）の監視機能が喪失した場合は、可搬型計測器により1次冷却材温度（広域－高温側）又は1次冷却材温度（広域－低温側）を計測する。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、炉心出口温度（自主対策設備）により近い値を示す1次冷却材温度（広域－高温側）を優先する。</p> <p>また、1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）が可搬型計測器による計測範囲を超えた場合に炉心出口温度（自主対策設備）が健全であれば、可搬型計測器により炉心出口温度（自主対策設備）を計測する。</p> <p>原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータである加圧器水位が計測範囲の下限以下となった場合は、原子炉容器水位を計測し、原子炉圧力容器内の保有水量を推定する。</p>	<p>【女川】                      記載方針の相違                      ・女川は、重大事故等時に計測範囲を超えた場合、原子炉圧力容器内の温度の場合は可搬型計測器を用いて計測、原子炉圧力容器内の水位の場合は代替パラメータとして動作状態にあるポンプの流量により推定するとしており、対応手段が決まっているため、本項の記載をしていない。                      ・泊は、原子炉圧力容器内の温度を監視する計器の計測範囲を超えた場合は、炉心出口温度と可搬型計測器とで計測する優先順位を定めている。（大飯、伊方と同様）</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違（泊の記載は伊方と同様）                      ・大飯では、本項のように対応手段の優先順位をまとめた記載をしておらず、手順の中で優先順位を記載している。                      自主対策設備の表現の相違                      名称の相違</p> <p>【伊方】                      自主対策設備の表現の相違                      名称の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失                      (1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>重要な監視パラメータ計器のうち、交流電源から供給される計器については、非常用低圧母線と非常用直流母線に接続された計装用電源（無停電電源装置）より給電されており、いずれか一方の母線があれば計器へ電源を供給可能である。直流電源から供給される計器については、充電器と蓄電池（安全防護系用）より給電されており、いずれか一方があれば計器へ電源を供給可能である。全交流動力電源喪失により、計測に必要な計器電源が喪失した場合、空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器等の運転により、計器へ給電する。また、計装用電源（無停電電源装置）が使えない場合においても、計装用電源（変圧器）を設けており、継続して電源を供給できる手段があり、信頼性も高く監視機能を失うことはない（第1.15.4図）。</p> <p>代替電源の供給ができない場合は、特に重要なパラメータとして、パラメータ選定した第1.15.2表に示す重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを計測する計器の温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、可搬型計測器を接続し計測する。</p> <p>ただし、可搬型計測器を用いずに直接確認できるものは現場で確認する。また、可搬型計測器の計測値を工学値に換算する換算表を準備する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">比較のため1.15-45へ再掲</p> <p>可搬型計測器による測定においては、測定対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視する。</p>	<p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失                      (1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>全交流動力電源喪失、直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）から計器へ給電する手順及び可搬型計測器により、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p>	<p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失                      (1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>全交流動力電源喪失、直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）から計器へ給電する手順及び可搬型計測器により、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p>	<p>【大飯】                      記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯では、計器電源が喪失した場合の電源供給の対応について記載しているが、泊では以降の項目において、給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備することとしているため、本項では計器電源が喪失した場合の対応方針のみ簡潔に記載する文章構成としている。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>a. 全交流動力電源喪失時の代替電源の供給                      ディーゼル発電機の故障により非常用高圧母線への交流電源による給電ができない場合は、代替電源（交流）により非常用高圧母線へ給電する。</p> <p>b. 直流電源喪失時の代替電源の供給                      ディーゼル発電機の故障により非常用直流母線への直流電源による給電ができない場合は、直流電源設備により非常用直流母線へ給電する。                      全交流動力電源及び直流電源喪失時の代替電源確保に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち「1.14.2.1 代表電源（交流）による給電手順等及び1.14.2.2 代替電源（直流）による給電手順等」にて整備する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>比較のため1.15-46より再掲</p> </div> <p>d. 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源の供給</p> <p>全交流動力電源喪失等により直流電源が喪失した場合において、中央制御室での監視ができない場合に、炉外核計装盤、放射線監視盤の可搬型バッテリーにより電源を供給する手順を整備する。</p>	<p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備からの給電</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合に、所内常設蓄電式直流電源設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。なお、所内常設蓄電式直流電源設備からの給電により計測可能な計器について第1.15-2表に示す。</p> <p>b. 常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備からの給電                      全交流動力電源喪失が発生した場合に、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>c. 代替所内電気設備による給電                      非常用所内電気設備が機能喪失し、必要な設備へ給電できない場合に、代替所内電気設備による給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>d. 常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備又は125V代替充電器用電源車接続設備からの給電                      全交流動力電源が喪失し直流電源が枯渇するおそれがある場合に、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備又は125V代替充電器用電源車接続設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備からの給電</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合に、所内常設蓄電式直流電源設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。なお、所内常設蓄電式直流電源設備からの給電により計測可能な計器について第1.15.2表に示す。</p> <p>b. 常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、後備変圧器、号炉間電力融通設備又は開閉所設備からの給電                      全交流動力電源喪失が発生した場合に、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、後備変圧器、号炉間電力融通設備又は開閉所設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>c. 代替所内電気設備による給電                      非常用所内電気設備が機能喪失し、必要な設備へ給電できない場合に、代替所内電気設備による給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>d. 可搬型代替直流電源設備からの給電</p> <p>全交流動力電源が喪失し直流電源が枯渇するおそれがある場合に、可搬型代替直流電源設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>e. 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）からの給電</p> <p>全交流動力電源喪失等により直流電源が喪失した場合において、中央制御室での監視ができない場合に、炉外核計装装置用及び放射線監視装置用の可搬型バッテリーにより電源を供給する手順を整備する。</p>	<p>【大飯】                      記載方針の相違（相違理由①）（女川実績の反映）                      【女川】                      設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】                      設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】                      設備構成の相違                      ・相違理由①                      【大飯】                      記載表現の相違</p> <p>【大飯】                      設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>比較のため1.15-46より再掲</p> <p>(a) 手順着手の判断基準                      直流電源喪失により、炉外核計装盤、放射線監視盤のパラメータが監視できない場合。</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.6図、第1.15.7図に示す。</p> <p>比較のため1.15-47より再掲</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、緊急安全対策要員に可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給を指示する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、現場で炉外核計装盤又は放射線監視盤の電源を「切」とする。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場でケーブルを布設し、可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）を炉外核計装盤又は放射線監視盤に接続する。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給を開始し、運転員等は計測結果を記録用紙に記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性                      上記の現場対応は1ユニット当たり緊急安全対策要員2名にて実施し、所要時間は、炉外核計装盤については、約70分、放射線監視盤については、約60分を想定している。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、照明等を整備する。</p>		<p>(a) 手順着手の判断基準                      直流電源喪失により、炉外核計装装置又は放射線監視装置のパラメータが監視できない場合。</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源供給の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.6図、第1.15.7図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、発電所対策本部長に可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源供給を依頼する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、復旧班員に可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源供給を指示する。</p> <p>③ 復旧班員は、現場で原子炉安全保護盤（炉外核計装信号処理部）又は原子炉安全保護盤（放射線監視設備信号処理部）の電源を「切」とする。</p> <p>④ 復旧班員は、現場でケーブルを敷設し、可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）を原子炉安全保護盤（炉外核計装信号処理部）又は原子炉安全保護盤（放射線監視設備信号処理部）に接続する。</p> <p>⑤ 復旧班員は、可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源供給を開始し、復旧班員は計測結果を記録用紙に記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性                      上記の現場対応は復旧班員2名にて実施し、所要時間は、原子炉安全保護盤（炉外核計装信号処理部）については、約50分、原子炉安全保護盤（放射線監視設備信号処理部）については、約35分を想定している。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信設備を整備する。</p> <p>（添付資料1.15.8、添付資料1.15.9）</p>	<p>【大飯】                      設備名称の相違                      記載表現の相違</p> <p>【大飯】                      設備名称の相違</p> <p>【大飯】                      体制の相違                      記載表現の相違</p> <p>【大飯】                      設備名称の相違</p> <p>【大飯】                      体制の相違                      【大飯】                      設備名称の相違</p> <p>【大飯】                      体制の相違                      【大飯】                      設備名称の相違</p> <p>【大飯】                      運用の相違                      ・対応要員・操作対象機器の配置場所等の相違による所要時間の相違。</p> <p>【大飯】                      設備名称の相違</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違                      ・他の項目と同様に関連する添付資料 No を記載。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視                      全交流動力電源喪失時等により直流電源が喪失した場合において、中央制御室での監視ができなくなった場合の手段として、第1.15.2表に示す特に重要なパラメータ及び第1.15.5表に示す有効な監視パラメータについて、可搬型計測器で測定可能なものを計測し監視する手順を整備する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>比較のため1.15-42より再掲</p> <p>可搬型計測器による測定においては、測定対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視する。</p> </div> <p>(a) 手順着手の判断基準                      直流電源が喪失した場合において、中央制御室でのパラメータが監視できない場合。</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.5図に示す。</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、緊急安全対策要員に原子炉施設の状態監視に必要なパラメータの計測開始を指示する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。可搬型計測器を手順に定められた端子台に接続する。</p>	<p>e. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視                      代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合に、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、手順着手の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器で計測又は監視を行う手順を整備する。</p> <p>可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p> <p>なお、可搬型計測器により計測可能な計器について第1.15-2表に示す。                      (添付資料 1.15.5)</p> <p>(a) 手順着手の判断基準                      計器電源が喪失し、中央制御室でパラメータの監視ができない場合。</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15-5図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員（中央制御室）Aに可搬型計測器によるパラメータの計測を指示する。</p> <p>②発電課長は、発電所対策本部へ可搬型計測器によるパラメータの計測を依頼する。</p> <p>③発電所対策本部は、重大事故等対策要員（運転員を除く。）に可搬型計測器による計測開始を指示する※6。                      ※6 重大事故等対策要員（運転員を除く。）が中央制御室に到着するまでの間は、運転員（中央制御室）Aにて実施する。</p> <p>④重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、必要な資機材を携帯し、中央制御室まで移動する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）A及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。</p>	<p>f. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視                      代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合に、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、手順着手の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器で計測又は監視を行う手順を整備する。</p> <p>可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p> <p>なお、可搬型計測器により計測可能な計器について第1.15.2表に示す。                      (添付資料 1.15.5)</p> <p>(a) 手順着手の判断基準                      計器電源が喪失し、中央制御室でパラメータの監視ができない場合。</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.5図に示す。</p> <p>①発電課長【当直】は、手順着手の判断基準に基づき、災害対策要員に可搬型計測器によるパラメータの計測を指示する。</p> <p>②災害対策要員は、必要な資機材を携帯し、中央制御室、安全系計装盤室又は常用系計装盤室まで移動する。</p> <p>③災害対策要員は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。</p>	<p>【大飯】                      記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川、大飯】                      体制の相違</p> <p>【女川】                      運用の相違                      ・相違理由⑨</p> <p>【女川】                      設備の設置場所の相違                      ・泊では、可搬型計測器で計測する対象の設備は、中央制御室と中央制御室付近の安全系計装盤室、常用系計装盤室に設置している。</p> <p>【女川】                      運用の相違                      ・相違理由⑨</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>③ 緊急安全対策要員は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表を用いて工学値に換算し、<b>運転員等は換算結果を記録用紙に記録する。</b></p> <p>なお、使用中に乾電池の残量が少なくなった場合は、予備の乾電池と交換する。</p> <p>(c) 操作の成立性                  上記の現場対応は<b>1ユニット当たり緊急安全対策要員2名</b>にて実施し、所要時間は約<b>35分</b>を想定している。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、照明、通信設備等を整備する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>比較のため1.15-43,44へ再掲</p> <p>d. 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源の供給</p> <p>全交流動力電源喪失等により直流電源が喪失した場合において、中央制御室での監視ができない場合に、炉外核計装盤、放射線監視盤の可搬型バッテリーにより電源を供給する手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準                      直流電源喪失により、炉外核計装盤、放射線監視盤のパラメータが監視できない場合。</p> <p>(b) 操作手順                      可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.6図、第1.15.7図に示す。</p> </div>	<p>⑥<b>運転員（中央制御室）A及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）</b>は、中央制御室のあらかじめ定めた端子台にて、測定対象パラメータの信号出力端子と可搬型計測器を接続し、測定を開始する。</p> <p>⑦<b>運転員（中央制御室）A及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）</b>は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表により工学値に換算し、記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性                  上記の対応は1測定点当たり、<b>運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名</b>にて実施し、作業開始を判断してから所要時間は<b>55分以内</b>で可能である。2測定点以降は<b>5分追加</b>となる。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。また、作業環境（作業空間、温度等）に支障がないことを確認する。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.15.4）</p>	<p>④災害対策要員は、中央制御室、安全系計装盤室又は常用系計装盤室のあらかじめ定めた端子台にて、測定対象パラメータの信号出力端子と可搬型計測器を接続し、測定を開始する。</p> <p>⑤災害対策要員は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表により工学値に換算し、記録する。</p> <p>なお、使用中に乾電池の残量が少なくなった場合は、予備の乾電池と交換する。</p> <p>(c) 操作の成立性                  上記の対応は1測定点当たり、<b>災害対策要員1名</b>にて実施し、作業開始を判断してから所要時間は<b>25分以内</b>で可能である。2測定点以降は<b>10分追加</b>となる。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。また、作業環境（作業空間、温度等）に支障がないことを確認する。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.15.4）</p>	<p>【女川】                  設備の設置場所の相違                  ・泊では、可搬型計測器で計測する対象の設備は、中央制御室と中央制御室付近の安全系計装盤室、常用系計装盤室に設置している。</p> <p>【女川】                  運用の相違                  ・相違理由⑨</p> <p>【大飯】                  記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】                  記載方針の相違                  ・泊は使用中の電池交換についても記載。（大飯実績の反映）</p> <p>【女川、大飯】                  運用の相違                  ・相違理由⑨                  ・対応要員・操作対象機器の配置場所等の相違による所要時間の相違</p> <p>【大飯】                  記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】                  記載箇所の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">比較のため1.15-44へ再掲</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、緊急安全対策要員に可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給を指示する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、現場で炉外核計装盤又は放射線監視盤の電源を「切」とする。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場でケーブルを布設し、可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）を炉外核計装盤又は放射線監視盤に接続する。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給を開始し、運転員等は計測結果を記録用紙に記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性                  上記の現場対応は1 ユニット当たり緊急安全対策要員2名にて実施し、所要時間は、炉外核計装盤については、約70分、放射線監視盤については、約60分を想定している。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、照明等を整備する。</p>	<p>f. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>全交流動力電源喪失、直流電源喪失等により、計器電源が喪失した場合に、計器に給電する対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合には、所内常設蓄電式直流電源設備から計測可能な計器に給電される。</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備から給電されている間に常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備から計器に給電する。</p> <p>なお、非常用所内電気設備が機能喪失した場合には、代替所内電気設備から計器に給電する。</p> <p>常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備からの給電が困難となった場合で直流電源が枯渇するおそれがある場合は、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備又は125V代替充電器用電源車接続設備から計器に給電する。</p> <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となった場合は、可搬型計測器により重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p>	<p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>全交流動力電源喪失、直流電源喪失等により、計器電源が喪失した場合に、計器に給電する対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合には、所内常設蓄電式直流電源設備から計測可能な計器に給電される。</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備から給電されている間に常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、後備変圧器、号炉間電力融通設備又は開閉所設備から計器に給電する。</p> <p>なお、非常用所内電気設備が機能喪失した場合には、代替所内電気設備から計器に給電する。</p> <p>常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、後備変圧器、号炉間電力融通設備又は開閉所設備からの給電が困難となった場合で直流電源が枯渇するおそれがある場合は、可搬型代替直流電源設備から計器に給電する。</p> <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となった場合は、可搬型計測器により重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。また、可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）から計器に給電する。</p>	<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】                  設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】                  設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】                  設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】                  設備構成の相違                  ・相違理由①</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.15.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順</p> <p>パラメータ選定で選定した重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータ（原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率等）は、SPDS、SPDS表示装置及び可搬型温度計測装置により計測結果を記録する。ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する監視パラメータ（計測結果を含む。）の値や現場操作時のみ監視する現場の指示値は記録用紙に記録する。</p> <p>SPDS、SPDS表示装置及び可搬型温度計測装置に記録された監視パラメータの計測結果は、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>有効な監視パラメータのうち記録可能なものについては、SPDS、プラント計算機等により計測結果及び警報等を記録する手順を整備する（第1.15.5表）。</p> <p>有効監視パラメータの計測結果の記録について整理し、第1.15-5表に示す。</p> <p>(1) 手順着手の判断基準 重大事故等が発生したとき。</p> <p>(2) 操作手順 重大事故等が発生し、重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（重大事故等対処設備）の記録の概要は以下のとおり。</p> <p>a. SPDSによる記録</p> <p>SPDSは、非常用電源又は代替電源から給電可能で、7日間以上の記録容量を持っている。重大事故等時のパラメータの値を継続して確認できるよう、記録された計測結果を定期的に</p>	<p>1.15.2.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム（SPDS）により、計測結果を記録する。ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む。）の値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p> <p>主要パラメータのうち記録可能なものについて、自主対策設備であるプロセス計算機及び中央制御室記録計により計測結果、警報等を記録する。</p> <p>有効監視パラメータの計測結果の記録について整理し、第1.15-5表に示す。</p> <p>(1) 手順着手の判断基準 重大事故等が発生した場合。</p> <p>(2) 操作手順 重大事故等が発生し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を記録する手順の概要は以下のとおり。</p> <p>a. 安全パラメータ表示システム（SPDS）による記録</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）は、常時記録であり、非常用電源又は代替電源から給電可能で、14日間の記録容量を持っている。重大事故等時のパラメータの値を継続して確認できるよう、記録された計測結果が記録容量を超える前に定期</p>	<p>1.15.2.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、データ伝送設備（発電所内）及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）により、計測結果を記録する。ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む。）の値、可搬型計測器で計測されるパラメータの値及び現場操作時のみ監視する現場の指示値は、記録用紙に記録する。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）に記録された監視パラメータの計測結果は、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>主要パラメータのうち記録可能なものについて、自主対策設備であるプラント計算機により計測結果、警報等を記録する。</p> <p>有効監視パラメータの計測結果の記録について整理し、第1.15.7表に示す。</p> <p>(1) 手順着手の判断基準 重大事故等が発生した場合。</p> <p>(2) 操作手順 重大事故等が発生し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を記録する手順の概要は以下のとおり。</p> <p>a. データ伝送設備（発電所内）による記録</p> <p>データ伝送設備（発電所内）は、常時記録であり、非常用電源又は代替電源から給電可能で、14日間の記録容量を持っている。重大事故等時のパラメータの値を継続して確認できるよう、記録された計測結果が記録容量を超える前に定期的にメデ</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由②④</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由⑥</p> <p>【女川】 記載方針の相違 （定期的にメディアに保存する手順は同じ）</p> <p>設備構成の相違 ・相違理由②</p> <p>【大飯】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由⑤ 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 表番号の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由④</p> <p>【大飯】 設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>取り出し保存する手順は以下のとおり。</p> <p>① 緊急安全対策要員は、SPDS表示装置にてSPDS及びSPDS表示装置に記録された重要な監視パラメータの計測結果を、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、メディアに保存された重要な監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>b. 可搬型温度計測装置による記録</p> <p>① 緊急安全対策要員は、可搬型温度計測装置に記録された、格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）の計測結果について、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、メディアに保存された重要な監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>c. 現場指示計の記録</p> <p>運転員等は、原子炉補機冷却水サージタンクの加圧操作時に、現場指示計の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の値を記録用紙へ記録する。</p> <p>d. 可搬型計測器及び可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給時の記録</p> <p>緊急安全対策要員は、1.15.2.2(1)c.及びd.で得られた重要な監視パラメータのデータを記録用紙に記録する。</p>	<p>的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>b. 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口／出口用）による記録</p> <p>①運転員又は発電所災害対策本部要員は、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口／出口用）に記録された、格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度の計測結果について、記録容量（10日間）を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>②運転員又は発電所災害対策本部要員は、メディア（記録媒体）に保存された重要な監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>b. 可搬型計測器の記録</p> <p>運転員（中央制御室）及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、「1.15.2.1(2) b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視」又は「1.15.2.2(1) e. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視」で得られた可搬型計測器で計測されたパラメータの値を記録用紙に記録する。</p>	<p>メディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>①事務局員は、データ表示端末にてデータ収集計算機及びデータ表示端末に記録された重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>②事務局員は、メディア（記録媒体）に保存された重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>b. 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）による記録</p> <p>①運転員は、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）に記録された、格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度の計測結果について、記録容量（10日間）を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>②復旧班員は、メディアに保存された重要な監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>c. 現場指示計の記録</p> <p>運転員は、原子炉補機冷却水サージタンクの加圧操作時に、現場指示計の原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）の値を記録用紙へ記録する。</p> <p>d. 可搬型計測器の記録</p> <p>災害対策要員は、「1.15.2.1(2) b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視」又は「1.15.2.2(1) f. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視」で得られた可搬型計測器で計測されたパラメータの値を記録用紙に記録する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 記載方針の相違（大飯と同様） ・泊では、記録容量を超える前にメディアに保存、印刷し、記録を保存する手順を具体的に記載している。</p> <p>【大飯】 体制の相違 設備名称の相違 パラメータ名称の相違</p> <p>【大飯】 体制の相違 パラメータ名称の相違</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由②</p> <p>【大飯】 体制の相違 設備名称の相違 記載方針の相違 ・泊は、記録容量を具体的に記載している。（伊方と同様）</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由④</p> <p>【大飯】 体制の相違 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は、可搬型計測器の記録と可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）からの給電時の記録を別要員で対応することから、分けて記載している。</p> <p>【女川、大飯】 体制の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>e. プラント計算機の記録</p> <p>(a) 計算機運転日誌                      定められたプロセスの計測結果を定時毎に記録し、日毎に帳票印刷する。</p> <p>(b) 警報記録                      プロセス値の異常な状態による中央制御盤の警報発生時、警報の状態を記録し、日毎に帳票印刷する。</p> <p>また、プラントの過渡変化による重要警報のファーストアウト警報発生時、その発生順序（シーケンス）、トリップ状態、工学的安全施設作動信号及び工学的安全施設作動状況を記録し、事象発生時に帳票印刷する。</p> <p>(c) 事故時データ収集記録                      事象発生前後のプラント状態の推移を把握するため、定められたプロセス値のデータを収集、記録し、事象発生時に自動帳票印刷及び手動にて印刷する。</p> <p>(3) 操作の成立性                      SPDSによる記録は、SPDS及びSPDS表示装置の記録容量（7日以上）を超える前に、緊急時対策所内にて緊急安全対策要員1名で行う。室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p>	<p>c. プロセス計算機の記録</p> <p>(a) 運転日誌                      プロセス計算機が稼働状態にあれば、定められたプロセスの計測結果を定時ごとに自動で記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>(b) 警報記録                      プロセス計算機が稼働状態にあれば、プロセス値の異常な状態による中央制御室制御盤の警報発生時、警報の状態を記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>プラントの過渡変化による重要警報のファーストヒット警報発生時、その発生順序（シーケンス）、トリップ状態、工学的安全施設作動信号及び工学的安全施設の作動状況を記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>(c) プラント診断支援機能                      プロセス計算機が稼働状態にあれば、事象発生前後のプラント状態の推移を把握するため、定められたプロセス値のデータを自動で収集、記録し、運転員（中央制御室）等は、中央制御室にて事象発生後に手動で帳票印刷する。</p> <p>d. 中央制御室記録計による記録                      記録計が稼働状態であれば、定められたプロセスの計測結果を、中央制御室にてチャート用紙に自動で記録する。</p> <p>(3) 操作の成立性                      安全パラメータ表示システム（SPDS）による記録は、安全パラメータ表示システム（SPDS）の記録容量（14日間）を超える前に、緊急時対策建屋内にて重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名で行う。室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p>	<p>e. 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）からの給電時の記録                      復旧班員は、「1.15.2.2(1)e. 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）からの給電」で得られた可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）からの給電で計測されたパラメータの指示値を記録用紙に記録する。</p> <p>f. プラント計算機の記録</p> <p>(a) 運転日誌                      プラント計算機が稼働状態にあれば、定められたプロセスの計測結果を定時ごとに自動で記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>(b) 警報記録                      プラント計算機が稼働状態にあれば、プロセス値の異常な状態による中央制御盤の警報発生時、警報の状態を記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>プラントの過渡変化による重要警報のファーストアウト警報発生時、その発生順序（シーケンス）、トリップ状態、工学的安全施設作動信号及び工学的安全施設の作動状況を記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>(c) 事故時データ収集記録                      プラント計算機が稼働状態にあれば、事象発生前後のプラント状態の推移を把握するため、定められたプロセス値のデータを自動で収集、記録し、運転員（中央制御室）等は、中央制御室にて事象発生後に手動で帳票印刷する。</p> <p>(3) 操作の成立性                      データ伝送設備（発電所内）による記録は、データ伝送設備（発電所内）の記録容量（14日間）を超える前に、緊急時対策所指所内にて事務局員1名で行う。室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p>	<p>【女川】                      設備構成の相違                      ・相違理由①</p> <p>【女川】                      設備名称の相違</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】                      設備名称の相違</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】                      警報名称の相違</p> <p>【女川】                      事故時にプロセス値のデータを自動で収集、記録する機能の名称の相違（大飯と同様）</p> <p>【大飯】                      帳票印刷機能の相違</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】                      設備構成の相違                      ・相違理由⑤</p> <p>【女川、大飯】                      設備の相違                      ・相違理由④</p> <p>【女川、大飯】                      体制の相違</p> <p>【女川】</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>可搬型温度計測装置による記録は、記録容量を超える前に、現場でのデータ採取を緊急安全対策要員1名で行う。記録の作成は、室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p> <p>現場指示計の記録は、運転員等による記録用紙への記録であり、対応が可能である。</p> <p>可搬型計測器及び可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給時の記録は緊急安全対策要員による記録用紙への記録であり、対応が可能である。</p>	<p>可搬型計測器の記録は記録用紙への記録であり、運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名にて対応が可能である。</p> <p>プロセス計算機による記録のうち、事故時データ収集記録の帳票印刷は、中央制御室内での端末操作であるため、運転員（中央制御室）1名で対応が可能である。                  また、記録計に記録されたチャート紙の交換は、中央制御室にて運転員（中央制御室）1名で対応が可能である。</p>	<p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）による記録は、記録容量（10日間）を超える前に、現場でのデータ採取を運転員（現場）1名で行い、記録の作成を復旧班員1名で行う。記録の作成は、室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p> <p>現場指示計の記録は、記録用紙への記録であり、運転員（現場）1名にて対応が可能である。</p> <p>可搬型計測器の記録は記録用紙への記録であり、災害対策要員1名にて対応が可能である。</p> <p>可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源供給時の記録は記録用紙への記録であり、復旧班員2名にて対応が可能である。</p> <p>プラント計算機による記録のうち、事故時データ収集記録の帳票印刷は、中央制御室内での端末操作であるため、運転員（中央制御室）1名で対応が可能である。</p>	<p>設備表現の相違</p> <p>【女川】                  設備構成の相違                  ・相違理由②                  【女川、大飯】                  体制の相違                  【大飯】                  記載方針の相違                  ・泊では、データ採取者と記録の作成者が異なるため、記録の作成者を明確にしている。</p> <p>【女川】                  設備構成の相違                  ・相違理由⑥</p> <p>【女川】                  体制の相違                  【大飯】                  記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】                  設備構成の相違                  ・相違理由①</p> <p>【女川】                  設備名称の相違                  【女川】                  設備構成の相違                  ・相違理由⑤</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.15.4 その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度監視の手順については、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち「1.9.2.1(2)水素濃度監視」にて整備する。</p> <p>アニュラス内の水素濃度監視の手順については、「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」のうち「1.10.2.1(2)水素濃度監視」にて整備する。</p> <p>全交流動力電源及び直流電源喪失時の代替電源確保に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち「1.14.2.1 代替電源（交流）による給電手順等及び1.14.2.2 代替電源（直流）による給電手順等」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の放射線量率における代替パラメータとして有効なモニタリングステーション及びモニタリングポストなどによる空間線量率測定については、「1.17 監視測定等に関する手順等」のうち「1.17.2.1(i)モニタリングステーション及びモニタリングポストによる放射線量の測定」にて整備する。</p>	<p>1.15.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順                  「審査基準」1.9、1.10及び1.14については、各審査基準において要求事項があるため、以下のとおり各々の手順において整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度監視に関する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」にて整備する。</p> <p>原子炉建屋内の水素濃度監視に関する手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</p> <p>全交流動力電源喪失時の代替電源確保に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.15.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順                  「審査基準」1.9、1.10及び1.14については、各審査基準において要求事項があるため、以下のとおり各々の手順において整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度監視に関する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」及び1.9.2.1(2)b.「ガス分析計による原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。</p> <p>アニュラス内の水素濃度監視に関する手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」のうち、1.10.2.1(i)b.(a)「可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットによる水素濃度測定」及び1.10.2.1(i)b.(b)「アニュラス水素濃度検出器による水素濃度測定」にて整備する。</p> <p>全交流動力電源喪失時の代替電源確保に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1「代替電源（交流）による対応手順」及び1.14.2.2「代替電源（直流）による対応手順」にて整備する。また、代替非常用発電機への燃料補給の手順は「1.14電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給手順」にて整備する。</p>	<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】                  記載方針の相違                  ・泊では詳細な手順のリンク先を記載している。（大飯と同様）</p> <p>【女川】                  設備名称の相違</p> <p>【女川】                  記載方針の相違                  ・泊では詳細な手順のリンク先を記載している。（大飯と同様）</p> <p>【女川】                  記載方針の相違                  ・泊では代替電源への燃料補給に関する手順のリンク先を記載している。</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>第1.15.1表 重大事故等における対応手段と整備する手順</p> <p>第1.15-1表 事故時に必要な計装に関する手順</p> <p>対応手段、対応設備、手順書一覧</p> <p>第1.15.1表 重大事故等における対応手段と整備する手順</p>						
分類	機能喪失の想定	対応手段	対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書
計装の故障	計装の故障	計装の故障	計装の故障	計装の故障	計装の故障	計装の故障
		計装の故障	計装の故障	計装の故障	計装の故障	計装の故障
計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合
		計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合	計装の計測範囲を越えた場合
全交流動力電源喪失 直流電源喪失	全交流動力電源喪失 直流電源喪失	全交流動力電源喪失	全交流動力電源喪失	全交流動力電源喪失	全交流動力電源喪失	全交流動力電源喪失
		直流電源喪失	直流電源喪失	直流電源喪失	直流電源喪失	直流電源喪失
計装電源の喪失	計装電源の喪失	計装電源の喪失	計装電源の喪失	計装電源の喪失	計装電源の喪失	計装電源の喪失
		計装電源の喪失	計装電源の喪失	計装電源の喪失	計装電源の喪失	計装電源の喪失
一	一	一	一	一	一	一

【女川、大阪】  
 記載表現の相違  
 ・手順書名の相違

01：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉冷却炉保全のための活動に関する手順  
 02：炉内モニタリングシステムの故障がある場合  
 03：計装に必要の計測範囲が喪失した場合の手順は「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。  
 04：交流電源喪失発生時の燃料補給に使用する、手順書「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。  
 05：電源車の燃料補給に使用する、手順書「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。  
 06：インバータを内蔵した可搬型バッテリーを備えることにより電力、交流電圧供給できるため、代替電源（交流）として有効である。  
 07：全交流動力電源及び直流電源喪失時は、代替電源により電源を供給可能であるが、03に、可搬型計測器により監視が可能。  
 08：重大事故等対策に用いている設備の分類  
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：07条に適合する重大事故等対応設備  
 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

\*1：他のチャンネル又はケーブルの計装がある場合  
 \*2：手順は「1.14電源の確保に関する手順書」にて整備する。  
 \*3：重大事故発生時に用いている設備の分類  
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：07条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

第 1.15.2 表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替監視パラメータ	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の表え方）	個数	信頼性	電源	検出器の種類	図 No
原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材高温側温度(広域) <sup>※1</sup>	0~400℃	最大値：約342℃ 最小値：約340℃	1次冷却材高温側温度(広域)の1.2倍(事故時の相違基準)である20.59MPa[gage]を監視可能。	4	S	A 計装用電源	温度感圧体	①
	1次冷却材低温側温度(広域) <sup>※1</sup>	0~400℃	最大値：約340℃ 最小値：0%	1次冷却材低温側温度(広域)の1.2倍(事故時の相違基準)である20.59MPa[gage]を監視可能。	4	S	B 計装用電源	温度感圧体	②
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 <sup>※1</sup>	0~20.0MPa level	最大値：約17.8MPa	原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ	2	S	C、D 計装用電源	弾性圧力検出器	③
	1次冷却材高温側温度(広域) <sup>※2</sup> 1次冷却材低温側温度(広域) <sup>※2</sup>	0~100%	最大値：約85% 最小値：0%以下	原子炉圧力容器内に設置する加圧器上部調圧装置から下部調圧装置までの水位を監視可能。通常運転時及び事故時の1次冷却系保有水を確保し、重大事故時においても同計測範囲により事故対応が可能。	2	S	A、B 計装用電源	差圧式水位検出器	④
原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位 <sup>※1</sup>	0~100%	最大値：100% 最小値：0%	加圧器の下部に位置し、加圧器の貯留量とラップしないが、原子炉貯留量から原子炉貯留量までの原子炉貯留量の水位を監視可能。重大事故時において、加圧器水位による監視が出来ない場合、原子炉貯留量内の水位及び保有水を監視可能であり、事故対応が可能。	1	S	B 直電電源	差圧式水位検出器	⑤
	1次冷却材圧力 <sup>※2</sup> 1次冷却材低温側温度(広域) <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ					

第 1.15-2 表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/15）

分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の表え方）	信頼性	電源	検出器の種類	図 No
原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材高温側温度	5	0~300℃	最大値：約290℃	1次冷却材高温側温度(広域)の1.2倍(事故時の相違基準)である20.59MPa[gage]を監視可能。	S	A 計装用電源	温度感圧体	①
	1次冷却材低温側温度	5	0~300℃	最大値：約290℃	1次冷却材低温側温度(広域)の1.2倍(事故時の相違基準)である20.59MPa[gage]を監視可能。	S	B 計装用電源	温度感圧体	②
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 <sup>※1</sup>	2	0~21.0MPa level	最大値：約17.8MPa	原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ	S	C、D 計装用電源	弾性圧力検出器	③
	1次冷却材高温側温度(広域) <sup>※2</sup> 1次冷却材低温側温度(広域) <sup>※2</sup>	2	0~100%	最大値：約85% 最小値：0%以下	原子炉圧力容器内に設置する加圧器上部調圧装置から下部調圧装置までの水位を監視可能。通常運転時及び事故時の1次冷却系保有水を確保し、重大事故時においても同計測範囲により事故対応が可能。	S	A、B 計装用電源	差圧式水位検出器	④
原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位 <sup>※1</sup>	1	0~100%	最大値：100% 最小値：0%	加圧器の下部に位置し、加圧器の貯留量とラップしないが、原子炉貯留量から原子炉貯留量までの原子炉貯留量の水位を監視可能。重大事故時において、加圧器水位による監視が出来ない場合、原子炉貯留量内の水位及び保有水を監視可能であり、事故対応が可能。	S	B 直電電源	差圧式水位検出器	⑤
	1次冷却材圧力 <sup>※2</sup> 1次冷却材低温側温度(広域) <sup>※2</sup>				原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ				

第 1.15.2 表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替監視パラメータ	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の表え方）	個数	信頼性	電源	検出器の種類	図 No
①原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度(広域-高温側) <sup>※1</sup>	0~400℃	最大値：約340℃	1次冷却材高温側温度(広域)及び炉心温度の判断基準となる350℃を超える温度を監視可能。なお、1次冷却材出口温度(広域-高温側)で炉心温度を判断する際は、炉心出口温度(広域-高温側)より約10℃高い値を監視することとする。	3	S	A 計装用電源	温度感圧体	①
	1次冷却材温度(広域-低温側) <sup>※1</sup>	0~400℃	最大値：約339℃	炉心温度(広域-低温側)を監視可能。炉心温度(広域-低温側)を監視する際は、炉心出口温度(広域-低温側)より約10℃高い値を監視することとする。	3	S	B 計装用電源	温度感圧体	②
②原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力(広域) <sup>※1</sup>	0~21.0MPa level	最大値：約17.8MPa	1次冷却材高温側温度(広域)の1.2倍(事故時の相違基準)である20.59MPa[gage]を監視可能。	2	S	C、D 計装用電源	弾性圧力検出器	③
	1次冷却材温度(広域-高温側) <sup>※2</sup> 1次冷却材温度(広域-低温側) <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ					
③原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位 <sup>※1</sup>	0~100%	最大値：約85% 最小値：0%以下	原子炉圧力容器内に設置する加圧器上部調圧装置から下部調圧装置までの水位を監視可能。通常運転時及び事故時の1次冷却系保有水を確保し、重大事故時においても同計測範囲により事故対応が可能。	2	S	A、B 計装用電源	差圧式水位検出器	④
	原子炉貯留量水位 <sup>※1</sup>	0~100%	最大値：100% 最小値：0%	加圧器の下部に位置し、加圧器の貯留量とラップしないが、原子炉貯留量から原子炉貯留量までの原子炉貯留量の水位を監視可能。重大事故時において、加圧器水位による監視が出来ない場合、原子炉貯留量内の水位及び保有水を監視可能であり、事故対応が可能。	1	S	A 計装用電源	差圧式水位検出器	⑤
	1次冷却材圧力(広域) <sup>※2</sup> 1次冷却材温度(広域-高温側) <sup>※2</sup> 1次冷却材温度(広域-低温側) <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ					

【大飯】設備構成の相違  
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計測範囲等の相違はあるが、基本的な設備構成は同様である。

【女川】炉型の相違  
 ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 赤字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータ（重大事故等対処設備）（2/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替パラメータ	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	級数	断続性	電源	検出器の種類	可搬型計測器	図 No
原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	0~400m <sup>3</sup> /h	320 m <sup>3</sup> /h	高圧注入ポンプの流量（300m <sup>3</sup> /h）を監視可能。重大事故等時において監視可能。	2	S	A、B計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑤
	余熱除去流量 <sup>※1</sup>	0~1,300m <sup>3</sup> /h	1,250 m <sup>3</sup> /h	余熱除去ポンプの流量（1,250m <sup>3</sup> /h）を監視可能。重大事故等時において監視可能。	2	S	C、D計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑧
原子炉圧力容器内の注水量	恒設代替低圧注水流量	0~160 m <sup>3</sup> /h (0~10,000 m <sup>3</sup> )	—（注3）	重大事故等時において、恒設代替低圧注水ポンプによる原子炉圧力容器への注水流量（130m <sup>3</sup> /h）を監視可能。	1	S	B計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑨
	燃料取扱用水ピット水位 <sup>※2</sup>			水源の種類を監視するパラメータと同じ						
	復水ピット水位 <sup>※2</sup>			原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ						
	加圧器水位 <sup>※2</sup>			原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ						
	原子炉水位 <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ						
1次冷却材圧力 <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ							
1次冷却材低温層温度 <sup>広域</sup> <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ							

大飯発電所3/4号炉

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（2/15）

分類	重要な監視パラメータ 重要代替パラメータ	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	級数	断続性	電源	検出器の種類	可搬型計測器	図 No
原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	0~400m <sup>3</sup> /h	320 m <sup>3</sup> /h	高圧注入ポンプの流量（300m <sup>3</sup> /h）を監視可能。重大事故等時において監視可能。	2	S	A、B計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑤
	余熱除去流量 <sup>※1</sup>	0~1,300m <sup>3</sup> /h	1,250 m <sup>3</sup> /h	余熱除去ポンプの流量（1,250m <sup>3</sup> /h）を監視可能。重大事故等時において監視可能。	2	S	C、D計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑧
原子炉圧力容器内の注水量	恒設代替低圧注水流量	0~160 m <sup>3</sup> /h (0~10,000 m <sup>3</sup> )	—（注3）	重大事故等時において、恒設代替低圧注水ポンプによる原子炉圧力容器への注水流量（130m <sup>3</sup> /h）を監視可能。	1	S	B計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑨
	燃料取扱用水ピット水位 <sup>※2</sup>			水源の種類を監視するパラメータと同じ						
	復水ピット水位 <sup>※2</sup>			原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ						
	加圧器水位 <sup>※2</sup>			原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ						
	原子炉水位 <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ						
1次冷却材圧力 <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ							
1次冷却材低温層温度 <sup>広域</sup> <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ							

女川原子力発電所2号炉

第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（2/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替監視パラメータ	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	級数	断続性	電源	検出器の種類	可搬型計測器	図 No
原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	0~350m <sup>3</sup> /h	290m <sup>3</sup> /h	高圧注入ポンプの流量（290m <sup>3</sup> /h）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	2	S	A、B計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑤
	低圧注入流量	0~1,100m <sup>3</sup> /h	1,050m <sup>3</sup> /h	余熱除去ポンプの流量（1,050m <sup>3</sup> /h）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	2	S	C、D計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑥
原子炉圧力容器内の注水量	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	0~1,300m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	—（注3）	重大事故等時において、格納容器スプレイポンプの流量を監視可能。	1	S、 断続	A 直流電源	差圧式流量検出器	可	⑦
	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	0~200m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	—（注3）	重大事故等時において、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉圧力容器への注水流量（140m <sup>3</sup> /h）を監視可能。	1	S、 断続	A 直流電源	差圧式流量検出器	可	⑧
燃料取扱用水ピット水位 <sup>※2</sup>	燃料取扱用水ピット水位 <sup>※2</sup>			水源の種類を監視するパラメータと同じ。						
	補助給水ピット水位 <sup>※2</sup>									
	加圧器水位 <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータと同じ。						
	原子炉容器水位 <sup>※2</sup>			原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ。						
1次冷却材圧力 <sup>※2</sup>	格納容器再循環ポンプ水位 <sup>広域</sup> <sup>※2</sup>			原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ。						
	1次冷却材圧力（広域） <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ。						
1次冷却材温度（広域-低圧層） <sup>※2</sup>	1次冷却材温度（広域-低圧層） <sup>※2</sup>			原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ。						

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

【大飯】設備構成の相違  
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計測範囲等の相違はあるが、基本的な設備構成は同様である。



1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (3/7)

分類	重要な監視パラメータ (注1) 重要代替パラメータ	計装範囲	設計基準 — (注3)	標記能力 (標記範囲の考え方) 標記能力 (標記範囲の考え方) 重大事故等時において、標記容量を監視するパラメータと同一 (1.600m³/h) を監視可能。 原子炉圧力容器内への注水量を監視するパラメータと同一 (計装範囲は、重大事故等時において、施設代替監視パラメータによる原子炉標記容量への注水流量 (1300m³/h) を監視可能) 本所の標記を監視するパラメータと同一	標記	制動	電源	検出部の種 別	可 靠 性	図 No
原子炉標 記容量への 注水量	0~1,700m³/h (0~10,000 m³)	0~1,700m³/h (0~10,000 m³)	— (注3)	重大事故等時において、標記容量を監視するパラメータと同一 (1.600m³/h) を監視可能。 原子炉圧力容器内への注水量を監視するパラメータと同一 (計装範囲は、重大事故等時において、施設代替監視パラメータによる原子炉標記容量への注水流量 (1300m³/h) を監視可能)	1	S	B計装用電源	可		
原子炉標 記容量内の 温度	0~240°C	0~240°C	最大値: 132°C	設計基準事故時の標記容量最高使用温度 (144°C) を監視可能。 重大事故等時の標記容量最高温度 (約 144°C) を監視可能。	2	S	A, B計装用電 源	可		
原子炉標 記容量内の 圧力	0~1.0MPa (表)	0~1.0MPa (表)	— (注3)	設計基準事故時の標記容量最高使用圧力 (390kPa(gage)) を監視可 能 重大事故等時において、標記容量最高使用圧力の 2 倍の圧力 (0.760MPa(gage)) を監視可能。	1	S	B計装用電源	可		
標記容量内温度等				原子炉標記容量内の温度を監視するパラメータと同一	2	S	C, D計装用電 源	可		

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (3/15)

分類	重要な監視パラメータ (注1) 重要代替パラメータ	計装範囲	設計基準 — (注3)	標記能力 (標記範囲の考え方) 標記能力 (標記範囲の考え方) 重大事故等時において、標記容量を監視するパラメータと同一 (1.600m³/h) を監視可能。 原子炉圧力容器内への注水量を監視するパラメータと同一 (計装範囲は、重大事故等時において、施設代替監視パラメータによる原子炉標記容量への注水流量 (1300m³/h) を監視可能) <th>標記</th> <th>制動</th> <th>電源</th> <th>検出部の種 別</th> <th>可 靠 性</th> <th>図 No</th>	標記	制動	電源	検出部の種 別	可 靠 性	図 No
原子炉標 記容量への 注水量	0~1,700m³/h (0~10,000 m³)	0~1,700m³/h (0~10,000 m³)	— (注3)	重大事故等時において、標記容量を監視するパラメータと同一 (1.600m³/h) を監視可能。 原子炉圧力容器内への注水量を監視するパラメータと同一 (計装範囲は、重大事故等時において、施設代替監視パラメータによる原子炉標記容量への注水流量 (1300m³/h) を監視可能)	1	S	B計装用電源	可		
原子炉標 記容量内の 温度	0~240°C	0~240°C	最大値: 132°C	設計基準事故時の標記容量最高使用温度 (144°C) を監視可能。 重大事故等時の標記容量最高温度 (約 144°C) を監視可能。	2	S	A, B計装用電 源	可		
原子炉標 記容量内の 圧力	0~1.0MPa (表)	0~1.0MPa (表)	— (注3)	設計基準事故時の標記容量最高使用圧力 (390kPa(gage)) を監視可 能 重大事故等時において、標記容量最高使用圧力の 2 倍の圧力 (0.760MPa(gage)) を監視可能。	1	S	B計装用電源	可		
標記容量内温度等				原子炉標記容量内の温度を監視するパラメータと同一	2	S	C, D計装用電 源	可		

注1: 重要な監視パラメータ、重要代替パラメータは、重大事故等時における原子炉標記容量への注水流量、原子炉標記容量内の温度、原子炉標記容量内の圧力、原子炉標記容量内の温度等を監視するパラメータと同一と見做す。  
注2: 設計基準事故時の標記容量最高使用温度 (144°C) を監視可能。重大事故等時の標記容量最高温度 (約 144°C) を監視可能。  
注3: 設計基準事故時の標記容量最高使用圧力 (390kPa(gage)) を監視可能。重大事故等時において、標記容量最高使用圧力の 2 倍の圧力 (0.760MPa(gage)) を監視可能。  
注4: 原子炉標記容量内の温度を監視するパラメータと同一と見做す。  
注5: 原子炉標記容量内の圧力を監視するパラメータと同一と見做す。  
注6: 原子炉標記容量内の温度等を監視するパラメータと同一と見做す。

泊発電所3号炉

分類	重要な監視パラメータ (注1) 重要代替パラメータ	計装範囲	設計基準 — (注3)	標記能力 (標記範囲の考え方) 標記能力 (標記範囲の考え方) 重大事故等時において、標記容量を監視するパラメータと同一 (1.600m³/h) を監視可能。 原子炉圧力容器内への注水量を監視するパラメータと同一 (計装範囲は、重大事故等時において、施設代替監視パラメータによる原子炉標記容量への注水流量 (1300m³/h) を監視可能) <th>標記</th> <th>制動</th> <th>電源</th> <th>検出部の種 別</th> <th>可 靠 性</th> <th>図 No</th>	標記	制動	電源	検出部の種 別	可 靠 性	図 No
原子炉標 記容量への 注水量	0~1,700m³/h (0~10,000 m³)	0~1,700m³/h (0~10,000 m³)	— (注3)	重大事故等時において、標記容量を監視するパラメータと同一 (1.600m³/h) を監視可能。 原子炉圧力容器内への注水量を監視するパラメータと同一 (計装範囲は、重大事故等時において、施設代替監視パラメータによる原子炉標記容量への注水流量 (1300m³/h) を監視可能)	1	S	B計装用電源	可		
原子炉標 記容量内の 温度	0~240°C	0~240°C	最大値: 132°C	設計基準事故時の標記容量最高使用温度 (144°C) を監視可能。 重大事故等時の標記容量最高温度 (約 144°C) を監視可能。	2	S	A, B計装用電 源	可		
原子炉標 記容量内の 圧力	0~1.0MPa (表)	0~1.0MPa (表)	— (注3)	設計基準事故時の標記容量最高使用圧力 (390kPa(gage)) を監視可 能 重大事故等時において、標記容量最高使用圧力の 2 倍の圧力 (0.760MPa(gage)) を監視可能。	1	S	B計装用電源	可		
標記容量内温度等				原子炉標記容量内の温度を監視するパラメータと同一	2	S	C, D計装用電 源	可		

【大飯】設備構成の相違  
・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計測範囲等の相違はあるが、基本的な設備構成は同様である。

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータ（重大事故等対処設備）（4/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替パラメータ	計装範囲	設計基準	把握能力（計装範囲の考え方）	新設 耐震性	電源	検出装置の種類	可搬型計装器
原子炉格納容器内格納容器の水素濃度	格納容器内格納容器水位(検出)①	0~100%	100%	再循環可能水位(90%)を監視可能。重大事故等時において、再循環範囲により事故対応が可能。	2 S	C、D非共用電源	検圧式水位検出器	可
	格納容器内格納容器水位(検出)②	0~100%	100%以上	格納容器再循環システム上(約100%)を監視可能。事故発生時の100%は、高減水位の約48%に相当。重大事故等時においても再循環範囲により事故対応が可能。	2 S	C、D計装用電源	検圧式水位検出器	可
原子炉格納容器内の放射線量	原子炉格納容器水位①	ON-OFF	—(注3)	重大事故等時において、原子炉格納容器内の注本水量の制限レベルに達したことを監視可能。	1 S	B直流式電源	電極式水位検出器	可
	原子炉格納容器水位②	ON-OFF	—(注3)	重大事故等時において、原子炉格納容器内の注本水量の制限レベルに達したことを監視可能。	1 S	B直流式電源	電極式水位検出器	可
本館の機能を監視するパラメータと同じ								
格納容器スプレッドレイ種差流量①								
格納容器内注本水量②								
格納容器内注本水量③								
原子炉格納容器内の水素濃度	可搬型格納容器水素ガス濃度	0~20vol%	—(注3)	重大事故等時において、水素濃度13vol%を監視可能。	1 (可搬)	B直流式電源	熱伝導式	—
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内放射線量(注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-10</sup> mSv/h	10 <sup>-6</sup> mSv/h以下(注4)	炉心相関判断の値である10 <sup>-6</sup> mSv/hを超える放射線量を監視可能。格納容器内放射線量(注1)と格納容器内放射線量(注2)は、高減水位の約48%に相当。重大事故等時においても再循環範囲により事故対応が可能。	2 S	C、D非共用電源	電極式	注10
	格納容器内放射線量(注2)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-10</sup> mSv/h	—	リニアモニタ(高レンジ)は計装範囲をオーバーラップするよう設定。	2 S	C、D計装用電源	電極式	注10

第1.15-2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（4/15）

分類	重要な監視パラメータ	計装範囲	設計基準	把握能力（計装範囲の考え方）	新設 耐震性	電源	検出装置の種類	可搬型計装器
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内放射線量(注1)	0~20vol%	—	重大事故等時において、再循環範囲により事故対応が可能。	2 S	C、D非共用電源	電極式	注10
	格納容器内放射線量(注2)	0~20vol%	—	リニアモニタ(高レンジ)は計装範囲をオーバーラップするよう設定。	2 S	C、D計装用電源	電極式	注10
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内放射線量(注3)	0~20vol%	—	重大事故等時において、再循環範囲により事故対応が可能。	2 S	C、D非共用電源	電極式	注10
	格納容器内放射線量(注4)	0~20vol%	—	リニアモニタ(高レンジ)は計装範囲をオーバーラップするよう設定。	2 S	C、D計装用電源	電極式	注10

第1.15.2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（4/7）

分類	重要な監視パラメータ	計装範囲	設計基準	把握能力（計装範囲の考え方）	新設 耐震性	電源	検出装置の種類	可搬型計装器
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内放射線量	0~20vol%	—(注1)	重大事故等時において、再循環範囲により事故対応が可能。	2 S	C、D非共用電源	電極式	注10
	格納容器内放射線量	0~20vol%	—(注1)	リニアモニタ(高レンジ)は計装範囲をオーバーラップするよう設定。	2 S	C、D計装用電源	電極式	注10
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内放射線量	0~20vol%	—(注1)	重大事故等時において、再循環範囲により事故対応が可能。	2 S	C、D非共用電源	電極式	注10
	格納容器内放射線量	0~20vol%	—(注1)	リニアモニタ(高レンジ)は計装範囲をオーバーラップするよう設定。	2 S	C、D計装用電源	電極式	注10

【大飯】設備構成の相違  
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計測範囲等の相違はあるが、基本的な設備構成は同様である。

【大飯】記載方針の相違  
 ・相違理由④

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（5/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替監視パラメータ	計装範囲	設計基準	監視能力（計装範囲の考え方）	相違	信頼性	電源	検出器の種類	図1.15.3 No.
未開閉の補 給又は監視	出力領域中性子束 <sup>1</sup>	0~100% ( $3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ )	定規出力の 約30倍 (注6)	設計基準 事故 ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ ) 注7	設計基準事故時に、事故初期は中性子束が急激に上昇し、一時的に計装範囲を超えるが、負のドロップ反応度現象により抑制され、急激に低下するため、定規の計装範囲でも、同計装範囲により事故対応が可能。また、重大事故発生時に発生する同計装範囲により事故対応が可能。 通常運転時の変動範囲0~100%に対し、0~100%を監視可能。 [中間領域中性子束]ならびに[中性子領域中性子束]と相まって重大事故発生時に発生する中性子束の変動範囲を監視可能。	4 S	A、B、C、D 計装用電源	γ線計測機 型電離機	注10
	中間領域中性子束 <sup>2</sup>	$10^6 \sim 5 \times 10^8$ ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ )	設計基準 事故 ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ ) 注7	通常運転時の変動範囲1~10%psaに対し、1~10%psaを監視可能。 過渡運転時の変動範囲0~100%psaに対し、1~10%psaを監視可能。	2 S	A、B計装用電源	γ線計測機 型電離機	注10	
炉内の水 濃度	1次冷却材高温領域温度(広域) <sup>3</sup> 1次冷却材低温領域温度(広域) <sup>3</sup>	0~200% 注8	設計基準 事故 ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ ) 注7	通常運転時の変動範囲10~100%psaに対し、10~100%psaを監視可能。	2 S	A、B計装用電源	熱電対式	—	⑤
	注9	0~200% 注8	設計基準 事故 ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ ) 注7	通常運転時の変動範囲10~100%psaに対し、10~100%psaを監視可能。	2 S	A、B計装用電源	熱電対式	—	⑤

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（5/15）

分類	重要な監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	計装範囲	設計基準	監視能力（計装範囲の考え方）	相違	信頼性	電源	検出器の種類	図1.15.3 No.
炉内の水 濃度	注10	0~200% 注8	設計基準 事故 ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ ) 注7	通常運転時の変動範囲10~100%psaに対し、10~100%psaを監視可能。	2 S	A、B計装用電源	熱電対式	—	⑤
	注11	0~200% 注8	設計基準 事故 ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ ) 注7	通常運転時の変動範囲10~100%psaに対し、10~100%psaを監視可能。	2 S	A、B計装用電源	熱電対式	—	⑤

第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（5/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替監視パラメータ	計装範囲	設計基準	監視能力（計装範囲の考え方）	相違	信頼性	電源	検出器の種類	図1.15.3 No.
炉内の水 濃度	注12	0~200% 注8	設計基準 事故 ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ ) 注7	通常運転時の変動範囲10~100%psaに対し、10~100%psaを監視可能。	2 S	A、B計装用電源	熱電対式	—	⑤
	注13	0~200% 注8	設計基準 事故 ( $1.3 \times 10^6 \sim 6.6 \times 10^8 \text{ neut/cm}^2 \cdot \text{sec}$ ) 注7	通常運転時の変動範囲10~100%psaに対し、10~100%psaを監視可能。	2 S	A、B計装用電源	熱電対式	—	⑤

【大飯】設備構成の相違  
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計測範囲等の相違はあるが、基本的な設備構成は同様である。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

第 1.15.2 表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（6/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替監視パラメータ	計装範囲	測定基準	監視能力（計装範囲の考え方）		監視設備	電源	検出設備の種類	注1.15.5 図No
				監視能力（計装範囲の考え方）	検出設備の種類				
最終 シフト シフト の動作	蒸気発生器水位監視*	0~100%	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注2)	5	C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~100%	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~210 mmHg	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~210 mmHg 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~210 mmHg 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~0.03MPa	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~0.03MPa 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~0.03MPa 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~1.0MPa	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~1.0MPa 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~1.0MPa 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	

第 1.15-2 表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（6/15）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替監視パラメータ	計装範囲	測定基準	監視能力（計装範囲の考え方）		監視設備	電源	検出設備の種類	注1.15.5 図No
				監視能力（計装範囲の考え方）	検出設備の種類				
最終 シフト シフト の動作	蒸気発生器水位監視*	0~100%	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注2)	5	C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~100%	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~210 mmHg	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~210 mmHg 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~210 mmHg 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~0.03MPa	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~0.03MPa 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~0.03MPa 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~1.0MPa	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~1.0MPa 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~1.0MPa 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	

第 1.15.2 表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（6/7）

分類	重要な監視パラメータ（注1） 重要代替監視パラメータ	計装範囲	設計基準	監視能力（計装範囲の考え方）		監視設備	電源	検出設備の種類	注1.15.5 図No
				監視能力（計装範囲の考え方）	検出設備の種類				
最終 シフト シフト の動作	蒸気発生器水位監視*	0~100%	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注2)	5	C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~100%	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~100% 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~210 mmHg	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~210 mmHg 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~210 mmHg 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~0.03MPa	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~0.03MPa 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~0.03MPa 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	
	蒸気発生器水位監視*	0~1.0MPa	蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~1.0MPa 注(注1)	監視能力：蒸気発生器水位監視 監視範囲：0~1.0MPa 注(注2)	4	A, B, C, D 計装用電源	蒸気発生器水位監視 注(注3)	3	

【大飯】設備構成の相違  
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計装範囲等の相違はあるが、基本的な設備構成は同様である。







灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（10/15）

分類	重要監視パラメータ （重要代替監視パラメータ※）	単位	許容範囲	設計条件	監視条件 （許容範囲の中央値）	警報値**	検出 の検出 時間	警報時 の検出 時間	警報時 の検出 時間
測定 装置 の 種類	測定装置の種類	主	10% $\Delta$ 0.1% $\sim$ 10% $\Delta$ 0.1%	-	電圧**	部分1, 2 高圧電圧 157kV警報 高圧電圧	電圧	-	部
測定 装置 の 種類	高圧側部分負荷電圧監視装置	2	0 $\sim$ 30kV	警報値：10kV	高圧側部分負荷電圧監視装置 (10kV) 監視可能	部分1, 2 高圧電圧 157kV警報 高圧電圧	電圧	可	部
測定 装置 の 種類	高圧側部分負荷電圧監視装置	3	0 $\sim$ 30kV	警報値：10kV	高圧側部分負荷電圧監視装置 (10kV) 監視可能	部分1, 2 高圧電圧 157kV警報 高圧電圧	電圧	可	部
測定 装置 の 種類	高圧側部分負荷電圧監視装置	4	0 $\sim$ 30kV	警報値：10kV	高圧側部分負荷電圧監視装置 (10kV) 監視可能	部分1, 2 高圧電圧 157kV警報 高圧電圧	電圧	可	部
測定 装置 の 種類	高圧側部分負荷電圧監視装置	5	0 $\sim$ 30kV	警報値：10kV	高圧側部分負荷電圧監視装置 (10kV) 監視可能	部分1, 2 高圧電圧 157kV警報 高圧電圧	電圧	可	部

※1：重要代替監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※2：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※3：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※4：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※5：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※6：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※7：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※8：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※9：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※10：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※11：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※12：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※13：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※14：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。  
 ※15：重要監視パラメータとは、原子力発電所の運転中に発生する重大事故等に対処するために、重要監視パラメータと同等の重要性を有するパラメータを指す。



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																												
第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（11/15）																																																																																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ (運転中監視項目)</th> <th>重要代替監視パラメータ (運転中監視項目)</th> <th>測定</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>重要監視項目 (設計中監視項目)</th> <th>重要代替監視項目 (設計中監視項目)</th> <th>電圧<sup>④)</sup></th> <th>電流<sup>⑤)</sup></th> <th>電圧変動率<sup>⑥)</sup></th> <th>電流変動率<sup>⑦)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">監視項目</td> <td>炉出口蒸気圧 (監視値)⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 (監視値)⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気圧 30sに平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 30sに平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">設備監視項目</td> <td>炉出口蒸気圧 監視値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 監視値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気圧 30sに平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 30sに平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ (運転中監視項目)	重要代替監視パラメータ (運転中監視項目)	測定	計測範囲	設計基準	重要監視項目 (設計中監視項目)	重要代替監視項目 (設計中監視項目)	電圧 <sup>④)</sup>	電流 <sup>⑤)</sup>	電圧変動率 <sup>⑥)</sup>	電流変動率 <sup>⑦)</sup>	監視項目	炉出口蒸気圧 (監視値)⑧											炉出口蒸気温度 (監視値)⑧											炉出口蒸気圧 30sに平均値⑧											炉出口蒸気温度 30sに平均値⑧											炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧											炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧											炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧											炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧											炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧											炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧											設備監視項目	炉出口蒸気圧 監視値⑧											炉出口蒸気温度 監視値⑧											炉出口蒸気圧 30sに平均値⑧											炉出口蒸気温度 30sに平均値⑧											炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧											炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧											炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧											炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧											炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧											炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧											<p>① 女川2号炉は、重要監視項目及び重要代替監視項目は、すべて運転中監視項目である。② 女川2号炉は、重要監視項目及び重要代替監視項目は、すべて運転中監視項目である。③ 女川2号炉は、重要監視項目及び重要代替監視項目は、すべて運転中監視項目である。④ 女川2号炉は、重要監視項目及び重要代替監視項目は、すべて運転中監視項目である。⑤ 女川2号炉は、重要監視項目及び重要代替監視項目は、すべて運転中監視項目である。⑥ 女川2号炉は、重要監視項目及び重要代替監視項目は、すべて運転中監視項目である。⑦ 女川2号炉は、重要監視項目及び重要代替監視項目は、すべて運転中監視項目である。⑧ 女川2号炉は、重要監視項目及び重要代替監視項目は、すべて運転中監視項目である。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>重要監視項目 (設計中監視項目)</th> <th>重要代替監視項目 (設計中監視項目)</th> <th>電圧<sup>④)</sup></th> <th>電流<sup>⑤)</sup></th> <th>電圧変動率<sup>⑥)</sup></th> <th>電流変動率<sup>⑦)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	測定	計測範囲	設計基準	重要監視項目 (設計中監視項目)	重要代替監視項目 (設計中監視項目)	電圧 <sup>④)</sup>	電流 <sup>⑤)</sup>	電圧変動率 <sup>⑥)</sup>	電流変動率 <sup>⑦)</sup>										
分類	重要監視パラメータ (運転中監視項目)	重要代替監視パラメータ (運転中監視項目)	測定	計測範囲	設計基準	重要監視項目 (設計中監視項目)	重要代替監視項目 (設計中監視項目)	電圧 <sup>④)</sup>	電流 <sup>⑤)</sup>	電圧変動率 <sup>⑥)</sup>	電流変動率 <sup>⑦)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																				
監視項目	炉出口蒸気圧 (監視値)⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 (監視値)⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気圧 30sに平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 30sに平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
設備監視項目	炉出口蒸気圧 監視値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 監視値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気圧 30sに平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 30sに平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気圧 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
	炉出口蒸気温度 1時間平均値⑧																																																																																																																																																																																																																																																														
測定	計測範囲	設計基準	重要監視項目 (設計中監視項目)	重要代替監視項目 (設計中監視項目)	電圧 <sup>④)</sup>	電流 <sup>⑤)</sup>	電圧変動率 <sup>⑥)</sup>	電流変動率 <sup>⑦)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																							



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.15 事故時の計装に関する手順等

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第 1.15-2 表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (13/15)

項目	監視パラメータ	単位	計装仕様	計装標準	監視範囲 (標準値)	監視方法 (標準値)	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性
監視	原子炉出力 (冷却水循環系) (1)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)
	原子炉出力 (冷却水循環系) (2)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)
	原子炉出力 (冷却水循環系) (3)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)
	原子炉出力 (冷却水循環系) (4)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)
	原子炉出力 (冷却水循環系) (5)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)
	原子炉出力 (冷却水循環系) (6)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)
	原子炉出力 (冷却水循環系) (7)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)
	原子炉出力 (冷却水循環系) (8)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)
原子炉出力 (冷却水循環系) (9)	出力	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	0 ~ 1200 (1分)	0 ~ 1200 (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	出力 (MW) (1分)	

① 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。  
 ② 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。  
 ③ 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。  
 ④ 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。  
 ⑤ 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。  
 ⑥ 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。  
 ⑦ 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。  
 ⑧ 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。  
 ⑨ 監視パラメータの単位は、標準値の単位と一致するものとする。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（14/15）								
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	単位	許容範囲	設計基準	監視能力 (注)監視範囲の考え方)	監視特性	電源**	検出部 の種類 計装部
注1	原子炉建屋内外水漏洩量	7	0~100t/h	-#	原子炉建屋内外水漏洩量の可視化（水漏洩量：t/h）を把握する上で監視可能（なお、静の検出式本装置は追加設置にて、原子炉建屋内外の水漏洩量を可視化できる100t/h程度に監視する）。	区分Ⅰ、Ⅱ 交流計測制御 電源 区分Ⅰ、Ⅱ 直流電源 125V直流電源	検出式本装置 検出部 本体検出部 式漏洩量 計装部	可視化 計装部
注2	静の検出式本装置内圧合装置動作監視装置	#11	9~900℃	-#	静の検出式本装置内圧合装置が動作し想定される温度範囲を監視可能。	区分Ⅰ、Ⅱ 直流電源 125V直流電源	熱電対	可 計装部
注3	格納容器内圧力監視装置	2	0~200t/h	約1.3~1.5t/h	原子炉格納容器内の飽和蒸気発生量を監視可能（0~4.3~0.5）を監視可能。	計装部、電源 区分Ⅰ、Ⅱ 交流計測制御装置	熱電対式 熱電対検出部 計装部	可 計装部
注4	格納容器内型鋼気体放射線モニタ出力**				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注5	格納容器内型鋼気体放射線モニタ出力**				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注6	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注7	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注8	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注9	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注10	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注11	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注12	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注13	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注14	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			
注15	圧力制御室圧力*				「原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。			

1.15 事故時の計装に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉		相違理由
第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（15/15）									
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	単位	許容範囲	設計基準	監視能力 (許容範囲の考え方)	措置	電源	検出 の検出 の検出	監視 の検出
炉心の監視	使用燃料プール水位/温度 (ヒートシート式) *	[4]	0~2.40mm <sup>4)</sup> (0.7.550mm <sup>5)</sup> 320.20mm	-#	異常する可能性がある使用燃料プールの上限から使用燃料プール近隣の領域で使用燃料プールの水位を監視可能。 異常する可能性のある範囲において使用燃料プールの温度を監視可能。	(S)	区分Ⅰ 直流電源 交流電源	熱電対	可検出 計測器
	0~1.60℃		-#						
	使用燃料プール水位/温度 (ダイナミック式) *	[4]	~4.200mm <sup>6)</sup> 、7.200mm <sup>6)</sup> (0.12103mm <sup>7)</sup> 335.00mm	0.1.2000mm	取替する可能性のある使用燃料プールの上限から底層系管の範囲で使用燃料プールの水位を監視可能。 取替する可能性のある範囲において使用燃料プールの温度を監視可能。	(S)	区分Ⅱ 交流計測用電源 直流電源 125V代替電源	原子力 炉心の 温度検出器	-
	0~120℃		最大値：4℃						
使用燃料プール上部空間気相水素濃度 (濃度検出器)	[4]	1	10 <sup>-6</sup> vol.%~10 <sup>-5</sup> vol.% 10 <sup>-6</sup> vol.%~10 <sup>-5</sup> vol.%	-#	異常する可能性がある範囲 (5.4×10 <sup>-5</sup> vol.%~10 <sup>-6</sup> vol.%) における放射線監視装置を監視可能。	(S)	区分Ⅰ 直流電源 125V代替電源	電線管	-
使用燃料プールの監視カメラ *	[4]	1	10 <sup>-6</sup> vol.%~10 <sup>-5</sup> vol.%	-#	使用燃料プールの水位を監視可能。	(S)	区分Ⅰ 交流計測用電源	監視カメラ	-
<p>*1：重要代替監視カメラを指す。                  *2：重要代替監視カメラを指す。                  *3：緊急事態発生時に炉心内の放射線レベルを監視するための放射線検出器（放射線検出器）を指す。                  *4：重要代替監視カメラを指す。                  *5：重要代替監視カメラを指す。                  *6：重大事故発生時に使用する設備のため、設計基準値等（運転時の異常な運転状態を含む）に照らす値とし。                  *7：計測範囲の下限は、原子炉炉心下部（出力低下）に出力低下監視カメラを設置し、出力低下監視カメラの監視範囲を拡大することにより、監視範囲を拡大することとする。                  *8：炉心の監視カメラの設置位置は、炉心の監視範囲に設置可能な位置に設置することとする。                  *9：同様の炉心監視カメラの検出値は2倍であり、平均出力範囲モニタの警戒値は、上記の検出値に換算しての値とする。                  *10：炉心の監視カメラ計測装置は、炉心の監視範囲に設置可能な位置に設置することとする。                  *11：炉心の監視カメラ計測装置は、炉心の監視範囲に設置可能な位置に設置することとする。                  *12：検出範囲。                  *13：炉心の監視カメラ計測装置は、炉心の監視範囲に設置可能な位置に設置することとする。                  *14：炉心の監視カメラ計測装置は、炉心の監視範囲に設置可能な位置に設置することとする。                  *15：炉心の監視カメラ計測装置は、炉心の監視範囲に設置可能な位置に設置することとする。</p>									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大飯発電所3／4号炉

【推定ケース】  
 ケース1：同一物質量で推定（温度、圧力、水位、流量、放射線量）する。  
 ケース2：水位を注水操作若しくは注水の水位変化又は注水竜から推定する。  
 ケース3：放射線量と温度、圧力等の傾向監視により推定する。  
 ケース4：除熱機を監視（圧力、流量等の傾向監視）により推定する。  
 ケース5：1次系からの漏えい（圧力、流量等の傾向監視）により推定する。  
 ケース6：圧力と温度を水の飽和状態の関係から推定する。  
 ケース7：ほうちき発生と炉心の温度状態の関係から推定する。  
 ケース8：装置の動作特性により推定する。  
 ケース9：あらかじめ評価したパラメータの相関関係（ケース6を除く）により推定する。  
 なお、代替パラメータによる推定にあたっては、代替パラメータの選定による影響を考慮する。

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース
炉内	① 1次冷却材高水位監視 (広域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域) ③ (炉心出口温度) 等【A】	ケース1
	② 1次冷却材高水位監視 (広域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域) ③ (炉心出口温度) 等【B】	ケース1
炉外	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域) ③ (炉心出口温度) 等【A】	ケース1
	② 1次冷却材高水位監視 (広域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域) ③ (炉心出口温度) 等【B】	ケース1

備考：代替パラメータの選定は施設固有であり、  
 【A】：多相性低圧領域、空1 蒸気、  
 【B】：多相性低圧領域、空1 蒸気、  
 【注1】：代替パラメータの選定は施設固有であり、  
 【注2】：この中に記載の代替パラメータ及び有線伝送装置パラメータは、  
 (注1) に記載の主要パラメータの補完として用いられる。

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/17)

ケース1)：同一物質量（温度、圧力、水位、流量、放射線量、放射線量及び中性子率）より推定する。  
 ケース2)：水位を注水操作若しくは注水の水位変化又は注水の水位変化により推定する。  
 ケース3)：放射線量と温度、圧力、流量等の傾向監視により推定する。  
 ケース4)：除熱機を監視、圧力、流量等の傾向監視により推定する。  
 ケース5)：1次系からの漏えい（圧力、流量等の傾向監視）により推定する。  
 ケース6)：圧力と温度を水の飽和状態の関係から推定する。  
 ケース7)：ほうちき発生と炉心の温度状態の関係から推定する。  
 ケース8)：装置の動作特性により推定する。  
 ケース9)：あらかじめ評価したパラメータの相関関係（ケース6を除く）により推定する。  
 なお、代替パラメータによる推定にあたっては、代替パラメータの選定による影響を考慮する。

女川原子力発電所2号炉

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース
炉内	① 1次冷却材高水位監視 (広域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域) ③ (炉心出口温度) 等【A】	ケース1
	② 1次冷却材高水位監視 (広域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域) ③ (炉心出口温度) 等【B】	ケース1
炉外	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域) ③ (炉心出口温度) 等【A】	ケース1
	② 1次冷却材高水位監視 (広域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域) ③ (炉心出口温度) 等【B】	ケース1

備考：代替パラメータの選定は施設固有であり、  
 【A】：多相性低圧領域、空1 蒸気、  
 【B】：多相性低圧領域、空1 蒸気、  
 【注1】：代替パラメータの選定は施設固有であり、  
 【注2】：この中に記載の代替パラメータ及び有線伝送装置パラメータは、  
 (注1) に記載の主要パラメータの補完として用いられる。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/23)

【推定ケース】  
 ケース1：同一物質量（温度、圧力、水位、流量、放射線量、放射線量及び中性子率）より推定する。  
 ケース2：水位を注水操作若しくは注水の水位変化、注水の水位変化又は注水の水位変化により推定する。  
 ケース3：放射線量と温度、圧力、流量等の傾向監視により推定する。  
 ケース4：除熱機を監視、圧力、流量等の傾向監視により推定する。  
 ケース5：1次系からの漏えい（圧力、流量等の傾向監視）により推定する。  
 ケース6：圧力と温度を水の飽和状態の関係から推定する。  
 ケース7：ほうちき発生と炉心の温度状態の関係から推定する。  
 ケース8)：装置の動作特性により推定する。  
 ケース9)：あらかじめ評価したパラメータの相関関係（ケース6を除く）により推定する。  
 ケース10)：使用設備データの状態を同一物質量（水位及び温度）、あらかじめ評価したパラメータの相関関係（ケース6を除く）により推定する。  
 なお、代替パラメータによる推定にあたっては、代替パラメータの選定による影響を考慮する。

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース
1次冷却材高水位監視 (広域～高圧領域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域～高圧領域) ③ (炉心出口温度) 等	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域～高圧領域) ③ (炉心出口温度) 等	ケース1
	② 1次冷却材高水位監視 (広域～高圧領域)	① 注水パラメータの他、 ② 1次冷却材高水位監視 (広域～高圧領域) ③ (炉心出口温度) 等	ケース1

備考：代替パラメータの選定は施設固有であり、  
 【A】：多相性低圧領域、空1 蒸気、  
 【B】：多相性低圧領域、空1 蒸気、  
 【注1】：代替パラメータの選定は施設固有であり、  
 【注2】：この中に記載の代替パラメータ及び有線伝送装置パラメータは、  
 (注1) に記載の主要パラメータの補完として用いられる。

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。  
 【女川】炉型の相違  
 ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外として同じ。以降、同表において同じ。



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>第1.15-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ<sup>*)</sup></th> <th>推定ケース</th> <th>代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/17)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉本体 (広帯域)</td> <td>①原子炉本体 (広帯域)</td> <td>①原子炉本体 (広帯域)</td> <td>ケース1</td> <td>①原子炉本体 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>②原子炉本体 (広帯域)</td> <td>②原子炉本体 (広帯域)</td> <td>ケース2</td> <td>②原子炉本体 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力 (広帯域)</td> <td>①原子炉圧力 (広帯域)</td> <td>①原子炉圧力 (広帯域)</td> <td>ケース3</td> <td>①原子炉圧力 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>②原子炉圧力 (広帯域)</td> <td>②原子炉圧力 (広帯域)</td> <td>ケース4</td> <td>②原子炉圧力 (広帯域)</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ <sup>*)</sup>	推定ケース	代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/17)	原子炉本体 (広帯域)	①原子炉本体 (広帯域)	①原子炉本体 (広帯域)	ケース1	①原子炉本体 (広帯域)	②原子炉本体 (広帯域)	②原子炉本体 (広帯域)	ケース2	②原子炉本体 (広帯域)	原子炉圧力 (広帯域)	①原子炉圧力 (広帯域)	①原子炉圧力 (広帯域)	ケース3	①原子炉圧力 (広帯域)	②原子炉圧力 (広帯域)	②原子炉圧力 (広帯域)	ケース4	②原子炉圧力 (広帯域)	<p>第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/23)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ<sup>*)</sup></th> <th>推定ケース</th> <th>代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/23)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加圧器水位</td> <td>①加圧器水位</td> <td>①加圧器水位</td> <td>ケース1</td> <td>①加圧器水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器内の水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉圧力容器水位</td> <td>②原子炉圧力容器水位</td> <td>ケース6</td> <td>②原子炉圧力容器水位の監視が不可能となった場合は、加圧器の下部に位置しているため、加圧器本体の測定範囲を考慮する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力</td> <td>①原子炉圧力</td> <td>①原子炉圧力</td> <td>ケース1</td> <td>①原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、サブクール度 (自主対策設備)、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉圧力</td> <td>②原子炉圧力</td> <td>ケース6</td> <td>②原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、サブクール度 (自主対策設備)、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>①1次冷却材循環ループ水位<sup>*)</sup></td> <td>①1次冷却材循環ループ水位<sup>*)</sup></td> <td>ケース1</td> <td>①1次冷却材循環ループ水位 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>②1次冷却材温度 (広域・高温側)</td> <td>②1次冷却材温度 (広域・高温側)</td> <td>ケース6</td> <td>②1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>①1次冷却材温度 (広域・低温側)</td> <td>①1次冷却材温度 (広域・低温側)</td> <td>ケース6</td> <td>①1次冷却材温度 (広域・低温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>②1次冷却材温度 (広域・低温側)</td> <td>②1次冷却材温度 (広域・低温側)</td> <td>ケース4</td> <td>②1次冷却材温度 (広域・低温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ <sup>*)</sup>	推定ケース	代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/23)	加圧器水位	①加圧器水位	①加圧器水位	ケース1	①加圧器水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器内の水位を推定する。	②原子炉圧力容器水位	②原子炉圧力容器水位	ケース6	②原子炉圧力容器水位の監視が不可能となった場合は、加圧器の下部に位置しているため、加圧器本体の測定範囲を考慮する。	原子炉圧力	①原子炉圧力	①原子炉圧力	ケース1	①原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、サブクール度 (自主対策設備)、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。	②原子炉圧力	②原子炉圧力	ケース6	②原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、サブクール度 (自主対策設備)、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。	原子炉圧力容器内の水位	①1次冷却材循環ループ水位 <sup>*)</sup>	①1次冷却材循環ループ水位 <sup>*)</sup>	ケース1	①1次冷却材循環ループ水位 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。	②1次冷却材温度 (広域・高温側)	②1次冷却材温度 (広域・高温側)	ケース6	②1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。	原子炉圧力容器内の水位	①1次冷却材温度 (広域・低温側)	①1次冷却材温度 (広域・低温側)	ケース6	①1次冷却材温度 (広域・低温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。	②1次冷却材温度 (広域・低温側)	②1次冷却材温度 (広域・低温側)	ケース4	②1次冷却材温度 (広域・低温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)          ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。</p>
分類	主要パラメータ	代替パラメータ <sup>*)</sup>	推定ケース	代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/17)																																																														
原子炉本体 (広帯域)	①原子炉本体 (広帯域)	①原子炉本体 (広帯域)	ケース1	①原子炉本体 (広帯域)																																																														
	②原子炉本体 (広帯域)	②原子炉本体 (広帯域)	ケース2	②原子炉本体 (広帯域)																																																														
原子炉圧力 (広帯域)	①原子炉圧力 (広帯域)	①原子炉圧力 (広帯域)	ケース3	①原子炉圧力 (広帯域)																																																														
	②原子炉圧力 (広帯域)	②原子炉圧力 (広帯域)	ケース4	②原子炉圧力 (広帯域)																																																														
分類	主要パラメータ	代替パラメータ <sup>*)</sup>	推定ケース	代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/23)																																																														
加圧器水位	①加圧器水位	①加圧器水位	ケース1	①加圧器水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器内の水位を推定する。																																																														
	②原子炉圧力容器水位	②原子炉圧力容器水位	ケース6	②原子炉圧力容器水位の監視が不可能となった場合は、加圧器の下部に位置しているため、加圧器本体の測定範囲を考慮する。																																																														
原子炉圧力	①原子炉圧力	①原子炉圧力	ケース1	①原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、サブクール度 (自主対策設備)、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。																																																														
	②原子炉圧力	②原子炉圧力	ケース6	②原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、サブクール度 (自主対策設備)、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。																																																														
原子炉圧力容器内の水位	①1次冷却材循環ループ水位 <sup>*)</sup>	①1次冷却材循環ループ水位 <sup>*)</sup>	ケース1	①1次冷却材循環ループ水位 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。																																																														
	②1次冷却材温度 (広域・高温側)	②1次冷却材温度 (広域・高温側)	ケース6	②1次冷却材温度 (広域・高温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。																																																														
原子炉圧力容器内の水位	①1次冷却材温度 (広域・低温側)	①1次冷却材温度 (広域・低温側)	ケース6	①1次冷却材温度 (広域・低温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。																																																														
	②1次冷却材温度 (広域・低温側)	②1次冷却材温度 (広域・低温側)	ケース4	②1次冷却材温度 (広域・低温側) により原子炉圧力容器内の水位が中心水位以上で冠水状態であることを確認する。																																																														



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (3/16)

大飯発電所3/4号炉

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉出力 及び 蒸気発生 の注水量	高圧注入流量	① 主要パラメータの他チェンネル ② 燃料貯留用水レベル水位 ③ 加圧器水位 ④ 原子炉水位 ⑤ 燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)	ケース1  ケース3	・高圧注入流量の1チェンネルが故障した場合は、他チェンネルの高圧注入流量により推定する。 ・高圧注入流量の計測と同様となった場合は、水側である燃料貯留用水レベル水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCが発生した場合には、燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	冷却水流量	① 主要パラメータの他チェンネル ② 燃料貯留用水レベル水位 ③ 加圧器水位 ④ 原子炉水位 ⑤ 燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)	ケース1  ケース3	・冷却水流量の1チェンネルが故障した場合は、他チェンネルの冷却水流量により推定する。 ・冷却水流量の計測と同様となった場合は、水側である燃料貯留用水レベル水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCが発生した場合には、燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
低圧代り低圧注入流量	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)	ケース3	・燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。

注1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 【1】：多様な使用例。点1：断続性、断続性が低いパラメータ。点2：断続性、断続性がなく、常用運転のパラメータ  
 【2】：主要パラメータと非主要パラメータの両方が多様な設備の重要代替パラメータを示す。  
 【3】：常用代替例を示す。  
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な設備パラメータ及び有効な監視パラメータを示す。

女川原子力発電所2号炉

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉出力 及び 蒸気発生 の注水量	高圧代り高圧注入流量	① 高圧代り高圧注入流量 ② 原子炉水位 (広域) ③ 加圧器水位 (広域) ④ 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域)	ケース①  ケース②	① 高圧代り高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、水側である燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により注水量を推定する。なお、燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ② 高圧代り高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ③ 高圧代り高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	冷却水流量	① 高圧代り高圧注入流量 ② 原子炉水位 (広域) ③ 加圧器水位 (広域) ④ 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域)	ケース①  ケース②	① 高圧代り高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、水側である燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により注水量を推定する。なお、燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ② 高圧代り高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 ③ 高圧代り高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
低圧代り低圧注入流量	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域)	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域)	ケース③	・燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/17)

注1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 【1】：多様な使用例。点1：断続性、断続性が低いパラメータ。点2：断続性、断続性がなく、常用運転のパラメータ  
 【2】：主要パラメータと非主要パラメータの両方が多様な設備の重要代替パラメータを示す。  
 【3】：常用代替例を示す。  
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な設備パラメータ及び有効な監視パラメータを示す。

泊発電所3号炉

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉出力 及び 蒸気発生 の注水量	高圧注入流量	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域) ② 加圧器水位 ③ 原子炉水位 ④ 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域)	ケース3	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 ② 加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 ③ 原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ④ 燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	冷却水流量	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域) ② 加圧器水位 ③ 原子炉水位 ④ 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域)	ケース3	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 ② 加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 ③ 原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ④ 燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
低圧代り低圧注入流量	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域)	① 燃料貯留部再循環ポンプ水位 (広域)	ケース3	・燃料貯留部再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/23)

注1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。

注2：〔 〕には有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (新機軸又は新機軸性等)が、監視可能であれば常用原子炉監視の状態を把握することが可能な計器)を示す。

相違理由

【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
第1.15-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/17)						
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	推定ケース	代替パラメータ推定方法	推定ケース	推定方法
原子炉内循環ポンプ出口流量	①原子炉内循環ポンプ出口流量	①原子炉内循環ポンプ出口流量	ケース③	①原子炉内循環ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、本所である原子炉内循環ポンプ出口流量の監視状況も考慮した上で注水量を推定する。	①1日一階貯留器スプレイ流量	①1日一階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、本所である燃料貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。
	②原子炉水位 (IC領域)	②原子炉水位 (IC領域)	ケース③	②原子炉水位 (IC領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	②2階貯留器スプレイ流量	②2階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
	③原子炉水位 (SASIC領域)	③原子炉水位 (SASIC領域)	ケース③	③原子炉水位 (SASIC領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	③3階貯留器スプレイ流量	③3階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、LOECが異常発生した場合において、燃料貯留器内循環ポンプ水位 (IC域) の水位変化により注水量を推定する。
	④原子炉水位 (SAS領域)	④原子炉水位 (SAS領域)	ケース③	④原子炉水位 (SAS領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	④4階貯留器スプレイ流量	④4階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
原子炉内循環ポンプ出口流量	①原子炉内循環ポンプ出口流量	①原子炉内循環ポンプ出口流量	ケース③	①原子炉内循環ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、本所である原子炉内循環ポンプ出口流量の監視状況も考慮した上で注水量を推定する。	①1日一階貯留器スプレイ流量	①1日一階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、本所である燃料貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。
	②原子炉水位 (IC領域)	②原子炉水位 (IC領域)	ケース③	②原子炉水位 (IC領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	②2階貯留器スプレイ流量	②2階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
	③原子炉水位 (SASIC領域)	③原子炉水位 (SASIC領域)	ケース③	③原子炉水位 (SASIC領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	③3階貯留器スプレイ流量	③3階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、LOECが異常発生した場合において、燃料貯留器内循環ポンプ水位 (IC域) の水位変化により注水量を推定する。
	④原子炉水位 (SAS領域)	④原子炉水位 (SAS領域)	ケース③	④原子炉水位 (SAS領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	④4階貯留器スプレイ流量	④4階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
原子炉内循環ポンプ出口流量	①原子炉内循環ポンプ出口流量	①原子炉内循環ポンプ出口流量	ケース③	①原子炉内循環ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、本所である原子炉内循環ポンプ出口流量の監視状況も考慮した上で注水量を推定する。	①1日一階貯留器スプレイ流量	①1日一階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、本所である燃料貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。
	②原子炉水位 (IC領域)	②原子炉水位 (IC領域)	ケース③	②原子炉水位 (IC領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	②2階貯留器スプレイ流量	②2階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
	③原子炉水位 (SASIC領域)	③原子炉水位 (SASIC領域)	ケース③	③原子炉水位 (SASIC領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	③3階貯留器スプレイ流量	③3階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、LOECが異常発生した場合において、燃料貯留器内循環ポンプ水位 (IC域) の水位変化により注水量を推定する。
	④原子炉水位 (SAS領域)	④原子炉水位 (SAS領域)	ケース③	④原子炉水位 (SAS領域)の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。	④4階貯留器スプレイ流量	④4階貯留器スプレイ流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※2：〔 〕には有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（補償性又は新機特性等がない）、監視可能であれば発電用原子炉監視の仕様を記載することを可能とする。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (4/16)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>分類</p> <p>主要パラメータ (注1)</p> <p>【売てん水流量】※1</p> <p>①燃料取扱設備用ヒート水位【重】                  ②加圧器水位【重】                  ③原子炉水位【重】</p> <p>【蓄圧タンク圧力】※1</p> <p>①1次冷却材圧力【重】                  ①1次冷却材低温度側温度 (広域)【重】</p> <p>【蓄圧タンク水位】※1</p> <p>①1次冷却材圧力【重】                  ①1次冷却材低温度側温度 (広域)【重】</p> <p>【AM用消火水積算流量】※2</p> <p>①余熱除去流量【重】                  ②加圧器水位【重】                  ③原子炉水位【重】</p>	<p>代替パラメータ</p> <p>①燃料取扱設備用ヒート水位【重】                  ②加圧器水位【重】                  ③原子炉水位【重】</p> <p>①1次冷却材圧力【重】                  ①1次冷却材低温度側温度 (広域)【重】</p> <p>①1次冷却材圧力【重】                  ①1次冷却材低温度側温度 (広域)【重】</p> <p>①余熱除去流量【重】                  ②加圧器水位【重】                  ③原子炉水位【重】</p>	<p>推定ケース</p> <p>ケース3</p> <p>ケース4</p> <p>ケース4</p> <p>ケース1</p> <p>ケース3</p>	<p>代替パラメータ推定方法</p> <p>①蓄圧タンク圧力 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-低温度) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。</p> <p>①蓄圧タンク水位 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-低温度) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。</p> <p>①AM用消火水積算流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、低圧注入流量 ②AM用消火水積算流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、加圧器水位の傾向監視により注水開始を推定する。                  ③AM用消火水積算流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、原子炉容器水位の傾向監視により注水開始を推定する。</p> <p>推定は、原子炉圧力容器への注水開始を優先する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)                  ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。</p>		
<p>原 子 炉 圧 力 容 器 へ の 注 水 量</p>	<p>①1次冷却材圧力 (広域)                  ①1次冷却材温度 (広域-低温度)</p> <p>①低圧注入流量</p> <p>②加圧器水位                  ③原子炉容器水位</p>	<p>推定ケース</p> <p>ケース4</p> <p>ケース4</p> <p>ケース1</p> <p>ケース3</p>	<p>代替パラメータ推定方法</p> <p>①蓄圧タンク圧力 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-低温度) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。</p> <p>①蓄圧タンク水位 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-低温度) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。</p> <p>①AM用消火水積算流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、低圧注入流量 ②AM用消火水積算流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、加圧器水位の傾向監視により注水開始を推定する。                  ③AM用消火水積算流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、原子炉容器水位の傾向監視により注水開始を推定する。</p> <p>推定は、原子炉圧力容器への注水開始を優先する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)                  ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。</p>		

番号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ( )：多様性拡張設備。 ※1 耐震性、耐震強度がないパラメータ。 ※2 耐震性、耐震強度がない。常用電源のパラメータ。  
 【重】：主要パラメータを計装する計器が多様性拡張設備の重要代替パラメータを示す。  
 【※】：常用代替計器を示す。  
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを示す。

※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※2：( ) は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (耐震性又は耐震強度等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器) を示す。



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (6/16)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	
分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース
格納容器内温度	①主要パラメータの他チャンネル	代替パラメータ推定方法	格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。
	②格納容器圧力(広域) ③AM用格納容器圧力		格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内の格納容器内温度であれば、格納容器圧力(広域)又はAM用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できる格納容器圧力(広域)を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は正確からしが生じることを考慮する。
格納容器圧力(広域)	①主要パラメータの他チャンネル		格納容器圧力(広域)の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの格納容器圧力(広域)により推定する。
	②AM用格納容器圧力 ② (格納容器圧力(広域)) ※1【密】 ③格納容器内温度		格納容器圧力(広域)の計測が困難となった場合は、AM用格納容器圧力、格納容器圧力(広域) (多様性拡張設備) のいずれかを推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器圧力(広域)により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力(広域)又は格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は正確からしが生じることを考慮する。
AM用格納容器圧力	①格納容器圧力(広域)		AM用格納容器圧力の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力(広域)、格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力(広域)又は格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は正確からしが生じることを考慮する。
	① (格納容器圧力(広域)) ※1【密】 ②格納容器内温度		AM用格納容器圧力の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力(広域)、格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力(広域)又は格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は正確からしが生じることを考慮する。

大飯発電所3号炉		女川原子力発電所2号炉	
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	推定ケース
格納容器内温度	①主要パラメータの他チャンネル	代替パラメータ推定方法	①ドライウェル温度の1つの検出器が故障した場合、他の検出器により推定する。
	②格納容器圧力(広域)		②ドライウェル温度の1つの検出器が故障した場合、他の検出器/圧力の関係を利用してドライウェル温度を推定する。
	③AM用格納容器圧力		③ドライウェル温度の検出器が不可能となった場合は、圧力検出器圧力により上記と同様にドライウェル温度を推定する。
格納容器圧力(広域)	①主要パラメータの他チャンネル		①圧力検出器内空気の温度の1つの検出器が故障した場合、他の検出器により推定する。
	②AM用格納容器圧力 ② (格納容器圧力(広域)) ※1【密】 ③格納容器内温度		②圧力検出器内空気の温度を推定する。か不可能となった場合は、サブレンジャンネル温度により圧力検出器内空気の温度を推定する。なお、圧力検出器内空気の温度が不可能となった場合は、圧力検出器内空気の温度と圧力検出器内空気の温度の関係を利用して圧力検出器内空気の温度を推定する。
	④格納容器圧力(狭域)		④圧力検出器内空気の温度を推定する。
AM用格納容器圧力	①格納容器圧力(広域)		①格納容器圧力(広域)の1つの検出器が故障した場合、他の検出器により推定する。
	① (格納容器圧力(広域)) ※1【密】 ②格納容器内温度		①AM用格納容器圧力の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力(広域)、格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力(広域)又は格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は正確からしが生じることを考慮する。
	③格納容器内温度		③AM用格納容器圧力の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力(広域)、格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力(広域)又は格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は正確からしが生じることを考慮する。

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (7/17)

\*1: 代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 【】: 多様性拡張設備。 ※1 顕微鏡、顕微鏡性能がなく、常用計装の代替パラメータ。  
 【密】: 主要パラメータを示す計装が多様性拡張設備の重要代替パラメータを示す。  
 【常】: 常用代替計装を示す。  
 (注1) : ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを示す。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (9/23)

大飯発電所3号炉		女川原子力発電所2号炉	
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*1	推定ケース
格納容器内温度	①主要パラメータの他チャンネル	代替パラメータ推定方法	①ドライウェル温度の1つの検出器が故障した場合、他の検出器により推定する。
	②格納容器圧力(広域)		②ドライウェル温度の1つの検出器が故障した場合、他の検出器/圧力の関係を利用してドライウェル温度を推定する。
	③AM用格納容器圧力		③ドライウェル温度の検出器が不可能となった場合は、圧力検出器圧力により上記と同様にドライウェル温度を推定する。
格納容器圧力(広域)	①主要パラメータの他チャンネル		①圧力検出器内空気の温度の1つの検出器が故障した場合、他の検出器により推定する。
	②AM用格納容器圧力 ② (格納容器圧力(広域)) ※1【密】 ③格納容器内温度		②圧力検出器内空気の温度を推定する。か不可能となった場合は、サブレンジャンネル温度により圧力検出器内空気の温度を推定する。なお、圧力検出器内空気の温度が不可能となった場合は、圧力検出器内空気の温度と圧力検出器内空気の温度の関係を利用して圧力検出器内空気の温度を推定する。
	④格納容器圧力(狭域)		④圧力検出器内空気の温度を推定する。
AM用格納容器圧力	①格納容器圧力(広域)		①格納容器圧力(広域)の1つの検出器が故障した場合、他の検出器により推定する。
	① (格納容器圧力(広域)) ※1【密】 ②格納容器内温度		①AM用格納容器圧力の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力(広域)、格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力(広域)又は格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は正確からしが生じることを考慮する。
	③格納容器内温度		③AM用格納容器圧力の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力(広域)、格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力(広域)又は格納容器圧力(狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は正確からしが生じることを考慮する。

\*1: 代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※1: 【】は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計装 (顕微鏡又は顕微鏡性能がなく、監視可能であれば格納容器内の温度や圧力を推定可能な計装) を示す。  
 ※2: 【】は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計装 (顕微鏡又は顕微鏡性能がなく、監視可能であれば格納容器内の温度や圧力を推定可能な計装) を示す。

【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (7/16)

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータの指定方法
原子炉格納容器内水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	①主要パラメータの他チェンネル ②格納容器再循環サンプ水位(狭域) ③原子炉下部キャビティ水位	ケース1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の1チェンネルが故障した場合は、他チェンネルの格納容器再循環サンプ水位(広域)により推定する。 格納容器再循環サンプ水位(広域)の計装が故障となった場合は、測定範囲内であれば格納容器再循環サンプ水位(狭域)、原子炉下部キャビティ水位、原子炉格納容器水位及び水素である格納容器再循環サンプ水位(広域)の水圧、注水計算量及び格納容器スプレィ積算流量、注設代替格納容器スプレィ積算流量により推定する。 格納容器再循環サンプ水位(広域)の計装が故障した場合は、測定範囲内であれば、連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位(広域)を優先する。
	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース2	
原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース1	格納容器再循環サンプ水位(狭域)の計装が故障となった場合は、格納容器再循環サンプ水位(広域)又は注水である燃料取替用水レベル積算流量、格納容器スプレィ積算流量及び注設代替格納容器スプレィ積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位(広域)を優先する。
	原子炉下部キャビティ水位	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース2	
原子炉格納容器水位	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース1	格納容器再循環サンプ水位(狭域)の計装が故障となった場合は、格納容器再循環サンプ水位(広域)又は注水である燃料取替用水レベル積算流量、格納容器スプレィ積算流量及び注設代替格納容器スプレィ積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位(広域)を優先する。
	原子炉格納容器水位	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース2	

備考：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 【注1】：主要パラメータの優先順位は、図1.15.3の優先順位に基づき、図1.15.3の優先順位が最も高いパラメータから、常用代替パラメータを示す。

【注2】：常用代替計装を示す。  
 【注3】：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを示す。

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (8/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータの指定方法
原子炉格納容器内水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の計装が故障した場合は、格納容器再循環サンプ水位(狭域)又は注水である燃料取替用水レベル積算流量、格納容器スプレィ積算流量及び注設代替格納容器スプレィ積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位(狭域)を優先する。
	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース2	
原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース1	格納容器再循環サンプ水位(狭域)の計装が故障した場合は、格納容器再循環サンプ水位(広域)又は注水である燃料取替用水レベル積算流量、格納容器スプレィ積算流量及び注設代替格納容器スプレィ積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位(広域)を優先する。
	原子炉下部キャビティ水位	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース2	
原子炉格納容器水位	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース1	格納容器再循環サンプ水位(狭域)の計装が故障した場合は、格納容器再循環サンプ水位(広域)又は注水である燃料取替用水レベル積算流量、格納容器スプレィ積算流量及び注設代替格納容器スプレィ積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位(広域)を優先する。
	原子炉格納容器水位	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース2	

備考：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 【注1】：主要パラメータの優先順位は、図1.15.3の優先順位に基づき、図1.15.3の優先順位が最も高いパラメータから、常用代替パラメータを示す。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (10/23)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータの指定方法
原子炉格納容器内水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	①主要パラメータの他チェンネル ②格納容器再循環サンプ水位(狭域) ③原子炉下部キャビティ水位	ケース1	①格納容器再循環サンプ水位(広域)の1チェンネルが故障した場合は、他チェンネルの格納容器再循環サンプ水位(広域)により推定する。 ②格納容器再循環サンプ水位(狭域)の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば、連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位(狭域)により推定する。 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)の監視が不可能となった場合は、原子炉下部キャビティ水位、燃料取替用水レベル積算流量、注設代替格納容器スプレィ積算流量により推定する。 ④燃料取替用水レベル積算流量 (AM用) ⑤注設代替格納容器スプレィ積算流量 (AM用) ⑥代替格納容器スプレィ積算流量 (AM用)
	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース2	
原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(狭域)	ケース1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の監視が不可能となった場合は、格納容器再循環サンプ水位(狭域)により推定する。 ②原子炉下部キャビティ水位の監視が不可能となった場合は、格納容器再循環サンプ水位(広域)により推定する。 ③燃料取替用水レベル積算流量、注設代替格納容器スプレィ積算流量、格納容器再循環サンプ水位(狭域)及び注設代替格納容器スプレィ積算流量 (AM用)により推定する。 ④代替格納容器スプレィ積算流量 (AM用)により推定する。
	原子炉下部キャビティ水位	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(狭域)	ケース2	
原子炉格納容器水位	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(広域)	ケース1	格納容器再循環サンプ水位(狭域)の監視が不可能となった場合は、格納容器再循環サンプ水位(広域)又は注水である燃料取替用水レベル積算流量、格納容器スプレィ積算流量及び注設代替格納容器スプレィ積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位(広域)を優先する。 ②燃料取替用水レベル積算流量、注設代替格納容器スプレィ積算流量、格納容器再循環サンプ水位(狭域)及び注設代替格納容器スプレィ積算流量 (AM用)により推定する。 ③代替格納容器スプレィ積算流量 (AM用)により推定する。
	原子炉格納容器水位	①燃料取替用水レベル積算流量 ②注設代替格納容器スプレィ積算流量 ③格納容器再循環サンプ水位(狭域)	ケース2	

注1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。

注2：〔 〕 は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (信頼性又は断続性等は含む)が、監視可能であれば格納容器内の水位を推定することを可能にする。

【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定（8/16）

分類	主要パラメータ（注1）	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内格納容器水素ガス濃度	①主要パラメータの予備	ケース1	<ul style="list-style-type: none"> <li>可搬型格納容器水素ガス濃度が検出された場合は、予備の可搬型格納容器水素ガス濃度計により計測する。</li> <li>可搬型格納容器水素ガス濃度による計測が困難となった場合は、静的触媒式水素再結合装置温度及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度において静的触媒式水素再結合装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置の動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大幅低下を監視して生じないことを確認する。</li> <li>使用可能であればガス分析計（多相性拡張設備）により水素濃度を推定し、ガスアナライザの出力の相対値に基づき水素濃度を推定する。</li> </ul>	
	②原子炉格納容器水素ガス濃度	ケース8		
	③ガスアナライザによる水素濃度	ケース1		
アンニュラス水素濃度	①主要パラメータの予備	ケース1	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンニュラス水素濃度が検出された場合は、予備のアンニュラス水素濃度計によりアンニュラス内の水素濃度を計測する。</li> <li>アンニュラス水素濃度の計測が困難となった場合は、格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）及び原子炉格納容器水素濃度（可搬型）の監視を行い、格納容器内の水素濃度を推定する。</li> <li>④ガス分析計による水素濃度</li></ul>	ケース9

番号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 [ ]：多相性拡張設備。 ※1 断続性、断続性が無いパラメータ。 ※2 断続性、断続性がなく、常用電源のパラメータ。  
 [ ]：主要パラメータを計測する計器が多相性拡張設備の重要代替パラメータを示す。  
 [ ]：常用代替計器を示す。  
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効監視パラメータを示す。

第1.15-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定（9/17）

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内格納容器内水素濃度	①格納容器内水素濃度(0)	①主要パラメータの相対値	ケース1	<ul style="list-style-type: none"> <li>①格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>②格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> <li>③格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>④格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> <li>⑤格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>⑥格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> <li>⑦格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>⑧格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> <li>⑨格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>⑩格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> </ul>
	②格納容器内水素濃度(0)	② [エアリア]放射線モニタ	ケース1	
	③格納容器内水素濃度(0)	③ [エアリア]放射線モニタ	ケース1	
	④格納容器内水素濃度(0)	④ [エアリア]放射線モニタ	ケース1	
原子炉格納容器内格納容器内水素濃度	①格納容器内水素濃度(0)	①主要パラメータの相対値	ケース1	<ul style="list-style-type: none"> <li>①格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>②格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> <li>③格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>④格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> <li>⑤格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>⑥格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> <li>⑦格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>⑧格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> <li>⑨格納容器内水素濃度(0)の相対値が検出された場合は、相対値により推定する。</li> <li>⑩格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内格納容器水素濃度により推定する。</li> <li>推定は、主要パラメータの相対値を用いて推定する。</li> </ul>
	②格納容器内水素濃度(0)	② [エアリア]放射線モニタ	ケース1	
	③格納容器内水素濃度(0)	③ [エアリア]放射線モニタ	ケース1	
	④格納容器内水素濃度(0)	④ [エアリア]放射線モニタ	ケース1	

※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※2：[ ]は有効監視パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※3：[ ]は有効監視パラメータの番号は優先順位を示す。

第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定（11/23）

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法	
原子炉格納容器内格納容器内水素濃度	①主要パラメータの予備	①主要パラメータの予備	ケース1	<ul style="list-style-type: none"> <li>①可搬型格納容器水素濃度計ユニットが検出された場合は、予備の可搬型格納容器水素濃度計ユニットにより計測する。</li> <li>②格納容器内水素濃度(0)の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内水素濃度(0)の監視を行い、格納容器内の水素濃度を推定する。</li> <li>③ [ガス分析計による水素濃度]</li></ul>	ケース8
	②格納容器内水素濃度(0)	② [エアリア]放射線モニタ	ケース1		
	③格納容器内水素濃度(0)	③ [エアリア]放射線モニタ	ケース1		
アンニュラス水素濃度（可搬型）	①主要パラメータの予備	①アンニュラス水素濃度（可搬型）	ケース1	<ul style="list-style-type: none"> <li>推定は、主要パラメータの予備を優先する。</li> <li>②アンニュラス水素濃度（可搬型）</li></ul>	ケース1
	②アンニュラス水素濃度（可搬型）	②代替パラメータの予備	ケース1		
	③代替パラメータの予備	③代替パラメータの予備	ケース1		

※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※2：[ ]は有効監視パラメータの番号は優先順位を示す。

相違理由
<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。</li> </ul> <p>【大飯】設備構成及び推定手段の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯はアンニュラス水素濃度の計測が困難となった場合は、格納容器内高レンジエアリアモニタ（高レンジ）及び排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）（多相性拡張設備）の放射線量率の比により、アンニュラスへの漏えい率を求め、計測した格納容器水素濃度とアンニュラスへの漏えい率の相関関係からアンニュラス水素濃度を推定する手段を整備している。泊はアンニュラス水素濃度（可搬型）の計測が可能なアンニュラス水素濃度（自主対策設備）により、アンニュラス水素濃度（可搬型）を推定できる手段としている。（伊方と同様）</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【伊方3号炉まとめ資料より転載】

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	監視パラメータ	指示パラメータ
原子炉監視	核分裂炉本装置温度	圧力パラメータの付帯	圧力パラメータの付帯	圧力パラメータ
原子炉監視	原子炉本装置圧力(00)	圧力パラメータの付帯	圧力パラメータの付帯	圧力パラメータ
原子炉監視	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1
原子炉監視	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1
原子炉監視	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1
原子炉監視	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1
原子炉監視	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1	【原子炉本装置圧力】※1

※1、【原子炉本装置圧力】※1は、原子炉本装置圧力(00)の監視範囲を拡大して表示する。また、【原子炉本装置圧力】※1は、原子炉本装置圧力(00)の監視範囲を拡大して表示する。







灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
<p>第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (14/23)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 25%;">主要パラメータ</th> <th style="width: 25%;">代替パラメータ※1</th> <th style="width: 15%;">推定ケース</th> <th style="width: 20%;">代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">系統界の推定又は監視</td> <td>[中間領域起動率] ※2</td> <td>①中間領域中性子束 ②中性子源領域中性子束 ③ [中性子源領域起動率] ※2</td> <td>ケース1</td> <td>①中間領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中間領域中性子束により推定する。 ②中間領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束及び中性子源領域起動率（自主対策設備）により推定する。 推定は、中間領域中性子束を優先する。</td> </tr> <tr> <td>[中性子源領域起動率] ※2</td> <td>①中性子源領域中性子束 ②中間領域中性子束 ③ [中間領域起動率] ※2</td> <td>ケース1</td> <td>①中性子源領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中性子源領域中性子束により推定する。 ②中性子源領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中間領域中性子束の測定範囲であれば、中間領域中性子束及び中間領域起動率（自主対策設備）により推定する。 推定は、中性子源領域中性子束を優先する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。                  ※2：〔 〕は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（顕微鏡又は顕微鏡等）ではないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>			分類	主要パラメータ	代替パラメータ※1	推定ケース	代替パラメータ推定方法	系統界の推定又は監視	[中間領域起動率] ※2	①中間領域中性子束 ②中性子源領域中性子束 ③ [中性子源領域起動率] ※2	ケース1	①中間領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中間領域中性子束により推定する。 ②中間領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束及び中性子源領域起動率（自主対策設備）により推定する。 推定は、中間領域中性子束を優先する。	[中性子源領域起動率] ※2	①中性子源領域中性子束 ②中間領域中性子束 ③ [中間領域起動率] ※2	ケース1	①中性子源領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中性子源領域中性子束により推定する。 ②中性子源領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中間領域中性子束の測定範囲であれば、中間領域中性子束及び中間領域起動率（自主対策設備）により推定する。 推定は、中性子源領域中性子束を優先する。	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                  ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。</p>
分類	主要パラメータ	代替パラメータ※1	推定ケース	代替パラメータ推定方法													
系統界の推定又は監視	[中間領域起動率] ※2	①中間領域中性子束 ②中性子源領域中性子束 ③ [中性子源領域起動率] ※2	ケース1	①中間領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中間領域中性子束により推定する。 ②中間領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束及び中性子源領域起動率（自主対策設備）により推定する。 推定は、中間領域中性子束を優先する。													
	[中性子源領域起動率] ※2	①中性子源領域中性子束 ②中間領域中性子束 ③ [中間領域起動率] ※2	ケース1	①中性子源領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中性子源領域中性子束により推定する。 ②中性子源領域起動率（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、中間領域中性子束の測定範囲であれば、中間領域中性子束及び中間領域起動率（自主対策設備）により推定する。 推定は、中性子源領域中性子束を優先する。													



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (12/16)

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	相違ケース	代替パラメータ推定方法
最終トリップシステムの構成	主要圧力	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 主要圧力の1チャンネルが故障した場合、相手システム又は組の主要圧力により推定する。 ② 主要圧力の計測が困難となった場合は、1次冷却水の温度変化や発生流量変化が計測可能であれば、1次冷却材循環流量(広域)及び1次冷却材温度(広域)により主要圧力を推定し、最終トリップが解除されることを推定する。ただし、1次冷却材循環流量(広域)が異常高または異常低となることを推定する。
		③ 1次冷却材循環流量(広域)	ケース6	
	蒸気発生器水位(狭域)	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 蒸気発生器水位(狭域)の1チャンネルが故障した場合、相手システムの蒸気発生器水位(狭域)により推定する。多相性計測設備を含む。② 蒸気発生器水位(狭域)の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位(広域)の水位変化を推定し、最終トリップが解除されることを推定する。ただし、蒸気発生器水位(広域)が異常高または異常低となることを推定する。
		③ 1次冷却材循環流量(広域)	ケース4	
	蒸気発生器水位(広域)	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 蒸気発生器水位(広域)の計測が困難となった場合は、相手システムの蒸気発生器水位(広域)により推定する。② 蒸気発生器水位(広域)の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位(狭域)の水位変化を推定し、最終トリップが解除されることを推定する。ただし、蒸気発生器水位(狭域)が異常高または異常低となることを推定する。
		③ 1次冷却材循環流量(広域)	ケース4	
	蒸気発生器補給水流量	① 補給水セット水位	ケース3	
		② 蒸気発生器水位(狭域)	ケース1	
	蒸気発生器主蒸気流量	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の1チャンネルが故障した場合、相手システムの蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の計測が困難となった場合は、蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。② 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。③ 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。④ 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。
		③ 蒸気発生器水位(狭域)	ケース4	
③ 蒸気発生器水位(広域)		ケース4		
③ 蒸気発生器水位(狭域)		ケース4		

注：①：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ②：[ ]：多相性計測設備、※1：相違、相違がないパラメータ、※2：相違なし、相違がないパラメータ、※3：相違なし、相違がないパラメータ、※4：相違なし、相違がないパラメータ。  
 【R】：主要パラメータを代替する計装が各相違項目間の重要代替パラメータを示す。  
 【W】：主要代替計装を示す。  
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な設備のパラメータ及び体制の電圧パラメータを示す。

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (12/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	相違ケース	代替パラメータ推定方法
相違北ベクトル	相違北ベクトル	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 相違北ベクトル(注3)が異常高または異常低となることを推定する。
		③ 蒸気発生器水位(狭域)	ケース4	
	蒸気発生器水位(狭域)	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 蒸気発生器水位(狭域)の1チャンネルが故障した場合、相手システムの蒸気発生器水位(狭域)により推定する。② 蒸気発生器水位(狭域)の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位(広域)の水位変化を推定し、最終トリップが解除されることを推定する。ただし、蒸気発生器水位(広域)が異常高または異常低となることを推定する。
		③ 蒸気発生器水位(広域)	ケース4	
蒸気発生器補給水流量	① 補給水セット水位	ケース3		
	② 蒸気発生器水位(狭域)	ケース1		
蒸気発生器主蒸気流量	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の1チャンネルが故障した場合、相手システムの蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の計測が困難となった場合は、蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。② 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。③ 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。④ 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。	
	③ 蒸気発生器水位(狭域)	ケース4		

注：①：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ②：[ ]：有効設備パラメータ又は重要設備パラメータを示す。  
 ③：[ ]：有効設備パラメータ又は重要設備パラメータを示す。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (16/23)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	相違ケース	代替パラメータ推定方法
最終トリップシステムの構成	主要圧力	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 主要圧力の1チャンネルが故障した場合、相手システム又は組の主要圧力により推定する。 ② 主要圧力の計測が困難となった場合は、1次冷却水の温度変化や発生流量変化が計測可能であれば、1次冷却材循環流量(広域)及び1次冷却材温度(広域)により主要圧力を推定し、最終トリップが解除されることを推定する。ただし、1次冷却材循環流量(広域)が異常高または異常低となることを推定する。
		③ 1次冷却材循環流量(広域)	ケース6	
	蒸気発生器水位(狭域)	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 蒸気発生器水位(狭域)の1チャンネルが故障した場合、相手システムの蒸気発生器水位(狭域)により推定する。多相性計測設備を含む。② 蒸気発生器水位(狭域)の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位(広域)の水位変化を推定し、最終トリップが解除されることを推定する。ただし、蒸気発生器水位(広域)が異常高または異常低となることを推定する。
		③ 1次冷却材循環流量(広域)	ケース4	
	蒸気発生器水位(広域)	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 蒸気発生器水位(広域)の計測が困難となった場合は、相手システムの蒸気発生器水位(広域)により推定する。② 蒸気発生器水位(広域)の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位(狭域)の水位変化を推定し、最終トリップが解除されることを推定する。ただし、蒸気発生器水位(狭域)が異常高または異常低となることを推定する。
		③ 1次冷却材循環流量(広域)	ケース4	
	蒸気発生器補給水流量	① 補給水セット水位	ケース3	
		② 蒸気発生器水位(狭域)	ケース1	
	蒸気発生器主蒸気流量	① 主要パラメータの値(注2)	ケース1	① 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の1チャンネルが故障した場合、相手システムの蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の計測が困難となった場合は、蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。② 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。③ 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。④ 蒸気発生器主蒸気流量(多相性計測設備)の水位の相違と合わせて推定することと推定する。
		③ 蒸気発生器水位(狭域)	ケース4	
③ 蒸気発生器水位(広域)		ケース4		
③ 蒸気発生器水位(狭域)		ケース4		

注：①：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ②：[ ]：有効設備パラメータ又は重要設備パラメータを示す。  
 ③：[ ]：有効設備パラメータ又は重要設備パラメータを示す。

相違理由  
 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
		<p style="text-align: center;">第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (17/23)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">分類</th> <th style="width: 20%;">主要パラメータ</th> <th style="width: 20%;">代替パラメータ</th> <th style="width: 20%;">推定ケース</th> <th style="width: 20%;">代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最終ヒートシンクの温度</td> <td>①主蒸気流量)<sup>※1</sup></td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②主蒸気ライン圧力 ③蒸気発生器水位（領域） ④蒸気発生器水位（広域） ⑤補助給水流量</td> <td>ケース1    ケース4</td> <td>①主蒸気流量（自主対策設備）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの主蒸気流量（自主対策設備）により推定する。 ②主蒸気流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、主蒸気ライン圧力の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器2次側による閉塞状態を監視し、最終ヒートシンクが監視されていることを推定する。 ③主蒸気流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位（領域）及び蒸気発生器水位（広域）の変化傾向と補助給水流量を監視することにより主蒸気流量（自主対策設備）を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。          ※2：〔 〕は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐爆壊性等は無いが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法	最終ヒートシンクの温度	①主蒸気流量) <sup>※1</sup>	①主要パラメータの他チャンネル ②主蒸気ライン圧力 ③蒸気発生器水位（領域） ④蒸気発生器水位（広域） ⑤補助給水流量	ケース1    ケース4	①主蒸気流量（自主対策設備）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの主蒸気流量（自主対策設備）により推定する。 ②主蒸気流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、主蒸気ライン圧力の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器2次側による閉塞状態を監視し、最終ヒートシンクが監視されていることを推定する。 ③主蒸気流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位（領域）及び蒸気発生器水位（広域）の変化傾向と補助給水流量を監視することにより主蒸気流量（自主対策設備）を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）          ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。</p>
分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法									
最終ヒートシンクの温度	①主蒸気流量) <sup>※1</sup>	①主要パラメータの他チャンネル ②主蒸気ライン圧力 ③蒸気発生器水位（領域） ④蒸気発生器水位（広域） ⑤補助給水流量	ケース1    ケース4	①主蒸気流量（自主対策設備）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの主蒸気流量（自主対策設備）により推定する。 ②主蒸気流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、主蒸気ライン圧力の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器2次側による閉塞状態を監視し、最終ヒートシンクが監視されていることを推定する。 ③主蒸気流量（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位（領域）及び蒸気発生器水位（広域）の変化傾向と補助給水流量を監視することにより主蒸気流量（自主対策設備）を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (13/16)

大阪発電所3/4号炉			
分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース
格納容器バスの監視	蒸気発生器水位(仮減)	①主要パラメータの他チヤンネル ②蒸気発生器水位(広域) ③圧力 ④蒸気発生器補助給水流量	ケース1  ケース5
	主蒸気圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②蒸気発生器水位(広域) ③蒸気発生器補助給水流量	ケース1  ケース5
	1次冷却材圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ② [加圧器圧力 (CRT)] 系1【※】 ③蒸気発生器水位(仮減) ④主蒸気圧力 ⑤格納容器再蒸騰サンプ水位(広域) ⑥1次冷却材再蒸騰温度(広域) ⑦1次冷却材低蒸騰温度(広域)	ケース1  ケース5    ケース6

注 番号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 【 〃 】：多様な仮定領域。 ※1 範囲性、範囲性が不明なパラメータ。 ※2 範囲性、範囲性がなく、常用電源のパラメータ。  
 【 〇 】：主要パラメータを指す目的が多岐にわたる重要な代替パラメータを示す。  
 【 〃 】：常用代替計装を示す。  
 (注1) 〃には主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを示す。

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (13/17)

女川原子力発電所2号炉			
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	推定ケース
格納容器バスの監視	原子炉水位 (広域)	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (広域) ③原子炉水位 (燃料)	ケース1
	原子炉水位 (燃料)	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料)	ケース1
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5
	原子炉圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉水位 (燃料) ③原子炉水位 (広域)	ケース1 ケース5

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (18/23)

泊発電所3号炉			
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	推定ケース
格納容器バスの監視	蒸気発生器水位(仮減)	①主要パラメータの他チヤンネル ②蒸気発生器水位(広域) ③蒸気発生器水位(燃料) ④補助給水流量	ケース1  ケース5
	主蒸気圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②蒸気発生器水位(広域) ③補助給水流量	ケース1  ケース5
格納容器バスの監視	1次冷却材圧力(広域)	①主要パラメータの他チヤンネル ② [加圧器圧力] 系1	ケース1  ケース5
	1次冷却材圧力(燃料)	①蒸気発生器水位(燃料) ②蒸気発生器水位(広域) ③格納容器再蒸騰サンプ水位(広域)	ケース1  ケース5

注 番号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※2：〔 〃 〕は有効監視パラメータ又は重要な監視パラメータの常用計器 (範囲性又は範囲性不明等はないが、監視可能であれば格納容器再蒸騰サンプ水位の表示)。

【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映)  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号に記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (14/16)

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器レベル監視	(格納容器出口温度センサー) 赤1	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (多相性監視) の計測と同様となった場合は、格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	2. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	3. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	4. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	5. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	6. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	7. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	8. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	9. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
10. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	・ 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。	

注1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 注2：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注3：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注4：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注5：[ ] は有状態パラメータを示す。

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (14/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器レベル監視	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース1	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	2. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	3. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	4. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	5. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	6. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。

注1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 注2：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注3：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注4：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注5：[ ] は有状態パラメータを示す。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (19/23)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器レベル監視	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	2. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	3. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	4. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	5. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	6. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	7. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	8. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	9. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。
	10. 格納容器出口温度センサー (注1)	1. 格納容器出口温度センサー (注1)	ケース5	1. 格納容器出口温度センサー (注1) の計測値が適用される。

注1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 注2：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注3：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注4：[ ] は有状態パラメータを示す。  
 注5：[ ] は有状態パラメータを示す。

【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。



1.15 事故時の計装に関する手順書

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (15/16)

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器水位	【加圧器逃がしタンク圧力(広域)】※1 ①加圧器水位【直】 ②格納容器サンブ水位(CRT) ※2【常】	【加圧器逃がしタンク圧力【直】】 ①1次冷卻対圧力【直】 ②格納容器サンブ水位(CRT) ※2【常】	ケース5	・加圧器逃がしタンク圧力(広域) (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷卻対圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンブ水位(CRT) (多様性拡張設備) の上昇がないことの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
				・加圧器逃がしタンク水位 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷卻対圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンブ水位(CRT) (多様性拡張設備) の上昇がないことの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
蒸気発生器の水位	【加圧器逃がしタンク圧力(広域)】※1 ①加圧器水位【直】 ②格納容器サンブ水位(CRT) ※2【常】	【加圧器逃がしタンク圧力【直】】 ①1次冷卻対圧力【直】 ②格納容器サンブ水位(CRT) ※2【常】	ケース5	・加圧器逃がしタンク圧力(広域) (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷卻対圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンブ水位(CRT) (多様性拡張設備) の上昇がないことの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
				・加圧器逃がしタンク水位 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷卻対圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンブ水位(CRT) (多様性拡張設備) の上昇がないことの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。

番号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 【直】：多様性拡張設備、※1 耐震性、耐地震性が無いパラメータ、※2 耐震性、耐地震性がなく、常用電源のパラメータ  
 【常】：主要パラメータを計測する計装が多様性拡張設備の重要代替パラメータを示す。  
 【常】：常用代替計測機を示す。  
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有源監視パラメータを示す。

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (20/23)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ※1	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器水位	【加圧器逃がしタンク圧力】※2 ①加圧器水位【直】 ②格納容器サンブ水位【直】	【加圧器逃がしタンク圧力(広域)】※2 ①1次冷卻対圧力【直】 ②格納容器サンブ水位【直】	ケース5	①加圧器逃がしタンク圧力(自主制御設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷卻対圧力(広域)及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ②加圧器逃がしタンク圧力(自主制御設備) の監視が不可能となった場合は、格納容器サンブ水位(自主制御設備) の上昇がないことの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
				①加圧器逃がしタンク水位(広域)及び加圧器水位を推定する。 ②加圧器逃がしタンク水位(自主制御設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷卻対圧力(広域)及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ③格納容器サンブ水位(自主制御設備) の監視が不可能となった場合は、格納容器サンブ水位(自主制御設備) の上昇がないことの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
格納容器出口の監視	【加圧器逃がしタンク圧力】※2 ①加圧器水位【直】 ②格納容器サンブ水位【直】	【加圧器逃がしタンク圧力(広域)】※2 ①1次冷卻対圧力【直】 ②格納容器サンブ水位【直】	ケース5	①加圧器逃がしタンク圧力(自主制御設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷卻対圧力(広域)及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ②加圧器逃がしタンク圧力(自主制御設備) の監視が不可能となった場合は、格納容器サンブ水位(自主制御設備) の上昇がないことの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
				①加圧器逃がしタンク水位(広域)及び加圧器水位を推定する。 ②加圧器逃がしタンク水位(自主制御設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷卻対圧力(広域)及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ③格納容器サンブ水位(自主制御設備) の監視が不可能となった場合は、格納容器サンブ水位(自主制御設備) の上昇がないことの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。

※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。  
 ※2：( ) は格納容器のパラメータを示す。監視本文は格納容器出口監視の記載を参照することになる。

【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)  
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。







泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.15.4表 補助的な監視パラメータ（多様性拡張設備）（1/3）

分類	パラメータ	主要パラメータの代替監視可能理由
電源関係	500kV大飯幹線（第二大幹線）1L、2L電圧	母線受電しや新着の接続状態及び所内母線電圧にて監視可能
	7.7kV大飯支線電圧	母線受電しや新着の接続状態及び所内母線電圧にて監視可能
	4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	4-3(4)A、B母線電圧	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	3-3(4)A1、A2、B1、B2母線電圧	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	3-3(4)C1、C2、D1、D2母線電圧	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	A、Bディーゼル発電機電圧（他号炉）	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	A、Bディーゼル発電機電圧、電力（他号炉）	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	A、B直流発電機出力電圧	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	A1、A2、B1、B2、C1、C2、D1、D2計装用電源母線電圧	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
電機関係	空冷式非常用発電機置電力、周波数	空冷式非常用発電機の運転状態により監視可能
	B充てんポンプ封水油冷却器冷却水流量	B充てんポンプの運転状態により監視可能
	B充てんポンプ電動機冷却水流量	B充てんポンプの運転状態により監視可能
	高圧注入ポンプ吐出圧力	高圧注入ポンプの運転状態により監視可能
	高圧注入ポンプ吸込圧力	高圧注入ポンプの運転状態により監視可能
	高圧注入ポンプ冷却水流量	高圧注入ポンプの運転状態により監視可能
	高圧注入ポンプ電動機冷却水流量	高圧注入ポンプの運転状態により監視可能
	高圧注入ポンプ電流	高圧注入ポンプの運転状態により監視可能
	格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量	格納容器スプレイポンプの運転状態により監視可能
	格納容器スプレイポンプ冷却水流量	格納容器スプレイポンプの運転状態により監視可能
補助関係	格納容器スプレイポンプ電流	格納容器スプレイポンプの運転状態により監視可能
	格納容器スプレイポンプ吸込圧力	格納容器スプレイポンプの運転状態により監視可能
	格納容器スプレイポンプ吐出圧力	格納容器スプレイポンプの運転状態により監視可能
	余熱除去ポンプ電流	余熱除去ポンプの運転状態により監視可能
	余熱除去ポンプ冷却水流量	余熱除去ポンプの運転状態により監視可能
	余熱除去ポンプ電動機冷却水流量	余熱除去ポンプの運転状態により監視可能
	余熱除去ポンプ吸込圧力	余熱除去ポンプの運転状態により監視可能
	余熱除去ポンプ吐出圧力	余熱除去ポンプの運転状態により監視可能
	施設代替低圧注水ポンプ出口圧力	施設代替低圧注水ポンプの運転状態により監視可能
	タービン駆動補助給水ポンプ電動機吐出圧力	注水ポンプの運転状態により監視可能

第1.15-4表 補助パラメータ（1/4）

分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由
電源関係	275kV母線電圧	275kV母線の受電状態を確認するパラメータ
	6-2F母線電圧	外部電源の受電状態を確認するパラメータ
	6-2F-1母線電圧 <sup>*)</sup>	緊急用高圧母線の受電状態を確認するパラメータ
	6-2F-2母線電圧 <sup>*)</sup>	
	6-2G母線電圧	非常用高圧母線の受電状態を確認するパラメータ
	6-2C母線電圧 <sup>*)</sup>	
	6-2D母線電圧 <sup>*)</sup>	緊急用低圧母線の受電状態を確認するパラメータ
	4-2C母線電圧 <sup>*)</sup>	
	4-2D母線電圧 <sup>*)</sup>	非常用低圧母線の受電状態を確認するパラメータ
	HPCS MCC母線電圧	
125V直流主母線2A電圧 <sup>*)</sup>	直流電源の受電状態を確認するパラメータ	
125V直流主母線2B電圧 <sup>*)</sup>		
125V直流主母線2A-1電圧 <sup>*)</sup>		
125V直流主母線2B-1電圧 <sup>*)</sup>		
HPCS125V直流主母線電圧 <sup>*)</sup>		
250V直流主母線電圧 <sup>*)</sup>		
GTG発電機電圧		代替電源設備の運転状態を確認するパラメータ
GTG発電機電力		
GTG発電機周波数		非常用ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ
電源車電圧		
電源車周波数		
D/G(2A)電圧		
B/G(2B)電圧		
D/G(2A)電力		
D/G(2B)電力		
B/G(2B)周波数		
D/G(2B)周波数		
D/G(2D)電圧	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	
D/G(2D)周波数		

\*1：重大事故等対応協定書に活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対応協定書とす。

第1.15.4表 補助パラメータ（1/2）

分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由
電源関係	計装機1L電圧、計装機2L電圧	計装機1L、2Lの受電状態を監視するパラメータ
	後志幹線1L電圧、後志幹線2L電圧	後志幹線1L、2Lの受電状態を監視するパラメータ
	甲母線電圧、乙母線電圧	甲、乙母線の受電状態を監視するパラメータ
	0-A、B母線電圧 <sup>*)</sup>	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ
	6-C1、C2、D母線電圧	常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ
	4-A1、A2、B1、B2、C1、D1母線電圧	常用及び非常用低圧母線の受電状態を監視するパラメータ
	A、Bディーゼル発電機電圧	ディーゼル発電機の運転状態を監視するパラメータ
	A、B直流コントロールセンタ母線電圧 <sup>*)</sup>	直流母線の受電状態を監視するパラメータ
	A、B、C、D計装用交流分電機電圧	計装用交流分電機の受電状態を監視するパラメータ
	代替非常用発電機電圧、電力、周波数	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ
補助関係	A、Bディーゼル発電機燃料油貯槽油温	燃料の性状状態を確認するパラメータ
	燃料タンク (55) 油温	
	高圧注入ポンプ出口圧力	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ
	高圧注入ポンプ入口圧力	
	A-高圧注入ポンプ及び抽油卸閉塞機冷却水流量	
	A-高圧注入ポンプ冷却水流量 (AM用) <sup>*)</sup>	
	A-高圧注入ポンプ電動機冷却水流量	
	A-高圧注入ポンプ電動機冷却水流量 (AM用) <sup>*)</sup>	
	高圧注入ポンプ電流	
	格納容器スプレイポンプ出口圧力	
格納容器スプレイポンプ入口圧力		
格納容器スプレイポンプ電流	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	
余熱除去ポンプ出口圧力		
余熱除去ポンプ入口圧力		
余熱除去ポンプ電流		
充てんライン圧力		
B-充てんポンプ油命装置及び封水冷却閉塞機冷却水流量		
B-充てんポンプ電動機冷却水流量		
代替格納容器スプレイポンプ出口圧力		代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ

\*1：重大事故等対応協定書に活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対応協定書とす。

【大飯】設計方針の相違  
 ・相違理由⑩（女川実績の反映）

【女川】炉型の相違  
 ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。以降、同表において同じ。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大飯発電所3/4号炉

第 1.15.4 表 補助的な監視パラメータ（多様性拡張設備）（2/3）

分類	パラメータ	主要パラメータの代替監視可能理由
水源	1次系純水タンク水位	現地に水位を監視可能
	A、B2次系純水タンク水位	現地に水位を監視可能
	N0、2洗水タンク水位	現地に水位を監視可能
	N0、3洗水タンク水位	現地に水位を監視可能
	脱気器タンク水位	現地に水位を監視可能
	体積制御タンク水位	充てんポンプの運転状態により監視可能
その他	海水供給管圧力	海水ポンプの運転状態により監視可能
	原子炉補機冷却水冷却器出口温度	海水ポンプの運転状態により監視可能
	原子炉補機冷却水冷却器海水流量	海水ポンプの運転状態及び海水供給母管圧力により監視可能
	原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水ポンプの運転状態及び原子炉補機冷却水供給母管圧力により監視可能
	原子炉補機冷却水冷却器出口温度	原子炉補機冷却水戻り母管温度により監視可能
	原子炉補機冷却水戻り母管温度	原子炉補機冷却水冷却器出口温度により監視可能
	制御用空気圧縮機・中間冷却器冷却水流量	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能
	制御用空気圧縮機・乾燥器冷却水流量	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能
	静的熱媒式水素再結合装置の動作状況	静的熱媒式水素再結合装置温度の検出器又は原子炉格納容器水素熱媒装置温度の動作状況により監視可能
	原子炉格納容器水素熱媒装置温度	原子炉格納容器水素熱媒装置温度の検出器又は静的熱媒式水素再結合装置の動作状況により監視可能
	原子炉補給水補給流量制御器積算カウンタ	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能
	原子炉補給水補給流量制御器積算カウンタ	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能
	ほう酸水補給流量制御器積算カウンタ	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能
	ほう酸水補給流量制御器積算カウンタ	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能
	可聴計数率(可聴音)	中性子源領域中性子率により監視可能
	格納容器サンプ水位	原子炉格納容器内の漏えい状態を格納容器圧力、格納容器内温度及び格納容器再循環サンプ水位(広域)により監視可能
	凝縮液量測定装置水位	原子炉格納容器内の漏えい状態を格納容器圧力、格納容器内温度及び格納容器再循環サンプ水位(広域)により監視可能
	制御用空気供給母管圧力	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能
	緊急ほう酸水補給流量	ほう酸ポンプの運転状態を確認することにより監視可能
	Aニュートン圧力	各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	復水器真空度(広域)	復水器真空度(狭域)により監視可能
	蒸気発生器冷却水流量	蒸気発生器水位(狭域)により監視可能
	蒸気発生器冷却水流量	蒸気発生器水位(狭域)により監視可能

第 1.15.4 表 補助的な監視パラメータ（多様性拡張設備）（3/3）

分類	パラメータ	主要パラメータの代替監視可能理由
その他	安全保護アナログ動作警報	作動した種々の運転状態確認により監視可能
	安全注入動作警報	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能
	停止降圧中中性子束高過警報動作警報	中性子源領域中性子率により監視可能
	サブクール度	1次冷却材温度、1次冷却材圧力により監視可能
	非故意断油圧	タービン主要弁の作動状態により監視可能
	弁表示灯 (E目)	タービン主要弁の作動状態により監視可能

女川原子力発電所2号炉

第 1.15-4 表 補助パラメータ (2/4)

分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由
電源関係	D/G(3A)電圧(3号炉)	非常用ディーゼル発電機(3号炉)の運転状態を確認するパラメータ
	D/G(3B)電圧(3号炉)	
	D/G(3A)電圧(3号炉)	
	D/G(3B)電圧(3号炉)	
	D/G(3A)周波数(3号炉)	
	D/G(3B)周波数(3号炉)	
	軽油タンク前面	
	ガスタービン発電設備軽油タンク前面	
	タンクローリー油タンクレベル	
	各機器油タンクレベル	
補機関係	高圧代替注水系ポンプ入口圧力	燃料の確保状態を確認するパラメータ
	高圧代替注水系タービン入口蒸気圧力	
	高圧代替注水系タービン排気圧力	
	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力	
	原子炉隔離時冷却系タービン回転数	
	原子炉隔離時冷却系タービン回転数	
	大容量送水ポンプ(タイプ1)出口圧力	
	ほう酸水注入系ポンプ出口圧力	
	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位	
	制御棒駆動水ポンプ出口流量	
その他	制御棒駆動水原子炉閉鎖圧	原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ
	アキュムレータ充填水圧力	
	高圧変素ガス供給系 MS入口圧力 <sup>※1</sup>	
	高圧変素ガス供給系変素ガスポンプ出口圧力	
	代替高圧変素ガス供給系高圧変素ガスポンプ出口圧力 <sup>※1</sup>	
	代替高圧変素ガス供給系変素ガス供給止め弁入口圧力 <sup>※1</sup>	
	残留熱除去系ポンプ直漏えい検出器温度	
	プロセス放射線モニタ	
	ドライウェルサンプ水位	
	格納容器pH調整系タンク水位	
格納容器pH調整系ポンプ出口圧力		

※1：重大事故等対応設備を活用する手順書の章手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対応設備とする。

泊発電所3号炉

第 1.15.4 表 補助パラメータ (2/2)

分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由
その他	タービン駆動補助水ポンプ軸受油圧	タービン駆動補助水ポンプの補助油ポンプ及び主油ポンプの運転状態を確認するパラメータ
	原子炉補機冷却水供給母管圧力	
	原子炉補機冷却水冷却器出口温度	
	原子炉補機冷却水冷却器海水流量	
	原子炉補機冷却水冷却器海水流量(取用)※1	
	原子炉補機冷却水供給母管流量(取用)※1	
	サブクール度	
	原子炉格納容器内水素処理装置温度	
	格納容器水素イグナイト管度	
	ガス分析計による水素濃度	
その他	1次系純水補給ライン流量制御	原子炉補給水制御系の運転状態を確認するパラメータ
	1次系純水補給ライン流量積算制御	
	ほう酸補給ライン流量制御	
	ほう酸補給ライン流量積算制御	
	格納容器サンプ水位	
	格納容器サンプ水位上昇率	
	凝縮液量測定装置水位	
	制御用空気圧力	
	体積制御タンク水位	
	緊急ほう酸水注入ライン流量	
その他	アニュートン内圧力	高圧変素ガス供給系の運転状態を確認するパラメータ
	タービン非常態断油圧	
	CSF自動作動警報	
	BOCS作動	
	弁表示 (B目)	
	モニタリングポスト	
	モニタリングスタートーション	
	1次系純水タンク水位	
	2次系純水タンク水位	
	脱気器タンク水位	
ろ過水タンク水位		
復水器真空 (広域)		
主給水ライン流量		
蒸気発生器冷却水流量		

※1：重大事故等対応設備を活用する手順書の章手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対応設備とする。

【大飯】設計方針の相違  
 ・相違理由④(女川実績の反映)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
	<p style="text-align: center;">第 1.15-4 表 補助パラメータ (3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> <th>補助パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="32">その他</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> <td>ろ過水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>純水移送ポンプ出口圧力</td> <td>純水補助水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>給水流量</td> <td rowspan="4">給・戻水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉給水ポンプ出口ヘッダ圧力</td> </tr> <tr> <td>主復水器内圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系入口流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> <td rowspan="3">原子炉冷却材浄化系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系入口ガス流量</td> <td rowspan="12">可燃性ガス濃度制御系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系ブロー入口流量</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系ブロー入口圧力</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系再結晶器内ガス温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系再結晶器表面温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系加熱管表面温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系加熱管内ガス温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系加熱管出口ガス温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系入口ガス温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系ブロー入口温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系冷却器出口ガス温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系冷却水供給温度</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系サージタンク水位</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>プレート状熱交換器出口温度</td> <td rowspan="5">原子炉補機代替冷却水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>淡水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>淡水ポンプ入口圧力</td> </tr> <tr> <td>ストレナー入口圧力</td> </tr> <tr> <td>燃料プールの冷却浄化系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉ウエル水位</td> <td>原子炉格納容器頂部注水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系冷却水供給圧力</td> <td rowspan="2">高圧炉心スプレイ補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系冷却水供給温度</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">* 1：重大事故等対応設備を適用する手順等の書きの判別基準として用いるパラメータについては、重大事故等対応設備とする。</p>	分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由	その他	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水系の運転状態を確認するパラメータ	純水移送ポンプ出口圧力	純水補助水系の運転状態を確認するパラメータ	給水流量	給・戻水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉給水ポンプ出口ヘッダ圧力	主復水器内圧力	原子炉冷却材浄化系入口流量	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	原子炉冷却材浄化系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器入口温度	可燃性ガス濃度制御系入口ガス流量	可燃性ガス濃度制御系の運転状態を確認するパラメータ	可燃性ガス濃度制御系ブロー入口流量	可燃性ガス濃度制御系ブロー入口圧力	可燃性ガス濃度制御系再結晶器内ガス温度	可燃性ガス濃度制御系再結晶器表面温度	可燃性ガス濃度制御系加熱管表面温度	可燃性ガス濃度制御系加熱管内ガス温度	可燃性ガス濃度制御系加熱管出口ガス温度	可燃性ガス濃度制御系入口ガス温度	可燃性ガス濃度制御系ブロー入口温度	可燃性ガス濃度制御系冷却器出口ガス温度	原子炉補機冷却水系冷却水供給温度	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水系サージタンク水位	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	原子炉補機冷却海水系ポンプ出口圧力	プレート状熱交換器出口温度	原子炉補機代替冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	淡水ポンプ出口圧力	淡水ポンプ入口圧力	ストレナー入口圧力	燃料プールの冷却浄化系熱交換器冷却水入口流量	原子炉ウエル水位	原子炉格納容器頂部注水系の運転状態を確認するパラメータ	高圧炉心スプレイ補機冷却水系冷却水供給圧力	高圧炉心スプレイ補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	高圧炉心スプレイ補機冷却水系冷却水供給温度		
分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由																																														
その他	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	純水移送ポンプ出口圧力	純水補助水系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	給水流量	給・戻水系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	原子炉給水ポンプ出口ヘッダ圧力																																															
	主復水器内圧力																																															
	原子炉冷却材浄化系入口流量																																															
	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	原子炉冷却材浄化系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度																																															
	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器入口温度																																															
	可燃性ガス濃度制御系入口ガス流量	可燃性ガス濃度制御系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	可燃性ガス濃度制御系ブロー入口流量																																															
	可燃性ガス濃度制御系ブロー入口圧力																																															
	可燃性ガス濃度制御系再結晶器内ガス温度																																															
	可燃性ガス濃度制御系再結晶器表面温度																																															
	可燃性ガス濃度制御系加熱管表面温度																																															
	可燃性ガス濃度制御系加熱管内ガス温度																																															
	可燃性ガス濃度制御系加熱管出口ガス温度																																															
	可燃性ガス濃度制御系入口ガス温度																																															
	可燃性ガス濃度制御系ブロー入口温度																																															
	可燃性ガス濃度制御系冷却器出口ガス温度																																															
	原子炉補機冷却水系冷却水供給温度		原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ																																													
	原子炉補機冷却水系サージタンク水位																																															
	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																															
	原子炉補機冷却海水系ポンプ出口圧力																																															
	プレート状熱交換器出口温度	原子炉補機代替冷却水系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	淡水ポンプ出口圧力																																															
	淡水ポンプ入口圧力																																															
	ストレナー入口圧力																																															
	燃料プールの冷却浄化系熱交換器冷却水入口流量																																															
	原子炉ウエル水位	原子炉格納容器頂部注水系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	高圧炉心スプレイ補機冷却水系冷却水供給圧力	高圧炉心スプレイ補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	高圧炉心スプレイ補機冷却水系冷却水供給温度																																															
	<p style="text-align: center;">第 1.15-4 表 補助パラメータ (4/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> <th>補助パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="11">その他</td> <td>燃料プールの補給水ポンプ出口流量</td> <td rowspan="2">燃料プールの補給水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>燃料プールの補給水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>スキマサージタンク水位</td> <td>使用済燃料プールの状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>燃料プールの冷却浄化系ポンプ出口流量</td> <td>燃料プールの冷却浄化系ポンプの運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>純水タンク水位</td> <td rowspan="5">代替淡水源の確保状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水槽 (No.1)</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td>原水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>モニタリングポスト</td> <td rowspan="3">屋外の放射線量を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替モニタリング設備</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリング設備</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">* 1：重大事故等対応設備を適用する手順等の書きの判別基準として用いるパラメータについては、重大事故等対応設備とする。</p>	分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由	その他	燃料プールの補給水ポンプ出口流量	燃料プールの補給水系の運転状態を確認するパラメータ	燃料プールの補給水ポンプ出口圧力	スキマサージタンク水位	使用済燃料プールの状態を確認するパラメータ	燃料プールの冷却浄化系ポンプ出口流量	燃料プールの冷却浄化系ポンプの運転状態を確認するパラメータ	純水タンク水位	代替淡水源の確保状態を確認するパラメータ	ろ過水タンク水位	淡水貯水槽 (No.1)	淡水貯水槽 (No.2)	原水タンク水位	モニタリングポスト	屋外の放射線量を確認するパラメータ	可搬型代替モニタリング設備	可搬型モニタリング設備																										
分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由																																														
その他	燃料プールの補給水ポンプ出口流量	燃料プールの補給水系の運転状態を確認するパラメータ																																														
	燃料プールの補給水ポンプ出口圧力																																															
	スキマサージタンク水位	使用済燃料プールの状態を確認するパラメータ																																														
	燃料プールの冷却浄化系ポンプ出口流量	燃料プールの冷却浄化系ポンプの運転状態を確認するパラメータ																																														
	純水タンク水位	代替淡水源の確保状態を確認するパラメータ																																														
	ろ過水タンク水位																																															
	淡水貯水槽 (No.1)																																															
	淡水貯水槽 (No.2)																																															
	原水タンク水位																																															
	モニタリングポスト	屋外の放射線量を確認するパラメータ																																														
	可搬型代替モニタリング設備																																															
可搬型モニタリング設備																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																															
<p style="text-align: center;">&lt;伊方発電所3号炉の転載&gt;</p> <p>第1.15.3表 重要監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）</p> <table border="1" data-bbox="73 383 696 702"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉容器内の水位</td> <td>加圧器水位計※1</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>C、D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器への注水量</td> <td>加圧器水位計※2</td> <td>原子炉容器内の水位を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の湿度</td> <td>格納容器内圧力計（広域）※3</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>格納容器内圧力計（広域）※3</td> <td>0~0.99MPa [gag]</td> <td>2</td> <td>A、B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>格納容器内圧力計（広域）※3</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力計※3</td> <td>0~8.99MPa [gag]</td> <td>6</td> <td>A、B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器バイパスの監視</td> <td>蒸気発生器換熱水位計※3</td> <td>0~100%</td> <td>6</td> <td>C、D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位計※2</td> <td>原子炉容器内の水位を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>主蒸気ライン圧力計※3</td> <td>最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器換熱水位計※3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：分類のうち、重要監視パラメータを計測する常用計器としてのみ使用する。          ※2：分類のうち、重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器としてのみ使用する。          ※3：分類のうち、重要監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器として使用する。</p>	分類	重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器	計測範囲	個数	電源	原子炉容器内の水位	加圧器水位計※1	0~100%	2	C、D 計装用電源	原子炉容器への注水量	加圧器水位計※2	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様			原子炉格納容器内の湿度	格納容器内圧力計（広域）※3	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力計（広域）※3	0~0.99MPa [gag]	2	A、B 計装用電源	最終ヒートシンクの確保	格納容器内圧力計（広域）※3	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			主蒸気ライン圧力計※3	0~8.99MPa [gag]	6	A、B 計装用電源	格納容器バイパスの監視	蒸気発生器換熱水位計※3	0~100%	6	C、D 計装用電源	加圧器水位計※2	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様				主蒸気ライン圧力計※3	最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様				蒸気発生器換熱水位計※3					<p>第1.15.5表 重要監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器（自主対策設備）</p> <table border="1" data-bbox="1314 367 1933 813"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>加圧器水位※2</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>C、D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>加圧器水位※1</td> <td>原子炉圧力容器内の水位を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の湿度</td> <td>原子炉格納容器圧力※1</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉格納容器圧力※2</td> <td>0~0.99MPa [gag]</td> <td>2</td> <td>A、B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水面温度</td> <td>原子炉格納容器圧力※1</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉格納容器圧力※2</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力※2</td> <td>0~8.99MPa [gag]</td> <td>6</td> <td>A、B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器バイパスの監視</td> <td>蒸気発生器水位（狭域）※2</td> <td>0~100%</td> <td>6</td> <td>C、D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位※1</td> <td>原子炉容器内の水位を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>主蒸気ライン圧力※2</td> <td>最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器水位（狭域）※2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：分類のうち、重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器としてのみ使用する。          ※2：分類のうち、重要監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器として使用する。</p>	分類	重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器	計測範囲	個数	電源	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位※2	0~100%	2	C、D 計装用電源	原子炉圧力容器への注水量	加圧器水位※1	原子炉圧力容器内の水位を監視する項目と同様			原子炉格納容器内の湿度	原子炉格納容器圧力※1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力※2	0~0.99MPa [gag]	2	A、B 計装用電源	原子炉格納容器内の水面温度	原子炉格納容器圧力※1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			最終ヒートシンクの確保	原子炉格納容器圧力※2	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			主蒸気ライン圧力※2	0~8.99MPa [gag]	6	A、B 計装用電源	格納容器バイパスの監視	蒸気発生器水位（狭域）※2	0~100%	6	C、D 計装用電源	加圧器水位※1	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様				主蒸気ライン圧力※2	最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様				蒸気発生器水位（狭域）※2				<p>【女川、大飯】          記載方針の相違          ・泊では、多重性を有する重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、自主対策設備を明確にしている。（伊方と同様）</p>
分類	重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器	計測範囲	個数	電源																																																																																																														
原子炉容器内の水位	加圧器水位計※1	0~100%	2	C、D 計装用電源																																																																																																														
原子炉容器への注水量	加圧器水位計※2	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様																																																																																																																
原子炉格納容器内の湿度	格納容器内圧力計（広域）※3	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																																
原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力計（広域）※3	0~0.99MPa [gag]	2	A、B 計装用電源																																																																																																														
最終ヒートシンクの確保	格納容器内圧力計（広域）※3	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																																
	主蒸気ライン圧力計※3	0~8.99MPa [gag]	6	A、B 計装用電源																																																																																																														
格納容器バイパスの監視	蒸気発生器換熱水位計※3	0~100%	6	C、D 計装用電源																																																																																																														
	加圧器水位計※2	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様																																																																																																																
	主蒸気ライン圧力計※3	最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様																																																																																																																
	蒸気発生器換熱水位計※3																																																																																																																	
分類	重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器	計測範囲	個数	電源																																																																																																														
原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位※2	0~100%	2	C、D 計装用電源																																																																																																														
原子炉圧力容器への注水量	加圧器水位※1	原子炉圧力容器内の水位を監視する項目と同様																																																																																																																
原子炉格納容器内の湿度	原子炉格納容器圧力※1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																																
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力※2	0~0.99MPa [gag]	2	A、B 計装用電源																																																																																																														
原子炉格納容器内の水面温度	原子炉格納容器圧力※1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																																
最終ヒートシンクの確保	原子炉格納容器圧力※2	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																																
	主蒸気ライン圧力※2	0~8.99MPa [gag]	6	A、B 計装用電源																																																																																																														
格納容器バイパスの監視	蒸気発生器水位（狭域）※2	0~100%	6	C、D 計装用電源																																																																																																														
	加圧器水位※1	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様																																																																																																																
	主蒸気ライン圧力※2	最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様																																																																																																																
	蒸気発生器水位（狭域）※2																																																																																																																	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大飯発電所3/4号炉

＜伊方発電所3号炉の転載＞

第1.15.4表 有効監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）（1/2）

分類	有効監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	常用代替計器	計測範囲	個数	電源
原子炉容器内の温度	炉心出口温度	1次冷却材温度監視器（広域）	40～550℃	39	E、C 非共用電源
		1次冷却材低温監視器（広域）			
原子炉容器内の圧力	加圧器圧力	1次冷却材圧力	13.9～17.9MPa(gage)	4	A、B、C、D 非共用電源
		蓄圧タンク圧力※2	0～7.99Pa(gage)	6	C、D 非共用電源
原子炉容器内の水位	R/Vタンク下部水位※1 R/Vタンク上部水位	1次冷却材温度監視器（広域）	R.V. ±21.57～ ±22.57m	1	D 非共用電源
		1次冷却材低温監視器（広域）			
原子炉容器への注水量	燃料取替用タンク水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器内層サンプ水位 （広域）	1次冷却材圧力	0～7.99Pa(gage)	6	C、D 非共用電源
		1次冷却材低温監視器（広域）			
原子炉格納容器内の温度	蓄圧タンク圧力※1	1次冷却材圧力	0～60.0mPa	6	C、D 非共用電源
		1次冷却材低温監視器（広域）			
原子炉格納容器内の水位	格納容器スプレイライン流量※1	燃料取替用タンク水位	0～1.30m <sup>3</sup> /h	2	C、D 非共用電源
		格納容器内層サンプ水位 （広域）			
原子炉格納容器内の温度	—	—	—	—	—
原子炉格納容器内の水位	—	—	—	—	—
原子炉格納容器内の水素濃度	ガス分析器による水素濃度※2	—	0～10vol%	1	D2 原子炉コントロールセンター
原子炉格納容器内の水素濃度	アニュウス水素濃度	アニュウス水素濃度（可搬型）	0～20vol%	1	B 直流電源※3
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器Si-10線量モニタ	格納容器高レンジモニタ（広域）	1～10 <sup>4</sup> cps	1	E 非共用電源
		格納容器低レンジモニタ（広域）			
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器Si-10線量モニタ※1	格納容器高レンジモニタ（広域）	10～10 <sup>7</sup> cps	1	E 非共用電源 C1 原子炉コントロールセンター
		格納容器低レンジモニタ（広域）			
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器Si-10線量モニタ※1	格納容器高レンジモニタ（広域）	10～10 <sup>7</sup> cps	1	E 非共用電源 C1 原子炉コントロールセンター
		格納容器低レンジモニタ（広域）			
原子炉格納容器内の放射線量	中間領域中性子検出器	中間領域中性子検出器	-0.5～5.0CPM	2	D 非共用電源
		格納領域中性子検出器			
原子炉格納容器内の放射線量	格納領域中性子検出器	格納領域中性子検出器	-0.5～5.0CPM	2	D 非共用電源
		中間領域中性子検出器			

※1：分類のうち、有効監視パラメータとしてのみ使用する。  
 ※2：分類のうち、常用代替監視パラメータとしてのみ使用する。  
 ※3：通常時、E計装用電源より給電する。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.15.6表 有効監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替計器（自主対策設備）（1/4）

分類	有効監視パラメータ	常用代替計器	計測範囲	個数	電源
原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1次冷却材温度（広域-高温側）	40～1,300℃	39	E 非共用電源
		1次冷却材温度（広域-低温側）			
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器圧力	1次冷却材圧力（広域）	11.0～17.99Pa(gage)	4	A、B、C、D 非共用電源
		1次冷却材純ループ水位※1	1次冷却材温度（広域-高温側） 1次冷却材温度（広域-低温側）	T.F. 22.37～ T.F. 23.14m	2
原子炉圧力容器内の水位	炉心出口温度※2	—	40～1,300℃	39	E 非共用電源
		余熱除去ポンプ出口圧力※2			
原子炉圧力容器内の水位	サフタール度※2	—	-200～200℃	2	E 非共用電源
		燃料取替用ホット水位			
原子炉格納容器内の注水量	充てん流量※1	加圧器水位	0～70m <sup>3</sup> /h	1	E 非共用電源
		格納容器内層サンプ水位（広域）			
原子炉格納容器内の注水量	蓄圧タンク圧力※1	燃料取替用ホット水位	0～70m <sup>3</sup> /h	1	E 非共用電源
		加圧器水位			
原子炉格納容器内の注水量	蓄圧タンク水位※1	原子炉容器水位	0～70m <sup>3</sup> /h	1	E 非共用電源
		格納容器内層サンプ水位（広域）			
原子炉格納容器内の注水量	格納容器スプレイ流量※1	燃料取替用ホット水位	0～1,300m <sup>3</sup> /h	2	E 非共用電源
		格納容器内層サンプ水位（広域）			
原子炉格納容器内の注水量	充てん流量※1	燃料取替用ホット水位	0～70m <sup>3</sup> /h	1	E 非共用電源
		格納容器内層サンプ水位（広域）			
原子炉格納容器内の温度	蓄圧タンク圧力※1	1次冷却材圧力（広域）	0～6.00Pa(gage)	6	E 非共用電源
		1次冷却材温度（広域-低温側）			
原子炉格納容器内の温度	蓄圧タンク水位※1	1次冷却材圧力（広域）	0～100Pa(gage)	6	E 非共用電源
		1次冷却材温度（広域-低温側）			
原子炉格納容器内の注水量	格納容器スプレイ流量※1	燃料取替用ホット水位	0～1,300m <sup>3</sup> /h	2	E 非共用電源
		格納容器内層サンプ水位（広域）			
原子炉格納容器内の注水量	充てん流量※1	燃料取替用ホット水位	0～70m <sup>3</sup> /h	1	E 非共用電源
		格納容器内層サンプ水位（広域）			
原子炉格納容器内の温度	—	—	—	—	—
原子炉格納容器内の圧力	格納容器圧力（狭域）※1	—	-10～30Pa(gage)	1	E 非共用電源
原子炉格納容器内の水位	—	—	—	—	—
原子炉格納容器内の水素濃度	ガス分析器による水素濃度※2	—	0～100vol%	1	A1 原子炉コントロールセンター
原子炉格納容器内の水素濃度	アニュウス水素濃度	アニュウス水素濃度（可搬型）	0～20vol%	1	B 非共用電源

※1：分類のうち、有効監視パラメータを計測する常用計器としてのみ使用する。  
 ※2：分類のうち、有効監視パラメータを計測する常用代替計器としてのみ使用する。  
 ※3：通常時、E計装用電源より給電する。

【女川、大飯】  
 記載方針の相違  
 ・泊では、有効監視パラメータの自主対策設備を明確にしている。（伊方と同様）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載範囲、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

<伊方発電所3号炉の転載>

第1.15.4表 有効監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）（2/2）

分類	有効監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	個数	電源
最終ヒートシシタの監視	格納容器再循環ユニットA、B再循環流量※1	格納容器内温度 格納容器内圧力（広域）	0～10m <sup>3</sup> /h	2	—
	原子炉補機冷却水サージタンク出口圧力※1	原子炉補機冷却水サージタンク加圧タンク圧力	0～0.0MPa	1	—
	主蒸気ライン流量※1	主蒸気ライン圧力	0～1,000t/h	9	A、B、C 計装用電源
		蒸気発生器凝縮水位			
蒸気発生器蒸気水位					
格納容器バイパスの監視	格納容器再循環ユニット※1	蒸気発生器凝縮水位 主蒸気ライン圧力	10～10 <sup>5</sup> cm	1	B 計装用電源 C 原子炉コントロールセンタ
	蒸気発生器ブローダクセルユニット※1	蒸気発生器凝縮水位 主蒸気ライン圧力	10～10 <sup>5</sup> cm	1	E 計装用電源
		蒸気発生器蒸気水位	1～10 <sup>5</sup> cm	3	E 計装用電源
	補助凝縮器蒸気モニタ※1	1次冷却材圧力	10～10 <sup>5</sup> cm	2	C、D 計装用電源 D1、D2 原子炉コントロールセンタ
		加圧器水位			
		格納容器再循環ポンプ水位（広域）			
		蒸気発生器凝縮水位			
	補助凝縮器ポンプ水位※1	1次冷却材圧力	0～100%	1	A、B 計装用電源
		加圧器水位			
		格納容器再循環ポンプ水位（広域）			
蒸気発生器凝縮水位					
蒸気発生器ポンプ出口圧力※1	1次冷却材圧力	0～6.1MPa(gage)	2	B、C 計装用電源	
	加圧器水位				
	格納容器再循環ポンプ水位（広域）				
	蒸気発生器凝縮水位				
加圧器圧力※2	—	—	11.0～11.7MPa [gage]	4	A、B、C、D 計装用電源
	格納容器ブレイクライン流量※2	—	0～1,800m <sup>3</sup> /h	2	C、D 計装用電源
	汽てんライン流量※2	—	0～7m <sup>3</sup> /h	1	B 計装用電源
	緊急停止後圧力ライン流量※2	—	0～30m <sup>3</sup> /h	1	D 計装用電源
原子炉補機冷却水流量※2	—	—	0～6.0m <sup>3</sup> /h (0～800.00m <sup>3</sup> )	1	D 計装用電源

※1：分種のうち、有効監視パラメータとしてのみ使用する。  
 ※2：分種のうち、常用代替監視パラメータとしてのみ使用する。

第1.15.6表 有効監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替計器（自主対策設備）（2/4）

分類	有効監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	個数	電源	
原子炉格納容器内の放射線量率	モニタリングポスト※1	—	8.7×10 <sup>3</sup> ～ 1.0×10 <sup>6</sup> cp/h	8	B+C 原子炉制御	
	モニタリングポストモニタ※2		1.0×10 <sup>3</sup> ～ 1.0×10 <sup>6</sup> cp/h			
	エアロックエリアモニタ	格納容器内高レンジエリアモニタ（広レンジ）	1～10 <sup>5</sup> cp/h	4	E 計装用電源	
	炉内格納容器領域エリアモニタ	格納容器内高レンジエリアモニタ（広レンジ）	1～10 <sup>5</sup> cp/h	4	E 計装用電源	
		格納容器じんあいモニタ※1	格納容器内高レンジエリアモニタ（広レンジ）	10～10 <sup>5</sup> cpm	1	E 計装用電源 A1 原子炉制御センタ
	格納容器ガスモニタ※1	格納容器内高レンジエリアモニタ（広レンジ）	10～10 <sup>5</sup> cpm	1	E 計装用電源 A1 原子炉制御センタ	
中間領域起動率		中間領域中性子率 中性子舞領域中性子率	0.5～5.00PM	2	E 計装用電源	
	中性子舞領域起動率	中性子舞領域中性子率 中間領域中性子率	0.5～5.00PM	2	E 計装用電源	
最終ヒートシシタの確保		原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用）※1	原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）	0～1.60Pa[gage]	4	—
	C、D—格納容器再循環ユニット補機冷却水流量※1	格納容器内温度 原子炉格納容器圧力	0～120m <sup>3</sup> /h	2	—	
	C、D—原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度※1	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	0～100℃	2	E 計装用電源	
	原子炉補機冷却水戻り出口温度※1	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	0～100℃	1	E 計装用電源	
		主蒸気流量※1	主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位（狭域） 蒸気発生器水位（広域） 補助給水流量	0～2,000t/h	9	E 計装用電源
	格納容器バイパスの監視	格納容器再循環ユニット※1	蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	10～10 <sup>5</sup> cm	1	E 計装用電源 A1 原子炉制御センタ
		蒸気発生器ブローダクセルユニット※1	蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	10～10 <sup>5</sup> cm	1	E 計装用電源
			高感度型主蒸気管モニタ※1	蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	1～10 <sup>5</sup> cm	3
		1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位		—	—	—
	格納容器再循環ポンプ水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域） 蒸気発生器水位（広域） 主蒸気ライン圧力	10～10 <sup>5</sup> cm	2	E 計装用電源 A1、B1 原子炉制御センタ	

※1：分種のうち、有効監視パラメータを計測する常用計器としてのみ使用する。  
 ※2：分種のうち、有効監視パラメータを計測する常用代替計器としてのみ使用する。

【女川、大飯】  
 記載方針の相違  
 ・泊では、有効監視パラメータの自主対策設備を明確にしている。（伊方と同様）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
		第1.15.6表 有効監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替計器 （自主対策設備）（3/4）	【女川、大飯】 記載方針の相違 ・泊では、有効監視パラメータの自主対策設備を明確にしている。（伊方と同様）																																																																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>有効監視パラメータ</th> <th>重要代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">格納容器バイパスの監視</td> <td rowspan="5">格納容器内蒸気モニタ（低レンジ）**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="5">10～10<sup>3</sup>psig</td> <td rowspan="5">1</td> <td rowspan="5">E 計装用電源 目録子母 コンタクト</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気センサ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">格納容器内蒸気モニタ（高レンジ）**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="5">10～10<sup>3</sup>psig</td> <td rowspan="5">1</td> <td rowspan="5">E 計装用電源 目録子母 コンタクト</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気センサ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補助建屋タンク水位**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="3">0～100%</td> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">F 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気センサ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器バイパスの監視</td> <td rowspan="4">余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="4">0～5.0MPa(gauge)</td> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="4">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気センサ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">水源の確保</td> <td rowspan="2">加圧器圧力**</td> <td>—</td> <td>11.0～17.0MPa(gauge)</td> <td>4</td> <td>A, B, C, D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0～1.0MPa(gauge)</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器過熱タンク圧力**</td> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器過熱タンク水位**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0～100%</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器過熱タンク温度**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0～150℃</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去冷却器入口温度**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0～200℃</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去冷却器出口温度**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0～200℃</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器センサ水位**</td> <td>—</td> <td rowspan="2">0～100%</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">A, E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレッド流量**</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td rowspan="3">充てん流量**</td> <td>—</td> <td>0～20m<sup>3</sup>/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>0～35m<sup>3</sup>/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>0～35m<sup>3</sup>/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> </tbody> </table>	分類	有効監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	個数	電源	格納容器バイパスの監視	格納容器内蒸気モニタ（低レンジ）**	1次冷却材圧力（広域）	10～10 <sup>3</sup> psig	1	E 計装用電源 目録子母 コンタクト	加圧器水位	格納容器内蒸気センサ水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	主蒸気ライン圧力	格納容器内蒸気モニタ（高レンジ）**	1次冷却材圧力（広域）	10～10 <sup>3</sup> psig	1	E 計装用電源 目録子母 コンタクト	加圧器水位	格納容器内蒸気センサ水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	主蒸気ライン圧力	補助建屋タンク水位**	1次冷却材圧力（広域）	0～100%	2	F 計装用電源	加圧器水位	格納容器内蒸気センサ水位（広域）	格納容器バイパスの監視	余熱除去ポンプ出口圧力	1次冷却材圧力（広域）	0～5.0MPa(gauge)	2	E 計装用電源	加圧器水位	格納容器内蒸気センサ水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	加圧器圧力**	—	11.0～17.0MPa(gauge)	4	A, B, C, D 計装用電源	1次冷却材圧力（広域）	0～1.0MPa(gauge)	1	E 計装用電源	加圧器過熱タンク圧力**	加圧器水位	加圧器過熱タンク水位**	1次冷却材圧力（広域）	0～100%	1	E 計装用電源	加圧器水位	加圧器過熱タンク温度**	1次冷却材圧力（広域）	0～150℃	1	E 計装用電源	加圧器水位	余熱除去冷却器入口温度**	1次冷却材圧力（広域）	0～200℃	2	E 計装用電源	加圧器水位	余熱除去冷却器出口温度**	1次冷却材圧力（広域）	0～200℃	2	E 計装用電源	加圧器水位	格納容器センサ水位**	—	0～100%	2	A, E 計装用電源	格納容器スプレッド流量**	水源の確保	充てん流量**	—	0～20m <sup>3</sup> /h	1	E 計装用電源	—	0～35m <sup>3</sup> /h	1	E 計装用電源	—	0～35m <sup>3</sup> /h	1	E 計装用電源
分類	有効監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	個数	電源																																																																																														
格納容器バイパスの監視	格納容器内蒸気モニタ（低レンジ）**	1次冷却材圧力（広域）	10～10 <sup>3</sup> psig	1	E 計装用電源 目録子母 コンタクト																																																																																														
		加圧器水位																																																																																																	
		格納容器内蒸気センサ水位（広域）																																																																																																	
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																	
		主蒸気ライン圧力																																																																																																	
	格納容器内蒸気モニタ（高レンジ）**	1次冷却材圧力（広域）	10～10 <sup>3</sup> psig	1	E 計装用電源 目録子母 コンタクト																																																																																														
		加圧器水位																																																																																																	
		格納容器内蒸気センサ水位（広域）																																																																																																	
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																	
		主蒸気ライン圧力																																																																																																	
	補助建屋タンク水位**	1次冷却材圧力（広域）	0～100%	2	F 計装用電源																																																																																														
		加圧器水位																																																																																																	
		格納容器内蒸気センサ水位（広域）																																																																																																	
	格納容器バイパスの監視	余熱除去ポンプ出口圧力	1次冷却材圧力（広域）	0～5.0MPa(gauge)	2	E 計装用電源																																																																																													
			加圧器水位																																																																																																
格納容器内蒸気センサ水位（広域）																																																																																																			
蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																			
水源の確保	加圧器圧力**	—	11.0～17.0MPa(gauge)	4	A, B, C, D 計装用電源																																																																																														
		1次冷却材圧力（広域）	0～1.0MPa(gauge)	1	E 計装用電源																																																																																														
	加圧器過熱タンク圧力**	加圧器水位																																																																																																	
	加圧器過熱タンク水位**	1次冷却材圧力（広域）	0～100%	1	E 計装用電源																																																																																														
		加圧器水位																																																																																																	
	加圧器過熱タンク温度**	1次冷却材圧力（広域）	0～150℃	1	E 計装用電源																																																																																														
		加圧器水位																																																																																																	
	余熱除去冷却器入口温度**	1次冷却材圧力（広域）	0～200℃	2	E 計装用電源																																																																																														
		加圧器水位																																																																																																	
	余熱除去冷却器出口温度**	1次冷却材圧力（広域）	0～200℃	2	E 計装用電源																																																																																														
		加圧器水位																																																																																																	
	格納容器センサ水位**	—	0～100%	2	A, E 計装用電源																																																																																														
		格納容器スプレッド流量**																																																																																																	
	水源の確保	充てん流量**	—	0～20m <sup>3</sup> /h	1	E 計装用電源																																																																																													
			—	0～35m <sup>3</sup> /h	1	E 計装用電源																																																																																													
—			0～35m <sup>3</sup> /h	1	E 計装用電源																																																																																														
		*1：分類のうち、有効監視パラメータを計測する常用計器としてのみ使用する。 *2：分類のうち、有効監視パラメータを計測する常用代替計器としてのみ使用する。																																																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																											
		<p>第1.15.6表 有効監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替計器                      (自主対策設備) (4/4)</p> <table border="1" data-bbox="1339 272 1924 496"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>有効監視パラメータ</th> <th>重要代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>根拠</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">使用済燃料ピットの監視</td> <td>使用済燃料ピット水位</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>32.26~32.76m</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度</td> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>0~100℃</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピットエリアモニタ</td> <td>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ</td> <td>1~10<sup>2</sup>μSv/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>異常型本温計**</td> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>-40~510℃</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>異常型水位計**</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> <td>T.P.29.29~33.10m</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">異常型水位・水温計**</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>T.P.29.29~33.10m</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>T.P.29.29~33.10m</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：分類のうち、有効監視パラメータを計測する常用計器としてのみ使用する。                      *2：分類のうち、有効監視パラメータを計測する常用代替計器としてのみ使用する。</p>	分類	有効監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	根拠	電源	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型)	32.26~32.76m	2	E 計装用電源	使用済燃料ピット温度	使用済燃料ピット温度 (AM用)	0~100℃	2	E 計装用電源	使用済燃料ピットエリアモニタ	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1~10 <sup>2</sup> μSv/h	1	E 計装用電源	異常型本温計**	使用済燃料ピット温度 (AM用)	-40~510℃	1	—	異常型水位計**	使用済燃料ピット水位 (AM用)	T.P.29.29~33.10m	1	—	異常型水位・水温計**	使用済燃料ピット水位 (AM用)	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	T.P.29.29~33.10m	1	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	T.P.29.29~33.10m	1	—	<p>【女川、大飯】                      記載方針の相違                      ・泊では、有効監視パラメータの自主対策設備を明確にしている。(伊方と同様)</p>
分類	有効監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	根拠	電源																																									
使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型)	32.26~32.76m	2	E 計装用電源																																									
	使用済燃料ピット温度	使用済燃料ピット温度 (AM用)	0~100℃	2	E 計装用電源																																									
	使用済燃料ピットエリアモニタ	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1~10 <sup>2</sup> μSv/h	1	E 計装用電源																																									
	異常型本温計**	使用済燃料ピット温度 (AM用)	-40~510℃	1	—																																									
	異常型水位計**	使用済燃料ピット水位 (AM用)	T.P.29.29~33.10m	1	—																																									
	異常型水位・水温計**	使用済燃料ピット水位 (AM用)	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	T.P.29.29~33.10m	1	—																																								
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	T.P.29.29~33.10m	1	—																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大阪発電所3/4号炉

第1.15.5表 有効な監視パラメータ（多様性抵禦設備）の監視・記録について（1/2）

分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		記録	
		可否	要否理由	記録先	備考
原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	可	重大事故等対応設備である1次冷却材温度計（広域）及び1次冷却材温度計（広域）の計測範囲を超えた場合に原子炉圧力容器内の温度を推定するために必要。	SPDS	
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器圧力	可	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力にて推定可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉圧力容器内の水位	1次冷却材水位	可	重大事故等対応設備である1次冷却材水位温度（広域）及び1次冷却材温度計（広域）により推定可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉圧力容器内の注水量	充てん水流量	可	重大事故等対応設備である燃料冷却用ボット水位、加圧器水位及び原子炉水位により推定可能なため、測定は必須としない。	SPDS	
	加圧器タンク圧力	可	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び1次冷却材温度計（広域）により推定可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。
	加圧器タンク水位	可	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び1次冷却材温度計（広域）により推定可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。
	AM用排水流量	可	重大事故等対応設備である冷却材流量、加圧器水位及び原子炉水位にて推定可能なため、測定は必須としない。	記録計	
原子炉格納容器内の注水量	格納容器スプレイレイ流量	可	重大事故等対応設備である格納容器スプレイレイ流量にて推定可能なため、測定は必須としない。	SPDS	
	AM用排水流量	可	重大事故等対応設備である格納容器スプレイレイ流量、蒸気ボット水位及び格納容器内液位シンプ水位（広域）にて推定可能なため、測定は必須としない。	記録計	
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器エアロロク区域エリアモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器じんあいモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器ガモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
中間領域の維持又は監視	中間領域起動率	否	—	—	中間領域中性子束の記録（SPDS）で代替する。
	中性子前領域起動率	否	—	—	中性子前領域中性子束の記録（SPDS）で代替する。
最終ヒートシンクの確保	AM用原子炉補機冷却水サーシャタング圧力	否	重大事故等対応設備である原子炉補機冷却水サーシャタング加圧器圧力にて推定可能なため、測定は必須としない。	現地記録	
	格納容器再循環ユニット冷却水流量	否	現場指示計であるため測定対象外。	—	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の記録（SPDS）で代替する。
蒸気発生器主蒸気流量		可	重大事故等対応設備である主蒸気圧力、蒸気発生器水位（狭域）、蒸気発生器水位（広域）及び蒸気発生器補給水流量により推定可能なため、測定は必須としない。	記録計	

※：炉心出口温度は、熱電対にて温度測定していることから、可搬型計測器にて測定する場合は、炉内監視盤にて熱電対側の信号線に可搬型計測器を接続して直流電圧を測定する。

女川原子力発電所2号炉

第1.15-5表 有効監視パラメータ（自主対策設備）の監視・記録について

分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		記録	
		可否	要否理由	記録先	備考
原子炉格納容器内の放射線量率	エリア放射線モニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	中央制御室記録計	
表層界の維持又は確認	制御棒位置指示系	否	可搬型計測器での計測対象外。	プロセス計算機SPDS伝送装置	
格納容器バイパスの監視	エリア放射線モニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	中央制御室記録計	

泊発電所3号炉

第1.15.7表 有効監視パラメータ（自主対策設備）の監視・記録について（1/2）

分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		記録	
		可否	要否理由	記録先	備考
原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	可	重大事故等対応設備である1次冷却材温度（広域～広域）及び1次冷却材温度（広域～広域）の計測範囲を超えた場合に原子炉圧力容器内の温度を推定するために必要。	データ伝送設備（発電所内）	最大、平均
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器圧力	可	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力（広域）にて推定可能なため、測定は必須としない。	プラント計算機	
原子炉圧力容器内の水位	1次冷却材水位	可	重大事故等対応設備である1次冷却材温度（広域～広域）及び1次冷却材温度（広域～広域）により推定可能なため、測定は必須としない。	データ伝送設備（発電所内）	
原子炉圧力容器内の注水量	格納容器スプレイレイ流量	可	重大事故等対応設備である燃料冷却用ボット水位、加圧器水位及び原子炉水位により推定可能なため、測定は必須としない。	データ伝送設備（発電所内）	
	充てん水流量	可	重大事故等対応設備である燃料冷却用ボット水位、加圧器水位及び原子炉水位により推定可能なため、測定は必須としない。	データ伝送設備（発電所内）	
	加圧器タンク圧力	可	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域～広域）により推定可能なため、測定は必須としない。	プラント計算機	警報記録
	加圧器タンク水位	可	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域～広域）により推定可能なため、測定は必須としない。	プラント計算機	警報記録
原子炉格納容器内の注水量	充てん水流量	可	重大事故等対応設備である燃料冷却用ボット水位、加圧器水位及び原子炉水位により推定可能なため、測定は必須としない。	データ伝送設備（発電所内）	
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器スプレイレイ流量	可	重大事故等対応設備である燃料冷却用ボット水位、加圧器水位及び原子炉水位により推定可能なため、測定は必須としない。	データ伝送設備（発電所内）	
	アロクス水素濃度	可	重大事故等対応設備であるアロクス水素濃度（可搬型）にて推定可能なため、測定は必須としない。	データ伝送設備（発電所内）	
原子炉格納容器内の放射線量率	炉内放射線モニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計算機	
	格納容器じんあいモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計算機	
	格納容器ガモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計算機	
	中間領域起動率	否	—	—	中間領域中性子束の記録（データ伝送設備）で代替する。
最終ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水サーシャタング圧力（AM用）	否	現場指示計であるため測定対象外。	記録用紙	原子炉補機冷却水サーシャタング加圧器の記録（データ伝送設備）に記録する。
	C、D、格納容器再循環ユニット補機冷却水流量	否	現場指示計であるため測定対象外。	—	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の記録（データ伝送設備）で代替する。
最終ヒートシンクの確保	C、D、原子炉補機冷却水サーシャタング出口補機冷却水温度	可	重大事故等対応設備である可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）にて推定可能なため、測定は必須としない。	プラント計算機	
	原子炉補機冷却水サーシャタング温度	可	重大事故等対応設備である可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）にて推定可能なため、測定は必須としない。	記録用紙	データ伝送設備に記録する。
蒸気発生器主蒸気流量		可	重大事故等対応設備である主蒸気圧力、蒸気発生器水位（狭域）、蒸気発生器水位（広域）及び蒸気発生器補給水流量にて推定可能なため、測定は必須としない。	プラント計算機	

※：炉心出口温度は、熱電対にて温度測定していることから、可搬型計測器にて測定する場合は、1次冷却材温度計にて熱電対側の信号線に可搬型計測器を接続して直流電圧を測定する。

【大阪】設備構成の相違  
 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計測範囲等の相違はあるが、基本的な設備構成は同様である。

【女川】炉型の相違  
 ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
第1.15.5表 有効な監視パラメータ（多様性拡張設備）の監視・記録について（2/2）				第1.15.7表 有効監視パラメータ（自主対策設備）の監視・記録について（2/2）		【大飯】記載方針の相違・相違理由②	
分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		記録		監視	備考
		計測可否	理由	記録先	備考		
格納容器パイプの監視	復水器空気抽出装置ガスモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			
	蒸気発生器ブローダウン水モニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			
	高感度型主蒸気管モニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			
	排気筒ガスモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			
	原子炉現出建屋サンプタンク水位	否	可搬型計測器での計測対象外。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。		
	余熱除去ポンプ吐出圧力	可	否	1次冷却材圧力、蒸気発生器水位（監視）、主蒸気圧力、加圧器水位、格納容器再循環タンク水位（広域）にて測定可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
	加圧器過しがタンク圧力（広域）	可	否	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び加圧器水位にてインターフェイスシステムLOCAの傾向監視は可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
	加圧器過しがタンク水位	可	否	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び加圧器水位にてインターフェイスシステムLOCAの傾向監視は可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
	加圧器過しがタンク温度	可	否	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び加圧器水位にてインターフェイスシステムLOCAの傾向監視は可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
格納容器パイプの監視	復水器空気抽出装置ガスモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			
	蒸気発生器ブローダウン水モニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			
	高感度型主蒸気管モニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			
	排気筒ガスモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			
	原子炉現出建屋サンプタンク水位	否	可搬型計測器での計測対象外。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。		
	余熱除去ポンプ吐出圧力	可	否	1次冷却材圧力、蒸気発生器水位（監視）、主蒸気圧力、加圧器水位、格納容器再循環タンク水位（広域）にて測定可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
	加圧器過しがタンク圧力（広域）	可	否	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び加圧器水位にてインターフェイスシステムLOCAの傾向監視は可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
	加圧器過しがタンク水位	可	否	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び加圧器水位にてインターフェイスシステムLOCAの傾向監視は可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
	加圧器過しがタンク温度	可	否	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び加圧器水位にてインターフェイスシステムLOCAの傾向監視は可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	可	否	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環タンク水位（広域）、蒸気発生器水位（監視）及び主蒸気管圧力（高圧）にて測定可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
	使用済燃料ピット温度	可	否	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位にてインターフェイスシステムLOCAの傾向監視は可能なため、測定は必須としない。	警報記録	プラント計算機にて警報を記録する。	
	使用済燃料ピットニオブモニタ	否	可搬型計測器での計測対象外。	記録計			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p> <p>第1.15.2図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>第1.15.1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第1.15.1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川、大飯】              記載表現の相違</p>

1.15 事故時の計装に関する手順書

<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p>
<p>第1.15.1 重大事故時に発生するべき必要なパラメータは、以下の項目の計装要素、操作手順に関するパラメータをいふ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の発生を行う過程で運転員が把握する計装要素</li> <li>・事故の発生して直後に運転員が把握する計装要素</li> <li>・事故の発生して直後に運転員が把握する計装要素</li> <li>・事故の発生して直後に運転員が把握する計装要素</li> </ul> <p>※2： 発生した主要なパラメータに対する代替パラメータが抽出される。(重要代替計装要素は計装要素の抽出に用いられる。)</p> <p>第1.15.2 表 電圧降下時の選定方法の要領</p> <p>第1.15.3 表 電圧降下時の選定方法の要領</p>	<p>第1.15.1 表 重大事故時に必要なパラメータの選定方法の要領</p> <p>第1.15.2 表 電圧降下時の選定方法の要領</p> <p>第1.15.3 表 電圧降下時の選定方法の要領</p>	<p>第1.15-2 図 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー</p> <p>※1： 発生するべきパラメータは、以下の項目の計装要素、操作手順に関するパラメータをいふ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の発生を行う過程で運転員が把握する計装要素</li> <li>・事故の発生して直後に運転員が把握する計装要素</li> <li>・事故の発生して直後に運転員が把握する計装要素</li> <li>・事故の発生して直後に運転員が把握する計装要素</li> </ul> <p>※2： 発生した主要なパラメータに対する代替パラメータが抽出される。(重要代替計装要素は計装要素の抽出に用いられる。)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・相違理由②</p> <p>【大飯】設計方針の相違 ・相違理由⑩(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 設備の相違 ・泊は重大事故等対処設備の操作はハードウェア又はソフトウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯以外に画面表示がある(柏崎、東二、島根も同様)。女川はハードウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯のみ。</p> <p>第1.15.2 図 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー</p>

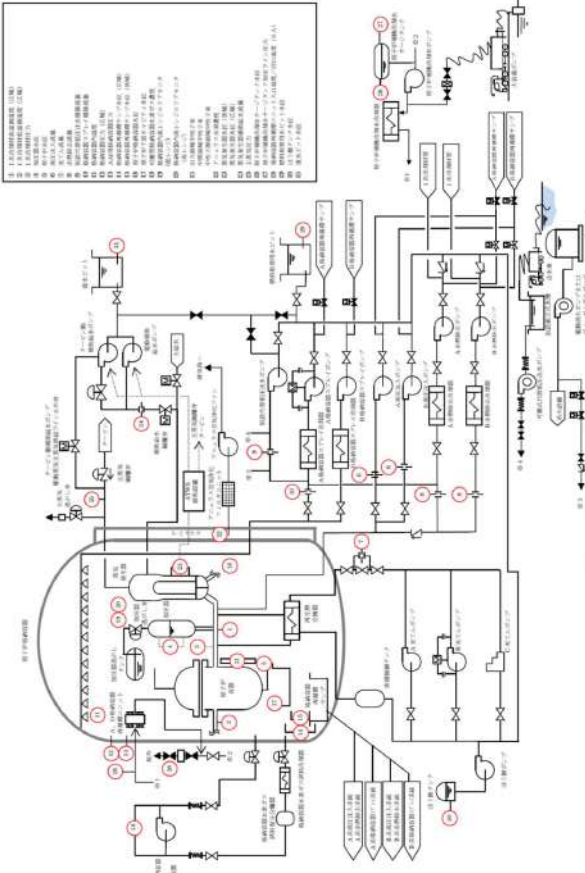
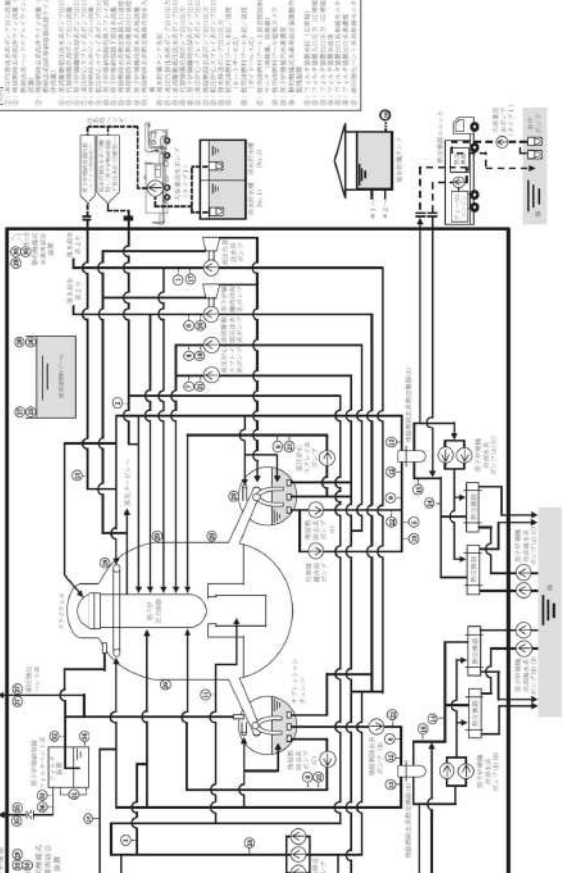
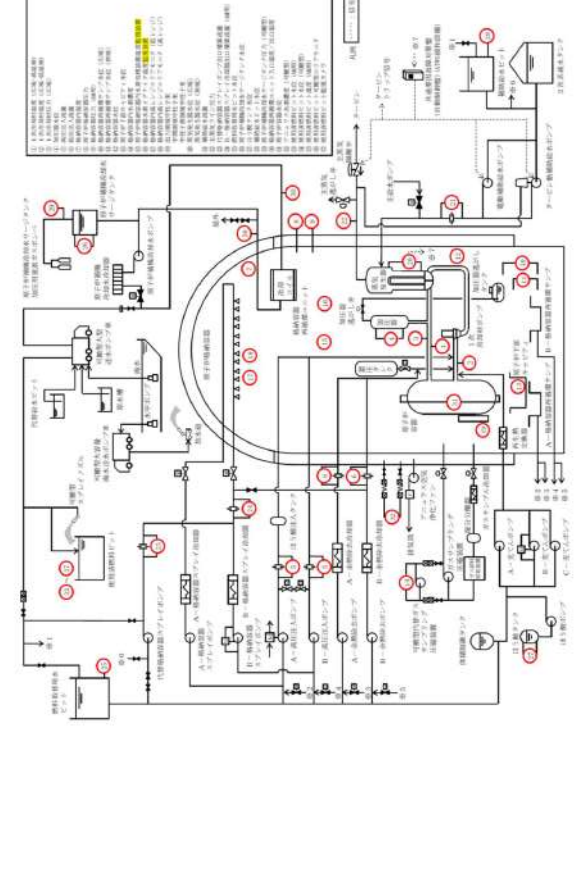


1.15 事故時の計装に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

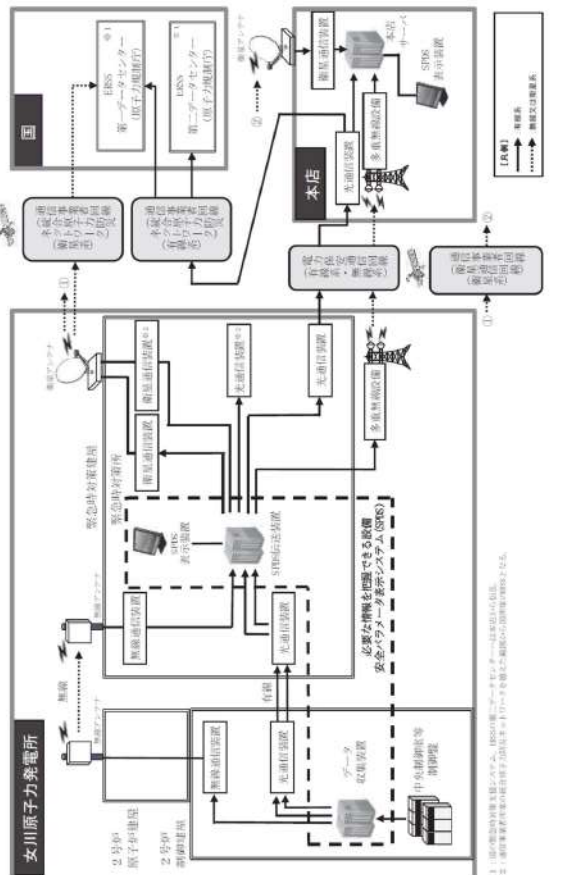
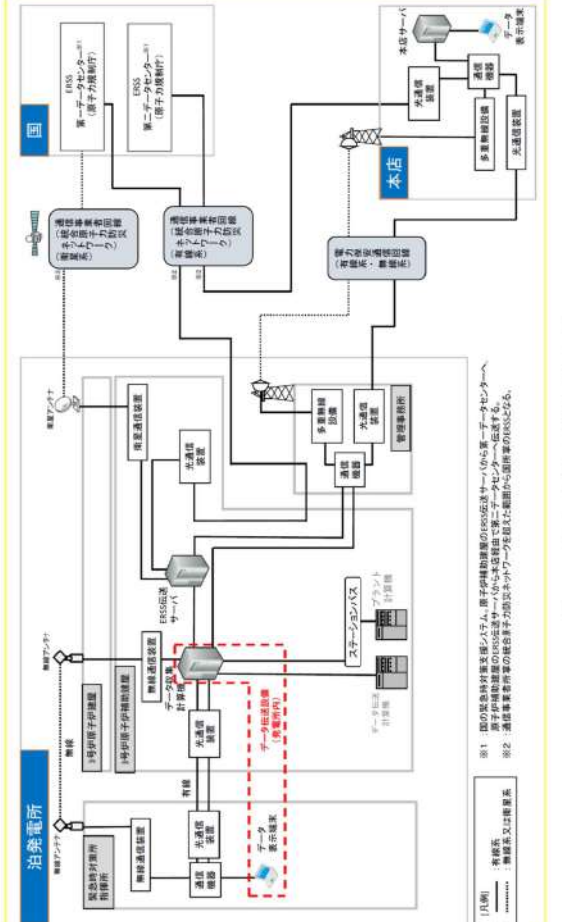
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.15.3図 各計器の概要図</p>	 <p>第1.15-3図 主要設備 系統概要図 (1/3)</p>	 <p>第1.15.4図 主要設備 系統概要図 (1/2)</p>	<p>【大飯】                      記載方針の相違                      ・相違理由②④</p> <p>【女川】 炉型の相違                      ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">第1.15-3図 主要設備 系統概要図 (2/3)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女川原子力発電所</li> <li>○ 女川原子力1号炉</li> <li>○ 女川原子力2号炉</li> <li>○ 女川原子力3号炉</li> <li>○ 女川原子力4号炉</li> <li>○ 女川原子力5号炉</li> <li>○ 女川原子力6号炉</li> <li>○ 女川原子力7号炉</li> <li>○ 女川原子力8号炉</li> <li>○ 女川原子力9号炉</li> <li>○ 女川原子力10号炉</li> <li>○ 女川原子力11号炉</li> <li>○ 女川原子力12号炉</li> <li>○ 女川原子力13号炉</li> <li>○ 女川原子力14号炉</li> <li>○ 女川原子力15号炉</li> <li>○ 女川原子力16号炉</li> <li>○ 女川原子力17号炉</li> <li>○ 女川原子力18号炉</li> <li>○ 女川原子力19号炉</li> <li>○ 女川原子力20号炉</li> <li>○ 女川原子力21号炉</li> <li>○ 女川原子力22号炉</li> <li>○ 女川原子力23号炉</li> <li>○ 女川原子力24号炉</li> <li>○ 女川原子力25号炉</li> <li>○ 女川原子力26号炉</li> <li>○ 女川原子力27号炉</li> <li>○ 女川原子力28号炉</li> <li>○ 女川原子力29号炉</li> <li>○ 女川原子力30号炉</li> <li>○ 女川原子力31号炉</li> <li>○ 女川原子力32号炉</li> <li>○ 女川原子力33号炉</li> <li>○ 女川原子力34号炉</li> <li>○ 女川原子力35号炉</li> <li>○ 女川原子力36号炉</li> <li>○ 女川原子力37号炉</li> <li>○ 女川原子力38号炉</li> <li>○ 女川原子力39号炉</li> <li>○ 女川原子力40号炉</li> <li>○ 女川原子力41号炉</li> <li>○ 女川原子力42号炉</li> <li>○ 女川原子力43号炉</li> <li>○ 女川原子力44号炉</li> <li>○ 女川原子力45号炉</li> <li>○ 女川原子力46号炉</li> <li>○ 女川原子力47号炉</li> <li>○ 女川原子力48号炉</li> <li>○ 女川原子力49号炉</li> <li>○ 女川原子力50号炉</li> <li>○ 女川原子力51号炉</li> <li>○ 女川原子力52号炉</li> <li>○ 女川原子力53号炉</li> <li>○ 女川原子力54号炉</li> <li>○ 女川原子力55号炉</li> <li>○ 女川原子力56号炉</li> <li>○ 女川原子力57号炉</li> <li>○ 女川原子力58号炉</li> <li>○ 女川原子力59号炉</li> <li>○ 女川原子力60号炉</li> <li>○ 女川原子力61号炉</li> <li>○ 女川原子力62号炉</li> <li>○ 女川原子力63号炉</li> <li>○ 女川原子力64号炉</li> <li>○ 女川原子力65号炉</li> <li>○ 女川原子力66号炉</li> <li>○ 女川原子力67号炉</li> <li>○ 女川原子力68号炉</li> <li>○ 女川原子力69号炉</li> <li>○ 女川原子力70号炉</li> <li>○ 女川原子力71号炉</li> <li>○ 女川原子力72号炉</li> <li>○ 女川原子力73号炉</li> <li>○ 女川原子力74号炉</li> <li>○ 女川原子力75号炉</li> <li>○ 女川原子力76号炉</li> <li>○ 女川原子力77号炉</li> <li>○ 女川原子力78号炉</li> <li>○ 女川原子力79号炉</li> <li>○ 女川原子力80号炉</li> <li>○ 女川原子力81号炉</li> <li>○ 女川原子力82号炉</li> <li>○ 女川原子力83号炉</li> <li>○ 女川原子力84号炉</li> <li>○ 女川原子力85号炉</li> <li>○ 女川原子力86号炉</li> <li>○ 女川原子力87号炉</li> <li>○ 女川原子力88号炉</li> <li>○ 女川原子力89号炉</li> <li>○ 女川原子力90号炉</li> <li>○ 女川原子力91号炉</li> <li>○ 女川原子力92号炉</li> <li>○ 女川原子力93号炉</li> <li>○ 女川原子力94号炉</li> <li>○ 女川原子力95号炉</li> <li>○ 女川原子力96号炉</li> <li>○ 女川原子力97号炉</li> <li>○ 女川原子力98号炉</li> <li>○ 女川原子力99号炉</li> <li>○ 女川原子力100号炉</li> </ul> </div>		<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRでは想定される重大事故等及び対処するために監視するパラメータが異なり、女川はパラメータ数が多いことから格納容器内を示した図を記載しているのに対し、泊では前段の1つの図で示している。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

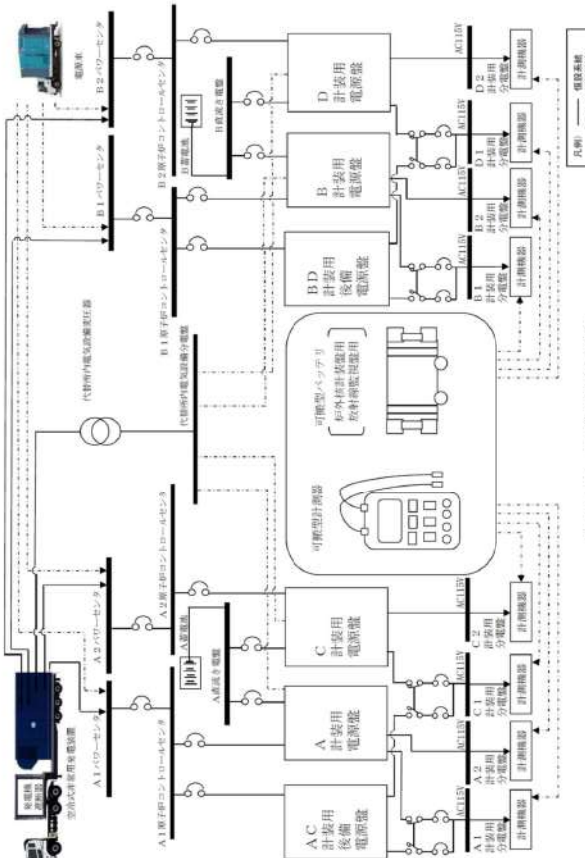
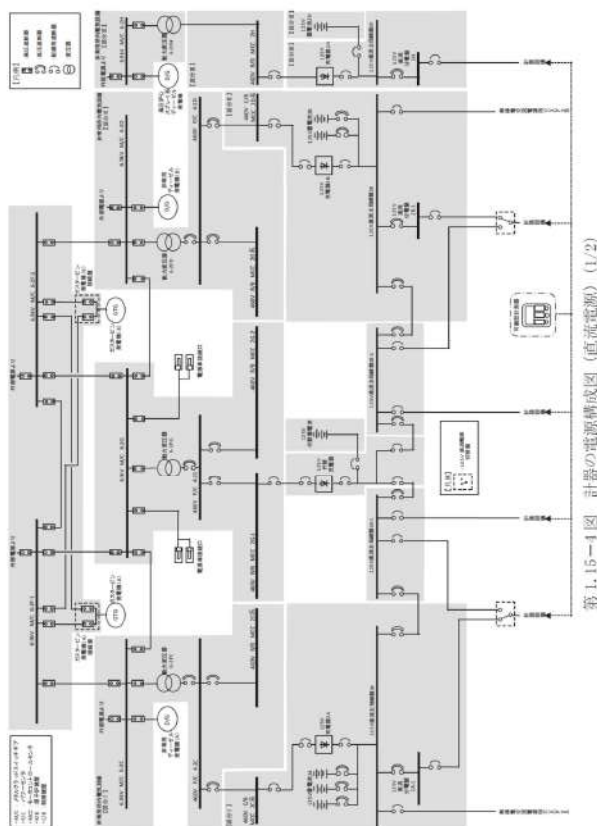
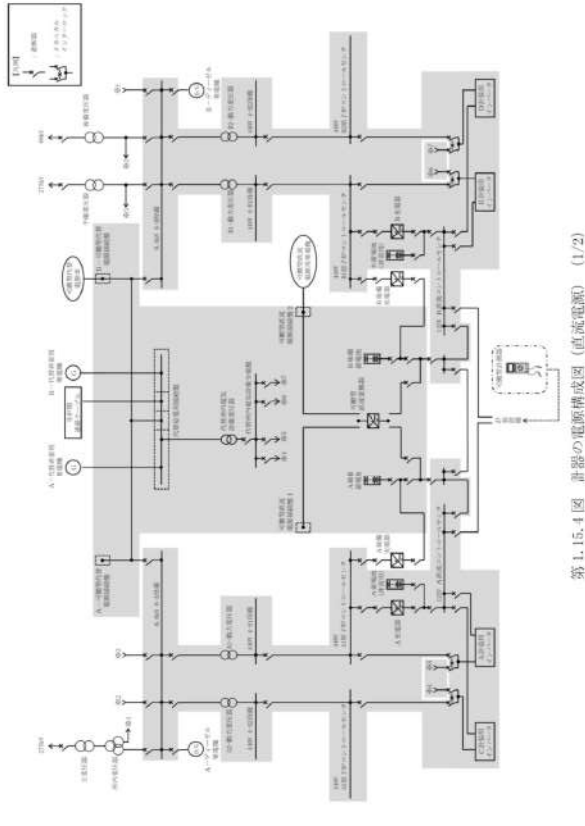
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.15-3図 主要設備 系統概要図 (3/3)</p>	 <p>第1.15.3図 主要設備 系統概要図 (2/2)</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は女川実績を反映し、パラメータ記録時に使用する設備の概略系統図を記載している。</li> </ul> <p>【女川】設備の相違（相違理由④）</p>

1.15 事故時の計装に関する手順書

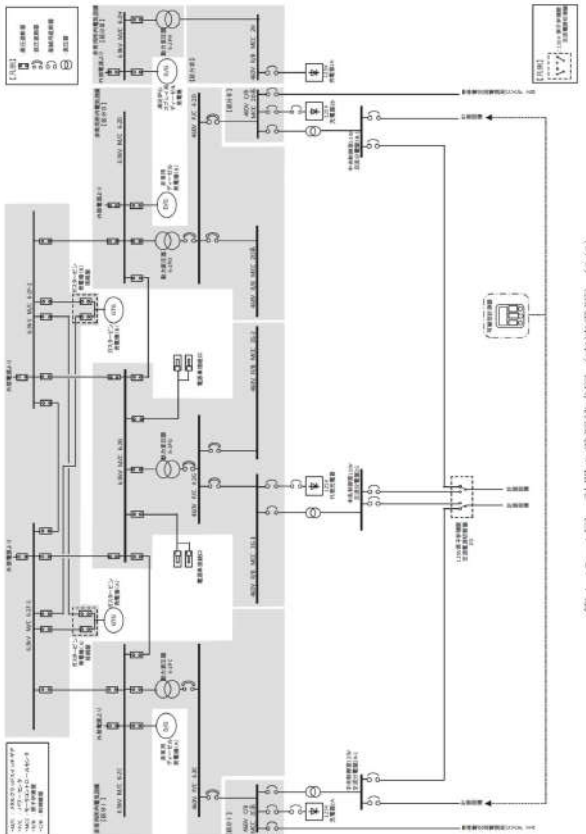
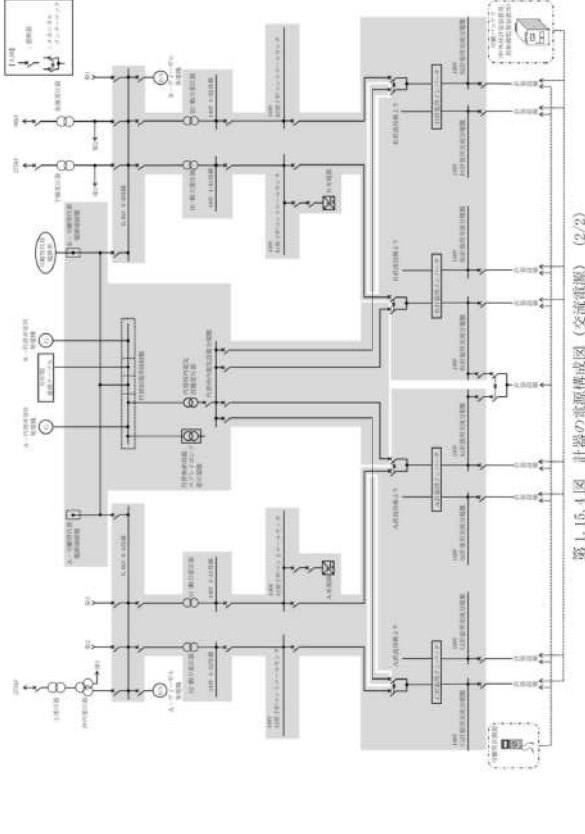
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉の計装構成図。A1～D4の計装用電源盤と後備電源盤が示されています。図には「可搬型計器」や「可搬型バスケ」の接続も示されています。</p>  <p>第1.15-4図 計器の電源構成図</p>	<p>女川原子力発電所2号炉の計器の電源構成図（直流電源）。複雑な回路図で、直流電源の供給経路が示されています。</p>  <p>第1.15-4図 計器の電源構成図（直流電源）(1/2)</p>	<p>泊発電所3号炉の計器の電源構成図（直流電源）。図には交流と直流の両方の電源供給が示されています。</p>  <p>第1.15-4図 計器の電源構成図（直流電源）(1/2)</p>	<p>【女川、大飯】設備構成の相違              ・電源構成の相違              【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）              ・女川の記載表現を反映し、交流と直流で図を分けた（左記の図は交流）。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.15-4図 計器の電源構成図（交流電源）(2/2)</p>	 <p>第1.15.4図 計器の電源構成図（交流電源）(2/2)</p>	<p>【女川】設備構成の相違                      ・電源構成の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                      ・女川の記載表現を反映し、交流と直流で図を分けた（左記の図は直流）。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
<p>第1.15.5図 可搬型計測器による監視パラメータ計測 タイムチャート</p>			<p>第1.15-5図 可搬型計測器による監視パラメータ計測タイムチャート</p>			<p>第1.15.5図 可搬型計測器による監視パラメータ計測 タイムチャート</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作手順と紐づけた。</li> <li>・各作業、操作の時間に余裕を見込んでいることを注記（※）として記載。</li> </ul> <p>【大飯、女川】 運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応要員・操作対象機器の配置場所等の相違による所要時間の相違</li> </ul> <p>【女川】 設備、対応手段の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相違理由①</li> </ul>
<p>第1.15.6図 可搬型バッテリーによるが外核計装盤への電源供給 タイムチャート</p>			<p>第1.15.6図 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護盤（が外核計装信号処理部）への電源供給 タイムチャート</p>			<p>第1.15.6図 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護盤（が外核計装信号処理部）への電源供給 タイムチャート</p>			
<p>第1.15.7図 可搬型バッテリーによる放射線監視盤への電源供給 タイムチャート</p>			<p>第1.15.7図 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護盤（放射線監視設備信号処理部）への電源供給 タイムチャート</p>			<p>第1.15.7図 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護盤（放射線監視設備信号処理部）への電源供給 タイムチャート</p>			
<p>備考</p>			<p>備考</p>			<p>備考</p>			

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川 2号炉の記載のうち, BWR固有の設備や対応手段であり, 泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

Main comparison table with columns for 大阪発電所 3/4号炉, 女川原子力発電所 2号炉, 泊発電所 3号炉, and 相違理由. Includes a detailed technical capability comparison table for Osaka 3/4 and Aomori 2 reactors, and a comparison table for BWR 3 reactor.





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料1.15.3                      重大事故等の対処に必要なパラメータの選定</p> <p>1. 選定の考え方                      炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態を監視する主要パラメータは、<b>事象の判別を行う運転手順書の判断基準、炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書の適用条件、炉心の著しい損傷が発生した場合に対処する運転手順書の適用条件及び技術的能力に係る審査基準1.1～1.10、1.13、1.14のパラメータの判断基準、操作手順に係るパラメータ（多様性拡張設備による対応を除いたもの。）</b>より選定する。</p> <p>選定した主要パラメータ（パラメータの分類：原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格納容器バイパスの監視、水源の確保及びアニユラス内の水素濃度。）は、以下の通り分類する（第1.15.1図）。</p> <p>なお、監視対象パラメータについては添付資料1.15.4参照。</p> <p>①重要な監視パラメータ                      主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測するパラメータをいう。</p> <p>②有効な監視パラメータ                      主要パラメータのうち、<b>多様性拡張設備の計器</b>で計測されるが、計測することが困難となった場合でも重大事故等対処設備の計器で計測される代替パラメータを有するものをいう。</p> <p>④重要代替パラメータ                      重要な監視パラメータの代替パラメータのうち重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器（当該重要な監視パラメータの他チャンネル及び他ループの重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器含む。）並びに有効な監視パラメータの代替パラメータを計測する重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器により計測されるパラメータをいう。</p>	<p>添付資料 1.15.2                      重大事故等の対処に必要なパラメータの選定</p> <p>1. 選定の考え方                      炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を監視する主要パラメータは、技術的能力に係る審査基準1.1～1.14のパラメータの判断基準、操作手順に係るパラメータ及び有効性評価の監視項目に係るパラメータにより選定する。</p> <p>選定した主要パラメータ（パラメータの分類：原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格納容器バイパスの監視、水源の確保、<b>原子炉建屋内の水素濃度、原子炉格納容器内の酸素濃度、使用済燃料ブルーの監視</b>）及び代替パラメータは、以下の通り分類する（第1図参照）。</p> <p>なお、監視対象パラメータについては、添付資料1.15.3参照。</p> <p>主要パラメータ                      ・重要監視パラメータ                      主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ                      主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。</p> <p>代替パラメータ                      ・重要代替監視パラメータ                      主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ                      主要パラメータのうち、代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。</p>	<p>添付資料1.15.2                      重大事故等の対処に必要なパラメータの選定</p> <p>1. 選定の考え方                      炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を監視する主要パラメータは、技術的能力に係る審査基準1.1～1.14のパラメータの判断基準、操作手順に係るパラメータ及び有効性評価の監視項目に係るパラメータにより選定する。</p> <p>選定した主要パラメータ（パラメータの分類：原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格納容器バイパスの監視、水源の確保、アニユラス内の水素濃度、使用済燃料<b>ビツト</b>の監視）及び代替パラメータは、以下の通り分類する（第1図参照）。</p> <p>なお、監視対象パラメータについては、添付資料1.15.3参照。</p> <p>主要パラメータ                      ・重要監視パラメータ                      主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ                      主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。</p> <p>代替パラメータ                      ・重要代替監視パラメータ                      主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ                      主要パラメータのうち、代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。</p>	<p>【大飯】資料構成の相違（以降、同様の相違は相違理由を省略する）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・相違理由②</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】図表番号の相違（以降、同様の相違は相違理由を省略する）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                      自主対策設備の表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>③補助的な監視パラメータ</p> <p>原子炉施設の状況や重大事故等対処設備の運転状態等を補助的に監視するパラメータをいう。</p> <p>なお、選定フローにおいて、有効な監視パラメータ又は補助的な監視パラメータの分類に該当しないものは、耐震性、耐環境性を有さない重要な監視パラメータに該当すると判断し、耐震性、耐環境性を有した計器へ仕様又は設備変更を行う。</p>	<p>補助パラメータ</p> <p>抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により、発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータをいう。</p> <p>なお、主要パラメータが重大事故等対処設備の計器で計測できず、かつその代替パラメータも重大事故等対処設備の計器で計測できない場合は、重大事故等時に発電用原子炉施設の状態を把握するため、主要パラメータを計測する計器の1つを、重大事故等対処設備としての要求を満たした計器へ変更する。</p>	<p>補助パラメータ</p> <p>抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により、発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータをいう。</p> <p>なお、主要パラメータが重大事故等対処設備の計器で計測できず、かつその代替パラメータも重大事故等対処設備の計器で計測できない場合は、重大事故等時に発電用原子炉施設の状態を把握するため、主要パラメータを計測する計器の1つを重大事故等対処設備としての要求を満たした計器へ変更する。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）                  【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）                  【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>
<p>【比較のため1.15本文 第1.15.1図より転載】</p>			<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）                  ・相違理由㉒</p> <p>【大阪】設計方針の相違（女川実績の反映）                  ・相違理由㉑</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	
2. 選定の結果	
重大事故等の対処に必要なパラメータとして、添付資料1.15.4のうち事象の判別を行う運転手順書の判断基準、炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書の適用条件、炉心の著しい損傷が発生した場合に対処する運転手順書の適用条件及び技術的能力に係る審査基準1.1~1.10、1.13、1.14のパラメータの中から、炉心損傷及び格納容器破損防止のために必要となる監視パラメータを直接監視するパラメータを選定した。	
選定結果を表1に示す。	
表1 重大事故等の対処に必要なパラメータ	
原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材高温側温度(広域)
	1次冷却材低温側温度(広域)
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力
	1次冷却材高温側温度(広域)
	1次冷却材低温側温度(広域)
原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位
	原子炉水位
	1次冷却材圧力
	1次冷却材高温側温度(広域)
	1次冷却材低温側温度(広域)
原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量
	余熱除去流量
	恒設代替低圧注水積算流量
	燃料取扱用水ピット水位
	復水ピット水位
	加圧器水位
	原子炉水位
	格納容器再循環サンプル水位(広域)
	1次冷却材圧力
	1次冷却材低温側温度(広域)

比較のため添付 1.15-6 へ再掲

女川原子力発電所2号炉		
2. 選定の結果		
重大事故等の対処に必要なパラメータとして、技術的能力に係る審査基準1.1~1.14のパラメータの判断基準、操作手順に係るパラメータ及び有効性評価の監視項目に係るパラメータの中から、炉心損傷防止、格納容器破損防止対策等のために必要となる監視パラメータを直接監視するパラメータを選定した。		
選定結果を第1表に示す。		
第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (1/8)		
分類	主要パラメータ	代替パラメータ
原子炉圧力容器内の温度		主要パラメータの他検出器 原子炉圧力 (DA)
		原子炉水位 (広域)
		原子炉水位 (燃料槽)
		原子炉水位 (SA広域)
		原子炉水位 (SA燃料槽)
		原子炉圧力取算温度
原子炉圧力容器内の圧力		主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (広域)
		原子炉水位 (燃料槽)
		原子炉水位 (SA広域)
		原子炉水位 (SA燃料槽)
		原子炉圧力取算温度
第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (2/8)		
分類	主要パラメータ	代替パラメータ
原子炉圧力容器内の水位		主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位 (SA広域)
		原子炉水位 (SA燃料槽)
		高圧代替注水ポンプ出口流量
		再循環ポンプ出口流量 (再循環ポンプ出口流量)
		燃料取扱用水ピット水位
		復水ピット水位
		加圧器水位
		原子炉水位
		格納容器再循環サンプル水位(広域)
		1次冷却材圧力
		1次冷却材低温側温度(広域)

泊発電所3号炉		
2. 選定の結果		
重大事故等の対処に必要なパラメータとして、技術的能力に係る審査基準1.1~1.14のパラメータの判断基準、操作手順に係るパラメータ及び有効性評価の監視項目に係るパラメータの中から、炉心損傷防止、格納容器破損防止対策等のために必要となる監視パラメータを直接監視するパラメータを選定した。		
選定結果を第1表に示す。		
第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (1/10)		
分類	主要パラメータ	代替パラメータ
原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度(広域-高温側)	主要パラメータの他ループ 1次冷却材温度(広域-低温側) [炉心出口温度]*
	1次冷却材温度(広域-低温側)	主要パラメータの他ループ 1次冷却材温度(広域-高温側) [炉心出口温度]*
	[炉心出口温度]*	主要パラメータの他検出器 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側)
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力(広域)	主要パラメータの他ループ [加圧器圧力]* 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側)
	[加圧器圧力]*	主要パラメータの他チャンネル 1次冷却材圧力(広域)
原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	主要パラメータの他チャンネル 原子炉容器水位 [サブクール度]* 1次冷却材圧力(広域) 1次冷却材温度(広域-高温側)
	原子炉容器水位	加圧器水位 [サブクール度]* 1次冷却材圧力(広域) [炉心出口温度]* 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側)
	[1次冷却系統ループ水位]*	1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側) [余熱除去ポンプ出口圧力]*

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)  
・相違理由②

【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)

【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)  
・女川実績を反映し、代替パラメータも記載した。

【大飯】設備名称の相違

【女川】炉型の相違

・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。  
以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉

比較のため添1.15-5より再掲

原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量
	余熱除去流量
	恒設代替低圧注水積算流量
	燃料取替用水ピット水位
	復水ピット水位
	加圧器水位
	原子炉水位
	格納容器再循環サンプ水位(広域)
	1次冷却材圧力
	1次冷却材低温側温度(広域)

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (3/8)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ
原子炉圧力容器への注水量	高圧代替注水系統ポンプ出口流量	原本貯蔵タンク水位 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドポンプライン洗浄流量)	原本貯蔵タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系最終容器冷却ライン洗浄流量)	原本貯蔵タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)
	低圧駆動低圧注水系統ポンプ出口流量	原本貯蔵タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)
	代替循環冷却ポンプ出口流量	圧力調整室水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)
	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原本貯蔵タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)
	高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	原本貯蔵タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)
	残留熱除去系ポンプ出口流量	圧力調整室水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)
	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	圧力調整室水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)

※：〔 〕は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

泊発電所3号炉

第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (2/10)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ
原子炉圧力容器内への注水量	高圧注入流量	燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)
	低圧注入流量	燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)
	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)
	〔B-格納容器スプレイ流量〕※	燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)
	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)
	〔充てん流量〕※	燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)
	〔蓄圧タンク圧力〕※	1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低温側)
	〔蓄圧タンク水位〕※	1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低温側)
	〔AM用消火水積算流量〕※	低圧注入流量 加圧器水位 原子炉容器水位

※：〔 〕は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

相違理由

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">原子炉格納容器への注水量</td> <td>格納容器スプレイ積算流量</td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水積算流量</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>余熱除去流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>AM用格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉格納容器内の水位</td> <td>格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ積算流量</td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>可搬型格納容器水素ガス濃度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材高温側温度(広域)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材低温側温度(広域)</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> </tr> </table>	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ積算流量	恒設代替低圧注水積算流量	燃料取替用水ビット水位	復水ビット水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	高圧注入流量	余熱除去流量	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	格納容器圧力(広域)	原子炉格納容器内の圧力	AM用格納容器圧力	格納容器圧力(広域)	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	原子炉格納容器水位	原子炉下部キャビティ水位	燃料取替用水ビット水位	復水ビット水位	格納容器スプレイ積算流量	恒設代替低圧注水積算流量	原子炉格納容器内の水素濃度	可搬型格納容器水素ガス濃度	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	中間領域中性子束	中性子源領域中性子束	1次冷却材高温側温度(広域)	1次冷却材低温側温度(広域)	ほう酸タンク水位	<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (4/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドシフトライン洗浄装置)</td> <td>基本貯蔵タンク水位 原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系熱交換器洗浄ライン洗浄装置)</td> <td>ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器代替スプレイ流量</td> <td>原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位 ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> </tr> <tr> <td>代替蒸発器ポンプ出口流量</td> <td>原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位 ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の注水量</td> <td>ドライウエル流量</td> <td>主要パラメータの他他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室内空気流量</td> <td>主要パラメータの他他検出器 サブプレッションプール本温度 圧力制御室圧力</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール本温度</td> <td>主要パラメータの他他検出器 圧力制御室内空気流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下層温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエル圧力</td> <td>圧力制御室圧力 ドライウエル流量 【ドライウエル圧力】*</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室圧力</td> <td>ドライウエル圧力 圧力制御室内空気流量 【圧力制御室圧力】*</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：【 】は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐腐性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドシフトライン洗浄装置)	基本貯蔵タンク水位 原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系熱交換器洗浄ライン洗浄装置)	ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	原子炉格納容器代替スプレイ流量	原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位 ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	代替蒸発器ポンプ出口流量	原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位 ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	原子炉格納容器内の注水量	ドライウエル流量	主要パラメータの他他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	圧力制御室内空気流量	主要パラメータの他他検出器 サブプレッションプール本温度 圧力制御室圧力	サブプレッションプール本温度	主要パラメータの他他検出器 圧力制御室内空気流量	原子炉格納容器下層温度	主要パラメータの他チャンネル	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力	圧力制御室圧力 ドライウエル流量 【ドライウエル圧力】*	圧力制御室圧力	ドライウエル圧力 圧力制御室内空気流量 【圧力制御室圧力】*	<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (3/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原子炉格納容器への注水量</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>【充てん流量】*</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">器内の温度</td> <td>【格納容器スプレイ流量】*</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>【AM用消火水積算流量】*</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 【格納容器スプレイ流量】* 【ろ過水タンク水位】* 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">圧力</td> <td>原子炉格納容器内温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 【格納容器圧力 (狭域)】* 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="1">原子炉格納容器内の</td> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> <td>原子炉格納容器圧力 【格納容器圧力 (狭域)】* 格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：【 】は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐腐性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	原子炉格納容器への注水量	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	【充てん流量】*	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	器内の温度	【格納容器スプレイ流量】*	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	【AM用消火水積算流量】*	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 【格納容器スプレイ流量】* 【ろ過水タンク水位】* 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	圧力	原子炉格納容器内温度	主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 【格納容器圧力 (狭域)】* 格納容器内温度	原子炉格納容器内の	格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器圧力 【格納容器圧力 (狭域)】* 格納容器内温度	
原子炉格納容器への注水量		格納容器スプレイ積算流量																																																																																								
		恒設代替低圧注水積算流量																																																																																								
		燃料取替用水ビット水位																																																																																								
		復水ビット水位																																																																																								
		格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																								
		高圧注入流量																																																																																								
	余熱除去流量																																																																																									
原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度																																																																																									
	格納容器圧力(広域)																																																																																									
原子炉格納容器内の圧力	AM用格納容器圧力																																																																																									
	格納容器圧力(広域)																																																																																									
原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																									
	格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																									
	原子炉格納容器水位																																																																																									
	原子炉下部キャビティ水位																																																																																									
	燃料取替用水ビット水位																																																																																									
	復水ビット水位																																																																																									
	格納容器スプレイ積算流量																																																																																									
	恒設代替低圧注水積算流量																																																																																									
	原子炉格納容器内の水素濃度	可搬型格納容器水素ガス濃度																																																																																								
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																								
未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束																																																																																									
	中間領域中性子束																																																																																									
	中性子源領域中性子束																																																																																									
	1次冷却材高温側温度(広域)																																																																																									
	1次冷却材低温側温度(広域)																																																																																									
ほう酸タンク水位																																																																																										
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																																																								
原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドシフトライン洗浄装置)	基本貯蔵タンク水位 原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位																																																																																								
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系熱交換器洗浄ライン洗浄装置)	ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力																																																																																								
	原子炉格納容器代替スプレイ流量	原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位 ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力																																																																																								
	代替蒸発器ポンプ出口流量	原子炉格納容器下層水位 ドライウエル水位 ドライウエル流量 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力																																																																																								
原子炉格納容器内の注水量	ドライウエル流量	主要パラメータの他他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力																																																																																								
	圧力制御室内空気流量	主要パラメータの他他検出器 サブプレッションプール本温度 圧力制御室圧力																																																																																								
	サブプレッションプール本温度	主要パラメータの他他検出器 圧力制御室内空気流量																																																																																								
	原子炉格納容器下層温度	主要パラメータの他チャンネル																																																																																								
原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力	圧力制御室圧力 ドライウエル流量 【ドライウエル圧力】*																																																																																								
	圧力制御室圧力	ドライウエル圧力 圧力制御室内空気流量 【圧力制御室圧力】*																																																																																								
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																																																								
原子炉格納容器への注水量	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
	【充てん流量】*	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
器内の温度	【格納容器スプレイ流量】*	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
	【AM用消火水積算流量】*	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 【格納容器スプレイ流量】* 【ろ過水タンク水位】* 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
圧力	原子炉格納容器内温度	主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)																																																																																								
	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 【格納容器圧力 (狭域)】* 格納容器内温度																																																																																								
原子炉格納容器内の	格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器圧力 【格納容器圧力 (狭域)】* 格納容器内温度																																																																																								
比較のため添1.15-8、1.15-9へ再掲																																																																																										

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
<p style="text-align: center;">比較のため添1.15-7より再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復水ビット水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器スプレイ積算流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>恒設代替低圧注水積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>可搬型格納容器水素ガス濃度</td> </tr> </table>	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)		格納容器再循環サンプ水位(狭域)		原子炉格納容器水位		原子炉下部キャビティ水位		燃料取替用水ビット水位		復水ビット水位		格納容器スプレイ積算流量		恒設代替低圧注水積算流量	原子炉格納容器内の水素濃度	可搬型格納容器水素ガス濃度	<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (5/8)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の水位</td> <td>圧力制御室水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル                      高圧代替注水系統ポンプ出口流量                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)                      原子炉格納容器代替スプレイ流量                      代替格納容器冷却ポンプ出口流量                      原子炉格納容器下部注水流量                      復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)                      原子炉格納容器代替スプレイ流量                      代替格納容器冷却ポンプ出口流量                      原子炉格納容器下部注水流量                      復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内水素濃度 (0/F)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル                      格納容器内空気気水素濃度</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (5/C)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル                      格納容器内空気気水素濃度</td> </tr> <tr> <td>格納容器内空気気水素濃度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル                      格納容器内水素濃度 (0/F)                      格納容器内水素濃度 (5/C)</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>* [ ] は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器) を示す。</small></p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	原子炉格納容器内の水位	圧力制御室水位	主要パラメータの他チャンネル 高圧代替注水系統ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)	原子炉格納容器下部注水水位	主要パラメータの他チャンネル 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替格納容器冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	ドライウェル水位	主要パラメータの他チャンネル 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替格納容器冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (0/F)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内空気気水素濃度	格納容器内水素濃度 (5/C)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内空気気水素濃度	格納容器内空気気水素濃度	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内水素濃度 (0/F) 格納容器内水素濃度 (5/C)	<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (4/10)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の水位</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル                      格納容器再循環サンプ水位 (狭域)                      原子炉下部キャビティ水位                      格納容器水位                      燃料取替用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)                      代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)                      燃料取替用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)                      代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>燃料取替用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)                      代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>主要パラメータの予備                      原子炉格納容器内水素処理装置温度                      格納容器水素イグナイタ温度                      [ガス分析計による水素濃度] *</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※： [ ] は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器) を示す。</small></p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	格納容器水位	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	主要パラメータの予備 原子炉格納容器内水素処理装置温度 格納容器水素イグナイタ温度 [ガス分析計による水素濃度] *	
原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																				
	格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																				
	原子炉格納容器水位																																																				
	原子炉下部キャビティ水位																																																				
	燃料取替用水ビット水位																																																				
	復水ビット水位																																																				
	格納容器スプレイ積算流量																																																				
	恒設代替低圧注水積算流量																																																				
原子炉格納容器内の水素濃度	可搬型格納容器水素ガス濃度																																																				
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																			
原子炉格納容器内の水位	圧力制御室水位	主要パラメータの他チャンネル 高圧代替注水系統ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																			
	原子炉格納容器下部注水水位	主要パラメータの他チャンネル 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替格納容器冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位																																																			
	ドライウェル水位	主要パラメータの他チャンネル 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 代替格納容器冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位																																																			
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (0/F)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内空気気水素濃度																																																			
	格納容器内水素濃度 (5/C)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内空気気水素濃度																																																			
	格納容器内空気気水素濃度	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内水素濃度 (0/F) 格納容器内水素濃度 (5/C)																																																			
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																			
原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																			
	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																			
	原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																			
	格納容器水位	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																			
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	主要パラメータの予備 原子炉格納容器内水素処理装置温度 格納容器水素イグナイタ温度 [ガス分析計による水素濃度] *																																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉

比較のため添1.15-7より再掲

原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）
未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 1次冷却材高温側温度（広域） 1次冷却材低温側温度（広域） ほう酸タンク水位

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (6/8)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジ放射線モニタ (H/L)	主要パラメータの他チャンネル 【エリア監視モニタ】*
	格納容器内低レンジ放射線モニタ (L/L)	主要パラメータの他チャンネル 【エリア監視モニタ】*
未臨界の維持又は監視	起動領域モニタ	主要パラメータの他チャンネル 平均出力領域モニタ 【制御棒位置指示系】*
	平均出力領域モニタ	主要パラメータの他チャンネル 起動領域モニタ 【制御棒位置指示系】*
	【制御棒位置指示系】*	起動領域モニタ 平均出力領域モニタ
代替監視パラメータ	サブプレッションプール水温度	主要パラメータの他チャンネル 圧力制御室内空気温度
	格納容器上部熱交換器入口温度	サブプレッションプール水温度
監視システムの構成	原子炉格納容器下部水位	原子炉格納容器下部水位 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料棒） 原子炉水位（SA燃料棒） 原子炉圧力（燃料棒） 原子炉圧力（SA燃料棒）
	原子炉格納容器上部水位	原子炉格納容器上部水位 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料棒） 原子炉水位（SA燃料棒）
	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力 原子炉圧力（燃料棒） 原子炉圧力（SA燃料棒）
	原子炉格納容器出口放射線モニタ	主要パラメータの他チャンネル

\*：「1」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状況を把握することが可能な計器）を示す。

泊発電所3号炉

第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (5/10)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） 【モニタリングポスト及びモニタリングステーション】*
	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） 【エアロックエリアモニタ】* 【炉内核計装区域エリアモニタ】*
	【格納容器じんあいモニタ】*	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）
	【格納容器ガスモニタ】*	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）
未臨界の維持又は監視	【エアロックエリアモニタ】*	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）
	【炉内核計装区域エリアモニタ】*	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）
	出力領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 1次冷却材温度（広域-高温側） 1次冷却材温度（広域-低温側） ほう酸タンク水位
	中間領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中性子源領域中性子束 ほう酸タンク水位
	中性子源領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 ほう酸タンク水位
	【中間領域起動率】*	中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 【中性子源領域起動率】*
【中性子源領域起動率】*	中性子源領域中性子束 中間領域中性子束 【中間領域起動率】*	

\*：「1」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状況を把握することが可能な計器）を示す。

相違理由

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
<p>最終ヒートシンクの確保</p> <p>格納容器圧力(広域)</p> <p>蒸気発生器水位(狭域)</p> <p>蒸気発生器水位(広域)</p> <p>蒸気発生器補助給水流量</p> <p>主蒸気圧力</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク水位</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力</p> <p>格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA)</p> <p>AM用格納容器圧力</p> <p>格納容器内温度</p> <p>1次冷却材高温側温度(広域)</p> <p>1次冷却材低温側温度(広域)</p> <p>復水ビット水位</p> <p>格納容器バイパスの監視</p> <p>蒸気発生器水位(狭域)</p> <p>蒸気発生器水位(広域)</p> <p>主蒸気圧力</p> <p>蒸気発生器補助給水流量</p> <p>1次冷却材圧力</p> <p>1次冷却材高温側温度(広域)</p> <p>1次冷却材低温側温度(広域)</p> <p>加圧器水位</p> <p>格納容器再循環サンプ水位(広域)</p> <p>燃料取替用水ピット水位</p> <p>ほう酸タンク水位</p> <p>復水ビット水位</p> <p>格納容器再循環サンプ水位(広域)</p> <p>格納容器スプレイ積算流量</p> <p>高圧注入流量</p> <p>余熱除去流量</p> <p>恒設代替低圧注水積算流量</p> <p>蒸気発生器補助給水流量</p> <p>出力領域中性子束</p> <p>中間領域中性子束</p> <p>中性子源領域中性子束</p> <p>アンユラス内の水素濃度</p> <p>アンユラス水素濃度</p>	<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (7/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>新圧強化ベント系統射線モニタ</td> <td>主要パラメータの他のチャンネル</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系統熱源入口温度</td> <td>原子炉圧力調整流量 サブレーションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系統交換器入口温度</td> <td>残留熱除去系統交換器出口温度 原子炉補機冷却水流量 残留熱除去系統交換器冷却水入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系統出口温度</td> <td>残留熱除去系統出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器バイパスの監視</td> <td>原子炉水位 (広濃域)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位 (SA広濃域) 原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA広濃域)</td> <td>原子炉水位 (広濃域) 原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>原子炉水位 (広濃域) 原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (広濃域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力調整流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力調整流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整流量</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力調整流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力調整流量</td> <td>圧力調整器圧力 原子炉圧力調整流量 【原子炉圧力】*</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1-11は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐電圧性等は問いませんが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p> <p>添1.15-11へ再掲</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	最終ヒートシンクの確保	新圧強化ベント系統射線モニタ	主要パラメータの他のチャンネル	残留熱除去系統熱源入口温度	原子炉圧力調整流量 サブレーションプール水温度	残留熱除去系統交換器入口温度	残留熱除去系統交換器出口温度 原子炉補機冷却水流量 残留熱除去系統交換器冷却水入口温度	残留熱除去系統出口温度	残留熱除去系統出口圧力	格納容器バイパスの監視	原子炉水位 (広濃域)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位 (SA広濃域) 原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA広濃域)	原子炉水位 (広濃域) 原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉水位 (広濃域) 原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (広濃域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力調整流量	原子炉圧力 (SA)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力調整流量	原子炉圧力調整流量	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力調整流量	原子炉圧力調整流量	圧力調整器圧力 原子炉圧力調整流量 【原子炉圧力】*	高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*	残留熱除去系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*	<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (6/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度</td> </tr> <tr> <td>【原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)】*</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> </tr> <tr> <td>【C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量】*</td> <td>格納容器内温度 原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> <td>主要パラメータの予備 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>【C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度】*</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度</td> </tr> <tr> <td>【B-原子炉補機冷却水戻り母管温度】*</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル又は 他ループ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>補助給水ビット水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>【主蒸気流量】*</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水流量</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：【 】は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐電圧性等は問いませんが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	最終ヒートシンクの確保	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	原子炉補機冷却水サージタンク水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	【原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)】*	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	【C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量】*	格納容器内温度 原子炉格納容器圧力	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	主要パラメータの予備 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力	【C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度】*	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	【B-原子炉補機冷却水戻り母管温度】*	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	主蒸気ライン圧力	主要パラメータの他チャンネル又は 他ループ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	蒸気発生器水位 (狭域)	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	補助給水流量	補助給水ビット水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)	【主蒸気流量】*	主要パラメータの他チャンネル 主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水流量	
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																														
最終ヒートシンクの確保	新圧強化ベント系統射線モニタ	主要パラメータの他のチャンネル																																																														
	残留熱除去系統熱源入口温度	原子炉圧力調整流量 サブレーションプール水温度																																																														
	残留熱除去系統交換器入口温度	残留熱除去系統交換器出口温度 原子炉補機冷却水流量 残留熱除去系統交換器冷却水入口温度																																																														
	残留熱除去系統出口温度	残留熱除去系統出口圧力																																																														
格納容器バイパスの監視	原子炉水位 (広濃域)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位 (SA広濃域) 原子炉水位 (燃料域)																																																														
	原子炉水位 (SA広濃域)	原子炉水位 (広濃域) 原子炉水位 (燃料域)																																																														
	原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉水位 (広濃域) 原子炉水位 (燃料域)																																																														
	原子炉圧力	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (広濃域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力調整流量																																																														
	原子炉圧力 (SA)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力調整流量																																																														
	原子炉圧力調整流量	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力調整流量																																																														
	原子炉圧力調整流量	圧力調整器圧力 原子炉圧力調整流量 【原子炉圧力】*																																																														
	高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*																																																														
	残留熱除去系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*																																																														
	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA) 【エリア放射線モニタ】*																																																														
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																														
最終ヒートシンクの確保	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度																																																														
	原子炉補機冷却水サージタンク水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度																																																														
	【原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)】*	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)																																																														
	【C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量】*	格納容器内温度 原子炉格納容器圧力																																																														
	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	主要パラメータの予備 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力																																																														
	【C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度】*	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度																																																														
	【B-原子炉補機冷却水戻り母管温度】*	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度																																																														
	主蒸気ライン圧力	主要パラメータの他チャンネル又は 他ループ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																														
	蒸気発生器水位 (狭域)	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																														
	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																														
補助給水流量	補助給水ビット水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)																																																															
【主蒸気流量】*	主要パラメータの他チャンネル 主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水流量																																																															



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
<p>比較のため添1.15-10より再掲</p>		<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (7/10)</p>																																																																							
<p>格納容器バイパスの監視</p> <table border="1"> <tr><td>蒸気発生器水位(狭域)</td></tr> <tr><td>蒸気発生器水位(広域)</td></tr> <tr><td>主蒸気圧力</td></tr> <tr><td>蒸気発生器補助給水流量</td></tr> <tr><td>1次冷却材圧力</td></tr> <tr><td>1次冷却材高温側温度(広域)</td></tr> <tr><td>1次冷却材低温側温度(広域)</td></tr> <tr><td>加圧器水位</td></tr> <tr><td>格納容器再循環サンプ水位(広域)</td></tr> </table>	蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(広域)	主蒸気圧力	蒸気発生器補助給水流量	1次冷却材圧力	1次冷却材高温側温度(広域)	1次冷却材低温側温度(広域)	加圧器水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">熱中性部バイパスの監視</td> <td>原子炉水位(広帯域)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位(5A広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(燃料域)</td> <td>原子炉水位(5A燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(5A広帯域)</td> <td>原子炉水位(広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(5A燃料域)</td> <td>原子炉水位(燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力(5A)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力(広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力(燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力(5A広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力(5A燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力(5A)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熱中性部内の監視</td> <td>ドライウェル温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力</td> <td>圧力調整室圧力 ドライウェル温度 【ドライウェル圧力】*</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイングポンプ出口圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力(5A) 【ユリア放射線モニタ】*</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熱中性部内の状態</td> <td>低圧炉心スプレイングポンプ出口圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力(5A) 【ユリア放射線モニタ】*</td> </tr> </table>	熱中性部バイパスの監視	原子炉水位(広帯域)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位(5A広帯域)	原子炉水位(燃料域)	原子炉水位(5A燃料域)	原子炉水位(5A広帯域)	原子炉水位(広帯域)	原子炉水位(5A燃料域)	原子炉水位(燃料域)	原子炉圧力	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力(5A)	原子炉圧力	原子炉圧力(広帯域)	原子炉圧力	原子炉圧力(燃料域)	原子炉圧力	原子炉圧力(5A広帯域)	原子炉圧力	原子炉圧力(5A燃料域)	原子炉圧力	原子炉圧力(5A)	熱中性部内の監視	ドライウェル温度	主要パラメータの他チャンネル ドライウェル圧力	ドライウェル圧力	圧力調整室圧力 ドライウェル温度 【ドライウェル圧力】*	高圧炉心スプレイングポンプ出口圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(5A) 【ユリア放射線モニタ】*	熱中性部内の状態	低圧炉心スプレイングポンプ出口圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(5A) 【ユリア放射線モニタ】*	<table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(狭域)</td> <td></td> <td>主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位(広域) 主蒸気ライン圧力 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td></td> <td>主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位(広域) 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力(広域)</td> <td></td> <td>主要パラメータの他グループ 【加圧器圧力】* 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力 格納容器再循環サンプ水位(広域) 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>【復水器排気ガスモニタ】*</td> <td></td> <td>蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>【蒸気発生器ブローダウン水モニタ】*</td> <td></td> <td>蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>【高感度型主蒸気管モニタ】*</td> <td></td> <td>蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>【排気筒ガスモニタ】*</td> <td></td> <td>1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>【排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)】*</td> <td></td> <td>1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>【排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)】*</td> <td></td> <td>1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	蒸気発生器水位(狭域)		主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位(広域) 主蒸気ライン圧力 補助給水流量	主蒸気ライン圧力		主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位(広域) 補助給水流量	1次冷却材圧力(広域)		主要パラメータの他グループ 【加圧器圧力】* 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力 格納容器再循環サンプ水位(広域) 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側)	【復水器排気ガスモニタ】*		蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力	【蒸気発生器ブローダウン水モニタ】*		蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力	【高感度型主蒸気管モニタ】*		蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力	【排気筒ガスモニタ】*		1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力	【排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)】*		1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力	【排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)】*		1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力	
蒸気発生器水位(狭域)																																																																									
蒸気発生器水位(広域)																																																																									
主蒸気圧力																																																																									
蒸気発生器補助給水流量																																																																									
1次冷却材圧力																																																																									
1次冷却材高温側温度(広域)																																																																									
1次冷却材低温側温度(広域)																																																																									
加圧器水位																																																																									
格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																									
熱中性部バイパスの監視	原子炉水位(広帯域)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位(5A広帯域)																																																																							
	原子炉水位(燃料域)	原子炉水位(5A燃料域)																																																																							
	原子炉水位(5A広帯域)	原子炉水位(広帯域)																																																																							
	原子炉水位(5A燃料域)	原子炉水位(燃料域)																																																																							
	原子炉圧力	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力(5A)																																																																							
	原子炉圧力	原子炉圧力(広帯域)																																																																							
	原子炉圧力	原子炉圧力(燃料域)																																																																							
	原子炉圧力	原子炉圧力(5A広帯域)																																																																							
	原子炉圧力	原子炉圧力(5A燃料域)																																																																							
	原子炉圧力	原子炉圧力(5A)																																																																							
熱中性部内の監視	ドライウェル温度	主要パラメータの他チャンネル ドライウェル圧力																																																																							
	ドライウェル圧力	圧力調整室圧力 ドライウェル温度 【ドライウェル圧力】*																																																																							
	高圧炉心スプレイングポンプ出口圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(5A) 【ユリア放射線モニタ】*																																																																							
熱中性部内の状態	低圧炉心スプレイングポンプ出口圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(5A) 【ユリア放射線モニタ】*																																																																							
	分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																																						
	蒸気発生器水位(狭域)		主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位(広域) 主蒸気ライン圧力 補助給水流量																																																																						
主蒸気ライン圧力		主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位(広域) 補助給水流量																																																																							
1次冷却材圧力(広域)		主要パラメータの他グループ 【加圧器圧力】* 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力 格納容器再循環サンプ水位(広域) 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側)																																																																							
【復水器排気ガスモニタ】*		蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力																																																																							
【蒸気発生器ブローダウン水モニタ】*		蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力																																																																							
【高感度型主蒸気管モニタ】*		蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力																																																																							
【排気筒ガスモニタ】*		1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力																																																																							
【排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)】*		1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力																																																																							
【排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)】*		1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 主蒸気ライン圧力																																																																							
	<p>添1.15-10より再掲</p>	<p>格納容器バイパスの監視</p>																																																																							
		<p>※：【 】は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>																																																																							

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
		<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (8/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1256 164 1317 185">分類</th> <th data-bbox="1317 164 1563 185">主要パラメータ</th> <th data-bbox="1563 164 1812 185">代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1256 185 1317 288" rowspan="7">格納容器バイパスの監視</td> <td data-bbox="1317 185 1563 288">[補助建屋サンプタンク水位] *</td> <td data-bbox="1563 185 1812 288">1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1317 288 1563 392">[余熱除去ポンプ出口圧力] *</td> <td data-bbox="1563 288 1812 392">1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1317 392 1563 448">[加圧器逃がしタンク圧力] *</td> <td data-bbox="1563 392 1812 448">1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1317 448 1563 504">[加圧器逃がしタンク水位] *</td> <td data-bbox="1563 448 1812 504">1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1317 504 1563 560">[加圧器逃がしタンク温度] *</td> <td data-bbox="1563 504 1812 560">1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1317 560 1563 616">[余熱除去冷却器入口温度] *</td> <td data-bbox="1563 560 1812 616">1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [余熱除去ポンプ出口圧力] *</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1317 616 1563 695">[余熱除去冷却器出口温度] *</td> <td data-bbox="1563 616 1812 695">1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [余熱除去ポンプ出口圧力] *</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：[ ] は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器) を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	格納容器バイパスの監視	[補助建屋サンプタンク水位] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力	[余熱除去ポンプ出口圧力] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力	[加圧器逃がしタンク圧力] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *	[加圧器逃がしタンク水位] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *	[加圧器逃がしタンク温度] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *	[余熱除去冷却器入口温度] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [余熱除去ポンプ出口圧力] *	[余熱除去冷却器出口温度] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [余熱除去ポンプ出口圧力] *	
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																			
格納容器バイパスの監視	[補助建屋サンプタンク水位] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力																			
	[余熱除去ポンプ出口圧力] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力																			
	[加圧器逃がしタンク圧力] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *																			
	[加圧器逃がしタンク水位] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *																			
	[加圧器逃がしタンク温度] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [格納容器サンプ水位] *																			
	[余熱除去冷却器入口温度] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [余熱除去ポンプ出口圧力] *																			
	[余熱除去冷却器出口温度] *	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 [余熱除去ポンプ出口圧力] *																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
比較のため添1.15-10より再掲																																																							
<p>水源の確保</p> <table border="1"> <tr><td>燃料取替用水ビット水位</td></tr> <tr><td>ほう酸タンク水位</td></tr> <tr><td>復水ビット水位</td></tr> <tr><td>格納容器再循環サンプ水位(広域)</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ積算流量</td></tr> <tr><td>高圧注入流量</td></tr> <tr><td>余熱除去流量</td></tr> <tr><td>恒設代替低圧注水積算流量</td></tr> <tr><td>蒸気発生器補助給水流量</td></tr> <tr><td>出力領域中性子束</td></tr> <tr><td>中間領域中性子束</td></tr> <tr><td>中性子源領域中性子束</td></tr> </table> <p>アニュラス内の水素濃度</p> <p>アニュラス水素濃度</p>	燃料取替用水ビット水位	ほう酸タンク水位	復水ビット水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	格納容器スプレイ積算流量	高圧注入流量	余熱除去流量	恒設代替低圧注水積算流量	蒸気発生器補助給水流量	出力領域中性子束	中間領域中性子束	中性子源領域中性子束	<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (8/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> <td>高圧代替注水ポンプ出口流量 再熱除去系冷却ライン流量 (再熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量) 再熱除去系冷却ライン流量 (再熱除去系再循環サンプ冷却ライン洗浄流量) 蒸気発生器低圧注水ポンプ出口流量 原子炉格納容器注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 代替格納容器スプレイ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 蒸気発生器低圧注水ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内</td> <td>原子炉建屋内水素濃度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 静的無酸素式水素再結合装置動作監視装置</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内</td> <td>格納容器内平均気相水素濃度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器内平均気相放射線モニタ(出) 格納容器内平均気相放射線モニタ(S/C) ドラフトセル圧力 圧力制御室圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">使用済燃料プールの監視</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式)</td> <td>使用済燃料プール監視カメラ 使用済燃料プール監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：[ ] には有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	高圧代替注水ポンプ出口流量 再熱除去系冷却ライン流量 (再熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量) 再熱除去系冷却ライン流量 (再熱除去系再循環サンプ冷却ライン洗浄流量) 蒸気発生器低圧注水ポンプ出口流量 原子炉格納容器注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量	圧力制御室水位	主要パラメータの他チャンネル 代替格納容器スプレイ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 蒸気発生器低圧注水ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量	原子炉建屋内	原子炉建屋内水素濃度	主要パラメータの他チャンネル 静的無酸素式水素再結合装置動作監視装置	原子炉格納容器内	格納容器内平均気相水素濃度	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内平均気相放射線モニタ(出) 格納容器内平均気相放射線モニタ(S/C) ドラフトセル圧力 圧力制御室圧力	使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式)	使用済燃料プール監視カメラ 使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ (9/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環サンプ水位 (広域) B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) [格納容器スプレイ流量] * 高圧注入流量 低圧注入流量 [充てん流量] * 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 補助給水流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル [緊急ほう酸注入ライン流量] * 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アニュラス内</td> <td>アニュラス水素濃度 (可搬型)</td> <td>主要パラメータの予備 [アニュラス水素濃度] *</td> </tr> <tr> <td>[アニュラス水素濃度] *</td> <td>アニュラス水素濃度 (可搬型) 代替パラメータの予備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：[ ] には有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	水源の確保	燃料取替用水ビット水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環サンプ水位 (広域) B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) [格納容器スプレイ流量] * 高圧注入流量 低圧注入流量 [充てん流量] * 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	補助給水ビット水位	主要パラメータの他チャンネル 補助給水流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	ほう酸タンク水位	主要パラメータの他チャンネル [緊急ほう酸注入ライン流量] * 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束	アニュラス内	アニュラス水素濃度 (可搬型)	主要パラメータの予備 [アニュラス水素濃度] *	[アニュラス水素濃度] *	アニュラス水素濃度 (可搬型) 代替パラメータの予備	
燃料取替用水ビット水位																																																							
ほう酸タンク水位																																																							
復水ビット水位																																																							
格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																							
格納容器スプレイ積算流量																																																							
高圧注入流量																																																							
余熱除去流量																																																							
恒設代替低圧注水積算流量																																																							
蒸気発生器補助給水流量																																																							
出力領域中性子束																																																							
中間領域中性子束																																																							
中性子源領域中性子束																																																							
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																					
水源の確保	復水貯蔵タンク水位	高圧代替注水ポンプ出口流量 再熱除去系冷却ライン流量 (再熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量) 再熱除去系冷却ライン流量 (再熱除去系再循環サンプ冷却ライン洗浄流量) 蒸気発生器低圧注水ポンプ出口流量 原子炉格納容器注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量 高圧代替注水ポンプ出口流量																																																					
	圧力制御室水位	主要パラメータの他チャンネル 代替格納容器スプレイ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 蒸気発生器低圧注水ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量 再熱除去系ポンプ出口流量																																																					
原子炉建屋内	原子炉建屋内水素濃度	主要パラメータの他チャンネル 静的無酸素式水素再結合装置動作監視装置																																																					
原子炉格納容器内	格納容器内平均気相水素濃度	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内平均気相放射線モニタ(出) 格納容器内平均気相放射線モニタ(S/C) ドラフトセル圧力 圧力制御室圧力																																																					
使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)																																																					
	使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式)	使用済燃料プール監視カメラ 使用済燃料プール監視カメラ																																																					
	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール監視カメラ																																																					
	使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)																																																					
	使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ゴイダル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)																																																					
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																																					
水源の確保	燃料取替用水ビット水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環サンプ水位 (広域) B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) [格納容器スプレイ流量] * 高圧注入流量 低圧注入流量 [充てん流量] * 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																					
	補助給水ビット水位	主要パラメータの他チャンネル 補助給水流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																					
	ほう酸タンク水位	主要パラメータの他チャンネル [緊急ほう酸注入ライン流量] * 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束																																																					
アニュラス内	アニュラス水素濃度 (可搬型)	主要パラメータの予備 [アニュラス水素濃度] *																																																					
	[アニュラス水素濃度] *	アニュラス水素濃度 (可搬型) 代替パラメータの予備																																																					
添1.15-14へ再掲																																																							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

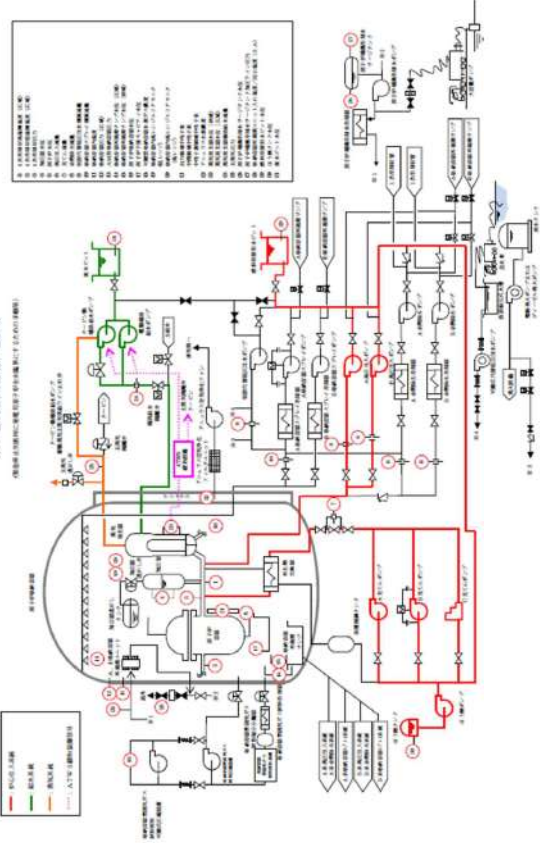
1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>(大阪 該当記載なし)</p>	<p>添1.15-13より再掲</p> <table border="1" data-bbox="663 167 1232 422"> <tr> <td>使用済燃料プール水位/監視 〔ヒートサーモ式〕</td> <td>使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕 使用済燃料プール監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/監視 〔ガイドバルブ式〕</td> <td>使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕 使用済燃料プール監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ 〔高線量、低線量〕</td> <td>使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕</td> </tr> </table> <p>※〔 〕は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	使用済燃料プール水位/監視 〔ヒートサーモ式〕	使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕 使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール水位/監視 〔ガイドバルブ式〕	使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕 使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ 〔高線量、低線量〕	使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕	<p>第1表 重大事故等の対処に必要なパラメータ（10/10）</p> <table border="1" data-bbox="1254 167 1814 997"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">使用済燃料ピットの監視</td> <td>使用済燃料ピット水位（AM用）</td> <td>使用済燃料ピット水位（可搬型） 〔使用済燃料ピット水位〕* 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位（可搬型）</td> <td>主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位（AM用） 〔使用済燃料ピット水位〕* 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度（AM用）</td> <td>〔使用済燃料ピット温度〕* 使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ</td> <td>主要パラメータの予備 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型） 使用済燃料ピット温度（AM用） 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピット水位〕*</td> <td>使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピット温度〕*</td> <td>使用済燃料ピット温度（AM用）</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕*</td> <td>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>〔排気筒ガスモニタ〕*</td> <td>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水温計〕*</td> <td>使用済燃料ピット温度（AM用）</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水位計〕*</td> <td>使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水位・水温計〕*</td> <td>使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※〔 〕は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位（AM用）	使用済燃料ピット水位（可搬型） 〔使用済燃料ピット水位〕* 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピット水位（可搬型）	主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位（AM用） 〔使用済燃料ピット水位〕* 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピット温度（AM用）	〔使用済燃料ピット温度〕* 使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	主要パラメータの予備 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型） 使用済燃料ピット温度（AM用） 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	〔使用済燃料ピット水位〕*	使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）	〔使用済燃料ピット温度〕*	使用済燃料ピット温度（AM用）	〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕*	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	〔排気筒ガスモニタ〕*	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	〔携帯型水温計〕*	使用済燃料ピット温度（AM用）	〔携帯型水位計〕*	使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）	〔携帯型水位・水温計〕*	使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） ・相違理由②</p>
		使用済燃料プール水位/監視 〔ヒートサーモ式〕	使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕 使用済燃料プール監視カメラ																																				
使用済燃料プール水位/監視 〔ガイドバルブ式〕	使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕 使用済燃料プール監視カメラ																																						
使用済燃料プール上部空間放射線モニタ 〔高線量、低線量〕	使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール監視カメラ																																						
使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール水位/温度〔ヒートサーモ式〕 使用済燃料プール水位/温度〔ガイドバルブ式〕 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ〔高線量、低線量〕																																						
分類	主要パラメータ	代替パラメータ																																					
使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位（AM用）	使用済燃料ピット水位（可搬型） 〔使用済燃料ピット水位〕* 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット監視カメラ																																					
	使用済燃料ピット水位（可搬型）	主要パラメータの予備 使用済燃料ピット水位（AM用） 〔使用済燃料ピット水位〕* 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット監視カメラ																																					
	使用済燃料ピット温度（AM用）	〔使用済燃料ピット温度〕* 使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット監視カメラ																																					
	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	主要パラメータの予備 〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕* 使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット監視カメラ																																					
	使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型） 使用済燃料ピット温度（AM用） 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ																																					
	〔使用済燃料ピット水位〕*	使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）																																					
	〔使用済燃料ピット温度〕*	使用済燃料ピット温度（AM用）																																					
	〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕*	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ																																					
	〔排気筒ガスモニタ〕*	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ																																					
	〔携帯型水温計〕*	使用済燃料ピット温度（AM用）																																					
〔携帯型水位計〕*	使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）																																						
〔携帯型水位・水温計〕*	使用済燃料ピット水位（AM用） 使用済燃料ピット水位（可搬型）																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 添付図面</p> <p>技術的能力に係る審査基準 概略系統図 1.1 から 1.10 に、重大事故等の対処に必要なパラメータを計測する計器を示す。</p> 	<p>(以降、女川なし)</p>	<p>(以降、泊なし)</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                  ・女川実績を反映し添付図面（概略系統図）を記載していない。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図1.15 炉内計装系統図（炉内圧力、温度、水位）</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

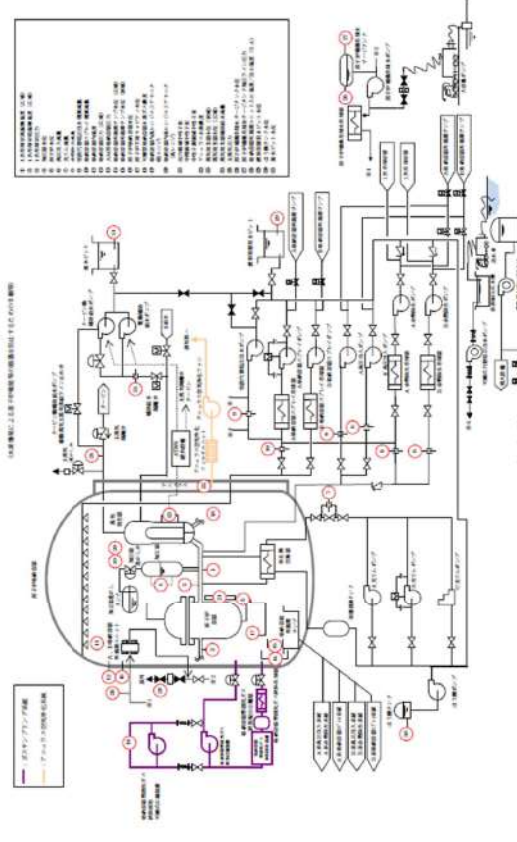
1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図1.15 大飯発電所3/4号炉の計装系統図          (本図は、大飯発電所3/4号炉の計装系統図の一部を示す。詳細は、添付資料を参照してください。)</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.15.4</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>1. はじめに                  事故時における運転員の対応操作においては、監視計器を用いてプラント状態を的確に把握する必要がある。また、対応操作の実施にあたって、監視計器を用いて適切な手順を選定し、適切なタイミングで対応操作を行うことが重要である。                  事故時に、運転員が確認する監視項目について、主要パラメータに加え主要パラメータが監視できない場合の代替パラメータ及び全交流動力電源が喪失した場合の影響も含めて取りまとめた。</p> <p>2. 監視項目                  「事故時操作所則 第2部の適用条件確認」、「事故時操作所則 第3部の適用条件確認」、「技術的能力に係る審査基準の対応手段の判断と確認」及び「その他判断項目」に用いる監視項目について整理した。</p> <p>(1) 事故時操作所則第2部の適用条件確認                  (2) 事故時操作所則第3部の適用条件確認                  (3) 技術的能力に係る審査基準における各手段の判断と確認                  (4) その他判断項目</p> <p>0. 重大事故等対処に係る監視事項についての説明資料</p> <p>1. 事故時操作所則 第2部 安全機能ベースの適用条件確認                  2. 事故時操作所則 第2部 事象ベースの適用条件確認                  3. 事故時操作所則 第3部の適用条件確認                  &lt;比較のため添1.15.28へ再掲&gt;                  4. 技術的能力における各手段の判断と確認                  ・1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等                  ・1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ 高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等                  ・1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順書等                  ・1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ 低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等                  ・1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等                  ・1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等                  ・1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等                  ・1.8 原子炉格納容器下部に落下した熔融炉心の冷却</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.15.3</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>1. はじめに                  重大事故等時における運転員の対応操作においては、監視計器を用いてプラント状態を的確に把握する必要がある。また、対応操作の実施にあたって、監視計器を用いて適切な手順を選定し、適切なタイミングで対応操作を行うことが重要である。                  重大事故等時に、運転員が確認する監視項目について、主要パラメータに加え主要パラメータが監視できない場合の代替パラメータ及び全交流動力電源が喪失した場合の影響も含めて、「2. 監視項目」に示すパラメータを第1表のとおり取りまとめた。</p> <p>2. 監視項目                  技術的能力 1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータについて整理した。</p> <p>(1) 技術的能力 1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ【技術的能力における各手順の判断と確認】                  (2) 有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータ【有効性評価の監視項目に係る判断と確認】</p> <p>3. 重大事故等対処に係る監視事項について</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.15.3</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>1. はじめに                  重大事故等時における運転員の対応操作においては、監視計器を用いてプラント状態を的確に把握する必要がある。また、対応操作の実施にあたって、監視計器を用いて適切な手順を選定し、適切なタイミングで対応操作を行うことが重要である。                  重大事故等時に、運転員が確認する監視項目について、主要パラメータに加え主要パラメータが監視できない場合の代替パラメータ及び全交流動力電源が喪失した場合の影響も含めて、「2. 監視項目」に示すパラメータを第1表のとおり取りまとめた。</p> <p>2. 監視項目                  技術的能力 1.1～1.14 の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータについて整理した。</p> <p>(1) 技術的能力 1.1～1.14 の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ【技術的能力における各手順の判断と確認】                  (2) 有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータ【有効性評価の監視項目に係る判断と確認】</p> <p>3. 重大事故等対処に係る監視事項について</p>	<p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）                  ・基準適合において要求されるパラメータは技術的能力及び有効性評価のパラメータに網羅されているため、自主対策の範囲（社内で制定される運転手順書及びその他判断項目の整理）は対象外としている。                  【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）                  【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）                  ・基準適合において要求されるパラメータは技術的能力及び有効性評価のパラメータに網羅されているため、自主対策の範囲（社内で制定される運転手順書及びその他判断項目の整理）は対象外としている。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">＜比較のため添1.15-28へ再掲＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等</li> <li>・1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</li> <li>・1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等</li> <li>・1.14 電源の確保に関する手順等</li> </ul>			
<p>次項以降の「重大事故等対処に係る監視事項」についての解説を以下に示す。</p>	<p>第1表の「重大事故等対処に係る監視事項」についての解説を以下に示す。</p>	<p>第1表の「重大事故等対処に係る監視事項」についての解説を以下に示す。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>
<p>a 「対応手段」欄は、事故処置中に確認する項目、<b>運転基準の適用条件又は対応手段</b>を示す。</p>	<p>a. 「対応手段」欄は、事故処置中に確認する項目、対応手段を示す。</p>	<p>a. 「対応手段」欄は、事故処置中に確認する項目、対応手段を示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・基準適合において要求されるパラメータは技術的能力及び有効性評価のパラメータに網羅されているため、自主対策の範囲（社内で制定される運転手順書及びその他判断項目の整理）は対象外としている。</p>
<p>b 「項目」欄は、<b>監視パラメータ</b>により判断あるいは確認する項目を示す。</p>	<p>b. 各技術的能力の「項目」欄は、抽出パラメータ又は抽出パラメータの代替パラメータにより判断あるいは確認する項目を示す。</p>	<p>b. 各技術的能力の「項目」欄は、<b>抽出パラメータ又は抽出パラメータの代替パラメータ</b>により判断あるいは確認する項目を示す。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>
<p>c 「監視パラメータ（主要パラメータ）」欄は、判断基準の確認で使用する必要なパラメータを示す。</p>	<p>c. 「抽出パラメータを計測する計器」欄は、判断基準の確認で使用する必要なパラメータを計測する計器を示す。</p>	<p>c. 「抽出パラメータを計測する計器」欄は、判断基準の確認で使用する必要なパラメータを計測する計器を示す。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>
<p>d 「監視パラメータ（代替パラメータ）」欄は、<b>主要パラメータ</b>が監視できない場合に監視するパラメータ（<b>他チャンネル及び他ループにより確認するものを除く</b>）を示す。</p>	<p>d. 「抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器」欄は、抽出パラメータが監視できない場合に監視するパラメータを計測する計器を示す。</p>	<p>d. 「抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器」欄は、抽出パラメータが監視できない場合に監視するパラメータを計測する計器を示す。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>
<p>e 「計器数」欄に記載のあるPAMは、事故時監視計器（Post Accident Monitor）の略であり、事故時の耐環境性を有した計器を示す。</p>	<p>e. 「SBO影響（直後）」欄は、全交流動力電源喪失発生直後は区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの蓄電池が健全であるため、蓄電池により計測可能な計器数を示す。</p>	<p>e. 「計器数」欄に記載のあるPAMは、<b>事故時監視計器（Post Accident Monitor）の略であり、事故時の耐環境性を有した計器を示す</b>。</p>	<p>【女川】記載方針の相違（大飯実績の反映）</p>
<p>f 「SBO影響（直後）」欄は、全交流動力電源喪失発生直後は安全系（A、B）、非安全系（C）の蓄電池が健全であるため、<b>CRTを含めて監視可能な計器数</b>を示す。</p>	<p>f. 「SBO影響（区分Ⅰ（区分Ⅱ）直流電源を延命した場合）」欄は、<b>区分Ⅰ（区分Ⅱ）の直流電源を延命した場合に計測可能な計器数</b>を示す。</p>	<p>f. 「SBO影響（直後）」欄は、全交流動力電源喪失発生直後は安全系（A、B）、非安全系（C）の蓄電池が健全であるため、蓄電池により計測可能な計器を示す。</p>	<p>【女川】項目番号の相違 【女川】記載表現の相違 ・泊：安全系（A、B） ・女川：区分Ⅰ、Ⅱ</p>
<p>g 「A、D計装用電源切り離し後」欄は、A、D計装用電源を切り離した場合に<b>監視可能な計器数</b>を示す。</p>	<p>g. 「SBO影響（区分Ⅰ（区分Ⅱ）直流電源を延命した場合）」欄は、<b>区分Ⅰ（区分Ⅱ）の直流電源を延命した場合に計測可能な計器数</b>を示す。</p>	<p>g. 「SBO影響（A（B）直流電源を延命した場合）」欄は、A（B）の直流電源を延命した場合に計測可能な計器数を示す。</p>	<p>【女川】記載表現の相違 ・泊：非安全系（C） ・女川：区分Ⅲ 【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>
<p>h 「監視パラメータ分類」欄は、<b>主要パラメータが重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータか</b>評価し、その結果を①～③にて示す。</p>	<p>h. 「補助パラメータ分類理由」欄は、補助パラメータの選定に</p>	<p>h. 「パラメータ分類」欄は、抽出パラメータの<b>分類を示し</b>、その結果を①～③にて示す。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>
<p>① 重要な監視パラメータ（重大事故等対応設備） ② 有効な監視パラメータ（多様性拡張設備） ③ 補助的な監視パラメータ（多様性拡張設備）</p>	<p>①重要監視パラメータ ②有効監視パラメータ ③補助監視パラメータ</p>	<p>①重要監視パラメータ ②有効監視パラメータ ③補助パラメータ</p>	
<p>i 「選定理由」欄は、<b>補助的な監視パラメータ（多様性拡張設</b></p>	<p>h. 「補助パラメータ分類理由」欄は、補助パラメータの選定に</p>	<p>i. 「補助パラメータ分類理由」欄は、補助パラメータの選定に</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																										
<p>備)の選定について、その理由を示す。</p> <p>j「評価 推定ケース」欄は、代替パラメータについて、以下に整理し、推定方法を分類する。</p> <p>ケース1：同一物理量で推定（温度、圧力、水位、流量、放射線量）する。</p> <p>ケース2：水位を注水源若しくは注入先の水位変化又は注入量から推定する。</p> <p>ケース3：流量を注水先又は注水源の水位変化を監視することにより推定する。</p> <p>ケース4：除熱状態を温度、圧力等の傾向監視により推定する。</p> <p>ケース5：1次系からの漏えいを水位、圧力等の傾向監視により推定する。</p> <p>ケース6：圧力と温度を水の飽和状態の関係から推定する。</p> <p>ケース7：ほう素濃度と炉心の未臨界性から推定する。</p> <p>ケース8：装置の動作特性により推定する。</p> <p>ケース9：あらかじめ評価したパラメータの相関関係（ケース6を除く）により推定する。</p>	<p>について、その理由を示す。</p> <p>1. 「評価 計器故障等」欄は、抽出パラメータが計器故障等で監視できない場合に、判断基準の確認を抽出パラメータの代替パラメータで推定できることを評価し、監視方法を示す。</p> <p>2. 「評価SBO」欄は、全交流動力電源喪失の影響を考慮した場合に、判断基準の確認が可能なパラメータの監視方法を示す。</p> <p>・区分Ⅰ又は区分Ⅱ直流電源を延命した場合に監視可能な計器を評価し、監視方法について記載している。</p>	<p>について、その理由を示す。</p> <p>j. 「評価 計器故障等」欄は、抽出パラメータが計器故障等で監視できない場合に、判断基準の確認を抽出パラメータの代替パラメータで推定できることを評価し、監視方法を示す。</p> <p>k. 「評価 SBO」欄は、全交流動力電源喪失の影響を考慮した場合に、判断基準の確認が可能なパラメータの監視方法を示す。</p> <p>・A又はB直流電源を延命した場合に監視可能な計器を評価し、監視方法について記載している。</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊：安全系（A、B）</li> <li>女川：区分Ⅰ、Ⅱ</li> </ul> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>抽出パラメータの故障時における代替パラメータによる代替監視方法やSBO時に監視するパラメータについて記載する「評価」の欄を追加している。（女川実績の反映）</li> </ul> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊は、有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器について、灰色網掛けしないことで示している。（大阪と同様）</li> </ul>																																																																																																																																																																																										
<p>表1 重大事故等対処に係る監視事項（例）</p> <table border="1" data-bbox="78 1037 627 1260"> <thead> <tr> <th rowspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">監視手段</th> <th colspan="4">監視対象</th> <th rowspan="2">監視装置</th> <th colspan="4">監視方法</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>流量</th> <th>放射線量</th> <th>直接監視</th> <th>推定</th> <th>代替監視</th> <th>SBO時監視</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">炉心出口温度監視</td> <td rowspan="2">炉心出口温度計</td> <td>正常時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> </tr> <tr> <td>事故時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心入口温度監視</td> <td rowspan="2">炉心入口温度計</td> <td>正常時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> </tr> <tr> <td>事故時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 技術的能力審査基準1.1～1.10、1.13、1.14における対応手段の灰色部は、重大事故等対処設備による対応手段であることを示す。</p> <p>※ 主要パラメータの計器名称及び代替パラメータの計器名称の灰色部は、重要な監視パラメータであることを示す。</p>	監視項目	監視手段	監視対象				監視装置	監視方法				備考	温度	圧力	流量	放射線量	直接監視	推定	代替監視	SBO時監視	炉心出口温度監視	炉心出口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ	事故時	○	○	○	○	○	○	○	○	炉心入口温度監視	炉心入口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ	事故時	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項（例）</p> <table border="1" data-bbox="672 1037 1220 1204"> <thead> <tr> <th rowspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">監視手段</th> <th colspan="4">監視対象</th> <th rowspan="2">監視装置</th> <th colspan="4">監視方法</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>流量</th> <th>放射線量</th> <th>直接監視</th> <th>推定</th> <th>代替監視</th> <th>SBO時監視</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">炉心出口温度監視</td> <td rowspan="2">炉心出口温度計</td> <td>正常時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> </tr> <tr> <td>事故時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心入口温度監視</td> <td rowspan="2">炉心入口温度計</td> <td>正常時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> </tr> <tr> <td>事故時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 抽出パラメータを計測する計器の計器名称又は抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器の計器名称の灰色部は、計測されるパラメータが重要監視パラメータ又は重要代替監視パラメータであることを示す。</p> <p>※ [ ]は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。</p>	監視項目	監視手段	監視対象				監視装置	監視方法				備考	温度	圧力	流量	放射線量	直接監視	推定	代替監視	SBO時監視	炉心出口温度監視	炉心出口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ	事故時	○	○	○	○	○	○	○	○	炉心入口温度監視	炉心入口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ	事故時	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項（例）</p> <table border="1" data-bbox="1254 1037 1814 1332"> <thead> <tr> <th rowspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">監視手段</th> <th colspan="4">監視対象</th> <th rowspan="2">監視装置</th> <th colspan="4">監視方法</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>流量</th> <th>放射線量</th> <th>直接監視</th> <th>推定</th> <th>代替監視</th> <th>SBO時監視</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">炉心出口温度監視</td> <td rowspan="2">炉心出口温度計</td> <td>正常時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> </tr> <tr> <td>事故時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心入口温度監視</td> <td rowspan="2">炉心入口温度計</td> <td>正常時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> </tr> <tr> <td>事故時</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 技術的能力審査基準1.1～1.14における対応手段の灰色部は、重大事故等対処設備による対応手段であることを示す。</p> <p>※ 抽出パラメータを計測する計器の計器名称又は抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器の計器名称の灰色部は、計測されるパラメータが重要監視パラメータ又は重要代替監視パラメータであることを示す。</p>	監視項目	監視手段	監視対象				監視装置	監視方法				備考	温度	圧力	流量	放射線量	直接監視	推定	代替監視	SBO時監視	炉心出口温度監視	炉心出口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ	事故時	○	○	○	○	○	○	○	○	炉心入口温度監視	炉心入口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ	事故時	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>抽出パラメータの故障時における代替パラメータによる代替監視方法やSBO時に監視するパラメータについて記載する「評価」の欄を追加している。（女川実績の反映）</li> </ul> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊は、有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器について、灰色網掛けしないことで示している。（大阪と同様）</li> </ul>
監視項目			監視手段	監視対象				監視装置	監視方法				備考																																																																																																																																																																																
	温度	圧力		流量	放射線量	直接監視	推定		代替監視	SBO時監視																																																																																																																																																																																			
炉心出口温度監視	炉心出口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ																																																																																																																																																																																		
		事故時	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																			
炉心入口温度監視	炉心入口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ																																																																																																																																																																																		
		事故時	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																			
監視項目	監視手段	監視対象				監視装置	監視方法				備考																																																																																																																																																																																		
		温度	圧力	流量	放射線量		直接監視	推定	代替監視	SBO時監視																																																																																																																																																																																			
炉心出口温度監視	炉心出口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ																																																																																																																																																																																		
		事故時	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																			
炉心入口温度監視	炉心入口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ																																																																																																																																																																																		
		事故時	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																			
監視項目	監視手段	監視対象				監視装置	監視方法				備考																																																																																																																																																																																		
		温度	圧力	流量	放射線量		直接監視	推定	代替監視	SBO時監視																																																																																																																																																																																			
炉心出口温度監視	炉心出口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ																																																																																																																																																																																		
		事故時	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																			
炉心入口温度監視	炉心入口温度計	正常時	○	○	○	○	○	○	○	○	重要監視パラメータ																																																																																																																																																																																		
		事故時	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">&lt;比較のため添1.15-25、26より再掲&gt;</p> <p>4. 技術的能力における各手段の判断と確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等</li> <li>・1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</li> <li>・1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順書等</li> <li>・1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</li> <li>・1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等</li> <li>・1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等</li> <li>・1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等</li> <li>・1.8 原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却</li> <li>・1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等</li> <li>・1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</li> <li>・1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等</li> <li>・1.14 電源の確保に関する手順等</li> </ul>	<p>なお、第1表について、2項で設定した監視項目（【技術的能力における各手段の判断と確認】及び【有効性評価の監視項目に係る判断と確認】）について、以下の順に整理する。</p> <p>1. 技術的能力における各手順の判断と確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等</li> <li>・1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</li> <li>・1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等</li> <li>・1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</li> <li>・1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等</li> <li>・1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等</li> <li>・1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等</li> <li>・1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等</li> <li>・1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等</li> <li>・1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</li> <li>・1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等</li> <li>・1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等</li> <li>・1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等</li> <li>・1.14 電源の確保に関する手順等</li> </ul> <p>2. 有効性評価の監視項目に係る判断と確認</p> <p>(1) 運転中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2.1 高圧・低圧注水機能喪失</li> <li>・2.2 高圧注水・減圧機能喪失</li> <li>・2.3 全交流動力電源喪失             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2.3.1 全交流動力電源喪失（長期 TB）</li> <li>・2.3.2 全交流動力電源喪失（TBU）</li> <li>・2.3.3 全交流動力電源喪失（TBD）</li> <li>・2.3.4 全交流動力電源喪失（TBP）</li> </ul> </li> <li>・2.4 崩壊熱除去機能喪失             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2.4.1 取水機能が喪失した場合</li> <li>・2.4.2 残留熱除去系が故障した場合</li> </ul> </li> </ul>	<p>なお、第1表について、2項で設定した監視項目（【技術的能力における各手段の判断と確認】及び【有効性評価の監視項目に係る判断と確認】）について、以下の順に整理する。</p> <p>1. 技術的能力における各手順の判断と確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等</li> <li>・1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</li> <li>・1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等</li> <li>・1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</li> <li>・1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等</li> <li>・1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等</li> <li>・1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等</li> <li>・1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等</li> <li>・1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等</li> <li>・1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</li> <li>・1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等</li> <li>・1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等</li> <li>・1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等</li> <li>・1.14 電源の確保に関する手順等</li> </ul> <p>2. 有効性評価の監視項目に係る判断と確認</p> <p>(1) 運転中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 主給水流量喪失時に補助給水機能が喪失する事故</li> </ul> </li> <li>・7.1.2 全交流動力電源喪失             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能の喪失及び RCP シール LOCA が発生する事故</li> <li>b. 外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能が喪失する事故</li> </ul> </li> <li>・7.1.3 原子炉補機冷却機能喪失             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 原子炉補機冷却機能喪失時に RCP シール LOCA が発生する事故</li> </ul> </li> <li>・7.1.4 原子炉格納容器の除熱機能喪失             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 大破断 LOCA 時に低圧再循環機能及び格納容器スプレ</li> </ul> </li> </ul>	<p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・泊では、重大事故等時において、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等のために監視が必要なパラメータとして、技術的能力1.11,1.12に係るパラメータも重出している。</p> <p>【大阪】【女川】審査基準改正に係る相違</p> <p>【女川】設備構成の相違に伴う資料構成の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・2.5 原子炉停止機能喪失</p> <p>・2.6 LOCA 時注水機能喪失</p> <p>・2.7 格納容器バイパス（インターフェイスシステム LOCA）</p> <p>(2) 運転中の原子炉における重大事故</p> <p>・3.1 雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損）</p> <p>・3.1.1 代替循環冷却系を使用する場合</p> <p>・3.1.2 代替循環冷却系を使用できない場合</p> <p>・3.2 高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱</p> <p>・3.3 原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用</p> <p>・3.4 水素燃焼</p> <p>・3.5 溶融炉心・コンクリート相互作用</p> <p>(3) 使用済燃料プールにおける重大事故に至るおそれがある事故</p> <p>・4.1 想定事故1</p> <p>・4.2 想定事故2</p> <p>(4) 運転停止中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故</p> <p>・5.1 崩壊熱除去機能喪失</p>	<p>・2.5 原子炉停止機能喪失</p> <p>・2.6 LOCA 時注水機能喪失</p> <p>・2.7 格納容器バイパス（インターフェイスシステム LOCA）</p> <p>(2) 運転中の原子炉における重大事故</p> <p>・3.1 雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損）</p> <p>・3.1.1 代替循環冷却系を使用する場合</p> <p>・3.1.2 代替循環冷却系を使用できない場合</p> <p>・3.2 高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱</p> <p>・3.3 原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用</p> <p>・3.4 水素燃焼</p> <p>・3.5 溶融炉心・コンクリート相互作用</p> <p>(3) 使用済燃料ピットにおける重大事故に至るおそれがある事故</p> <p>・4.1 想定事故1</p> <p>・4.2 想定事故2</p> <p>(4) 運転停止中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故</p> <p>・5.1 崩壊熱除去機能喪失</p>	<p>イ注入機能が喪失する事故</p> <p>・7.1.5 原子炉停止機能喪失</p> <p>a. 主給水流量喪失時に原子炉トリップ機能が喪失する事故</p> <p>b. 負荷の喪失時に原子炉トリップ機能が喪失する事故</p> <p>・7.1.6 ECCS 注水機能喪失</p> <p>a. 中破断 LOCA 時に高圧注入機能が喪失する事故</p> <p>・7.1.7 ECCS 再循環機能喪失</p> <p>a. 大破断 LOCA 時に低圧再循環機能及び高圧再循環機能が喪失する事故</p> <p>・7.1.8 格納容器バイパス</p> <p>a. インターフェイスシステム LOCA</p> <p>b. 蒸気発生器伝熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故</p> <p>(2) 運転中の原子炉における重大事故</p> <p>・7.2.1.1 雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧破損）</p> <p>a. 大破断 LOCA 時に低圧注入機能、高圧注入機能及び格納容器スプレイ注入機能が喪失する事故</p> <p>・7.2.1.2 雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過温破損）</p> <p>a. 外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、補助給水機能が喪失する事故</p> <p>・7.2.2 高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱</p> <p>a. 外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、補助給水機能が喪失する事故</p> <p>・7.2.3 原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用</p> <p>a. 大破断 LOCA 時に低圧注入機能、高圧注入機能及び格納容器スプレイ注入機能が喪失する事故</p> <p>・7.2.4 水素燃焼</p> <p>a. 大破断 LOCA 時に低圧注入機能及び高圧注入機能が喪失する事故</p> <p>・7.2.5 溶融炉心・コンクリート相互作用</p> <p>a. 大破断 LOCA 時に低圧注入機能、高圧注入機能及び格納容器スプレイ注入機能が喪失する事故</p> <p>(3) 使用済燃料ピットにおける重大事故に至るおそれがある事故</p> <p>・7.3.1 想定事故1</p> <p>・7.3.2 想定事故2</p> <p>(4) 運転停止中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故</p> <p>・7.4.1 崩壊熱除去機能喪失（余熱除去系の故障による停止時冷却機能喪失）</p>	<p>【女川】設備構成の相違に伴う資料構成の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5.2 全交流動力電源喪失</li> <li>・5.3 原子炉冷却材の流出</li> <li>・5.4 反応度の誤投入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 燃料取出前のミッドループ運転中に余熱除去機能が喪失する事故</li> <li>・7.4.2 全交流動力電源喪失                         <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 燃料取出前のミッドループ運転中に外部電源が喪失するとともに非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能が喪失する事故</li> </ul> </li> <li>・7.4.3 原子炉冷却材の流出                         <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 燃料取出前のミッドループ運転中に原子炉冷却材圧力バウンダリ機能が喪失する事故</li> </ul> </li> <li>・7.4.4 反応度の誤投入                         <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 原子炉起動時に、化学体積制御系の弁の誤作動等により原子炉へ純水が流入する事故</li> </ul> </li> </ul>	<p>【女川】設備構成の相違に伴う資料構成の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順書、安全機能ベースの運用条件確認-1】

注：事故時操作手順書（注）は、事故時操作手順書（注）と一致するものとする。

監視項目	監視対象	監視項目		監視項目		監視項目	監視項目		監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		監視項目	監視項目		
監視項目	監視対象	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視対象	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視対象	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視対象	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

注：BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）  
 ・基準適合において要求されるパラメータは技術的能力及び有効性評価のパラメータに網羅されているため、自主対策の範囲（社内で制定される運転手順書及びその他判断項目の整理）は対象外としている。以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作所別第2部 安全機能ベースの適用条件確認-2】

※緊急時即時移行困難項目「蒸気発生抑制用調整」項目、燃料管理用正圧の維持。

機能項目	仕様事項 （注）	監視のターゲット		監視のターゲット		監視のターゲット		監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段					
												監視手段
蒸気発生抑制用調整 （注） 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、	監視項目 監視手段 監視手段 監視手段 監視手段	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
蒸気発生抑制用調整 （注） 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、 蒸気発生抑制用調整の監視項目は、	監視項目 監視手段 監視手段 監視手段 監視手段	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
		監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段

※注：本表の項目は、監視項目の項目名を省略している。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順2部 安全機能ベースの適用条件確認-3】

予備：予備時操作手順2部（注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照

監視事項	監視項目		監視手段		監視条件		監視結果		監視結果	監視結果	監視結果
	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段			
監視事項 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視項目 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視手段 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視項目 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視手段 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視項目 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視手段 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視項目 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視手段 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視結果 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視結果 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視結果 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照
	監視項目 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視手段 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視項目 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視手段 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視項目 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視手段 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視項目 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視手段 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視結果 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視結果 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照	監視結果 （注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照

注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照（注）：注）参照

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 安全機能ベースの適用条件確認-4】

手順：事故時操作手順第2部「炉心の冷却」の項目(2)、1.既設固有本の欄付。

項目名	仕様	監視項目		監視項目		監視項目	監視項目	監視項目		監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目			監視項目	監視項目			
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※ すべてこのページの記載事項を参照  
 ※ BWR固有の設備

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対応に係る監視事項

【事故時操作所別第2部 事象ベースの適用条件確認-1】

手順：事故時操作所別第2部 全文消滅高圧失

相違項目	相違箇所	主群のメニュー				サブ群のメニュー				評価
		計装名称 0内はFAM	SBO影響 直後	監視のアイコン 分類	遷移理由	計装名称 0内はFAM	SBO影響 直後	監視のアイコン 分類	遷移理由	
主群の動力監視画面の適用条件確認	サブ群の各画面の適用条件確認 主群の適用条件確認	キ3(4)A, B, C 1, C, D, D.1, D.2 計装画面	6	6	②	既設警報の有無、警報種の優先順位 の表示などによる遷移理由の 付与	キ3(4)A, B, C 1, C, D, D.1, D.2 計装画面	—	—	—

※ すべてのメニューの計装の合計数  
 A/B, C, D: 当該メニューの計装数

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順第2部、事象ベースの適用条件確認-2】

資料1.事故時操作手順第2部、LOCAP内蔵機能

項目	大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由
	項目	運転のフェーズ		運転のフェーズ		備考	備考	項目	運転のフェーズ		運転のフェーズ		備考	備考	項目	運転のフェーズ		運転のフェーズ		備考	備考	
		計画	運転	計画	運転				計画	運転	計画	運転				計画	運転	計画	運転			
監視対象項目  【LOCAP内蔵機能】 監視対象項目	項目名	機内監視対象項目 (SIN)項目							機内監視対象項目 (SIN)項目							機内監視対象項目 (SIN)項目						
		項目名	機能説明	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	項目名	機能説明	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	項目名	機能説明	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目	監視対象項目 (SIN)項目
		機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目			機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目			機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目	機内監視対象項目 (SIN)項目		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作所則第2部 事象ベースの通用条件確認-2】

注：本表は監視項目確認表（LOCAR）共通項目

監視項目	監視基準 (O/F/F/A/M)	監視ツラップ		監視ツラップ		監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)
		監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)						
監視項目	監視基準 (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)
監視項目	監視基準 (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)	監視ツラップ (O/F/F/A/M)

本ページは...の記載  
 あり、(O)は監視ツラップ

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事象ベースの運用条件確認-3】

注：本表は事故時操作手順第2部、インターフェイス/LOCA

監視項目	監視内容	主系統の監視			副系統の監視			監視項目	監視内容	監視項目			評価	
		監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容			監視項目	監視内容	監視項目		監視内容
監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	
		監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	
	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視項目	監視内容

※ 本表は、女川2号炉の監視項目と異なる項目は、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事象ベースの運用条件確認-3】

種別：事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA

項目名	監視事項	監視システム		監視システム		監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
		監視システム	監視システム	監視システム	監視システム						
事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA 事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	事故時操作手順第2部、心カテゴリーLOCA	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム

※以下の監視システムは、監視システムが監視可能な監視項目を監視する。

※1：監視システムが監視可能な監視項目を監視する。

※2：監視システムが監視可能な監視項目を監視する。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対応に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事象ベースの適用条件確認-3】

手順：事故時操作用第2部 インターフェース/LOGA

監視項目	監視基準	正転のフェーズ				逆転のフェーズ				評価
		異常発生 の判定	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	
監視項目	監視基準	異常発生 の判定	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	評価
監視項目	監視基準	異常発生 の判定	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	異常発生 の検出	評価

※、以下のフェーズが、正転のフェーズであり、逆転のフェーズではない。  
 AB、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z、AA、AB、AC、AD、AE、AF、AG、AH、AI、AJ、AK、AL、AM、AN、AO、AP、AQ、AR、AS、AT、AU、AV、AW、AX、AY、AZ、BA、BB、BC、BD、BE、BF、BG、BH、BI、BJ、BK、BL、BM、BN、BO、BP、BQ、BR、BS、BT、BU、BV、BW、BX、BY、BZ、CA、CB、CC、CD、CE、CF、CG、CH、CI、CJ、CK、CL、CM、CN、CO、CP、CQ、CR、CS、CT、CU、CV、CW、CX、CY、CZ、DA、DB、DC、DD、DE、DF、DG、DH、DI、DJ、DK、DL、DM、DN、DO、DP、DQ、DR、DS、DT、DU、DV、DW、DX、DY、DZ、EA、EB、EC、ED、EE、EF、EG、EH、EI、EJ、EK、EL、EM、EN、EO、EP、EQ、ER、ES、ET、EU、EV、EW、EX、EY、EZ、FA、FB、FC、FD、FE、FF、FG、FH、FI、FJ、FK、FL、FM、FN、FO、FP、FQ、FR、FS、FT、FU、FV、FW、FX、FY、FZ、GA、GB、GC、GD、GE、GF、GG、GH、GI、GJ、GK、GL、GM、GN、GO、GP、GQ、GR、GS、GT、GU、GV、GW、GX、GY、GZ、HA、HB、HC、HD、HE、HF、HG、HH、HI、HJ、HK、HL、HM、HN、HO、HP、HQ、HR、HS、HT、HU、HV、HW、HX、HY、HZ、IA、IB、IC、ID、IE、IF、IG、IH、II、IJ、IK、IL、IM、IN、IO、IP、IQ、IR、IS、IT、IU、IV、IW、IX、IY、IZ、JA、JB、JC、JD、JE、JF、JG、JH、JI、JJ、JK、JL、JM、JN、JO、JP、JQ、JR、JS、JT、JU、JV、JW、JX、JY、JZ、KA、KB、KC、KD、KE、KF、KG、KH、KI、KJ、KK、KL、KM、KN、KO、KP、KQ、KR、KS、KT、KU、KV、KW、KX、KY、KZ、LA、LB、LC、LD、LE、LF、LG、LH、LI、LJ、LK、LL、LM、LN、LO、LP、LQ、LR、LS、LT、LU、LV、LW、LX、LY、LZ、MA、MB、MC、MD、ME、MF、MG、MH、MI、MJ、MK、ML、MN、MO、MP、MQ、MR、MS、MT、MU、MV、MW、MX、MY、MZ、NA、NB、NC、ND、NE、NF、NG、NH、NI、NJ、NK、NL、NM、NO、NP、NQ、NR、NS、NT、NU、NV、NW、NX、NY、NZ、OA、OB、OC、OD、OE、OF、OG、OH、OI、OJ、OK、OL、OM、ON、OO、OP、OQ、OR、OS、OT、OU、OV、OW、OX、OY、OZ、PA、PB、PC、PD、PE、PF、PG、PH、PI、PJ、PK、PL、PM、PN、PO、PP、PQ、PR、PS、PT、PU、PV、PW、PX、PY、PZ、QA、QB、QC、QD、QE、QF、QG、QH、QI、QJ、QK、QL、QM、QN、QO、QP、QQ、QR、QS、QT、QU、QV、QW、QX、QY、QZ、RA、RB、RC、RD、RE、RF、RG、RH、RI、RJ、RK、RL、RM、RN、RO、RP、RQ、RR、RS、RT、RU、RV、RW、RX、RY、RZ、SA、SB、SC、SD、SE、SF、SG、SH、SI、SJ、SK、SL、SM、SN、SO、SP、SQ、SR、SS、ST、SU、SV、SW、SX、SY、SZ、TA、TB、TC、TD、TE、TF、TG、TH、TI、TJ、TK、TL、TM、TN、TO、TP、TQ、TR、TS、TT、TU、TV、TW、TX、TY、TZ、UA、UB、UC、UD、UE、UF、UG、UH、UI、UJ、UK、UL、UM、UN、UO、UP、UQ、UR、US、UT、UU、UV、UW、UX、UY、UZ、VA、VB、VC、VD、VE、VF、VG、VH、VI、VJ、VK、VL、VM、VN、VO、VP、VQ、VR、VS、VT、VU、VV、VW、VX、VY、VZ、WA、WB、WC、WD、WE、WF、WG、WH、WI、WJ、WK、WL、WM、WN、WO、WP、WQ、WR、WS、WT、WU、WV、WW、WX、WY、WZ、XA、XB、XC、XD、XE、XF、XG、XH、XI、XJ、XK、XL、XM、XN、XO、XP、XQ、XR、XS、XT、XU、XV、XW、XX、XY、XZ、YA、YB、YC、YD、YE、YF、YG、YH、YI、YJ、YK、YL、YM、YN、YO、YP、YQ、YR、YS、YT、YU、YV、YW、YX、YY、YZ、ZA、ZB、ZC、ZD、ZE、ZF、ZG、ZH、ZI、ZJ、ZK、ZL、ZM、ZN、ZO、ZP、ZQ、ZR、ZS、ZT、ZU、ZV、ZW、ZX、ZY、ZZ

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4】

手順：緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4に2行15LOCA

項目名	監視事項	事故時ベース		緊急時ベース		異常時ベース		計装
		計装	項目	計装	項目	計装	項目	
15LOCA発生時、緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4） 1. 監視項目 2. 監視項目（監視項目） 3. 監視項目（監視項目） 4. 監視項目（監視項目） 5. 監視項目（監視項目） 6. 監視項目（監視項目） 7. 監視項目（監視項目） 8. 監視項目（監視項目） 9. 監視項目（監視項目） 10. 監視項目（監視項目） 11. 監視項目（監視項目） 12. 監視項目（監視項目）	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装
	緊急時ベース適用条件確認（緊急時操作所則第2部、事象ベースの適用条件確認-4）	計装	項目	計装	項目	計装	項目	計装

注：15LOCA発生時の監視事項  
 AMOC（監視）の監視事項

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、DWR  
固有の設備や対応手段であり、泊3  
号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事故ベースの適用条件確認-4】

手続：緊急時監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表

項目	監視事項	監視手段					監視手段 付与状況	監視手段 監視状況		監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況
		監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況							
監視項目	アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表 監視事項：アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況
監視項目	アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表 監視事項：アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況	監視手段 監視状況

※「アソシエータ」の監視事項は、アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表、アソシエータ監視手続実施表

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対応に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事象への対応の運用条件確認-4】

手順書上の操作手順第2部、プランと運転士の作動手順書に示すLOCA

評価	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	

表1-15-10の運用条件確認事項は、図1-15-10の監視項目に示す通りである。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事象ベースの適用条件確認-5】

手順：事故時操作手順第2部「補機が機能正常(その1)、補機が機能異常(その2)」

監視項目	監視基準	主機のパラメータ			監視のパラメータ			代替のパラメータ		評価
		計器名称 (計器番号)	単位	監視範囲 A、D計器用 電圧計が機能し後	監視のパラメータ 分類	監視理由	計器名称 (計器番号)	直後	監視範囲 A、D計器用 電圧計が機能し後	
補機が機能正常(その1) の運用条件確認	電力が供給される(注)は、 LOCAが機能正常時に補機が正常 運転中であること。 1. 電力が供給される(注)は、 2. 電力が供給される(注)は、 3. 電力が供給される(注)は、	原子炉補機が正常 運転中	2	0	②	原子炉補機が正常 運転中	4	4	4	1
		原子炉補機が正常 運転中	2	0	③	高水圧ポンプの運転状態により監視可能	高水圧ポンプが正常 運転中	3	3	3
補機が機能正常(その2) の運用条件確認	電力が供給される(注)は、 LOCAが機能正常時に補機が正常 運転中であること。 1. 電力が供給される(注)は、 2. 電力が供給される(注)は、 3. 電力が供給される(注)は、	原子炉補機が正常 運転中	2	1	①	原子炉補機が正常 運転中	2	2	2	0
		原子炉補機が正常 運転中	2	1	①	原子炉補機が正常 運転中	2	2	2	2

注：その1、その2は、電力が供給される(注)は、  
 A、D、C、L、D、計器のパラメータ

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対応に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事象ベークスの適用条件確認-6】

手順：事故時操作手順第2部「SGTR時監視/監視確認」SGTR時監視確認手順中「全S/Gの異常監視」

手順項目	監視基準	主監視員（A/B）		監視員（C/D）		監視員（E/F）		監視員（G/H）	監視員（I/J）	監視員（K/L）	監視員（M/N）	監視員（O/P）	監視員（Q/R）
		人数	人数	人数	人数	人数	人数						
監視員（A/B）	監視員（C/D）	監視員（E/F）	監視員（G/H）	監視員（I/J）	監視員（K/L）	監視員（M/N）	監視員（O/P）	監視員（Q/R）	監視員（S/T）	監視員（U/V）	監視員（W/X）	監視員（Y/Z）	監視員（AA/AB）
監視員（A/B）	監視員（C/D）	監視員（E/F）	監視員（G/H）	監視員（I/J）	監視員（K/L）	監視員（M/N）	監視員（O/P）	監視員（Q/R）	監視員（S/T）	監視員（U/V）	監視員（W/X）	監視員（Y/Z）	監視員（AA/AB）
監視員（A/B）	監視員（C/D）	監視員（E/F）	監視員（G/H）	監視員（I/J）	監視員（K/L）	監視員（M/N）	監視員（O/P）	監視員（Q/R）	監視員（S/T）	監視員（U/V）	監視員（W/X）	監視員（Y/Z）	監視員（AA/AB）

主：すべてでグループの計画の合計数  
 A/B, C, D: 当該グループの計画数

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視員（A/B）			
監視員（C/D）			
監視員（E/F）			
監視員（G/H）			
監視員（I/J）			
監視員（K/L）			
監視員（M/N）			
監視員（O/P）			
監視員（Q/R）			
監視員（S/T）			
監視員（U/V）			
監視員（W/X）			
監視員（Y/Z）			
監視員（AA/AB）			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事故ベースの適用条件確認-7】

手順：事故時操作手順第2部「LOCA時再循環システム再開手順表」

監視項目	監視基準	監視のセンター				検定手法	注	監視のセンター		異常発生 の対応方針	監視のセンター	監視のセンター	異常発生 の対応方針	監視のセンター	監視のセンター	異常発生 の対応方針	監視のセンター	監視のセンター			
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目			監視項目	監視項目										監視項目	監視項目	監視項目
LOCA時再循環システム再開手順表 の適用条件確認	再循環システム再開手順表の適用条件確認 1. 再循環システム再開条件 2. 再循環システム再開手順 3. 再循環システム再開時の監視項目 4. 再循環システム再開時の異常発生時の対応	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開			
		再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開		
		再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開		
		再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開		
		再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開		
		再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	再循環システム再開	

※、下で再循環システム再開時の監視項目  
 M.L.C、D：監視センターの非設置

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作所第2部 事象ベースの適用条件確認-7】

手順：事故時操作所第2部「LOC-A時経経過サンプリングルーチン」参照。

特徴項目	特徴記述	監視のウオーチング				監視のウオーチング 分類	異常理由	代用のウオーチング				評価		
		計器数 (1)計器数A	計器名称	SIDO実働 直接	SIDO実働 A、D時制用 電算的確認上後			計器数 (2)計器数B	計器名称	SIDO実働 直接	SIDO実働 A、D時制用 電算的確認上後			
LOCA時経経過サンプリングルーチン適用条件確認	特記事項 種別：種別サンプリングルーチン適用条件確認 LOCA時経経過サンプリングルーチン適用条件確認 適用条件確認ルーチン適用条件確認 適用条件確認ルーチン適用条件確認 適用条件確認ルーチン適用条件確認 適用条件確認ルーチン適用条件確認 適用条件確認ルーチン適用条件確認	2(2)	体幹監視用計器 サンプリング装置一式 (1)	2	1	(1)	—	1	0	2	2	1	0	ケース1
		2(2)	体幹監視用計器 サンプリング装置一式 (1)	2	1	(1)	—	2	0	2	2	1	0	ケース2
		2	体幹監視用計器 サンプリング装置一式 (1)	2	1	(1)	—	2	0	2	2	1	0	ケース3
		2	体幹監視用計器 サンプリング装置一式 (1)	2	1	(1)	—	2	0	2	2	1	0	ケース4

※：A、C、Dは当該ウオーチングの計器数  
A、C、Dは当該ウオーチングの計器数

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作所第2部 事象ベースの適用条件確認-8】

手順：事故時操作所第2部「潜水格納罐水位」

監視項目	監視基準	主要パラメータ		監視パラメータ		監視理由	異常発生時 監視パラメータ 分類	異常発生時 監視パラメータ 監視項目		異常発生時 監視パラメータ 監視項目	異常発生時 監視パラメータ 監視項目	異常発生時 監視パラメータ 監視項目	異常発生時 監視パラメータ 監視項目	異常発生時 監視パラメータ 監視項目	異常発生時 監視パラメータ 監視項目	異常発生時 監視パラメータ 監視項目	
		計測機 (OP/FAM)	直設	計測機 (OP/FAM)	直設			計測機 (OP/FAM)	直設								計測機 (OP/FAM)
潜水格納罐水位 の監視(水位変動) の監視(水位変動)	潜水格納罐水位 の監視(水位変動)	2	2	2	2	③	③	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3
	潜水格納罐水位 の監視(水位変動)	2	2	2	2	③	③	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	潜水格納罐水位 の監視(水位変動)	2	2	2	2	③	③	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

注：赤字で示しているパラメータは、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 AB, C, D: 当該パラメータの非搭載

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作手順第2部 事象データベースの適用条件確認-9】

手順：事故時操作手順第2部「原子炉運転モード1, 2, 3および1以外の全交流電源喪失、RCSスクロールアップ運転中に起るLOCA」（原子炉トリップ不能時時は、事故時操作手順第2部 未燃事の連絡(1)へ移行）

監視項目	監視基準	主要システム			代替システム			評価
		監視名称	監視内容	監視条件	監視名称	監視内容	監視条件	
原子炉運転モード1, 2, 3における全交流電源喪失 発生時の監視	原子炉運転モード1, 2, 3および1以外の全交流電源喪失発生時、監視基準を満たす監視項目が複数存在する場合、以下の条件を満たす場合に適用する。 ① RCSスクロールアップ運転中に起るLOCA ② RCSスクロールアップ運転中に起るLOCAの適用条件確認	0	0	③				
		1	1	②				
RCSスクロールアップ運転中に起るLOCAの適用条件確認	RCSスクロールアップ運転中に起るLOCAの適用条件確認	1	1	②				

全システムへのA-1の計装の合計数  
 A(B, C, D)：監視A-1の計装数

\*1：SPO時は待機状態は監視対象外となるため監視不可

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対応に係る監視事項

【事故時操作手順】第2部 事象ベースの運用条件確認—9】

手順：事故時操作手順第2部（原子炉運転モード、2.3.3および組立における各装置・電機室、RCS及び炉内冷却ポンプ運転中におけるEALOCA）（原子炉リゾナンス抑制用BWR特1、事故時操作手順第2部、本装置の維持（Q）（参照））

監視項目	監視のタスク		監視のタスク		監視のタスク		監視のタスク	監視のタスク	監視のタスク	監視のタスク
	対象名称	監視項目	対象名称	監視項目	対象名称	監視項目				
<p>原子炉RCS及び炉内冷却ポンプ運転中におけるEALOCAの監視項目</p> <p>1. 監視項目</p> <p>2. 監視項目</p> <p>3. 監視項目</p> <p>4. 監視項目</p> <p>5. 監視項目</p> <p>6. 監視項目</p> <p>7. 監視項目</p> <p>8. 監視項目</p> <p>9. 監視項目</p> <p>10. 監視項目</p> <p>11. 監視項目</p> <p>12. 監視項目</p> <p>13. 監視項目</p> <p>14. 監視項目</p> <p>15. 監視項目</p> <p>16. 監視項目</p> <p>17. 監視項目</p> <p>18. 監視項目</p> <p>19. 監視項目</p> <p>20. 監視項目</p> <p>21. 監視項目</p> <p>22. 監視項目</p> <p>23. 監視項目</p> <p>24. 監視項目</p> <p>25. 監視項目</p> <p>26. 監視項目</p> <p>27. 監視項目</p> <p>28. 監視項目</p> <p>29. 監視項目</p> <p>30. 監視項目</p> <p>31. 監視項目</p> <p>32. 監視項目</p> <p>33. 監視項目</p> <p>34. 監視項目</p> <p>35. 監視項目</p> <p>36. 監視項目</p> <p>37. 監視項目</p> <p>38. 監視項目</p> <p>39. 監視項目</p> <p>40. 監視項目</p> <p>41. 監視項目</p> <p>42. 監視項目</p> <p>43. 監視項目</p> <p>44. 監視項目</p> <p>45. 監視項目</p> <p>46. 監視項目</p> <p>47. 監視項目</p> <p>48. 監視項目</p> <p>49. 監視項目</p> <p>50. 監視項目</p> <p>51. 監視項目</p> <p>52. 監視項目</p> <p>53. 監視項目</p> <p>54. 監視項目</p> <p>55. 監視項目</p> <p>56. 監視項目</p> <p>57. 監視項目</p> <p>58. 監視項目</p> <p>59. 監視項目</p> <p>60. 監視項目</p> <p>61. 監視項目</p> <p>62. 監視項目</p> <p>63. 監視項目</p> <p>64. 監視項目</p> <p>65. 監視項目</p> <p>66. 監視項目</p> <p>67. 監視項目</p> <p>68. 監視項目</p> <p>69. 監視項目</p> <p>70. 監視項目</p> <p>71. 監視項目</p> <p>72. 監視項目</p> <p>73. 監視項目</p> <p>74. 監視項目</p> <p>75. 監視項目</p> <p>76. 監視項目</p> <p>77. 監視項目</p> <p>78. 監視項目</p> <p>79. 監視項目</p> <p>80. 監視項目</p> <p>81. 監視項目</p> <p>82. 監視項目</p> <p>83. 監視項目</p> <p>84. 監視項目</p> <p>85. 監視項目</p> <p>86. 監視項目</p> <p>87. 監視項目</p> <p>88. 監視項目</p> <p>89. 監視項目</p> <p>90. 監視項目</p> <p>91. 監視項目</p> <p>92. 監視項目</p> <p>93. 監視項目</p> <p>94. 監視項目</p> <p>95. 監視項目</p> <p>96. 監視項目</p> <p>97. 監視項目</p> <p>98. 監視項目</p> <p>99. 監視項目</p> <p>100. 監視項目</p>	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<p>原子炉RCS及び炉内冷却ポンプ運転中におけるEALOCAの監視項目</p> <p>1. 監視項目</p> <p>2. 監視項目</p> <p>3. 監視項目</p> <p>4. 監視項目</p> <p>5. 監視項目</p> <p>6. 監視項目</p> <p>7. 監視項目</p> <p>8. 監視項目</p> <p>9. 監視項目</p> <p>10. 監視項目</p> <p>11. 監視項目</p> <p>12. 監視項目</p> <p>13. 監視項目</p> <p>14. 監視項目</p> <p>15. 監視項目</p> <p>16. 監視項目</p> <p>17. 監視項目</p> <p>18. 監視項目</p> <p>19. 監視項目</p> <p>20. 監視項目</p> <p>21. 監視項目</p> <p>22. 監視項目</p> <p>23. 監視項目</p> <p>24. 監視項目</p> <p>25. 監視項目</p> <p>26. 監視項目</p> <p>27. 監視項目</p> <p>28. 監視項目</p> <p>29. 監視項目</p> <p>30. 監視項目</p> <p>31. 監視項目</p> <p>32. 監視項目</p> <p>33. 監視項目</p> <p>34. 監視項目</p> <p>35. 監視項目</p> <p>36. 監視項目</p> <p>37. 監視項目</p> <p>38. 監視項目</p> <p>39. 監視項目</p> <p>40. 監視項目</p> <p>41. 監視項目</p> <p>42. 監視項目</p> <p>43. 監視項目</p> <p>44. 監視項目</p> <p>45. 監視項目</p> <p>46. 監視項目</p> <p>47. 監視項目</p> <p>48. 監視項目</p> <p>49. 監視項目</p> <p>50. 監視項目</p> <p>51. 監視項目</p> <p>52. 監視項目</p> <p>53. 監視項目</p> <p>54. 監視項目</p> <p>55. 監視項目</p> <p>56. 監視項目</p> <p>57. 監視項目</p> <p>58. 監視項目</p> <p>59. 監視項目</p> <p>60. 監視項目</p> <p>61. 監視項目</p> <p>62. 監視項目</p> <p>63. 監視項目</p> <p>64. 監視項目</p> <p>65. 監視項目</p> <p>66. 監視項目</p> <p>67. 監視項目</p> <p>68. 監視項目</p> <p>69. 監視項目</p> <p>70. 監視項目</p> <p>71. 監視項目</p> <p>72. 監視項目</p> <p>73. 監視項目</p> <p>74. 監視項目</p> <p>75. 監視項目</p> <p>76. 監視項目</p> <p>77. 監視項目</p> <p>78. 監視項目</p> <p>79. 監視項目</p> <p>80. 監視項目</p> <p>81. 監視項目</p> <p>82. 監視項目</p> <p>83. 監視項目</p> <p>84. 監視項目</p> <p>85. 監視項目</p> <p>86. 監視項目</p> <p>87. 監視項目</p> <p>88. 監視項目</p> <p>89. 監視項目</p> <p>90. 監視項目</p> <p>91. 監視項目</p> <p>92. 監視項目</p> <p>93. 監視項目</p> <p>94. 監視項目</p> <p>95. 監視項目</p> <p>96. 監視項目</p> <p>97. 監視項目</p> <p>98. 監視項目</p> <p>99. 監視項目</p> <p>100. 監視項目</p>	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<p>原子炉RCS及び炉内冷却ポンプ運転中におけるEALOCAの監視項目</p> <p>1. 監視項目</p> <p>2. 監視項目</p> <p>3. 監視項目</p> <p>4. 監視項目</p> <p>5. 監視項目</p> <p>6. 監視項目</p> <p>7. 監視項目</p> <p>8. 監視項目</p> <p>9. 監視項目</p> <p>10. 監視項目</p> <p>11. 監視項目</p> <p>12. 監視項目</p> <p>13. 監視項目</p> <p>14. 監視項目</p> <p>15. 監視項目</p> <p>16. 監視項目</p> <p>17. 監視項目</p> <p>18. 監視項目</p> <p>19. 監視項目</p> <p>20. 監視項目</p> <p>21. 監視項目</p> <p>22. 監視項目</p> <p>23. 監視項目</p> <p>24. 監視項目</p> <p>25. 監視項目</p> <p>26. 監視項目</p> <p>27. 監視項目</p> <p>28. 監視項目</p> <p>29. 監視項目</p> <p>30. 監視項目</p> <p>31. 監視項目</p> <p>32. 監視項目</p> <p>33. 監視項目</p> <p>34. 監視項目</p> <p>35. 監視項目</p> <p>36. 監視項目</p> <p>37. 監視項目</p> <p>38. 監視項目</p> <p>39. 監視項目</p> <p>40. 監視項目</p> <p>41. 監視項目</p> <p>42. 監視項目</p> <p>43. 監視項目</p> <p>44. 監視項目</p> <p>45. 監視項目</p> <p>46. 監視項目</p> <p>47. 監視項目</p> <p>48. 監視項目</p> <p>49. 監視項目</p> <p>50. 監視項目</p> <p>51. 監視項目</p> <p>52. 監視項目</p> <p>53. 監視項目</p> <p>54. 監視項目</p> <p>55. 監視項目</p> <p>56. 監視項目</p> <p>57. 監視項目</p> <p>58. 監視項目</p> <p>59. 監視項目</p> <p>60. 監視項目</p> <p>61. 監視項目</p> <p>62. 監視項目</p> <p>63. 監視項目</p> <p>64. 監視項目</p> <p>65. 監視項目</p> <p>66. 監視項目</p> <p>67. 監視項目</p> <p>68. 監視項目</p> <p>69. 監視項目</p> <p>70. 監視項目</p> <p>71. 監視項目</p> <p>72. 監視項目</p> <p>73. 監視項目</p> <p>74. 監視項目</p> <p>75. 監視項目</p> <p>76. 監視項目</p> <p>77. 監視項目</p> <p>78. 監視項目</p> <p>79. 監視項目</p> <p>80. 監視項目</p> <p>81. 監視項目</p> <p>82. 監視項目</p> <p>83. 監視項目</p> <p>84. 監視項目</p> <p>85. 監視項目</p> <p>86. 監視項目</p> <p>87. 監視項目</p> <p>88. 監視項目</p> <p>89. 監視項目</p> <p>90. 監視項目</p> <p>91. 監視項目</p> <p>92. 監視項目</p> <p>93. 監視項目</p> <p>94. 監視項目</p> <p>95. 監視項目</p> <p>96. 監視項目</p> <p>97. 監視項目</p> <p>98. 監視項目</p> <p>99. 監視項目</p> <p>100. 監視項目</p>	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

女川2号炉の監視項目は、RCS及び炉内冷却ポンプ運転中におけるEALOCAの監視項目

A/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【緊急処置編第二部 事象データベースの適用条件確認-10】

手順：緊急処置編第二部「停止中の海水ポンプ監視機能確認」(原子炉トリップ不動作監視内は、緊急処置編第二部 未編纂の建替(1)へ移行)

監視項目	監視基準	主要パラメータ		次要パラメータ		監視の必要性 (0:なし、1:あり)	監視の理由	監視の手段	監視の範囲	監視の優先度	
		SRO基準		SRO基準							
		直後	A、D計器用 電圧印の離し係	直後	A、D計器用 電圧印の離し係						
停止中の 海水ポンプ監視機能 の適用条件確認	運転モードは(全機海水冷却)による 運転から運転モード(停止)に 変更された場合に、監視機能 の適用条件が正常であること の確認	2	0	2	0	2	原子炉冷却設備海水 ポンプ監視機能 (CCT)	原子炉冷却設備海水 ポンプ監視機能 (CCT)	原子炉冷却設備海水 ポンプ監視機能 (CCT)	0	0
		2	0	2	0	2	海水ポンプ監視機能 (CCT)	海水ポンプ監視機能 (CCT)	海水ポンプ監視機能 (CCT)	3	3
		2	0	2	0	2	海水ポンプ監視機能 (CCT)	海水ポンプ監視機能 (CCT)	海水ポンプ監視機能 (CCT)	3	3

全行でのループの監視の合計数  
AEL: C, D: 監視ループの合計数

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

【事故時操作所則第3部の適用条件確認】

手順：事故時操作所則第3部 主要機作機

相対項目	相対基準	監視のウオッチ				監視理由	代償のウオッチ				評価	
		主要ウオッチ		代償ウオッチ			代償ウオッチ		代償ウオッチ			
		計器名称	計器本体0点BPM	SBO基準 直読	A、D計器用 電流の検し値		監視ウオッチ 分値	監視理由	計器名称	計器本体0点BPM		SBO基準 直読
事故時操作所則第3部の適用条件確認	炉心出口温度が93℃以上及び 燃料冷却能力低下が認められ、 1x10msv/h以上	炉心出口温度計	1	0	0	②	—	炉心出口温度計 （炉心出口温度計）	4(4)	4 (②)	0	ケースI
		燃料冷却能力低下 （燃料冷却能力低下計）	2(2)	1	1	①	—	燃料冷却能力低下 （燃料冷却能力低下計）	4(4)	4 (②)	1	ケースI
								モニタリング点	6	6	0	ケースI

注：すべてのウオッチの計装の台数  
 AH、C、Dは当該ウオッチの計装数

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未監視にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視パラメータ			監視パラメータ			監視
	監視 (INSTRAM)	監視 直接	監視パラメータ 分類	監視 (INSTRAM)	監視 直接	監視パラメータ 分類	
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	4	4	—	—	4	4
	原子炉出力監視	1	0	0	—	3	3
	原子炉出力監視	4	4	2	0	4	4
	原子炉出力監視	2	2	3	0	4	4
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	2	2	0	—	2	2
	原子炉出力監視	2	2	0	—	2	2
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	2	2	0	—	2	2
	原子炉出力監視	2	2	0	—	2	2

※: A, C, B: 監視パラメータの分類  
 AB, C, B: 監視パラメータの分類

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR  
 固有の設備や対応手段であり、泊3  
 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未監視にするための手順等

項目	監視	監視パラメータ			監視パラメータ			監視
		監視 (INSTRAM)	監視 直接	監視パラメータ 分類	監視 (INSTRAM)	監視 直接	監視パラメータ 分類	
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	4	4	2	—	—	4	
	原子炉出力監視	1	0	0	—	—	3	
	原子炉出力監視	4	4	2	0	—	4	
	原子炉出力監視	2	2	3	0	—	4	
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	2	2	0	—	—	2	
	原子炉出力監視	2	2	0	—	—	2	
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	2	2	0	—	—	2	
	原子炉出力監視	2	2	0	—	—	2	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未監視にするための手順等

項目	監視	監視パラメータ			監視パラメータ			監視
		監視 (INSTRAM)	監視 直接	監視パラメータ 分類	監視 (INSTRAM)	監視 直接	監視パラメータ 分類	
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	4	4	2	—	—	4	
	原子炉出力監視	1	0	0	—	—	3	
	原子炉出力監視	4	4	2	0	—	4	
	原子炉出力監視	2	2	3	0	—	4	
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	2	2	0	—	—	2	
	原子炉出力監視	2	2	0	—	—	2	
予備停止中の原子炉出力監視	原子炉出力監視	2	2	0	—	—	2	
	原子炉出力監視	2	2	0	—	—	2	

相違理由

- 【女川】炉型の相違
  - ・女川については、PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための手順、監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。
- 【大阪】設備構成の相違
  - ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることから、手順着手の判断基準及び操作時に監視するパラメータに相違があるものの、基本的な設備構成、代替監視方法は同様である。以降、同表において同じ。

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を本臨界にするための手順等  
フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視用モニター		監視用モニター		監視用モニター		備考
	名称	機能	監視項目	監視項目	警報	警報	
計装	3-SHACT, C2, DL, DDP監視	4	4	①	60%以上の運転状態時に発生可能	3-SHACT, C2, DL, DDP監視	60~70
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4

60~70はCOV-1の監視項目  
NB, C, DL 監視一次係数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を本臨界にするための手順等

項目	監視用モニター		監視用モニター		監視用モニター		備考
	名称	機能	監視項目	監視項目	警報	警報	
計装	3-SHACT, C2, DL, DDP監視	4	4	①	60%以上の運転状態時に発生可能	3-SHACT, C2, DL, DDP監視	60~70
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち, BWR固有の設備や対応手段であり, 泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視用モニター		監視用モニター		監視用モニター		備考
	名称	機能	監視項目	監視項目	警報	警報	
計装	3-SHACT, C2, DL, DDP監視	4	4	①	60%以上の運転状態時に発生可能	3-SHACT, C2, DL, DDP監視	60~70
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4
	炉内圧力監視	4	4	①	—	炉内圧力監視	4
	炉内温度監視	4	4	①	—	炉内温度監視	4
	炉内水位監視	4	4	①	—	炉内水位監視	4

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手順	監視がワンターク				監視がクワンターク				評価
	名称	回数 ( )/PL/PAM	SBO措置 A、D計装用 電送の確立度	監視がワンターク 分類	遠之別山	名称	回数 ( )/PL/PAM	SBO措置 A、D計装用 電送の確立度	
系統による かまど が燃焼 停止	中性子密度監視計	2	2	②	—	中性子密度監視計	2	2	ケース1
	中間領域中性子率計	—	—	—	—	中間領域中性子率計	2	2	ケース1
	中間領域起動率計	—	—	—	—	中間領域起動率計	2	0	ケース1

全、すべてでのロープの計装の合計値  
 A(B), C, D) 当該ロープの計装数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等

項目	監視がワンターク				監視がクワンターク				評価
	名称	回数 ( )/PL/PAM	SBO措置 A、D計装用 電送の確立度	監視がワンターク 分類	遠之別山	名称	回数 ( )/PL/PAM	SBO措置 A、D計装用 電送の確立度	
緊急停止失敗時の監視事項	中性子密度監視計	2	2	②	—	中性子密度監視計	2	2	ケース1
中間領域中性子率計	—	—	—	—	—	中間領域中性子率計	2	2	ケース1
中間領域起動率計	—	—	—	—	—	中間領域起動率計	2	0	ケース1

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視がワンターク				監視がクワンターク				評価
	名称	回数 ( )/PL/PAM	SBO措置 A、D計装用 電送の確立度	監視がワンターク 分類	遠之別山	名称	回数 ( )/PL/PAM	SBO措置 A、D計装用 電送の確立度	
緊急停止失敗時の監視事項	中性子密度監視計	2	2	②	—	中性子密度監視計	2	2	ケース1
中間領域中性子率計	—	—	—	—	—	中間領域中性子率計	2	2	ケース1
中間領域起動率計	—	—	—	—	—	中間領域起動率計	2	0	ケース1

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項  
 1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視用原子炉 監視用原子炉					監視用原子炉						
	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉		
緊急停止失敗時の監視事項	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視

※、下にてコメントの付記は付記あり。  
 ※、(1) (2) の異なるグループが異なる。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等

項目	監視用原子炉 監視用原子炉					監視用原子炉						
	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉		
緊急停止失敗時の監視事項	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視用原子炉 監視用原子炉					監視用原子炉						
	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉	種別 (1) 監視用原子炉 (2) 監視用原子炉		
緊急停止失敗時の監視事項	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視	監視用原子炉の監視



1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項  
1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手順	項目	主要のラダー			監視のラダー			評価
		条件 (1)PARTAM	監視 A、D、H利用 監視の解除、注	監視のラダー 出力	監視のラダー 出力	条件 (1)PARTAM	監視 A、D、H利用 監視の解除、注	
原子炉出力監視機能 (監視ラダー) 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	1	1
	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	1	1
	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	1	1	0	0	1	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	1	1	0	0	1	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	1	1	0	0	1	0	1

主千代田のラダーの監視のラダー  
A、D、H利用監視のラダー

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視	監視のラダー			監視のラダー			評価
		条件 (1)PARTAM	監視 A、D、H利用 監視の解除、注	監視のラダー 出力	監視のラダー 出力	条件 (1)PARTAM	監視 A、D、H利用 監視の解除、注	
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	1	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	1	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

泊発電所3号炉 相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視	監視のラダー			監視のラダー			評価
		条件 (1)PARTAM	監視 A、D、H利用 監視の解除、注	監視のラダー 出力	監視のラダー 出力	条件 (1)PARTAM	監視 A、D、H利用 監視の解除、注	
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	1	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	1	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1
原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	原子炉出力監視機能 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の 監視機能喪失時の (監視ラダー)	2	2	0	0	2	0	1

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対応に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 プロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視用カメラ				監視用カメラ				監視用カメラ				記録
	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		
			監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置			監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置			監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	
監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置

表1-17でカメラの設置位置の監視カメラの設置位置  
 A、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対応に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等

項目	監視用カメラ				監視用カメラ				監視用カメラ				記録
	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		
			監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置			監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置			監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	
監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視対象	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置

表1-17でカメラの設置位置の監視カメラの設置位置  
 A、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を本廠界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	監視項目 (1/4)監視項目	監視項目 (2/4)監視項目	監視項目 (1/4)監視項目	監視項目 (2/4)監視項目	監視項目 (1/4)監視項目	監視項目 (2/4)監視項目	監視項目 (1/4)監視項目	監視項目 (2/4)監視項目
原子炉停止失敗時 （緊急停止失敗時）	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時

女川2号炉との相違点  
 AN, C, D, NEA-17が設置

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	監視項目 (1/4)監視項目	監視項目 (2/4)監視項目	監視項目 (1/4)監視項目	監視項目 (2/4)監視項目	監視項目 (1/4)監視項目	監視項目 (2/4)監視項目	監視項目 (1/4)監視項目	監視項目 (2/4)監視項目
原子炉停止失敗時 （緊急停止失敗時）	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時
	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時	原子炉停止失敗時

女川2号炉との相違点  
 AN, C, D, NEA-17が設置

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対応に係る監視事項  
 1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 プロントライン系機能喪失時の手順等

項目	正常時カウンタ		監視カウンタ		検出理由	名称	式番 (カウンタ)	異常時カウンタ		仕様
	検出 (1) 計装	検出 (2) 計装	検出 (1) 計装	検出 (2) 計装						
操作	緊急停止失敗監視 (計装)	4C (5B)	0	0	—	圧力制御系統監視 (計装)	4C	4 (5B)	4 (5B)	4C-24
	緊急停止失敗監視 (計装)	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
監視	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24

注: 4Cはカウンタの消費電力計装  
 4B, C, Dは当カウンタの消費電力

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち, BWR固有の設備や対応手段であり, 泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対応に係る監視事項

項目	正常時カウンタ		監視カウンタ		検出理由	名称	式番 (カウンタ)	異常時カウンタ		仕様
	検出 (1) 計装	検出 (2) 計装	検出 (1) 計装	検出 (2) 計装						
操作	緊急停止失敗監視 (計装)	4C (5B)	0	0	—	圧力制御系統監視 (計装)	4C	4 (5B)	4 (5B)	4C-24
	緊急停止失敗監視 (計装)	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
監視	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24
	炉心出力監視	4C (5B)	1 (5B)	1 (5B)	—	炉心出力監視 (計装)	4C	1 (5B)	1 (5B)	4C-24

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 プロントライン系機能喪失時の手順等

項目	対応手順	主要パラメータ				監視パラメータ				項目	備考
		名称	数値 (1)内PAM	SDO発生 A、D時採用 監視の順上	監視パラメータ 分類	設定理由	名称	数値 (1)内PAM	SDO発生 A、D時採用 監視の順上		
操作	原子炉出力監視 (自動)	原子炉出力監視	1	1	①	—	原子炉出力監視	40	4	1	①→①.1
		原子炉出力監視	1	1	—	—	原子炉出力監視	30	2	1	①→①.0
		原子炉出力監視	1	1	—	—	原子炉出力監視	40	1	2	①.0, ①.1
		原子炉出力監視	1	1	—	—	原子炉出力監視	160	16	4	①
		原子炉出力監視	1	0	—	—	原子炉出力監視	40	4	2	①.0
		原子炉出力監視	1	0	—	—	原子炉出力監視	160	16	4	①
		原子炉出力監視	1	0	—	—	原子炉出力監視	160	16	4	①

全パラメータのモニタリング対象の合計数  
 A、B、C、Dは順上順の付番

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	名称	主要パラメータ				監視パラメータ				項目	備考
		名称	数値 (1)内PAM	SDO発生 A、D時採用 監視の順上	監視パラメータ 分類	設定理由	名称	数値 (1)内PAM	SDO発生 A、D時採用 監視の順上		
操作	原子炉出力監視 (自動)	原子炉出力監視	1	1	①	—	原子炉出力監視	40	4	1	①→①.1
		原子炉出力監視	1	1	—	—	原子炉出力監視	30	2	1	①→①.0
		原子炉出力監視	1	1	—	—	原子炉出力監視	40	1	2	①.0, ①.1
		原子炉出力監視	1	1	—	—	原子炉出力監視	160	16	4	①
		原子炉出力監視	1	0	—	—	原子炉出力監視	40	4	2	①.0
		原子炉出力監視	1	0	—	—	原子炉出力監視	160	16	4	①
		原子炉出力監視	1	0	—	—	原子炉出力監視	160	16	4	①

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視のフェーズ		監視のフェーズ		監視のフェーズ	監視のフェーズ	監視のフェーズ		監視のフェーズ	監視のフェーズ	監視のフェーズ	監視のフェーズ
	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員			監視 (1)監視員	監視 (2)監視員				
原子炉停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員
	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員

※すべてのフェーズの情報の監視員  
 AB、C、D) 当該フェーズの監視員

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視のフェーズ		監視のフェーズ		監視のフェーズ	監視のフェーズ	監視のフェーズ		監視のフェーズ	監視のフェーズ	監視のフェーズ	監視のフェーズ
	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員			監視 (1)監視員	監視 (2)監視員				
原子炉停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員
	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員	監視 (1)監視員	監視 (2)監視員

※ すべてのフェーズの監視員  
 AB、C、D) 当該フェーズの監視員

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	玉座コンタクト			監視コンタクト			監視コンタクト			評価		
	名称 (J/F/F/FAM)	SIC機能 A.L.U.指示 機能 点	監視コンタクト 点	監視理由	名称 (J/F/F/FAM)	SIC機能 A.L.U.指示 機能 点	監視理由	監視理由				
計装 監視 機能 喪失 時 の 手 順 等 （ <b>参考</b> ）	系統分離指示	3	3	⑤	系統分離指示	3	3	系統分離指示	1	1	0	—
	系統分離指示	3	1	⑤	系統分離指示	3	1	系統分離指示	1	1	0	—
	系統分離指示	4	4	—	系統分離指示	4	4	系統分離指示	4	4	2	—
	系統分離指示	1	1	—	系統分離指示	1	1	系統分離指示	1	1	2	—
	系統分離指示	4	4	⑤	系統分離指示	4	4	系統分離指示	4	4	1	カ→A1
	系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A4
	系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A1
	系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A1
	系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A1
	系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A1

※、システムコンタクトの監視項目は、  
 A.B.C.D.E.玉座コンタクトの監視項目

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	玉座コンタクト			監視コンタクト			監視コンタクト			評価	
	名称 (J/F/F/FAM)	SIC機能 A.L.U.指示 機能 点	監視コンタクト 点	監視理由	名称 (J/F/F/FAM)	SIC機能 A.L.U.指示 機能 点	監視理由	監視理由			
系統分離指示	3	3	⑤	系統分離指示	3	3	系統分離指示	1	1	0	—
系統分離指示	3	1	⑤	系統分離指示	3	1	系統分離指示	1	1	0	—
系統分離指示	4	4	—	系統分離指示	4	4	系統分離指示	4	4	2	—
系統分離指示	1	1	—	系統分離指示	1	1	系統分離指示	1	1	2	—
系統分離指示	4	4	⑤	系統分離指示	4	4	系統分離指示	4	4	1	カ→A1
系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A4
系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A1
系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A1
系統分離指示	2	2	⑤	系統分離指示	2	2	系統分離指示	2	2	1	カ→A1

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

大飯発電所3/4号炉

項目	監視用パラメータ		監視用パラメータ		監視理由	監視用パラメータ		備考
	名称	単位	監視用パラメータ	監視用パラメータ		名称	単位	
異常発生	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
	中間地温感測中計	3	3	3	—	中間地温感測中計	3	2
異常発生感測中計	40	1 (注)	2 (注)	0 (注)	—	異常発生感測中計	40	4 (注)

各「注」は、女川2号炉の記載の参照。  
 MR、C、Dは、監視用パラメータの略称。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視用パラメータ	監視用パラメータ		監視理由	備考
		名称	単位		
異常発生	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
	中間地温感測中計	3	3	—	中間地温感測中計
異常発生感測中計	40	1 (注)	2 (注)	0 (注)	異常発生感測中計

各「注」は、女川2号炉の記載の参照。  
 MR、C、Dは、監視用パラメータの略称。





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を本臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	系統A				系統B				系統C				評価
	検出 (1)P&IDAM	検出 (2)P&IDAM	検出 (3)P&IDAM	検出 (4)P&IDAM	検出 (1)P&IDAM	検出 (2)P&IDAM	検出 (3)P&IDAM	検出 (4)P&IDAM	検出 (1)P&IDAM	検出 (2)P&IDAM	検出 (3)P&IDAM	検出 (4)P&IDAM	
緊急停止失敗時	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6
緊急停止失敗時	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6
緊急停止失敗時	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6
緊急停止失敗時	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6
緊急停止失敗時	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6
緊急停止失敗時	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6

表 1.15-1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を本臨界にするための手順等  
 A、B、Cは、系統A～Cの併設機

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	系統A				系統B				系統C				評価
	検出 (1)P&IDAM	検出 (2)P&IDAM	検出 (3)P&IDAM	検出 (4)P&IDAM	検出 (1)P&IDAM	検出 (2)P&IDAM	検出 (3)P&IDAM	検出 (4)P&IDAM	検出 (1)P&IDAM	検出 (2)P&IDAM	検出 (3)P&IDAM	検出 (4)P&IDAM	
緊急停止失敗時	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6
緊急停止失敗時	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6
緊急停止失敗時	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6
緊急停止失敗時	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6
緊急停止失敗時	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6
緊急停止失敗時	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発着用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	主要パラメータ			監視パラメータ			評価
	名称	数値 (1)P/RFAM	SBC設置 A、D計専用 電源別種と表 直後	監視 (1)P/RFAM	名称	建設理由	
機 件 （手 続）	中性子制御系統 停引	2	0	②	中性子制御系統 中性子 計	—	2 1 1 0 3 0 0 0
	1次冷却系高圧 配管(圧減)	4(6)	0	①	1次冷却系高圧 配管(圧減)	—	4(6) 1 4 4(6) 1 0
	1次冷却系低圧 配管(圧減)	4(6)	1	①	1次冷却系低圧 配管(圧減)	—	4(6) 1 4 4(6) 1 0

※3号炉でのレベルの許容の合計数  
 Aは、C、Dに当該レベルの計器数

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	名称	数値 (1)P/RFAM	SBC設置 A、D計専用 電源別種と表 直後	監視 (1)P/RFAM	名称	建設理由	相違理由	
							相違理由	相違理由
機 件 （手 続）	中性子制御系統 停引	2	0	②	中性子制御系統 中性子 計	—	2 1 1 0 3 0 0 0	
	1次冷却系高圧 配管(圧減)	4(6)	0	①	1次冷却系高圧 配管(圧減)	—	4(6) 1 4 4(6) 1 0	
	1次冷却系低圧 配管(圧減)	4(6)	1	①	1次冷却系低圧 配管(圧減)	—	4(6) 1 4 4(6) 1 0	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対応に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉が未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視システム		監視システム		監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム						
緊急停止失敗時に発電用原子炉が未臨界にするための手順等	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム

※：監視システムに関する詳細は、AB、C、Dの3種類の図表を参照。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対応に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉が未臨界にするための手順等

項目	監視システム		監視システム		監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム						
緊急停止失敗時に発電用原子炉が未臨界にするための手順等	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム
監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム

※：監視システムに関する詳細は、AB、C、Dの3種類の図表を参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対応に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントラインシステム喪失時の手順等

項目	名称	主要のクォータ		監視クォータ		備考
		監視クォータAM （1）対応AM	監視クォータAM （2）対応AM	監視クォータAM （1）対応AM	監視クォータAM （2）対応AM	
緊急停止失敗時の監視事項 （4号機）	機軸回転監視 （1）	4	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （2）	1	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （3）	1	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （4）	1	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （5）	1	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （6）	1	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （7）	1	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （8）	1	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （9）	1	0	1	1	クォータ
	機軸回転監視 （10）	1	0	1	1	クォータ

※1～10は、AMの監視項目数を示す。  
 AM、C、Dは、AMの監視項目数

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手順	項目	監視ポイントA			監視ポイントB			評価	
		名称	回数 (1)内EPAAM	SAR管理 項目数 監視回数/年	監視ポイント 分類	名称	回数 (1)内EPAAM		SAR管理 項目数 監視回数/年
緊急停止失敗時の監視（自動）	起動	主蒸気安全弁異常	1	1	—	異常発生監視	4(回)	4 (回)	—
		主蒸気安全弁異常	—	—	—	異常発生監視	1000	10 (回)	—
	停止	主蒸気圧力計	—	—	—	異常発生監視	1000	10 (回)	—
		主蒸気圧力計	—	—	—	異常発生監視	4	4 (回)	—
		主蒸気圧力計	—	—	—	異常発生監視	4(回)	4 (回)	—
	停止	主蒸気圧力計	—	—	—	異常発生監視	4(回)	4 (回)	—
		主蒸気圧力計	—	—	—	異常発生監視	4(回)	4 (回)	—
停止	主蒸気圧力計	—	—	—	異常発生監視	1	1 (回)	—	

注：SAR管理項目の目標値は計装  
 A、B、C、D：監視グループの目標値

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントラインシステム機能喪失時の手順等

項目	監視のウナター				項目	監視のウナター			
	主要のウナター		次要のウナター			主要のウナター		次要のウナター	
	名称	個数 ( )内はPAM	SDO装置 A、Dは共用 電流の値は後	検出のウナター 分類		運送理由	名称	個数 ( )内はPAM	SDO装置 A、Dは共用 電流の値は後
機作 （出力制御（手動））	高圧安全弁表示 灯	1	0	—	—	高圧安全弁表示 灯	1	0	—
	高圧安全弁表示 灯	1	0	—	—	高圧安全弁表示 灯	1	0	—
	高圧安全弁表示 灯	1	0	—	—	高圧安全弁表示 灯	1	0	—
	高圧安全弁表示 灯	1	0	—	—	高圧安全弁表示 灯	1	0	—

全1号炉でのループの個数の合計数  
 AM、C、Dは当該ウナターの計装数

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視のターゲット												
	系統のAM		主要のターゲット		監視のターゲット		名称	代替のターゲット	SRO設備		評価		
	（1）炉内AM	（2）炉外AM	炉内AM	炉外AM	炉内AM	炉外AM			設備	A/D特性		監視回数	
炉内監視	原子炉出力監視	4	2	1	1	—	—	—	出力監視炉内炉内計	4	4	2	—
炉外監視	炉外監視	1	0	0	0	—	—	—	炉外監視炉内炉内計	4	4	2	—
	炉外監視	4	4	2	2	0	—	—	炉外監視炉内炉内計	4	4	2	—
	炉外監視	2	2	1	1	0	—	—	炉外監視炉内炉内計	4	4	2	—
	炉外監視	2	2	0	0	0	—	—	炉外監視炉内炉内計	4	4	2	—
	炉外監視	2	2	0	0	0	—	—	炉外監視炉内炉内計	4	4	2	—

各、円弧内はターゲットの監視項目数  
 AM、C、Dは監視ターゲットの種別

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントエンド系機能喪失時の手順等

項目	電圧のフェーズ												評価			
	電圧のフェーズA				電圧のフェーズB				電圧のフェーズC							
	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時	異常時 発生時				
異常時発生時の 監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能
	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能
異常時発生時の 監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能
	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能	異常時発生時の監視・警報機能

※本表は女川2号炉の設計仕様に基づき作成されたものであり、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未最良とするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視のフェーズ		監視のフェーズ	監視のフェーズ		監視のフェーズ	監視のフェーズ		評価
	監視 (JANUS)	監視 (JANUS)		監視 (JANUS)	監視 (JANUS)		監視 (JANUS)	監視 (JANUS)	
備注 注1 監視項目	炉内監視	1	1	1	1	1	1	1	1
	炉外監視	2	2	2	2	2	2	2	2
	炉内監視	3	3	3	3	3	3	3	3
	炉外監視	4	4	4	4	4	4	4	4
	炉内監視	5	5	5	5	5	5	5	5
	炉外監視	6	6	6	6	6	6	6	6
	炉内監視	7	7	7	7	7	7	7	7
	炉外監視	8	8	8	8	8	8	8	8
	炉内監視	9	9	9	9	9	9	9	9
	炉外監視	10	10	10	10	10	10	10	10

本ページの情報は、最新の情報を参照してください。

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手順	項目	主要のフレームワーク				監視フレームワーク 分類	検定理由	名称	機能 ( )内はPAM	SPO警報		冗弊のフレームワーク		評価	
		直線	人目見用 電報の構成	直線	人目見用 電報の構成					機能 ( )内はPAM	直線	人目見用 電報の構成			
ほろ 急 停 止 入	警 告	原子炉投入流量計	2	1	①	—	原子炉投入流量計	2(2)	4(2)	4	1	4(2)	1	検定ケース ケース3	
		燃料格納池水位計	4	1	①	—	燃料格納池水位計	4(2)	4	1	1	1	1	検定ケース ケース3	
		原子炉冷却水供給 流量決定器	1	0	②	原子炉冷却水供給流量決定器の検定は緊急 中時予報の指示にて確認可能	原子炉冷却水供給 流量決定器	1	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉冷却水供給 流量制御系統故障 検出装置	1	0	②	原子炉冷却水供給流量制御系統の検定は緊急 中時予報の指示にて確認可能	原子炉冷却水供給 流量制御系統故障 検出装置	1	1	1	—	—	—	—	—

注：すべて0グループの計装の合計数  
 AB, C, D: 5階グループの計装数

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 プロシジャシテ 汽機燃焼室時の手順等

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※ 監視項目は、監視項目に示す通りである。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※ 監視項目は、監視項目に示す通りである。

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視用モニター		監視用モニター		監視用モニター		監視用モニター	
	検出	警報	検出	警報	検出	警報	検出	警報
1. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	320	3	1	0	—	—	—	—
2. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	420	4	1	0	—	—	—	—
3. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	1	1	1	0	—	—	—	—
4. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	320	3	1	0	—	—	—	—
5. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	40	4	0	0	—	—	—	—

※、モニターの設置位置は、監視用モニター室の設置位置を参照。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視用モニター	監視用モニター		監視用モニター		監視用モニター		相違理由
		検出	警報	検出	警報	検出	警報	
1. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	320	3	1	0	—	—	—	—
2. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	420	4	1	0	—	—	—	—
3. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	1	1	1	0	—	—	—	—
4. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	320	3	1	0	—	—	—	—
5. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	40	4	0	0	—	—	—	—

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

泊発電所3号炉

項目	監視用モニター		監視用モニター		監視用モニター		監視用モニター		相違理由
	検出	警報	検出	警報	検出	警報	検出	警報	
1. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	320	3	1	0	—	—	—	—	—
2. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	420	4	1	0	—	—	—	—	—
3. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	1	1	1	0	—	—	—	—	—
4. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	320	3	1	0	—	—	—	—	—
5. 冷却材圧力バウンダリ高圧時	40	4	0	0	—	—	—	—	—

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 フロントイン-蒸気発生機失時の手順等

項目	監視項目				監視手段	監視時間	監視位置	監視装置	監視装置の仕様		監視装置の型式	監視装置の設置位置
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目					監視装置の仕様	監視装置の仕様		
監視項目	原子炉冷却材圧力	64	(0)	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力	22	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	原子炉冷却材圧力	64	(0)	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力	64	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※：監視装置の型式は、監視装置の仕様を参照してください。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目				監視手段	監視時間	監視位置	監視装置	監視装置の仕様		監視装置の型式	監視装置の設置位置
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目					監視装置の仕様	監視装置の仕様		
監視項目	原子炉冷却材圧力	64	(0)	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力	22	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	原子炉冷却材圧力	64	(0)	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力	64	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目				監視手段	監視時間	監視位置	監視装置	監視装置の仕様		監視装置の型式	監視装置の設置位置
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目					監視装置の仕様	監視装置の仕様		
監視項目	原子炉冷却材圧力	64	(0)	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力	22	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	原子炉冷却材圧力	64	(0)	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力	64	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 フロントライヴ系機能喪失時の手順等

項目	監視項目		監視手段		監視時間	監視手段	監視時間	監視手段	監視時間
	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段					
監視項目	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視

表 1.15-1 監視項目の監視手段

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視時間	監視手段	監視時間	監視手段	監視時間
	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段					
監視項目	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視時間	監視手段	監視時間	監視手段	監視時間
	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段					
監視項目	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視
	原子炉冷却材圧力	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視	監視

表 1.15-2 監視項目の監視手段

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 フロントライン系機器喪失時の手順等

監視項目	監視内容		監視手段		監視時間		監視範囲	
	監視項目	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	

※：監視項目は、監視項目の欄に記載されている項目を指す。

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視時間		監視範囲	
	監視項目	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視時間		監視範囲	
	監視項目	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	
	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視手段	監視時間	

※：監視項目は、監視項目の欄に記載されている項目を指す。

※：監視項目は、監視項目の欄に記載されている項目を指す。

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	1号炉(1号機)				2号炉(2号機)				評価
	発生	検知 (PT/DAM)	警報 (PT/DAM)	監視/アラーム 分類	発生	検知 (PT/DAM)	警報 (PT/DAM)	監視/アラーム 分類	
監視項目	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	0	—	60	60	60	—
	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—
備考	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—
	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—

※ PT/DAMは、PT/DAMの故障時の状態  
※ 60: 60分以内の検知

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	1号炉(1号機)				2号炉(2号機)				評価
	発生	検知 (PT/DAM)	警報 (PT/DAM)	監視/アラーム 分類	発生	検知 (PT/DAM)	警報 (PT/DAM)	監視/アラーム 分類	
監視項目	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	0	—	60	60	60	—
	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—
備考	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—
	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

泊発電所3号炉

項目	1号炉(1号機)				2号炉(2号機)				相違理由
	発生	検知 (PT/DAM)	警報 (PT/DAM)	監視/アラーム 分類	発生	検知 (PT/DAM)	警報 (PT/DAM)	監視/アラーム 分類	
監視項目	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	0	—	60	60	60	—
	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—
備考	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—
	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	60	60	4 (5)	—	60	60	60	—

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	主要パラメータ		監視パラメータ		監視理由	各機	設備 (1)PWRZAM	500東電 A、D/E専用 機器の相違/状態	相違 (A、D/E)	相違 (A、D/E)	相違 (A、D/E)
	監視 (1)PWRZAM	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)							
原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							

※：すべてのロープの距離の合計値  
 A/E、C/D、E専用機器の相違

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視項目	監視項目		監視項目		監視理由	各機	設備 (1)PWRZAM	500東電 A、D/E専用 機器の相違/状態	相違 (A、D/E)	相違 (A、D/E)	相違 (A、D/E)
		監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)							
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							

泊発電所3号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

監視項目	監視項目	監視項目		監視項目		監視理由	各機	設備 (1)PWRZAM	500東電 A、D/E専用 機器の相違/状態	相違 (A、D/E)	相違 (A、D/E)	相違 (A、D/E)
		監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)	監視 (A、D/E専用 機器の相違/状態)							
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目							

※：すべてのロープの距離の合計値  
 A/E、C/D、E専用機器の相違

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 フロントライヴ蒸機監視喪失時の手順等

項目	監視項目		監視手段		監視機能		監視機能		監視機能
	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段		
監視項目	原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
	原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能

女川2号炉の監視項目の注釈  
 注1：H. 蒸機ボイラの注釈

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視機能		監視機能		監視機能
	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段		
監視項目	原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
	原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視機能		監視機能		監視機能
	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段		
監視項目	原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
	原子炉冷却材圧力バウダンリ高圧時	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能
	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視機能

注1：H. 蒸機ボイラの注釈

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
サブポート系機能喪失時の手順等

項目	内容	監視用アラーム		警報用アラーム		警報用アラーム		評価
		発生	消音	発生	消音	発生	消音	
監視事項 監視用アラーム 警報用アラーム 警報用アラーム 警報用アラーム 警報用アラーム	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	2	3	3	3	3	3	3-51
	サブポート系機能喪失時	4	5	5	5	5	5	3-54
	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	4	5	5	5	5	5	3-54
	サブポート系機能喪失時	4	5	5	5	5	5	3-54
	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	4	5	5	5	5	5	3-54

注：アラームの発生/消音は、ALC、B、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z、AA、AB、AC、AD、AE、AF、AG、AH、AI、AJ、AK、AL、AM、AN、AO、AP、AQ、AR、AS、AT、AU、AV、AW、AX、AY、AZ、BA、BB、BC、BD、BE、BF、BG、BH、BI、BJ、BK、BL、BM、BN、BO、BP、BQ、BR、BS、BT、BU、BV、BW、BX、BY、BZ、CA、CB、CC、CD、CE、CF、CG、CH、CI、CJ、CK、CL、CM、CN、CO、CP、CQ、CR、CS、CT、CU、CV、CW、CX、CY、CZ、DA、DB、DC、DD、DE、DF、DG、DH、DI、DJ、DK、DL、DM、DN、DO、DP、DQ、DR、DS、DT、DU、DV、DW、DX、DY、DZ、EA、EB、EC、ED、EE、EF、EG、EH、EI、EJ、EK、EL、EM、EN、EO、EP、EQ、ER、ES、ET、EU、EV、EW、EX、EY、EZ、FA、FB、FC、FD、FE、FF、FG、FH、FI、FJ、FK、FL、FM、FN、FO、FP、FQ、FR、FS、FT、FU、FV、FW、FX、FY、FZ、GA、GB、GC、GD、GE、GF、GG、GH、GI、GJ、GK、GL、GM、GN、GO、GP、GQ、GR、GS、GT、GU、GV、GW、GX、GY、GZ、HA、HB、HC、HD、HE、HF、HG、HH、HI、HJ、HK、HL、HM、HN、HO、HP、HQ、HR、HS、HT、HU、HV、HW、HX、HY、HZ、IA、IB、IC、ID、IE、IF、IG、IH、II、IJ、IK、IL、IM、IN、IO、IP、IQ、IR、IS、IT、IU、IV、IW、IX、IY、IZ、JA、JB、JC、JD、JE、JF、JG、JH、JI、JJ、JK、JL、JM、JN、JO、JP、JQ、JR、JS、JT、JU、JV、JW、JX、JY、JZ、KA、KB、KC、KD、KE、KF、KG、KH、KI、KJ、KK、KL、KM、KN、KO、KP、KQ、KR、KS、KT、KU、KV、KW、KX、KY、KZ、LA、LB、LC、LD、LE、LF、LG、LH、LI、LJ、LK、LL、LM、LN、LO、LP、LQ、LR、LS、LT、LU、LV、LW、LX、LY、LZ、MA、MB、MC、MD、ME、MF、MG、MH、MI、MJ、MK、ML、MM、MN、MO、MP、MQ、MR、MS、MT、MU、MV、MW、MX、MY、MZ、NA、NB、NC、ND、NE、NF、NG、NH、NI、NJ、NK、NL、NM、NO、NP、NQ、NR、NS、NT、NU、NV、NW、NX、NY、NZ、OA、OB、OC、OD、OE、OF、OG、OH、OI、OJ、OK、OL、OM、ON、OO、OP、OQ、OR、OS、OT、OU、OV、OW、OX、OY、OZ、PA、PB、PC、PD、PE、PF、PG、PH、PI、PJ、PK、PL、PM、PN、PO、PP、PQ、PR、PS、PT、PU、PV、PW、PX、PY、PZ、QA、QB、QC、QD、QE、QF、QG、QH、QI、QJ、QK、QL、QM、QN、QO、QP、QQ、QR、QS、QT、QU、QV、QW、QX、QY、QZ、RA、RB、RC、RD、RE、RF、RG、RH、RI、RJ、RK、RL、RM、RN、RO、RP、RQ、RR、RS、RT、RU、RV、RW、RX、RY、RZ、SA、SB、SC、SD、SE、SF、SG、SH、SI、SJ、SK、SL、SM、SN、SO、SP、SQ、SR、SS、ST、SU、SV、SW、SX、SY、SZ、TA、TB、TC、TD、TE、TF、TG、TH、TI、TJ、TK、TL、TM、TN、TO、TP、TQ、TR、TS、TT、TU、TV、TW、TX、TY、TZ、UA、UB、UC、UD、UE、UF、UG、UH、UI、UJ、UK、UL、UM、UN、UO、UP、UQ、UR、US、UT、UU、UV、UW、UX、UY、UZ、VA、VB、VC、VD、VE、VF、VG、VH、VI、VJ、VK、VL、VM、VN、VO、VP、VQ、VR、VS、VT、VU、VV、VW、VX、VY、VZ、WA、WB、WC、WD、WE、WF、WG、WH、WI、WJ、WK、WL、WM、WN、WO、WP、WQ、WR、WS、WT、WU、WV、WW、WX、WY、WZ、XA、XB、XC、XD、XE、XF、XG、XH、XI、XJ、XK、XL、XM、XN、XO、XP、XQ、XR、XS、XT、XU、XV、XW、XX、XY、XZ、YA、YB、YC、YD、YE、YF、YG、YH、YI、YJ、YK、YL、YM、YN、YO、YP、YQ、YR、YS、YT、YU、YV、YW、YX、YY、YZ、ZA、ZB、ZC、ZD、ZE、ZF、ZG、ZH、ZI、ZJ、ZK、ZL、ZM、ZN、ZO、ZP、ZQ、ZR、ZS、ZT、ZU、ZV、ZW、ZX、ZY、ZZ

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.2 原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	内容	監視用アラーム		警報用アラーム		警報用アラーム		評価
		発生	消音	発生	消音	発生	消音	
監視事項 監視用アラーム 警報用アラーム 警報用アラーム 警報用アラーム	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	1	1	1	1	1	1	1-1
	サブポート系機能喪失時	1	1	1	1	1	1	1-1
	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	1	1	1	1	1	1	1-1
	サブポート系機能喪失時	1	1	1	1	1	1	1-1
	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	1	1	1	1	1	1	1-1

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	内容	監視用アラーム		警報用アラーム		警報用アラーム		評価
		発生	消音	発生	消音	発生	消音	
監視事項 監視用アラーム 警報用アラーム 警報用アラーム 警報用アラーム	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	1	1	1	1	1	1	1-1
	サブポート系機能喪失時	1	1	1	1	1	1	1-1
	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	1	1	1	1	1	1	1-1
	サブポート系機能喪失時	1	1	1	1	1	1	1-1
	原子炉冷却材圧力バワンダリ高圧時	1	1	1	1	1	1	1-1

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
サブポート承擔器実施時の手順等

監視項目	監視対象	監視手段		監視範囲		監視条件		監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲			
監視項目	監視対象	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容

※「1」は「2」の監視範囲に含める。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視対象	監視手段		監視範囲		監視条件		監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲			
監視項目	監視対象	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視対象	監視手段		監視範囲		監視条件		監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲			
監視項目	監視対象	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容
		監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視手段	監視範囲	監視単位	監視時間	監視内容

※「1」は「2」の監視範囲に含める。

相違理由

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 サボート系機能喪失時の手順等

項目	名称	主要のウナダ		監視のウナダ		理由	名称	代替のウナダ		監視
		原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)			原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	
監視 サボート系機能喪失時の手順等	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	40	4 (5)	1 (2)	①	—	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	40	4 (5)	0 ケース1
	原水冷却水ポンプの監視	20	2	1 (2)	①	—	原水冷却水ポンプの監視	40	4 (5)	0 ケース1 2 ケース2

※1 すべてのウナダの計装の合計数  
 AB, C, D: 当該ウナダの計装数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	名称	主要のウナダ		監視のウナダ		理由	名称	代替のウナダ		監視
		原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)			原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	
監視 サボート系機能喪失時の手順等	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	40	4 (5)	1 (2)	①	—	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	40	4 (5)	0 ケース1
	原水冷却水ポンプの監視	20	2	1 (2)	①	—	原水冷却水ポンプの監視	40	4 (5)	0 ケース1 2 ケース2

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	名称	主要のウナダ		監視のウナダ		理由	名称	代替のウナダ		監視
		原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)			原数 (JWP/FAM)	原数 (JWP/FAM)	
監視 サボート系機能喪失時の手順等	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	40	4 (5)	1 (2)	①	—	1号炉冷却材圧力バウンダリ高圧時監視	40	4 (5)	0 ケース1
	原水冷却水ポンプの監視	20	2	1 (2)	①	—	原水冷却水ポンプの監視	40	4 (5)	0 ケース1 2 ケース2

※1 すべてのウナダの計装の合計数  
 A, B, C, D: 当該ウナダの計装数

相違理由



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 サポート系統配管破裂時の手順等

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※1. 500V配線図参照  
 ※2. 500V配線図参照

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※1. 監視項目参照  
 ※2. 監視項目参照

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 サボ一上系機器故障の手帳等

項目	監視項目		監視手段		監視手段		監視手段		監視手段
	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段		
冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視手段		監視手段		監視手段
	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段		
冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視手段		監視手段		監視手段
	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段		
冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段
	冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 予備トポ機能異常時の手順等

監視項目	監視項目A		監視項目B		監視項目C		監視項目D		評価
	検出	許容値	検出	許容値	検出	許容値	検出	許容値	
冷却材圧力バウンダリ高圧時	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
予備トポ機能異常	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
予備トポ機能異常	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常

※ A、B、C、Dは同一の機能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視項目A		監視項目B		監視項目C		監視項目D		評価
	検出	許容値	検出	許容値	検出	許容値	検出	許容値	
冷却材圧力バウンダリ高圧時	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
予備トポ機能異常	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
予備トポ機能異常	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

泊発電所3号炉

監視項目	監視項目A		監視項目B		監視項目C		監視項目D		評価
	検出	許容値	検出	許容値	検出	許容値	検出	許容値	
冷却材圧力バウンダリ高圧時	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
予備トポ機能異常	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
予備トポ機能異常	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常
	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常	400	予備トポ機能異常

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

※ A、B、C、Dは同一の機能

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 サポート系統能力時の手順等

項目	監視システム				監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容
	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲											
冷却材圧力バウダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容
	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容
	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容
	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容
	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容

注：1. 監視範囲は、監視対象の範囲を示す。  
 2. 監視手段は、監視対象の監視手段を示す。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視システム		監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容			
						監視システム	監視手段								
冷却材圧力バウダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容
	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容

泊発電所3号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視システム		監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容			
						監視システム	監視手段								
冷却材圧力バウダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容
	監視システム	監視手段	監視時間	監視範囲	監視項目	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容	監視手段	監視時間	監視範囲	監視対象	監視内容

注：1. 監視範囲は、監視対象の範囲を示す。  
 2. 監視手段は、監視対象の監視手段を示す。

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
サブポート系機能喪失時の手順等

項目	項目	監視用ワンデー			主要用ワンデー			代替用ワンデー			評価	
		名称	機能 (PV)PAM	監視用 SBO等 監視用 監視用監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	名称	機能 (PV)PAM	監視用 SBO等 監視用 監視用		
監視用ワンデーの 監視用監視用	高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	100	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
	高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)

注: すべて00-1プア群の合計数  
A,B,C,D:当該グループの群数

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視項目	監視用ワンデー			主要用ワンデー			代替用ワンデー			評価
		名称	機能 (PV)PAM	監視用 SBO等 監視用 監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	名称	機能 (PV)PAM	監視用 SBO等 監視用 監視用	
監視用ワンデーの 監視用監視用	高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	100	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)

泊発電所3号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視項目	監視用ワンデー			主要用ワンデー			代替用ワンデー			評価
		名称	機能 (PV)PAM	監視用 SBO等 監視用 監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	監視用ワンデー 監視用 監視用	名称	機能 (PV)PAM	監視用 SBO等 監視用 監視用	
監視用ワンデーの 監視用監視用	高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	100	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)
		高圧発生時冷却材 圧力監視 (監視)	40	4 (監視)	0	40	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)	4 (監視)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 サポート系統能力喪失時の手順等

項目	監視のよう		監視のよう		監視のよう		評価
	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	
監視 （冷却材圧力バウンダリ監視）	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0

※、C、D、A、B、C、Dの付録

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視のよう		監視のよう		監視のよう		評価
	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	
監視 （冷却材圧力バウンダリ監視）	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視のよう		監視のよう		監視のよう		評価
	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	名称 (1P/213AM)	監視のよう 監視のよう	
監視 （冷却材圧力バウンダリ監視）	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0	20 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0
	冷却材圧力バウンダリ監視	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0	40 0.0

※、C、D、A、B、C、Dの付録

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 サポート系機能喪失時の手順等

項目	監視のフェーズ				監視のフェーズ				評価
	名称	検出 （1）圧力PAM	異常 （2）異常検出回路	警報 （3）警報発生	名称	検出 （1）圧力PAM	異常 （2）異常検出回路	警報 （3）警報発生	
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1

※「A-33/A、B、C」は「A-33/A、B、C」の略称である。

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視のフェーズ				監視のフェーズ				評価
	名称	検出 （1）圧力PAM	異常 （2）異常検出回路	警報 （3）警報発生	名称	検出 （1）圧力PAM	異常 （2）異常検出回路	警報 （3）警報発生	
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視のフェーズ				監視のフェーズ				評価
	名称	検出 （1）圧力PAM	異常 （2）異常検出回路	警報 （3）警報発生	名称	検出 （1）圧力PAM	異常 （2）異常検出回路	警報 （3）警報発生	
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1
加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	A-33/A、B、C （1）圧力PAM	4	5	6	1
	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	1	1	1	加圧蒸気発生機 （加圧蒸気発生機）	4	4	4	1

※「A-33/A、B、C」は「A-33/A、B、C」の略称である。

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
サブ-1 系統監視喪失時の手順等

監視項目	監視内容			監視手段			監視装置		
	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	
	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	
原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	

注：監視手段(1)は監視手段(2)と同様

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視内容			監視手段			監視装置		
	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	
原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視内容			監視手段			監視装置		
	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	
原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の監視	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	監視手段 (1) 監視手段 (2) 監視手段	

注：監視手段(1)は監視手段(2)と同様

相違理由



1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
サポート系機能喪失時の手順等

対応手順	項目	主要パラメータ			監視パラメータ			内部パラメータ			降盤
		名称	単位	設定値	名称	単位	分岐	名称	単位	設定値	
監視及び制御 監視機能喪失時の 対応	監視機能喪失時の 対応	1次冷却材循環 流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	4 (伝)	D	—	1次冷却材循環 流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	ケース1
		2次冷却材循環 流量計(伝達)	4(t)	0 (伝)	0 (伝)	D	—	2次冷却材循環 流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	ケース1

※1: サポート系機能喪失時の対応  
A(t), C, D)は誤レベルの計器数

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視事項	項目	主要パラメータ			監視パラメータ			内部パラメータ			降盤
		名称	単位	設定値	名称	単位	分岐	名称	単位	設定値	
1次冷却材循環流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	4 (伝)	D	—	1次冷却材循環流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	4(t)	4 (伝)	ケース1
2次冷却材循環流量計(伝達)	4(t)	0 (伝)	0 (伝)	D	—	2次冷却材循環流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	4(t)	4 (伝)	ケース1

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視事項	項目	主要パラメータ			監視パラメータ			内部パラメータ			降盤
		名称	単位	設定値	名称	単位	分岐	名称	単位	設定値	
1次冷却材循環流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	4 (伝)	D	—	1次冷却材循環流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	4(t)	4 (伝)	ケース1
2次冷却材循環流量計(伝達)	4(t)	0 (伝)	0 (伝)	D	—	2次冷却材循環流量計(伝達)	4(t)	4 (伝)	4(t)	4 (伝)	ケース1

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</p>	<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p>	<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p>	<p>相違理由</p>

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウダンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目			
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウダンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目			
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.2 原子炉冷却材圧力カバウンド時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	内容	監視項目			監視手段	監視装置	監視時間	監視範囲	監視内容	監視結果	監視異常時の対応	監視異常時の記録	監視異常時の報告	監視異常時の処置	監視異常時の評価	監視異常時の改善
		監視項目	監視項目	監視項目												
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉冷却材圧力カバウンド時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	内容	監視項目			監視手段	監視装置	監視時間	監視範囲	監視内容	監視結果	監視異常時の対応	監視異常時の記録	監視異常時の報告	監視異常時の処置	監視異常時の評価	監視異常時の改善
		監視項目	監視項目	監視項目												
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※1:監視項目は、監視項目を指す。監視項目は、監視項目を指す。



灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</p> <p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>第2表 重大事故等対処に係る監視事項</p>	<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>第2表 重大事故等対処に係る監視事項</p>	<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>第2表 重大事故等対処に係る監視事項</p>	<p>相違理由</p>



灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧カバランタリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	内容	女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
		監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
監視項目	原子炉冷却材圧カバランタリ高圧時	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
	原子炉冷却材圧カバランタリ高圧時	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	
	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.2 原子炉冷却材圧カバランタリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	内容	女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
		監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
監視項目	原子炉冷却材圧カバランタリ高圧時	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
	原子炉冷却材圧カバランタリ高圧時	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	
	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	監視手段	

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																											
		<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>1.2 原子炉冷却材圧力降下等発生時に発電用原子炉を冷却するための手順等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">監視対象項目</th> <th colspan="3">監視内容</th> <th colspan="3">監視手段</th> <th colspan="3">監視時間</th> <th colspan="3">監視責任</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>単位</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視手段</th> <th>監視手段</th> <th>監視手段</th> <th>監視時間</th> <th>監視時間</th> <th>監視時間</th> <th>監視責任</th> <th>監視責任</th> <th>監視責任</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.2.1 冷却水循環ポンプの運転状況</td> <td>冷却水循環ポンプの運転状況</td> <td></td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> <td>運転状況</td> </tr> <tr> <td colspan="15">注1) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。</td> </tr> <tr> <td colspan="15">注2) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。注3) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。</td> </tr> </tbody> </table>	監視対象項目			監視内容			監視手段			監視時間			監視責任			項目	内容	単位	監視項目	監視項目	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視時間	監視時間	監視時間	監視責任	監視責任	監視責任	1.2.1 冷却水循環ポンプの運転状況	冷却水循環ポンプの運転状況		運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	注1) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。															注2) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。注3) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。															
監視対象項目			監視内容			監視手段			監視時間			監視責任																																																																		
項目	内容	単位	監視項目	監視項目	監視項目	監視手段	監視手段	監視手段	監視時間	監視時間	監視時間	監視責任	監視責任	監視責任																																																																
1.2.1 冷却水循環ポンプの運転状況	冷却水循環ポンプの運転状況		運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況																																																																
注1) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。																																																																														
注2) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。注3) 監視項目及び監視手段は発電用原子炉に共通。																																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																
<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>1.2 原子炉の運転責任者がワンマン運転時に発電用原子炉を監視するための手順等</p> <p>1.2.1 監視用モニター画面の構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">監視用モニター画面の構成</th> <th colspan="2">監視用モニター画面の構成</th> <th colspan="2">監視用モニター画面の構成</th> <th colspan="2">監視用モニター画面の構成</th> <th colspan="2">監視用モニター画面の構成</th> <th colspan="2">監視用モニター画面の構成</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> </tr> <tr> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> </tr> <tr> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> <td>監視用モニター画面の構成</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 監視用モニター画面の構成</p>				項目	監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成
項目	監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成		監視用モニター画面の構成																																																								
	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容																																																							
監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成																																																							
監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成																																																							
監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成	監視用モニター画面の構成																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																												
		<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p style="text-align: center;">1.2 原子炉冷却材圧力バランサリ監視時に発電用原子炉を冷却するための手順等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視手段</th> <th colspan="2">監視装置</th> <th colspan="2">監視装置の性能</th> <th colspan="2">監視装置の信頼性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視手段</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置の性能</th> <th>監視装置の信頼性</th> <th>監視装置の性能</th> <th>監視装置の信頼性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td rowspan="4">冷却水圧力</td> <td>冷却水圧力 (1)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (2)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (3)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (4)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td rowspan="4">冷却水圧力</td> <td>冷却水圧力 (1)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (2)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (3)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (4)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td rowspan="4">冷却水圧力</td> <td>冷却水圧力 (1)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (2)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (3)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (4)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td rowspan="4">冷却水圧力</td> <td>冷却水圧力 (1)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (2)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (3)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>冷却水圧力 (4)</td> <td>監視</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> <td>監視装置の性能</td> <td>監視装置の信頼性</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	監視項目		監視手段		監視装置		監視装置の性能		監視装置の信頼性		備考	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視項目	冷却水圧力	冷却水圧力 (1)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (2)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (3)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (4)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視項目	冷却水圧力	冷却水圧力 (1)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (2)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (3)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (4)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視項目	冷却水圧力	冷却水圧力 (1)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (2)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (3)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (4)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視項目	冷却水圧力	冷却水圧力 (1)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (2)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (3)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	冷却水圧力 (4)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	
項目	内容	監視項目			監視手段		監視装置		監視装置の性能		監視装置の信頼性		備考																																																																																																																																																																																																		
		監視項目	監視手段	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																							
監視項目	冷却水圧力	冷却水圧力 (1)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (2)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (3)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (4)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
監視項目	冷却水圧力	冷却水圧力 (1)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (2)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (3)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (4)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
監視項目	冷却水圧力	冷却水圧力 (1)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (2)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (3)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (4)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
監視項目	冷却水圧力	冷却水圧力 (1)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (2)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (3)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			
		冷却水圧力 (4)	監視	監視装置	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性	監視装置の性能	監視装置の信頼性																																																																																																																																																																																																			

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対応に係る監視事項  
1.2 原子炉冷却材圧力降下高圧時に要電用原子炉冷却器するための監視事項

監視項目	監視内容	監視項目1 (7/10) (注)				監視項目2 (7/10) (注)				監視項目3 (7/10) (注)	監視項目4 (7/10) (注)	監視項目5 (7/10) (注)	監視項目6 (7/10) (注)	監視項目7 (7/10) (注)	監視項目8 (7/10) (注)	監視項目9 (7/10) (注)	監視項目10 (7/10) (注)	監視項目11 (7/10) (注)	監視項目12 (7/10) (注)
		監視項目1-1	監視項目1-2	監視項目1-3	監視項目1-4	監視項目2-1	監視項目2-2	監視項目2-3	監視項目2-4										
監視項目1	監視項目1-1	監視項目1-2	監視項目1-3	監視項目1-4	監視項目2-1	監視項目2-2	監視項目2-3	監視項目2-4	監視項目3	監視項目4	監視項目5	監視項目6	監視項目7	監視項目8	監視項目9	監視項目10	監視項目11	監視項目12	
監視項目1	監視項目1-1	監視項目1-2	監視項目1-3	監視項目1-4	監視項目2-1	監視項目2-2	監視項目2-3	監視項目2-4	監視項目3	監視項目4	監視項目5	監視項目6	監視項目7	監視項目8	監視項目9	監視項目10	監視項目11	監視項目12	
監視項目1	監視項目1-1	監視項目1-2	監視項目1-3	監視項目1-4	監視項目2-1	監視項目2-2	監視項目2-3	監視項目2-4	監視項目3	監視項目4	監視項目5	監視項目6	監視項目7	監視項目8	監視項目9	監視項目10	監視項目11	監視項目12	
監視項目1	監視項目1-1	監視項目1-2	監視項目1-3	監視項目1-4	監視項目2-1	監視項目2-2	監視項目2-3	監視項目2-4	監視項目3	監視項目4	監視項目5	監視項目6	監視項目7	監視項目8	監視項目9	監視項目10	監視項目11	監視項目12	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 上.1.5 原子炉島内及び炉内監視に異常状態を発生させるための手順等

項目	内容	大飯発電所3号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
		監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
監視項目	炉内監視	炉内温度監視	炉内温度監視 (炉内温度監視器)	炉内温度監視 (炉内温度監視器)	炉内温度監視 (炉内温度監視器)	炉内温度監視 (炉内温度監視器)	炉内温度監視 (炉内温度監視器)	
		炉内圧力監視	炉内圧力監視 (炉内圧力監視器)	炉内圧力監視 (炉内圧力監視器)	炉内圧力監視 (炉内圧力監視器)	炉内圧力監視 (炉内圧力監視器)	炉内圧力監視 (炉内圧力監視器)	
		炉内水位監視	炉内水位監視 (炉内水位監視器)	炉内水位監視 (炉内水位監視器)	炉内水位監視 (炉内水位監視器)	炉内水位監視 (炉内水位監視器)	炉内水位監視 (炉内水位監視器)	
		炉内流量監視	炉内流量監視 (炉内流量監視器)	炉内流量監視 (炉内流量監視器)	炉内流量監視 (炉内流量監視器)	炉内流量監視 (炉内流量監視器)	炉内流量監視 (炉内流量監視器)	
		炉内振動監視	炉内振動監視 (炉内振動監視器)	炉内振動監視 (炉内振動監視器)	炉内振動監視 (炉内振動監視器)	炉内振動監視 (炉内振動監視器)	炉内振動監視 (炉内振動監視器)	
		炉内騒音監視	炉内騒音監視 (炉内騒音監視器)	炉内騒音監視 (炉内騒音監視器)	炉内騒音監視 (炉内騒音監視器)	炉内騒音監視 (炉内騒音監視器)	炉内騒音監視 (炉内騒音監視器)	
		炉内放射線監視	炉内放射線監視 (炉内放射線監視器)	炉内放射線監視 (炉内放射線監視器)	炉内放射線監視 (炉内放射線監視器)	炉内放射線監視 (炉内放射線監視器)	炉内放射線監視 (炉内放射線監視器)	
		炉内中性子監視	炉内中性子監視 (炉内中性子監視器)	炉内中性子監視 (炉内中性子監視器)	炉内中性子監視 (炉内中性子監視器)	炉内中性子監視 (炉内中性子監視器)	炉内中性子監視 (炉内中性子監視器)	
		炉内蒸気監視	炉内蒸気監視 (炉内蒸気監視器)	炉内蒸気監視 (炉内蒸気監視器)	炉内蒸気監視 (炉内蒸気監視器)	炉内蒸気監視 (炉内蒸気監視器)	炉内蒸気監視 (炉内蒸気監視器)	
		炉内冷却水監視	炉内冷却水監視 (炉内冷却水監視器)	炉内冷却水監視 (炉内冷却水監視器)	炉内冷却水監視 (炉内冷却水監視器)	炉内冷却水監視 (炉内冷却水監視器)	炉内冷却水監視 (炉内冷却水監視器)	
監視項目	炉外監視	炉外温度監視	炉外温度監視 (炉外温度監視器)	炉外温度監視 (炉外温度監視器)	炉外温度監視 (炉外温度監視器)	炉外温度監視 (炉外温度監視器)	炉外温度監視 (炉外温度監視器)	
		炉外圧力監視	炉外圧力監視 (炉外圧力監視器)	炉外圧力監視 (炉外圧力監視器)	炉外圧力監視 (炉外圧力監視器)	炉外圧力監視 (炉外圧力監視器)	炉外圧力監視 (炉外圧力監視器)	
		炉外水位監視	炉外水位監視 (炉外水位監視器)	炉外水位監視 (炉外水位監視器)	炉外水位監視 (炉外水位監視器)	炉外水位監視 (炉外水位監視器)	炉外水位監視 (炉外水位監視器)	
		炉外流量監視	炉外流量監視 (炉外流量監視器)	炉外流量監視 (炉外流量監視器)	炉外流量監視 (炉外流量監視器)	炉外流量監視 (炉外流量監視器)	炉外流量監視 (炉外流量監視器)	
		炉外振動監視	炉外振動監視 (炉外振動監視器)	炉外振動監視 (炉外振動監視器)	炉外振動監視 (炉外振動監視器)	炉外振動監視 (炉外振動監視器)	炉外振動監視 (炉外振動監視器)	
		炉外騒音監視	炉外騒音監視 (炉外騒音監視器)	炉外騒音監視 (炉外騒音監視器)	炉外騒音監視 (炉外騒音監視器)	炉外騒音監視 (炉外騒音監視器)	炉外騒音監視 (炉外騒音監視器)	
		炉外放射線監視	炉外放射線監視 (炉外放射線監視器)	炉外放射線監視 (炉外放射線監視器)	炉外放射線監視 (炉外放射線監視器)	炉外放射線監視 (炉外放射線監視器)	炉外放射線監視 (炉外放射線監視器)	
		炉外中性子監視	炉外中性子監視 (炉外中性子監視器)	炉外中性子監視 (炉外中性子監視器)	炉外中性子監視 (炉外中性子監視器)	炉外中性子監視 (炉外中性子監視器)	炉外中性子監視 (炉外中性子監視器)	
		炉外蒸気監視	炉外蒸気監視 (炉外蒸気監視器)	炉外蒸気監視 (炉外蒸気監視器)	炉外蒸気監視 (炉外蒸気監視器)	炉外蒸気監視 (炉外蒸気監視器)	炉外蒸気監視 (炉外蒸気監視器)	
		炉外冷却水監視	炉外冷却水監視 (炉外冷却水監視器)	炉外冷却水監視 (炉外冷却水監視器)	炉外冷却水監視 (炉外冷却水監視器)	炉外冷却水監視 (炉外冷却水監視器)	炉外冷却水監視 (炉外冷却水監視器)	

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
<p>第1表 重大事故等対応に係る監視事項</p> <p>1.2 原子炉格納罐圧力バウンス防止時に発電原子炉を停炉するための手順等</p>																																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="4">運転シナリオA: 圧力低下時</th> <th colspan="4">運転シナリオB: 圧力低下時</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納罐圧力監視</td> <td>格納罐圧力監視 (圧力低下時)</td> <td>監視 (1)</td> <td>監視 (2)</td> <td>監視 (3)</td> <td>監視 (4)</td> <td>監視 (1)</td> <td>監視 (2)</td> <td>監視 (3)</td> <td>監視 (4)</td> <td>1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。</td> </tr> <tr> <td>格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで</td> <td>監視 (1)</td> <td>監視 (2)</td> <td>監視 (3)</td> <td>監視 (4)</td> <td>監視 (1)</td> <td>監視 (2)</td> <td>監視 (3)</td> <td>監視 (4)</td> <td>1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで</td> <td>格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで</td> <td>監視 (1)</td> <td>監視 (2)</td> <td>監視 (3)</td> <td>監視 (4)</td> <td>監視 (1)</td> <td>監視 (2)</td> <td>監視 (3)</td> <td>監視 (4)</td> <td>1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。</td> </tr> <tr> <td>格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで</td> <td>監視 (1)</td> <td>監視 (2)</td> <td>監視 (3)</td> <td>監視 (4)</td> <td>監視 (1)</td> <td>監視 (2)</td> <td>監視 (3)</td> <td>監視 (4)</td> <td>1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。</td> </tr> </tbody> </table>				項目	内容	運転シナリオA: 圧力低下時				運転シナリオB: 圧力低下時				備考	1	2	3	4	1	2	3	4	原子炉格納罐圧力監視	格納罐圧力監視 (圧力低下時)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。	格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。	原子炉格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで	格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。	格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。
項目	内容	運転シナリオA: 圧力低下時				運転シナリオB: 圧力低下時				備考																																																						
		1	2	3	4	1	2	3	4																																																							
原子炉格納罐圧力監視	格納罐圧力監視 (圧力低下時)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。																																																						
	格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。																																																						
原子炉格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで	格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。																																																						
	格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	監視 (1)	監視 (2)	監視 (3)	監視 (4)	1. 格納罐圧力監視 (圧力低下時) の監視 (1) から (4) まで、運転シナリオAと運転シナリオBで異なる。																																																						





灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉
--------------

女川原子力発電所2号炉
-------------

泊発電所3号炉
---------

相違理由
------

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.2 原子炉各燃料棒在ラインラングリアンタリ監視機能に電圧監視機能を付与するための取組

項目	内容	監視機能付与後		監視機能付与前		監視機能付与後との相違	監視機能付与前との相違
		検出率 (%)	検出時間 (秒)	検出率 (%)	検出時間 (秒)		
燃料棒監視機能	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与後)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与前)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与後)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与前)	100	10	100	10	—	—
燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与後)	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与後)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与前)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与後)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与前)	100	10	100	10	—	—
燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与前)	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与前)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与後)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与前)	100	10	100	10	—	—
	燃料棒監視機能 (燃料棒監視機能付与後)	100	10	100	10	—	—

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																							
<p>第1表 重大事故等対応に係る監視事項</p> <p>1.1 原子炉冷却炉圧力/スラッグ/高圧時に発電機用原子炉冷却器となるための手順等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">女川2号炉</th> <th colspan="2">泊3号炉</th> <th rowspan="2">相違理由</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>運用</th> <th>設備</th> <th>運用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td>原子炉冷却炉圧力監視</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラッグ監視</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧時監視</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発電機用原子炉冷却器監視</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">監視手段</td> <td>原子炉冷却炉圧力監視</td> <td>圧力計</td> <td>監視員</td> <td>圧力計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラッグ監視</td> <td>スラッグ計</td> <td>監視員</td> <td>スラッグ計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧時監視</td> <td>高圧計</td> <td>監視員</td> <td>高圧計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発電機用原子炉冷却器監視</td> <td>温度計</td> <td>監視員</td> <td>温度計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却炉圧力監視</td> <td>圧力計</td> <td>監視員</td> <td>圧力計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラッグ監視</td> <td>スラッグ計</td> <td>監視員</td> <td>スラッグ計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧時監視</td> <td>高圧計</td> <td>監視員</td> <td>高圧計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発電機用原子炉冷却器監視</td> <td>温度計</td> <td>監視員</td> <td>温度計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却炉圧力監視</td> <td>圧力計</td> <td>監視員</td> <td>圧力計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラッグ監視</td> <td>スラッグ計</td> <td>監視員</td> <td>スラッグ計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧時監視</td> <td>高圧計</td> <td>監視員</td> <td>高圧計</td> <td>監視員</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	内容	女川2号炉		泊3号炉		相違理由	設備	運用	設備	運用	監視項目	原子炉冷却炉圧力監視	あり	あり	あり	あり		スラッグ監視	あり	あり	あり	あり		高圧時監視	あり	あり	あり	あり		発電機用原子炉冷却器監視	あり	あり	あり	あり		監視手段	原子炉冷却炉圧力監視	圧力計	監視員	圧力計	監視員		スラッグ監視	スラッグ計	監視員	スラッグ計	監視員		高圧時監視	高圧計	監視員	高圧計	監視員		発電機用原子炉冷却器監視	温度計	監視員	温度計	監視員		原子炉冷却炉圧力監視	圧力計	監視員	圧力計	監視員		スラッグ監視	スラッグ計	監視員	スラッグ計	監視員		高圧時監視	高圧計	監視員	高圧計	監視員		発電機用原子炉冷却器監視	温度計	監視員	温度計	監視員		原子炉冷却炉圧力監視	圧力計	監視員	圧力計	監視員		スラッグ監視	スラッグ計	監視員	スラッグ計	監視員		高圧時監視	高圧計	監視員	高圧計	監視員	
項目	内容	女川2号炉				泊3号炉		相違理由																																																																																																		
		設備	運用	設備	運用																																																																																																					
監視項目	原子炉冷却炉圧力監視	あり	あり	あり	あり																																																																																																					
	スラッグ監視	あり	あり	あり	あり																																																																																																					
	高圧時監視	あり	あり	あり	あり																																																																																																					
	発電機用原子炉冷却器監視	あり	あり	あり	あり																																																																																																					
監視手段	原子炉冷却炉圧力監視	圧力計	監視員	圧力計	監視員																																																																																																					
	スラッグ監視	スラッグ計	監視員	スラッグ計	監視員																																																																																																					
	高圧時監視	高圧計	監視員	高圧計	監視員																																																																																																					
	発電機用原子炉冷却器監視	温度計	監視員	温度計	監視員																																																																																																					
	原子炉冷却炉圧力監視	圧力計	監視員	圧力計	監視員																																																																																																					
	スラッグ監視	スラッグ計	監視員	スラッグ計	監視員																																																																																																					
	高圧時監視	高圧計	監視員	高圧計	監視員																																																																																																					
	発電機用原子炉冷却器監視	温度計	監視員	温度計	監視員																																																																																																					
	原子炉冷却炉圧力監視	圧力計	監視員	圧力計	監視員																																																																																																					
	スラッグ監視	スラッグ計	監視員	スラッグ計	監視員																																																																																																					
高圧時監視	高圧計	監視員	高圧計	監視員																																																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																											
第1表 重大事故等対処に係る監視事項 1.1 原子炉内監視項目(カウンタ)動作時に発電機励磁機と発電機励磁機との相違																																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> </tr> <tr> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> </tr> <tr> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> <td>励磁機励磁機監視項目</td> </tr> </tbody> </table>				項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目
項目	内容	監視項目				監視項目		監視項目		監視項目		備考																																																		
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																							
励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目																																																				
	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目																																																				
励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目																																																				
	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目	励磁機励磁機監視項目																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	主要システム			監視システム			項目	検出時間 (平均値)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)
	名称	検出率 (平均値)	検出率 (%)	名称	検出率 (平均値)	検出率 (%)							
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	250	2	1	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—

注：A, B, C, Dは出稼率の計装数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	主要システム			監視システム			項目	検出時間 (平均値)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)
	名称	検出率 (平均値)	検出率 (%)	名称	検出率 (平均値)	検出率 (%)							
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	250	2	1	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	主要システム			監視システム			項目	検出時間 (平均値)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)	検出率 (%)
	名称	検出率 (平均値)	検出率 (%)	名称	検出率 (平均値)	検出率 (%)							
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	250	2	1	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	4.0	2 (A, B)	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	400	4	2 (A, B)	—	—	—	

注：A, B, C, Dは出稼率の計装数

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目 監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
フロンタイン系機能喪失時の手順等

記号	項目	監視項目		警報項目		異常項目		評価	
		種類	レベル	種類	レベル	種類	レベル		
A. 冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目

※、A. の対応は、以下のとおりである。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		警報項目		異常項目		評価	
	種類	レベル	種類	レベル	種類	レベル		
A. 冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視項目		警報項目		異常項目		評価	
	種類	レベル	種類	レベル	種類	レベル		
A. 冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目
		原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	警報項目	異常項目	監視項目	警報項目	異常項目

※、A. の対応は、以下のとおりである。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視カメラ		監視カメラ		監視カメラ		監視カメラ		評価
	名称	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	名称	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		
監視カメラの設置位置	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置

モニタリングカメラの設置位置  
 図1.15.1 監視カメラの設置位置

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視カメラ		監視カメラ		監視カメラ		監視カメラ		評価
	名称	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	名称	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		
監視カメラの設置位置	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視カメラ		監視カメラ		監視カメラ		監視カメラ		評価
	名称	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	名称	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置		
監視カメラの設置位置	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置
	原子炉冷却材圧力バウンダリ監視カメラ	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置	監視カメラの設置位置



1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応事項	項目	主要のワンダー			代替のワンダー			評価	
		機能 (J内)PAM	SHO機能 A. 1月出用 監視機能喪失	監視のワンダー 分岐	機能 (J内)PAM	監視 直後	SIS取替 監視機能喪失		
監視表示装置2名以上の停止による監視機能喪失への注水	判別装置	名称	0	0	—	名称	3	0	—
		監視表示装置水圧計	0	0	—	監視表示装置水圧計 (RT)	4 (A)	2 (B, C)	—
		監視表示装置水圧計 (BWR)	1	0	—	監視表示装置水圧計 (BWR)	16 (B)	4 (B)	—
監視表示装置2名以上の停止による監視機能喪失への注水	判別装置	名称	2	1	—	名称	3	0	—
		監視表示装置水圧計	2 (D)	1 (A)	—	監視表示装置水圧計 (RT)	4 (A)	2 (B, C)	—

全てのワンダーの設置の合計数  
 A、B、C、Dは当番カーブの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

監視事項	監視手段	主要のワンダー			代替のワンダー			監視手段
		機能 (J内)PAM	SHO機能 A. 1月出用 監視機能喪失	監視のワンダー 分岐	機能 (J内)PAM	監視 直後	SIS取替 監視機能喪失	
監視表示装置2名以上の停止による監視機能喪失への注水	監視表示装置水圧計	0	0	—	監視表示装置水圧計 (RT)	4 (A)	2 (B, C)	—
監視表示装置2名以上の停止による監視機能喪失への注水	監視表示装置水圧計 (BWR)	1	0	—	監視表示装置水圧計 (BWR)	16 (B)	4 (B)	—
監視表示装置2名以上の停止による監視機能喪失への注水	監視表示装置水圧計	2	1	—	監視表示装置水圧計 (RT)	4 (A)	2 (B, C)	—

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

監視事項	監視手段	主要のワンダー			代替のワンダー			監視手段
		機能 (J内)PAM	SHO機能 A. 1月出用 監視機能喪失	監視のワンダー 分岐	機能 (J内)PAM	監視 直後	SIS取替 監視機能喪失	
監視表示装置2名以上の停止による監視機能喪失への注水	監視表示装置水圧計	0	0	—	監視表示装置水圧計 (RT)	4 (A)	2 (B, C)	—
監視表示装置2名以上の停止による監視機能喪失への注水	監視表示装置水圧計 (BWR)	1	0	—	監視表示装置水圧計 (BWR)	16 (B)	4 (B)	—
監視表示装置2名以上の停止による監視機能喪失への注水	監視表示装置水圧計	2	1	—	監視表示装置水圧計 (RT)	4 (A)	2 (B, C)	—

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 プロシージャ化された監視項目の主要等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	項目	監視項目	項目	監視項目	項目	監視項目	項目	監視項目	
重大事故等対処に係る監視事項 （重要度：高） （重要度：中） （重要度：低）	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※：原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	項目	監視項目	項目	監視項目	項目	監視項目	項目	監視項目	
重大事故等対処に係る監視事項 （重要度：高） （重要度：中） （重要度：低）	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	項目	監視項目	項目	監視項目	項目	監視項目	項目	監視項目	
重大事故等対処に係る監視事項 （重要度：高） （重要度：中） （重要度：低）	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	100	1	0	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※：原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力パワウンタリを減圧するための手順等  
 フロントラン系機能喪失時の手順等

項目	監視項目		監視手段		監視対象	監視項目	監視手段		監視対象	注
	名称	単位	監視手段	監視手段			名称	単位		
監視項目 原子炉冷却材圧力パワウンタリを減圧するための手順等 フロントラン系機能喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視

監視項目の注記  
 監視項目の注記

女川原子力発電所 2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力パワウンタリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視手段		監視対象	監視項目	監視手段		監視対象	注
	名称	単位	監視手段	監視手段			名称	単位		
監視項目 原子炉冷却材圧力パワウンタリを減圧するための手順等 フロントラン系機能喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視

1.3 原子炉冷却材圧力パワウンタリを減圧するための手順等  
 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視項目		監視手段		監視対象	監視項目	監視手段		監視対象	注
	名称	単位	監視手段	監視手段			名称	単位		
監視項目 原子炉冷却材圧力パワウンタリを減圧するための手順等 フロントラン系機能喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視
	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	MPa	監視	監視	原子炉冷却材圧力	監視

注記  
 監視項目の注記

泊発電所 3号炉

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 フロントライン系機能喪失時の手順等

項目	監視システム		監視システム		監視システム		名称	測定範囲	単位	評価
	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム				
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	400	1	1	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—

注: 本表は女川2号炉の監視システムを参照し、BWR固有の設備や対応手段は、灰色で表示する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視システム		監視システム		監視システム		名称	測定範囲	単位	評価
	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム				
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	400	1	1	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視システム		監視システム		監視システム		名称	測定範囲	単位	評価
	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム	監視システム				
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	400	1	1	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	—	—	—	—	—	原子炉冷却材圧力バウンダリ (CRT)	—	—	—



1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
サブポート系配管喪失時の手順等

項目	監視システム		監視項目	監視システム		監視項目	監視システム		監視項目
	監視項目	監視項目		監視項目	監視項目		監視項目	監視項目	
監視事項 サブポート系配管喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視システム		監視項目	監視システム		監視項目	監視システム		監視項目
	監視項目	監視項目		監視項目	監視項目		監視項目	監視項目	
監視事項 サブポート系配管喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視システム		監視項目	監視システム		監視項目	監視システム		監視項目
	監視項目	監視項目		監視項目	監視項目		監視項目	監視項目	
監視事項 サブポート系配管喪失時の手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力パワングラフを減圧するための手順等  
 冷却系一系機械駆動失時の手順等

項目	項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
原子炉	原子炉	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※この表は、監視項目の監視項目を  
 示している。監視項目の監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力パワングラフを減圧するための手順等

項目	項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
原子炉	原子炉	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力パワングラフを減圧するための手順等

項目	項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
原子炉	原子炉	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

相違理由





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 サボート系機能喪失時の手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	種別	監視項目	種別	監視項目	種別	監視項目	種別	監視項目	
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	

※ 本表は、監視項目の相違を示す。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	種別	監視項目	種別	監視項目	種別	監視項目	種別	監視項目	
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	種別	監視項目	種別	監視項目	種別	監視項目	種別	監視項目	
原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	

※ 本表は、監視項目の相違を示す。

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 予備電源喪失時の手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
1.3.1 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ
1.3.2 予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等

1.3.1.1 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 1.3.1.2 予備電源喪失時の手順等

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
1.3.1 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ
1.3.2 予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
1.3.1 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材圧力バウンダリ
1.3.2 予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等	予備電源喪失時の手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 サボート系機能喪失時の手順等

項目	名称	監視のターゲット		監視のターゲット		監視方法	監視	異常発生時の対応	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット
		監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲							
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲	監視方法	監視	異常発生時の対応	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット
		監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲							
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲	監視方法	監視	異常発生時の対応	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット
		監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲							

表1.15.1 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 表1.15.2 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目	監視のターゲット		監視のターゲット		監視方法	監視	異常発生時の対応	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット
		監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲							
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲	監視方法	監視	異常発生時の対応	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット
		監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲							

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目	監視のターゲット		監視のターゲット		監視方法	監視	異常発生時の対応	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット
		監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲							
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲	監視方法	監視	異常発生時の対応	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット	監視のターゲット
		監視項目	監視の範囲	監視項目	監視の範囲							

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 水ポンプ系機能喪失時の手順等

項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	原子炉冷却材圧力バウンダリ	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 シボート系関係喪失時の手順等

項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視事項	シボート系関係喪失時の監視事項	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※「監視項目」は監視項目

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視事項	シボート系関係喪失時の監視事項	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	内容	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視事項	シボート系関係喪失時の監視事項	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
		原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※「監視項目」は監視項目

泊発電所3号炉

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
サブロード系統喪失時の手順等

項目	監視センター		監視センター		監視センター		評価
	名称	(1) 監視員	名称	(1) 監視員	名称	(1) 監視員	
監視事項 監視員 監視員	監視事項 監視員 監視員	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)
		監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項

※1. 監視員は、監視センターに配置される。

※2. 監視員は、監視センターに配置される。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視センター		監視センター		監視センター		評価
	名称	(1) 監視員	名称	(1) 監視員	名称	(1) 監視員	
監視事項 監視員 監視員	監視事項 監視員 監視員	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)
		監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視センター		監視センター		監視センター		評価
	名称	(1) 監視員	名称	(1) 監視員	名称	(1) 監視員	
監視事項 監視員 監視員	監視事項 監視員 監視員	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)	監視事項(1)
		監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)	監視事項(2)
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項
監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項	監視事項

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 サポート系機器異常時の手順等

項目	監視システム		監視システム		監視システム		相違理由
	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	0	4	6	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	2	2	2	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	200	2	1	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	0	4	6	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	1	1	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	1	1	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	200	2	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—

主として0～100%の範囲の表示  
 A, B, C, D：監視システムの名称

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視システム		監視システム		監視システム		相違理由
	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	0	4	6	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	2	2	2	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	200	2	1	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	0	4	6	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	1	1	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	1	1	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	200	2	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視システム		監視システム		監視システム		相違理由
	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	監視システム (PVZ/AM)	
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	0	4	6	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	2	2	2	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	200	2	1	0	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	0	4	6	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	1	1	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	1	1	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—
監視項目	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	200	2	1	—	4-BJA, B, C A, C, D, 152B	—

主として0～100%の範囲の表示  
 A, B, C, D：監視システムの名称





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧確認の手順

監視項目	監視内容	監視方式		監視手段	監視装置		監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視方式	監視装置		監視装置	監視装置					
監視項目	監視内容	監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領

※1：原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 ※2：原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

監視項目	監視内容	監視方式		監視手段	監視装置		監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視方式	監視装置		監視装置	監視装置					
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	

別表 重大事故等対処に係る監視事項

監視項目	監視内容	監視方式		監視手段	監視装置		監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領
		監視方式	監視装置		監視装置	監視装置					
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	
監視項目	監視内容	監視方式	監視装置	監視装置	監視範囲	監視時間	監視要領	監視要領	監視要領	監視要領	

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

大飯発電所3/4号炉

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷卻材圧カバウンダリを減圧するための手順等  
 蒸気発生部に蒸気破損発生時減圧補給の手順

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	

監視項目

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷卻材圧カバウンダリを減圧するための手順等

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷卻材圧カバウンダリを減圧するための手順等

監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		相違理由
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 蒸気発生器自然循環破損発生時減圧継続の手順

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		単位
	数値	許容範囲	数値	許容範囲	数値	許容範囲	数値	許容範囲	
蒸気発生器	蒸気発生器出口圧力	2.0	1.0	0.5	—	—	—	—	MPa
	蒸気発生器出口温度	100	0	0	—	—	—	—	℃
減圧	減圧弁開閉時間	40	0	0	—	—	—	—	分
	減圧弁開閉回数	—	—	—	—	—	—	—	回

表 1.15-10-1 減圧継続の手順等  
 表 1.15-10-2 減圧継続の手順等

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		単位
	数値	許容範囲	数値	許容範囲	数値	許容範囲	数値	許容範囲	
減圧	減圧弁開閉時間	40	0	0	—	—	—	—	分
	減圧弁開閉回数	—	—	—	—	—	—	—	回

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		単位
	数値	許容範囲	数値	許容範囲	数値	許容範囲	数値	許容範囲	
減圧	減圧弁開閉時間	40	0	0	—	—	—	—	分
	減圧弁開閉回数	—	—	—	—	—	—	—	回

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 蒸気発生器に熱管破損発生時減圧継続の手順

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※ 下記はBWR固有の設備及び対応手段  
 ※ BWR固有の設備及び対応手段

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	
	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時	異常発生時
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※ 下記はBWR固有の設備及び対応手段  
 ※ BWR固有の設備及び対応手段

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 蒸気発生器伝熱管経路発生時減圧権限の手順

監視項目	監視システム		監視システム		監視システム		監視システム		監視項目
	監視項目 (1)監視項目	監視項目 (2)監視項目	監視項目 (1)監視項目	監視項目 (2)監視項目	監視項目 (1)監視項目	監視項目 (2)監視項目	監視項目 (1)監視項目	監視項目 (2)監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※データは女川2号炉の監視項目  
 ANS/C.D. 監視項目の相違数

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

監視項目	監視システム		監視システム		監視システム		監視システム		監視項目
	監視項目 (1)監視項目	監視項目 (2)監視項目	監視項目 (1)監視項目	監視項目 (2)監視項目	監視項目 (1)監視項目	監視項目 (2)監視項目	監視項目 (1)監視項目	監視項目 (2)監視項目	
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目

※データは女川2号炉の監視項目  
 ANS/C.D. 監視項目の相違数

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続の手順

項目	主要バリエーション			監視バリエーション			評価
	名称	設置数 (A/D計測用 監視回路)	設置数 (A/D計測用 監視回路)	名称	設置数 (A/D計測用 監視回路)	設置数 (A/D計測用 監視回路)	
系統 蒸気発生器伝熱管 破損発生時 減圧継続 の手順	蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続の手順	4(2)	4	1	0	4(2)	1
	減圧継続の手順	2	2	0	0	2	0
	減圧継続の手順	2(2)	2	1	0	2(2)	1
	減圧継続の手順	1	0	0	0	1	0
	減圧継続の手順	2(2)	2	1	0	2(2)	1
	減圧継続の手順	1	0	0	0	1	0
	減圧継続の手順	2(2)	2	1	0	2(2)	1

注：すべてのロープの計装の台数  
 NH、L、DFは当番ロープの台数

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視バリエーション			監視バリエーション			監視バリエーション			監視バリエーション			相違理由
	名称	設置数 (A/D計測用 監視回路)	設置数 (A/D計測用 監視回路)	名称	設置数 (A/D計測用 監視回路)	設置数 (A/D計測用 監視回路)	名称	設置数 (A/D計測用 監視回路)	設置数 (A/D計測用 監視回路)	名称	設置数 (A/D計測用 監視回路)	設置数 (A/D計測用 監視回路)	
系統 蒸気発生器伝熱管 破損発生時 減圧継続 の手順	蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続の手順	4(2)	4	1	0	4(2)	蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続の手順	4	4	1	0	4	1
	減圧継続の手順	2	2	0	0	2	減圧継続の手順	4	4	0	0	4	0
	減圧継続の手順	2(2)	2	1	0	2(2)	減圧継続の手順	4	4	0	0	4	0
	減圧継続の手順	1	0	0	0	1	減圧継続の手順	4	4	0	0	4	0
	減圧継続の手順	2(2)	2	1	0	2(2)	減圧継続の手順	4	4	0	0	4	0
	減圧継続の手順	1	0	0	0	1	減圧継続の手順	4	4	0	0	4	0
	減圧継続の手順	2(2)	2	1	0	2(2)	減圧継続の手順	4	4	0	0	4	0

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉格納材圧力ハンダリを減圧するための手順等  
 インターフェイスシステムLOCA発生時の手順

対応仕様	項目	名称	主要パラメータ		監視パラメータ	検出種別	名称	監視パラメータ		詳細
			監視項目 (A、Dの検出)	監視項目 (B、Cの検出)				監視項目 (A、Dの検出)	監視項目 (B、Cの検出)	
イ ロ ハ ニ ホ ヘ ヘ ト チ リ ニ ホ ヘ ヘ ト チ リ	監視事項	圧力低下警報機	—	③	—	—	—	—	—	—
		圧力制御能力	20	①	—	—	—	—	—	—
		監視項目	4	①	—	—	—	—	—	—

主電源の喪失による監視項目の減圧

A、Dは圧力低下の検出

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

監視項目	監視項目	主要パラメータ		監視パラメータ	検出種別	名称	監視パラメータ		詳細
		監視項目 (A、Dの検出)	監視項目 (B、Cの検出)				監視項目 (A、Dの検出)	監視項目 (B、Cの検出)	
イ ロ ハ ニ ホ ヘ ヘ ト チ リ	監視事項	圧力低下警報機	—	③	—	—	—	—	—
		圧力制御能力	20	①	—	—	—	—	—
		監視項目	4	①	—	—	—	—	—

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷卻材圧力パルスを減圧するための手順等  
 インターフェイス(ALOCA)発生時の手順

項目	監視項目				備考
	目録番号 (ALOCAM)	目録番号 (ALOCAM)	目録番号 (ALOCAM)	目録番号 (ALOCAM)	
異常発生	1	2	3	4	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1

注：ALOCAMの目録番号は、ALOCAMの目録番号と一致するものとする。  
 ALLOCAMの目録番号は、ALOCAMの目録番号と一致するものとする。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視項目				備考
	目録番号 (ALOCAM)	目録番号 (ALOCAM)	目録番号 (ALOCAM)	目録番号 (ALOCAM)	
異常発生	1	2	3	4	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1
	1	1	1	1	1



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対応に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力パワントリプルを減圧するための手順等  
 インターフェイスをALOCN発生時の手順

監視項目	監視内容	監視手段		監視装置	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置									
ALOCN発生時の監視	ALOCN発生時の監視	監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴

ALOCN発生時の監視  
 ALOCN発生時の監視

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対応に係る監視事項

監視項目	監視内容	監視手段		監視装置	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置									
ALOCN発生時の監視	ALOCN発生時の監視	監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴
		監視手段	監視装置	監視手段	監視対象	監視条件	監視時間	監視位置	監視単位	監視回数	監視結果	監視履歴

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等  
 インターフェイスシナシスLOCA発生時の手順

項目	主要システム				監視システム				項目
	目標値 (1) 目標値 (2)	監視範囲 (3)	監視範囲 (4)	監視範囲 (5)	監視範囲 (6)	監視範囲 (7)	監視範囲 (8)	監視範囲 (9)	
原子炉冷却材圧力バウンダリ監視	1	4	②	—	3②	3	1	①-②	①-②
原子炉冷却材圧力バウンダリ監視	1	1	②	—	4②	4	1	①-②	①-②
原子炉冷却材圧力バウンダリ監視	4②	4	②	—	4②	4	1	①-②	①-②
原子炉冷却材圧力バウンダリ監視	4②	4	②	—	4②	4	1	①-②	①-②

※ F-1000000-1 の記載内容参照  
 A/E/C/D 当該ページを参照

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等

項目	主要システム				監視システム				項目
	目標値 (1) 目標値 (2)	監視範囲 (3)	監視範囲 (4)	監視範囲 (5)	監視範囲 (6)	監視範囲 (7)	監視範囲 (8)	監視範囲 (9)	
原子炉冷却材圧力バウンダリ監視	2	1	②	—	—	—	—	—	—
原子炉冷却材圧力バウンダリ監視	2	1	②	—	—	—	—	—	—

※ F-1000000-1 の記載内容参照

※ F-1000000-1 の記載内容参照

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力ワンダリを減圧するための手順等  
 インターフェイスシステムALOCA発生時の手順

大飯発電所3/4号炉

監視項目	監視項目A			監視項目B			監視項目C			評価		
	名称	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	監視項目B (1)監視項目B (2)監視項目B (3)	名称	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目D (1)監視項目D (2)監視項目D (3)	名称	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	監視項目F (1)監視項目F (2)監視項目F (3)			
1.3.1 1.3.2 1.3.3 1.3.4 1.3.5 1.3.6 1.3.7	原子炉冷却材圧力ワンダリ監視	40	4 (1)	0	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	0	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	40	4 (1)	0	40-41.1
	原子炉冷却材圧力ワンダリ監視	20	2 (1)	0	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	0	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	20	2 (1)	0	40-41.1
	原子炉冷却材圧力ワンダリ監視	40	4 (1)	0	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	0	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	40	4 (1)	0	40-41.1
	原子炉冷却材圧力ワンダリ監視	100	10 (1)	0	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	0	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	100	10 (1)	0	40-41.1

※上記の監視項目は、ALOCA発生時の監視項目。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

監視項目	監視項目A			監視項目B			監視項目C			評価		
	名称	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	監視項目B (1)監視項目B (2)監視項目B (3)	名称	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目D (1)監視項目D (2)監視項目D (3)	名称	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	監視項目F (1)監視項目F (2)監視項目F (3)			
1.3.1 1.3.2 1.3.3 1.3.4 1.3.5 1.3.6 1.3.7	原子炉冷却材圧力ワンダリ監視	40	4 (1)	0	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	0	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	40	4 (1)	0	40-41.1
	原子炉冷却材圧力ワンダリ監視	20	2 (1)	0	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	0	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	20	2 (1)	0	40-41.1
	原子炉冷却材圧力ワンダリ監視	40	4 (1)	0	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	0	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	40	4 (1)	0	40-41.1
	原子炉冷却材圧力ワンダリ監視	100	10 (1)	0	監視項目A (1)監視項目A (2)監視項目A (3)	0	監視項目C (1)監視項目C (2)監視項目C (3)	監視項目E (1)監視項目E (2)監視項目E (3)	100	10 (1)	0	40-41.1

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力マウンタリを減圧するための手順等  
 インターフェイスシステムLOCA発生時の手順

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		詳細
	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)		
監視	原子炉冷却材圧力マウンタリ	200	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力マウンタリ	1	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力マウンタリ	1000	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力マウンタリ	400	0	0	0	0	0	0	0

※、上記の監視項目は、女川2号炉の監視項目と異なる場合があります。

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表1.15 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		詳細
	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)	監視項目 (監視項目)		
監視	原子炉冷却材圧力マウンタリ	200	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力マウンタリ	1	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力マウンタリ	1000	0	0	0	0	0	0	0
	原子炉冷却材圧力マウンタリ	400	0	0	0	0	0	0	0

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷卻材圧力バッキングを減圧するための手順等  
 インターフェイスシステムALOCA発生時の手順

判定事項	項目	主要のクォーター				監視のクォーター				代替のクォーター				詳細
		名称	計器数 (OPN/FAM)	直読	SIロ直読 A、D計器用 電圧印順二長	監視のクォーター 分類	指示理由	名称	計器数 (OPN/FAM)	直読	SIロ直読 A、D計器用 電圧印順二長	代替のクォーター 計器数 (OPN/FAM)	直読	
イ L O C A 発 生 時 の 手 続 手 順 等	減圧	1号炉冷却材圧力バッキング(CBT)	2	2	0	②	原子炉冷却材圧力バッキング等の減圧状態は、システム全体の監視可能	原子炉冷却材圧力バッキング計	1	1	0	1	0	—
		2号炉冷却材圧力バッキング(CBT)	2(2)	2	1	①	—	2号炉冷却材圧力バッキング計	1	1	0	1	0	ケース2
	操作	N <sub>2</sub> 、D56冷却材圧力バッキング(CBT)	1	0	0	③	監視にて水位を調整可能	N <sub>2</sub> 、D56冷却材圧力バッキング計	2	2	2	2	2	—
		減圧バッキング	2(2)	2	1	①	—	減圧バッキング計	4(2)	4	1	1	1	ケース2

※：すべてのクォーターの計器の合計数  
 A、B、C、D：当該クォーターの計器数

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	主要のクォーター				監視のクォーター				代替のクォーター				詳細	
	名称	計器数 (OPN/FAM)	直読	SIロ直読 A、D計器用 電圧印順二長	監視のクォーター 分類	指示理由	名称	計器数 (OPN/FAM)	直読	SIロ直読 A、D計器用 電圧印順二長	代替のクォーター 計器数 (OPN/FAM)	直読		SIロ直読 A、D計器用 電圧印順二長
イ L O C A 発 生 時 の 手 続 手 順 等	減圧	1号炉冷却材圧力バッキング(CBT)	2	2	0	②	原子炉冷却材圧力バッキング等の減圧状態は、システム全体の監視可能	原子炉冷却材圧力バッキング計	1	1	0	1	0	—
		2号炉冷却材圧力バッキング(CBT)	2(2)	2	1	①	—	2号炉冷却材圧力バッキング計	1	1	0	1	0	ケース2
	操作	N <sub>2</sub> 、D56冷却材圧力バッキング(CBT)	1	0	0	③	監視にて水位を調整可能	N <sub>2</sub> 、D56冷却材圧力バッキング計	2	2	2	2	2	—
		減圧バッキング	2(2)	2	1	①	—	減圧バッキング計	4(2)	4	1	1	1	ケース2

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
		<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p style="text-align: center;">1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> <th colspan="2">監視項目 (PUDM)</th> </tr> <tr> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> <th>監視項目 (PUDM)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> <td>監視項目 (PUDM)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	
項目	内容	監視項目 (PUDM)			監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)		監視項目 (PUDM)																																																														
		監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)																																																														
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)																																																														
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)	監視項目 (PUDM)																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>第1表 重大事故等対応態に係る監視事項</p> <p>1.3 原子炉冷却材圧力バランスタリを確保するための手順等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視手段</th> <th colspan="2">監視装置</th> <th colspan="2">監視機能</th> <th colspan="2">監視時間</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>項目</th> <th>項目</th> <th>項目</th> <th>項目</th> <th>項目</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	内容	監視項目		監視手段		監視装置		監視機能		監視時間		備考	項目	単位	項目	単位	項目	項目	項目	項目	項目	項目	監視項目	原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa		原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa		原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa		原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa		原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	
項目	内容	監視項目				監視手段		監視装置		監視機能		監視時間		備考																																																																									
		項目	単位	項目	単位	項目	項目	項目	項目	項目	項目																																																																												
監視項目	原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa																																																																												
	原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa																																																																												
	原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa																																																																												
	原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa																																																																												
	原子炉冷却材圧力バランスタリ確保のための監視事項	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa	原子炉冷却材圧力	MPa																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>1.3 原子炉格納罐圧力バウンダリを確保するための手順等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">女川2号炉</th> <th colspan="2">泊3号炉</th> <th rowspan="2">相違理由</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視手段</th> <th>監視項目</th> <th>監視手段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">格納罐圧力バウンダリ確保</td> <td>格納罐圧力監視</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納罐圧力異常発生時の対応</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納罐圧力異常発生時の対応</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納罐圧力異常発生時の対応</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納罐圧力バウンダリ確保</td> <td>格納罐圧力監視</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納罐圧力異常発生時の対応</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	内容	女川2号炉		泊3号炉		相違理由	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	格納罐圧力バウンダリ確保	格納罐圧力監視	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段		格納罐圧力異常発生時の対応	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段		格納罐圧力異常発生時の対応	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段		格納罐圧力異常発生時の対応	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段		格納罐圧力バウンダリ確保	格納罐圧力監視	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段		格納罐圧力異常発生時の対応	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
項目	内容	女川2号炉				泊3号炉		相違理由																																												
		監視項目	監視手段	監視項目	監視手段																																															
格納罐圧力バウンダリ確保	格納罐圧力監視	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段																																															
	格納罐圧力異常発生時の対応	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段																																															
	格納罐圧力異常発生時の対応	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段																																															
	格納罐圧力異常発生時の対応	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段																																															
格納罐圧力バウンダリ確保	格納罐圧力監視	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段																																															
	格納罐圧力異常発生時の対応	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段																																															





1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																						
<p>1.15 原子力発電所計装のシステムも異なるため記載</p> <p>図1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">項目名</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">監視項目</td> <td rowspan="10">監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 監視項目の記載は、図1表の「監視項目」欄を参照してください。</p>				項目	項目名	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目
項目	項目名	監視項目				監視項目		監視項目		監視項目		備考																																																																																																													
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																		
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																															
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉冷却材圧力レベルを減圧するための手順書

項目	項目名	女川2号炉		泊3号炉		相違理由
		内容	備考	内容	備考	
監視項目	原子炉冷却材圧力レベル	1.2 (0)	0 (0)	1.2 (0)	0 (0)	
	原子炉冷却材圧力レベル	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	原子炉冷却材圧力レベル	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	原子炉冷却材圧力レベル	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	

※ 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																								
<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>1.3 原子炉の運転圧力パワースタビリティを確保するための手順書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視手段</th> <th colspan="2">監視装置</th> <th colspan="2">監視装置の信頼性</th> <th colspan="2">監視装置の保守</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td rowspan="4">原子炉冷却系圧力</td> <td>原子炉冷却系圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td rowspan="4">監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td rowspan="4">原子炉冷却系圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td rowspan="4">監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td rowspan="4">原子炉冷却系圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td rowspan="4">監視装置の信頼性</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> </tbody> </table>			項目	内容	監視項目		監視手段		監視装置		監視装置の信頼性		監視装置の保守		備考	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	監視項目	原子炉冷却系圧力	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視装置の信頼性	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視装置の信頼性	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視装置の信頼性	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
項目	内容	監視項目			監視手段		監視装置		監視装置の信頼性		監視装置の保守		備考																																																																																																																																														
		項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容																																																																																																																																																
監視項目	原子炉冷却系圧力	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視装置の信頼性																																																																																																																																															
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																
監視項目	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視装置の信頼性																																																																																																																																															
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																
監視項目	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視装置の信頼性																																																																																																																																															
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																																

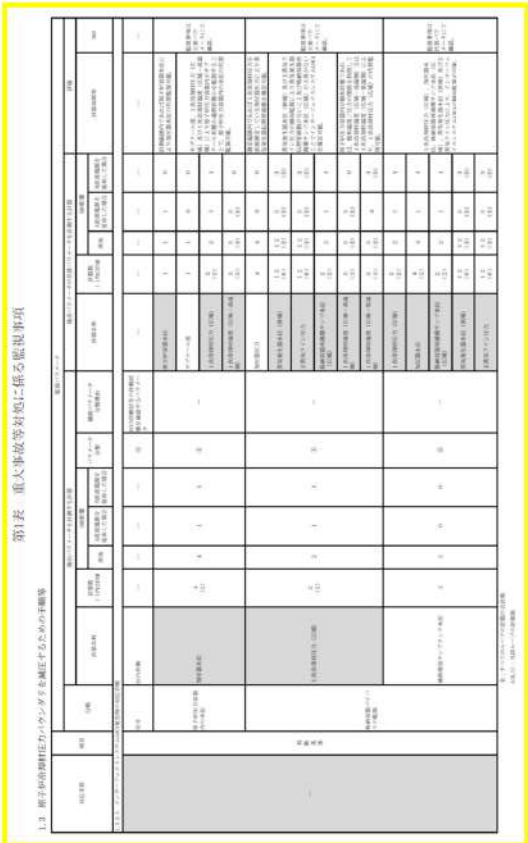
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																		
		<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対応に係る監視事項</p> <p style="text-align: center;">1.3 原子炉停炉時低圧化バウンダリを確保するための監視等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">監視項目</td> <td>原子炉冷却系圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系流量</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系温度</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系水位</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> </tbody> </table>	項目	監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	原子炉冷却系流量	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	原子炉冷却系温度	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	原子炉冷却系水位	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
項目	監視項目	監視項目			監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考																																																																								
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																												
監視項目	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																									
	原子炉冷却系流量	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																									
	原子炉冷却系温度	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																									
	原子炉冷却系水位	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																									
	原子炉冷却系圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>第1表 原子炉の監視責任の範囲を定めるための手順等</p> <p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> 	

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
		<p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>上3 原子炉島監視責任者が原子炉島監視するための手順等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目の監視方法</th> <th colspan="2">監視項目の監視手段</th> <th colspan="2">監視項目の監視装置</th> <th colspan="2">監視項目の監視装置の仕様</th> <th colspan="2">監視項目の監視装置の性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>監視方法</th> <th>監視手段</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td>炉内温度</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td>1. 炉内温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td>1. 炉内圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内水位</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td>1. 炉内水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内流量</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td>1. 炉内流量計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	監視項目	監視項目の監視方法		監視項目の監視手段		監視項目の監視装置		監視項目の監視装置の仕様		監視項目の監視装置の性能		備考	監視方法	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視項目	炉内温度	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計		炉内圧力	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計		炉内水位	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計		炉内流量	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計		
項目	監視項目	監視項目の監視方法			監視項目の監視手段		監視項目の監視装置		監視項目の監視装置の仕様		監視項目の監視装置の性能		備考																																																												
		監視方法	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置																																																																
監視項目	炉内温度	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計	1. 炉内温度計																																																														
	炉内圧力	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計	1. 炉内圧力計																																																														
	炉内水位	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計	1. 炉内水位計																																																														
	炉内流量	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計	1. 炉内流量計																																																														

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																											
<p>1.3 原子炉設備目録のメンテナンスを確保するための手順等</p> <p>第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <table border="1" data-bbox="1249 193 1675 1082" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">項目名</th> <th colspan="2">監視システム目録中の記載</th> <th colspan="2">監視システム目録中の記載</th> <th colspan="2">監視システム目録中の記載</th> <th colspan="2">監視システム目録中の記載</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">監視項目</td> <td>炉内温度(炉心)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>炉内温度(炉心)は、炉内温度(炉心)の監視項目に該当する。</td> </tr> <tr> <td>炉内温度(燃料棒)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。</td> </tr> <tr> <td>炉内温度(燃料棒)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。</td> </tr> <tr> <td>炉内温度(燃料棒)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。</td> </tr> <tr> <td>炉内温度(燃料棒)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">監視項目</td> <td>炉内温度(燃料棒)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。</td> </tr> <tr> <td>炉内温度(燃料棒)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。</td> </tr> </tbody> </table>				項目	項目名	監視システム目録中の記載		監視システム目録中の記載		監視システム目録中の記載		監視システム目録中の記載		備考	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内温度(炉心)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(炉心)は、炉内温度(炉心)の監視項目に該当する。	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。	監視項目	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。
項目	項目名	監視システム目録中の記載				監視システム目録中の記載		監視システム目録中の記載		監視システム目録中の記載		備考																																																																																		
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																					
監視項目	炉内温度(炉心)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(炉心)は、炉内温度(炉心)の監視項目に該当する。																																																																																				
	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。																																																																																				
	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。																																																																																				
	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。																																																																																				
	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。																																																																																				
監視項目	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。																																																																																				
	炉内温度(燃料棒)	1	1	1	1	1	1	1	1	炉内温度(燃料棒)は、炉内温度(燃料棒)の監視項目に該当する。																																																																																				



1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																															
		<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対処に係る記装事項</p> <p style="text-align: center;">1.3 原子炉制御棒のラングリンズ制御システムの作動等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="2">女川2号炉</th> <th colspan="2">泊3号炉</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1.3 原子炉制御棒のラングリンズ制御システムの作動等</td> <td rowspan="10">制御棒駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> <tr> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> <td>ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置</td> </tr> </tbody> </table>	項目	種別	女川2号炉		泊3号炉		備考	項目	内容	項目	内容	1.3 原子炉制御棒のラングリンズ制御システムの作動等	制御棒駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	
項目	種別	女川2号炉			泊3号炉		備考																																																											
		項目	内容	項目	内容																																																													
1.3 原子炉制御棒のラングリンズ制御システムの作動等	制御棒駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												
		ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置	ラングリンズ制御棒の駆動装置の駆動装置																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.3 原子炉の常運転時圧力バランスを確保するための手順等

項目	監視項目	監視項目の監視項目		監視項目の監視項目		監視項目の監視項目		備考
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
監視項目	原子炉冷却系圧力	4 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	1. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。
	原子炉冷却系水位	4 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	1. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。
	原子炉冷却系流量	4 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	1. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。
	原子炉冷却系温度	4 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	5 (注)	1. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。

注：1. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。  
 2. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。  
 3. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。  
 4. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。  
 5. 監視項目の監視項目は、女川2号炉の監視項目と同一である。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対応に係る監視事項

1.3 原子炉格納炉圧力バウンディングを確保するための手順等

項目	項目名	大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
		監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	監視項目	監視手段	
監視項目	格納炉圧力	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	格納炉圧力 (異常)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	格納炉圧力 (異常)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	格納炉圧力 (異常)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
監視手段	監視手段	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	監視手段 (異常)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	監視手段 (異常)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	監視手段 (異常)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	

※ 1.3 原子炉格納炉圧力バウンディングを確保するための手順等  
 4.1.3 原子炉格納炉圧力バウンディングを確保するための手順等  
 4.1.3 原子炉格納炉圧力バウンディングを確保するための手順等



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
		<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p style="text-align: center;">1.3 原子炉冷却材圧力がワンタリを減圧するための手順等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>項目名</th> <th>監視項目</th> <th>項目名</th> <th>監視項目</th> <th>項目名</th> <th>監視項目</th> <th>項目名</th> <th>監視項目</th> <th>項目名</th> <th>監視項目</th> <th>項目名</th> <th>監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※ 本表は女川2号炉の監視項目を参照して作成されたものであり、泊3号炉の監視項目とは異なる場合があります。</p>	項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考	項目名	監視項目	項目名	監視項目	項目名	監視項目	項目名	監視項目	項目名	監視項目	項目名	監視項目	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目	
項目	監視項目			監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考																																																																																	
	項目名	監視項目	項目名	監視項目	項目名	監視項目	項目名	監視項目	項目名	監視項目	項目名	監視項目																																																																																			
監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目																																																																																		
	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目																																																																																		
	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目																																																																																		
	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目																																																																																		
	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	原子炉冷却材圧力	監視項目	監視項目																																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																					
		<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対応に係る監視事項</p> <p style="text-align: center;">1.3 原子炉冷却剂圧力アンダを監視するための手順等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視手段</th> <th colspan="2">監視装置</th> <th colspan="2">監視装置の信頼性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視手段</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置</th> <th>監視装置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">監視項目</td> <td>原子炉冷却剂圧力アンダ</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却剂圧力アンダ</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却剂圧力アンダ</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却剂圧力アンダ</td> <td>監視項目</td> <td>監視手段</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> <tr> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	監視項目		監視手段		監視装置		監視装置の信頼性		備考	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視項目	原子炉冷却剂圧力アンダ	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	原子炉冷却剂圧力アンダ	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	原子炉冷却剂圧力アンダ	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	原子炉冷却剂圧力アンダ	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	
項目	内容	監視項目			監視手段		監視装置		監視装置の信頼性		備考																																																													
		監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置																																																																	
監視項目	原子炉冷却剂圧力アンダ	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置																																																														
	原子炉冷却剂圧力アンダ	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置																																																														
	原子炉冷却剂圧力アンダ	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置																																																														
	原子炉冷却剂圧力アンダ	監視項目	監視手段	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置																																																														
監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置	監視装置																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																														
		<p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対処に係る監視事項</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">監視項目</td> <td>炉内温度</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内水位</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内流量</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内温度</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内水位</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内流量</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※ 1.1. 炉内温度、炉内圧力、炉内水位、炉内流量の監視項目は、女川2号炉の記載と一致するものがある。</p>	項目	監視項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内温度	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内水位	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内流量	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内温度	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内水位	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内流量	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	炉内圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	
項目	監視項目	監視項目			監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		備考																																																																																																																																				
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																								
監視項目	炉内温度	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内水位	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内流量	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内温度	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内水位	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内流量	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					
	炉内圧力	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>第1表 重大事故等対策に係る監視事項</p> <p>1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</p>																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視手段</th> <th colspan="2">監視装置</th> <th colspan="2">監視機能</th> <th rowspan="2">監視対象</th> <th rowspan="2">監視装置</th> <th rowspan="2">監視機能</th> <th rowspan="2">監視装置</th> <th rowspan="2">監視機能</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視手段</th> <th>監視装置</th> <th>監視機能</th> <th>監視項目</th> <th>監視手段</th> <th>監視装置</th> <th>監視機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">監視項目</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等</td> </tr> </tbody> </table>				項目	内容	監視項目		監視手段		監視装置		監視機能		監視対象	監視装置	監視機能	監視装置	監視機能	監視項目	監視手段	監視装置	監視機能	監視項目	監視手段	監視装置	監視機能	監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等
項目	内容	監視項目				監視手段		監視装置		監視機能		監視対象	監視装置						監視機能	監視装置	監視機能																																																
		監視項目	監視手段	監視装置	監視機能	監視項目	監視手段	監視装置	監視機能																																																												
監視項目	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等																																																							
	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等																																																							
	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等	原子炉冷却材圧力バウンダリを確保するための手順等																																																							



1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 1.5 冷却材喪失事故が発生している場合、ワイドライン系統保護装置の作動等

監視項目	監視手段		監視装置		監視対象		監視範囲		監視条件		監視時間		監視内容	
	監視手段	監視装置	監視手段	監視装置	監視対象	監視範囲	監視条件	監視時間	監視内容	監視手段	監視装置	監視条件	監視時間	監視内容
冷却材圧力監視	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置
	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置

女川2号炉との相違

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視項目	監視手段		監視装置		監視対象		監視範囲		監視条件		監視時間		監視内容	
	監視手段	監視装置	監視手段	監視装置	監視対象	監視範囲	監視条件	監視時間	監視内容	監視手段	監視装置	監視条件	監視時間	監視内容
冷却材圧力監視	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置
	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

監視項目	監視手段		監視装置		監視対象		監視範囲		監視条件		監視時間		監視内容	
	監視手段	監視装置	監視手段	監視装置	監視対象	監視範囲	監視条件	監視時間	監視内容	監視手段	監視装置	監視条件	監視時間	監視内容
冷却材圧力監視	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置
	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置	冷却材圧力監視装置

女川2号炉との相違

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 1次冷却材喪失現象が発生している場合（プロトタイプ高機能喪失時の手順等）

項目	電圧のモニタ				電流のモニタ				評価	
	異常	100%AM	異常	50%未満	異常	100%AM	異常	50%未満		
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	60	60	0	0	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	60	60	0	0	0	0	0	0	0
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	1	0	0	0	0	0	0	0	0
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	20	20	1	0	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	20	20	1	0	0	0	0	0	0

注：1. 100%AMは、100%の電流を示す。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	電圧のモニタ				電流のモニタ				評価
	異常	100%AM	異常	50%未満	異常	100%AM	異常	50%未満	
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	60	60	0	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	60	60	0	0	0	0	0	0
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	1	0	0	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	1	0	0	0	0	0	0	0
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	20	20	1	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	20	20	1	0	0	0	0	0

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	電圧のモニタ				電流のモニタ				評価
	異常	100%AM	異常	50%未満	異常	100%AM	異常	50%未満	
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	60	60	0	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	60	60	0	0	0	0	0	0
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	1	0	0	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	1	0	0	0	0	0	0	0
監視事項	1次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	20	20	1	0	0	0	0	0
	2次冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	20	20	1	0	0	0	0	0

注：1. 100%AMは、100%の電流を示す。

1.15 事故時の計装に関する手順等 (添付資料)

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
1次冷却材喪失事象が発生している場合 (フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	主要バウンダリ			監視バウンダリ			監視バウンダリ			評価
		名称	監視バウンダリ	監視バウンダリ	名称	監視バウンダリ	監視バウンダリ	名称	監視バウンダリ	監視バウンダリ	
代 表 的 事 象 に 対 し て 代 表 的 な 手 続 を 示 す	監視 機 能 の 喪 失	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ
			監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ

※: 予バスのロープの計装の設計  
図表 L10: 監視バウンダリ

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視バウンダリ	監視バウンダリ			監視バウンダリ			監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ
		監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ			
監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ

泊発電所3号炉

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	監視バウンダリ	監視バウンダリ			監視バウンダリ			監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ
		監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ			
監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ	監視バウンダリ

相違理由

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 1 冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系統喪失時の手順等）

項目	主系統（V21）				冷却材系（V22）				評価
	発生	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	発生	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400

※ OP/FMは、OP/FMの両方とも該当する場合、発生時検出と記載する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項  
 1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	主系統（V21）				冷却材系（V22）				評価
	発生	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	発生	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

項目	主系統（V21）				冷却材系（V22）				評価
	発生	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	発生	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	検出（OP/FM）	
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
冷却材喪失事象発生時	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400
	冷却材喪失事象発生時	400	400	400	400	400	400	400	400

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等（添付資料）

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等  
 1.4 冷却材損失事故が発生している場合（ブローダウン・系統遮断失効の手順等）

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		評価
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力
	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力

※：「1.4.1」～「1.4.4」は、女川2号炉の記載と一致する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		評価
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力
	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

項目	監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		評価
	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		
冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力
	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力	冷却材圧力

相違理由